

沖縄県しまくとぅば県民意識調査 報告書

令和7年3月



沖縄県

目 次

調査の設計と実施概要	4
1. 本調査の目的	4
2. 調査方法	4
3. 調査結果の見方	4
調査結果の総括	5
1. 調査結果のポイント	5
(1) 「しまくとうば」に対する親しみ	5
(2) 「しまくとうば」に対するイメージ	7
(3) 「しまくとうば」に対する理解度	8
(4) 「しまくとうば」に対する使用頻度	10
(5) 「しまくとうば」を使う相手	12
(6) ビジネスや公共の場での「しまくとうば」の使用に関する意識	13
(7) 普段の生活の中での「しまくとうば」の必要性	15
(8) 子どもたちが「しまくとうば」を使うようになることへの意識	17
(9) 学校の授業科目に「しまくとうば」を加えることについて	19
(10) 家庭内での「しまくとうば」への取組状況	21
(11) 自身が住んでいる地域への愛着について	23
(12) 普及継承の取り組みについての認知度	25
(13) 「しまくとうば」の普及に必要なこと	27
(14) 自身の出身地の「しまくとうば」の認知度	28
(15) 自身の出身地の「しまくとうば」の継承を望むかについて	30
調査結果 32	
1. 回答者の基本属性	32
2. 調査結果の詳細	34
(1) 問 1. 「しまくとうば」に親しみを持っていますか。	34
(2) 問 2. 「しまくとうば」にどのようなイメージを持っていますか。	35
(3) 問 3. 「しまくとうば」は、あなたのアイデンティティにとってどれくらい重要ですか。	40
(4) 問 4. 「しまくとうば」を聞いて、どの程度わかりますか。	41
(5) 問 5. 人と話すとき「しまくとうば」を使いますか。	42
(6) 問 6. 「しまくとうば」を使う相手は誰ですか。	43
(7) 問 7. ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思いますか。	44
(8) 問 7-1. ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。	45
(9) 問 8. 普段の生活の中で「しまくとうば」は必要だと思いませんか。	46
(10) 問 8-1. 生活での必要性について、その理由を教えてください。	47

(11)	問 9. 子どもたちに「しまくとうば」を使えるようになって欲しいですか。	48
(12)	問 10. 授業科目に「しまくとうば」を加えることについてどう思いますか。	49
(13)	問 11. 家庭内で子どもに対して「しまくとうば」を教えるようにしていますか。	50
(14)	問 11-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由はなんですか。	51
(15)	問 12. ご自身が住んでいる地域（市町村）にどの程度愛着や誇りがありますか。	52
(16)	問 13. ご自身の出身地の「しまくとうば」を知っていますか。	53
(17)	問 14. ご自身の出身地の「しまくとうば」が将来に渡って残ってほしいと思いますか。	54
(18)	問 15. 「しまくとうば」に触れる機会（聞く・話す）はどの程度ありますか。	55
(19)	問 16. 「しまくとうば」を聞く機会はどの程度ありますか。	56
(20)	問 16-1. 「しまくとうば」を聞く機会はどのような時ですか。	57
(21)	問 17. 「しまくとうば」を話す機会はどの程度ありますか。	58
(22)	問 17-1. 「しまくとうば」を話す機会はどのような時ですか。	59
(23)	問 17-2. 「しまくとうば」を話さない理由について教えてください。	60
(24)	問 18. 今後、普及継承していくための取組で「知っている」ものをお答えください。	61
(25)	問 19. 今後、普及継承していくための取組で「すべきと思うもの」をお答えください。	85
(26)	問 20. 意見・感想	99
3.	令和5年・令和6年調査結果の比較	136
(1)	問 1. 「しまくとうば」に親しみを持っていますか。	136
(2)	問 2. 「しまくとうば」にどのようなイメージを持っていますか。	136
(3)	問 4. 「しまくとうば」を聞いて、どの程度わかりますか。	141
(4)	問 5. 人と話すとき「しまくとうば」を使いますか。	141
(5)	問 6. 「しまくとうば」を使う相手は誰ですか。	142
(6)	問 7. ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思いますか。	143
(7)	問 7-1. ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。	143
(8)	問 8. 普段の生活の中で「しまくとうば」は必要だと思いませんか。	144
(9)	問 8-1. 生活での必要性について、その理由を教えてください。	144
(10)	問 9. 子どもたちに「しまくとうば」を使えるようになって欲しいですか。	145
(11)	問 10. 授業科目に「しまくとうば」を加えることをどう思いますか。	145
(12)	問 11. 家庭内で子どもに対して「しまくとうば」を教えるようにしていますか。	146
(13)	問 11-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由	146
(14)	問 12. ご自身が住んでいる地域（市町村）にどの程度愛着や誇りがありますか。	147
(15)	問 13. ご自身の出身地の「しまくとうば」を知っていますか。	147
(16)	問 14. ご自身の出身地の「しまくとうば」が将来に渡って残ってほしいですか。	148
(17)	問 15. 「しまくとうば」に触れる機会（聞く・話す）はどの程度ありますか。	148
(18)	問 16. 「しまくとうば」を聞く機会はどの程度ありますか。	149
(19)	問 16-1. 「しまくとうば」を聞く機会はどのような時ですか。	149
(20)	問 17. 「しまくとうば」を話す機会はどの程度ありますか。	150
(21)	問 17-1. 「しまくとうば」を話す機会はどのような時ですか。	150

(22)	問 17-2. 「しまくとうば」を話さない理由について教えてください。	151
(23)	問 18. 今後、普及継承していくための取組で「知っている」ものをお答えください。	152
(24)	問 19. 今後、普及継承していくための取組で「すべきと思うもの」をお答えください。	164
4.	参考資料	169

調査の設計と実施概要

1. 本調査の目的

県民における「しまくとぅば」に対する意識の調査を行うことで、その実態を把握し、今後の「しまくとぅば」の普及継承に向けた課題と効果的な施策の検討に資することを目的とする。

2. 調査方法

調査方法	層化二段無作為抽出法による郵送配布、郵送回収/WEB回収
対象者数	沖縄県内：3,000件
調査実施日	2025年1月14日～2月16日
回収有効票	1,043票（調査票回収：731票、WEB回収：312票）
回収率	34.8%
対象者	沖縄県内に在住する、18歳以上の男女

3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の「回収有効票」を基数（ n ）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 性別・年齢、圏域等の基本属性等とのクロス集計においては、原則として、表側の各属性等の「無回答」を表示していない。ただし、「全体」は属性の「無回答」も含んでいる。
- クロス集計等において、基数（ n ）となる調査数（ $n < 30$ ）が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。

調査結果の総括

1. 調査結果のポイント

(1) 「しまくとぅば」に対する親しみ

【全体】

- ・ 親しみを持っている 44.6%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 32.5%
- ・ 合計 77.1%

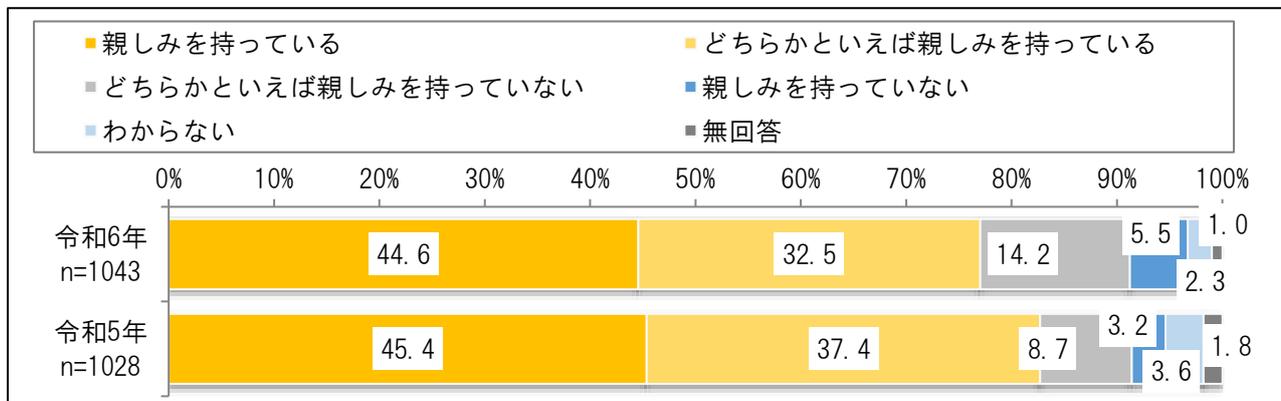
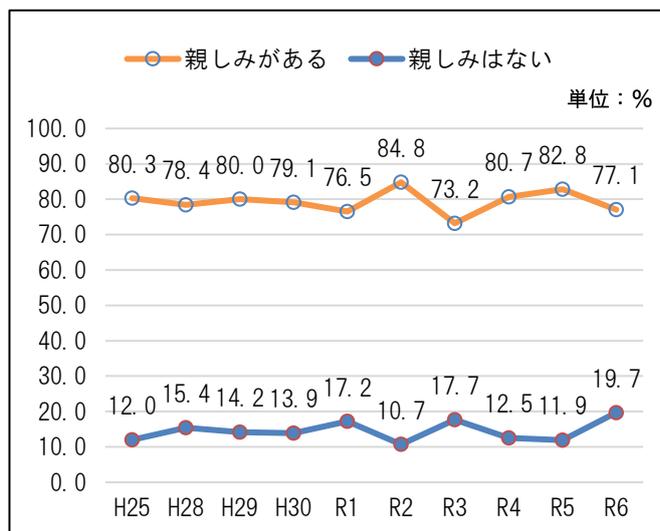
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・ 親しみを持っている 43.8%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 36.9%
- ・ 合計 80.7%

○前回調査（令和5年度）

- ・ 親しみを持っている 45.4%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 37.4%
- ・ 合計 82.8%



【性別】

○男性

- ・ 親しみを持っている 48.4%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 29.6%
- ・ 合計 78.0%

○女性

- ・ 親しみを持っている 42.0%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 34.3%
- ・ 合計 76.3%

【年代別】

○最も高い→70歳以上

- ・ 親しみを持っている 59.1%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 27.5%
- ・ 合計 86.6%

○最も低い→10代

- ・ 親しみを持っている 20.6%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 38.2%
- ・ 合計 58.8%

【地域別】

○最も高い→宮古

- ・ 親しみを持っている 53.3%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 33.3%
- ・ 合計 86.6%

○最も低い→中部

- ・ 親しみを持っている 40.0%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 32.7%
- ・ 合計 72.2%

ポイント

・ 前年度と比較し、「しまくとぅば」に親しみを持つ県民の割合が減少している。特に10代で親しみを持っている割合が2割にとどまっており、他年代と比較し10ポイント以上差がある。

(%)

		親しみを持っている	どちらかといえば親しみを持っている	どちらともいえない	どちらかといえば親しみを持っていない	親しみを持っていない	無回答
性別	男性 n=436	48.4	29.6	13.3	5.3	2.5	0.9
	女性 n=603	42.0	34.3	14.9	5.6	2.2	1.0
	その他 n=2	50.0	50.0	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	20.6	38.2	20.6	14.7	5.9	-
	20代 n=85	32.9	36.5	17.6	11.8	1.2	-
	30代 n=152	30.3	39.5	15.1	10.5	3.9	0.7
	40代 n=175	38.9	32.6	20.0	6.3	2.3	-
	50代 n=196	49.5	31.1	13.8	2.0	3.6	-
	60代 n=215	51.2	32.1	10.2	4.2	1.4	0.9
	70歳以上 n=171	59.1	27.5	10.5	1.2	0.6	1.2
地域別	北部 n=145	53.1	29.7	11.0	3.4	2.1	0.7
	中部 n=300	40.0	32.7	16.3	8.0	2.7	0.3
	南部 n=422	46.0	32.0	13.7	5.5	2.4	0.5
	宮古 n=30	53.3	33.3	13.3	-	-	-
	八重山 n=62	38.7	40.3	12.9	4.8	3.2	-
	その他の離島 n=67	37.3	38.8	17.9	3.0	1.5	1.5

(2) 「しまくとぅば」に対するイメージ

【肯定的な回答が多いもの（非常に+やや）】

・ 明るい (65.0%)、誇らしい (63.6%)、面白い (67.1%)、身近に感じる (62.2%)

【肯定的な回答が少ないもの（非常に+やや）】

・ 丁寧 (27.5%)、さわやか (32.2%)、明瞭 (25.6%)

ポイント

・ 肯定的な回答が少ないものであっても、「どちらでもない」の回答が多いため、否定的な回答は少ない。

例、丁寧：「非常に」、「やや」の合計 27.5% ⇔ 乱暴：「非常に」、「やや」の合計 23.3%

※ 「どちらでもない」の回答 44.3%

(%)

	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に		無回答
n=1043							
やわらかい	20.0	36.6	26.2	5.0	9.2	硬い	3.0
明るい	25.3	39.7	26.5	3.4	0.7	暗い	4.5
丁寧	9.2	18.3	44.3	21.1	2.2	乱暴	4.9
誇らしい	35.2	28.4	27.2	3.9	0.9	恥ずかしい	4.4
豪快	13.3	30.4	41.3	7.1	2.6	繊細	5.3
さわやか	10.3	21.9	52.5	9.6	0.9	うっとうしい	4.9
カッコいい	17.4	22.6	47.4	6.5	1.3	カッコ悪い	4.7
面白い	33.5	33.6	24.0	3.7	0.8	面白くない	4.5
身近に感じる	27.6	34.6	19.0	9.6	5.7	身近に感じない	3.5
感情的	19.3	35.3	36.5	3.2	0.6	理論的	5.2
田舎っぽい	19.7	29.5	41.3	3.0	1.2	都会的	5.3
明瞭	8.2	17.4	44.8	18.2	5.8	不明瞭	5.6

(3) 「しまくとぅば」に対する理解度

【全体】

・よくわかる 14.1% ・ある程度わかる 53.8% ・合計 67.9%

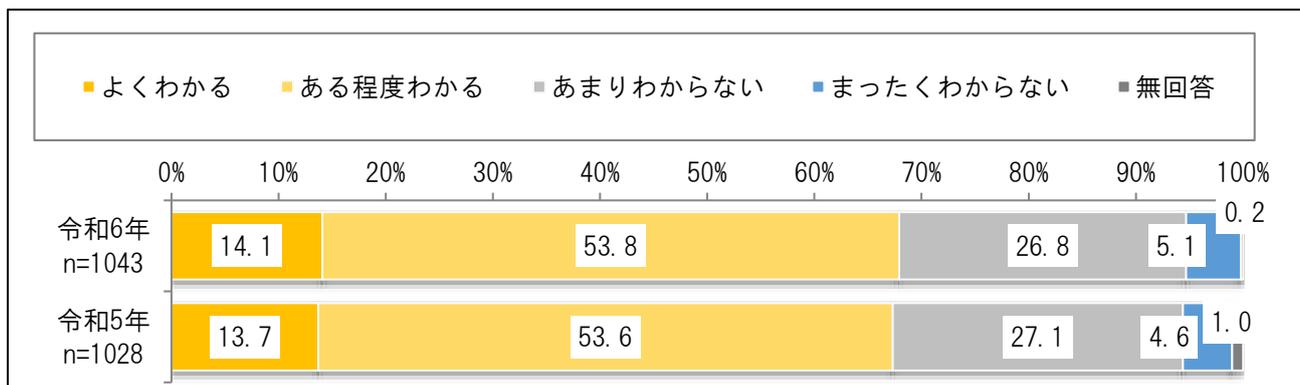
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

・よくわかる 15.9%
 ・ある程度わかる 49.9%
 ・合計 65.8%

○前回調査（令和5年度）

・よくわかる 13.7%
 ・ある程度わかる 53.6%
 ・合計 67.3%



【性別】

○男性

- ・よくわかる 15.4%
- ・ある程度わかる 56.0%
- ・合計 71.4%

○女性

- ・よくわかる 13.3%
- ・ある程度わかる 52.1%
- ・合計 65.4%

【年代別】

○最も高い→70歳以上

- ・よくわかる 40.4%
- ・ある程度わかる 52.0%
- ・合計 92.4%

○最も低い→10代

- ・よくわかる なし (-)
- ・ある程度わかる 23.5%
- ・合計 23.5%

【地域別】

○最も高い→宮古

- ・よくわかる 36.7%
- ・ある程度わかる 40.0%
- ・合計 76.7%

○最も低い→八重山

- ・よくわかる 12.9%
- ・ある程度わかる 50.0%
- ・合計 62.9%

ポイント

- ・令和5年度との比較では「よくわかる」「ある程度わかる」の合算値が0.6ポイント増加。
- ・全体の約3分の2が「しまくとぅば」を理解していると回答。一方で10代の理解度の減少が著しい。

(%)

		よくわかる	ある程度わかる	あまりわからない	まったくわからない	無回答
性別	男性 n=436	15.4	56.0	24.8	3.9	-
	女性 n=603	13.3	52.1	28.4	6.0	0.3
	その他 n=2	-	50.0	50.0	-	-
年齢	10代 n=34	-	23.5	55.9	20.6	-
	20代 n=85	3.5	37.6	49.4	9.4	-
	30代 n=152	4.6	49.3	38.2	7.9	-
	40代 n=175	4.0	54.3	37.1	4.6	-
	50代 n=196	6.1	58.2	29.1	6.6	-
	60代 n=215	20.5	65.1	12.1	2.3	-
	70歳以上 n=171	40.4	52.0	6.4	-	1.2
地域別	北部 n=145	9.0	66.2	21.4	3.4	-
	中部 n=300	11.7	54.3	29.0	5.0	-
	南部 n=422	14.9	51.2	28.2	5.5	0.2
	宮古 n=30	36.7	40.0	20.0	3.3	-
	八重山 n=62	12.9	50.0	27.4	9.7	-
	その他の離島 n=67	17.9	50.7	25.4	4.5	1.5

(4) 「しまくとぅば」に対する使用頻度

【全体】

- ・しまくとぅばを主に使う 3.4%
- ・しまくとぅばと共通語を同じくらい使う 13.0%
- ・挨拶程度に使う 26.1%
- ・合計 42.5%（しまくとぅばを「挨拶程度以上使う」）

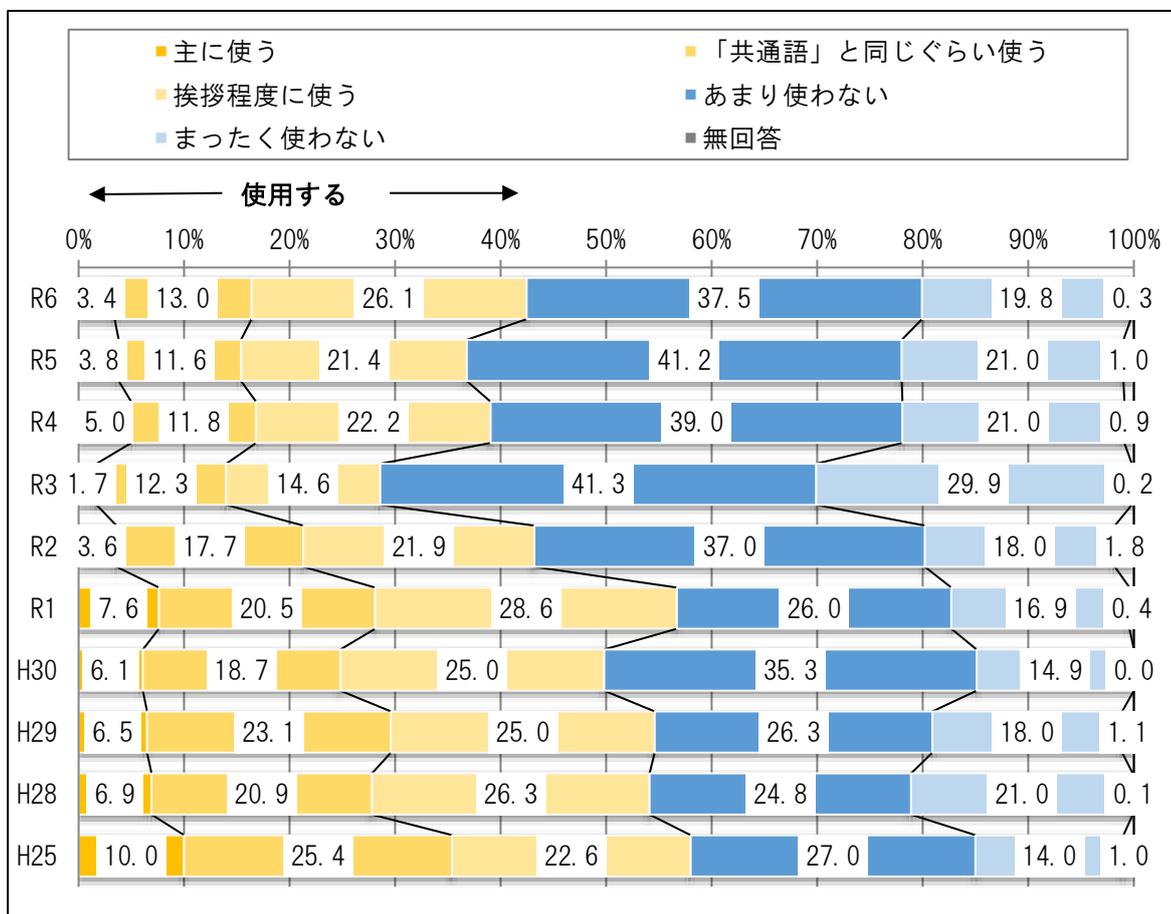
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・しまくとぅばを「挨拶程度以上使う」 39.0%

○前回調査（令和5年度）

- ・しまくとぅばを「挨拶程度以上使う」 36.8%



【性別】

○男性

- ・しまくとぅばを主に使う 3.9%
- ・共通語と同じくらい使う 16.1%
- ・挨拶程度に使う 26.1%
- ・合計 46.1%

○女性

- ・しまくとぅばを主に使う 3.0%
- ・共通語と同じくらい使う 10.8%
- ・挨拶程度に使う 26.0%
- ・合計 39.8%

【年代別】

○最も高い→70歳以上

- ・しまくとぅばを主に使う 11.1%
- ・共通語と同じくらい使う 25.1%
- ・挨拶程度に使う 21.6%
- ・合計 57.8%

○最も低い→10代

- ・しまくとぅばを主に使う なし (-)
- ・共通語と同じくらい使う 2.9%
- ・挨拶程度に使う 20.6%
- ・合計 23.5%

【地域別】

○最も高い→宮古

- ・しまくとぅばを主に使う 20.0%
- ・共通語と同じくらい使う 23.3%
- ・挨拶程度に使う 16.7%
- ・合計 60.0%

○最も低い→八重山

- ・しまくとぅばを主に使う なし (-)
- ・共通語と同じくらい使う 8.1%
- ・挨拶程度に使う 29.0%
- ・合計 37.1%

ポイント

・全体の42.5%が「しまくとぅば」を挨拶程度以上に使用しており、前年度と比較して5.7ポイント増加している。

(%)

		主に使う	「共通語」と同じくらい使う	挨拶程度に使う	あまり使わない	まったく使わない	無回答
性別	男性 n=436	3.9	16.1	26.1	37.2	16.5	0.2
	女性 n=603	3.0	10.8	26.0	37.8	22.1	0.3
	その他 n=2	-	-	-	50.0	50.0	-
年齢	10代 n=34	-	2.9	20.6	32.4	44.1	-
	20代 n=85	-	8.2	28.2	42.4	21.2	-
	30代 n=152	-	9.9	25.0	37.5	27.6	-
	40代 n=175	1.1	7.4	29.1	38.3	24.0	-
	50代 n=196	1.0	8.2	30.6	39.3	20.9	-
	60代 n=215	3.7	17.7	23.7	40.9	13.0	0.9
	70歳以上 n=171	11.1	25.1	21.6	30.4	11.1	0.6
地域別	北部 n=145	3.4	15.9	32.4	31.0	17.2	-
	中部 n=300	2.0	12.0	23.7	41.7	20.0	0.7
	南部 n=422	2.6	12.6	25.4	37.2	22.0	0.2
	宮古 n=30	20.0	23.3	16.7	26.7	13.3	-
	八重山 n=62	-	8.1	29.0	46.8	16.1	-
	その他の離島 n=67	4.5	16.4	28.4	35.8	14.9	-

(5) 「しまくとぅば」を使う相手

【全体】

【割合が高いもの】・友達 (51.7%)、父母 (35.6%)、兄弟 (32.0%)

【割合が低いもの】・祖父母 (23.9%)、職場の同僚 (20.7%)、子供 (17.6%)

【過去調査との比較】

○前々回調査 (令和4年度)

【割合が高いもの】・友達 (38.4%)、父母 (32.0%)、兄弟 (22.2%)

【割合が低いもの】・夫・妻 (18.5%)、職場の同僚 (14.5%)、子供 (10.4%)

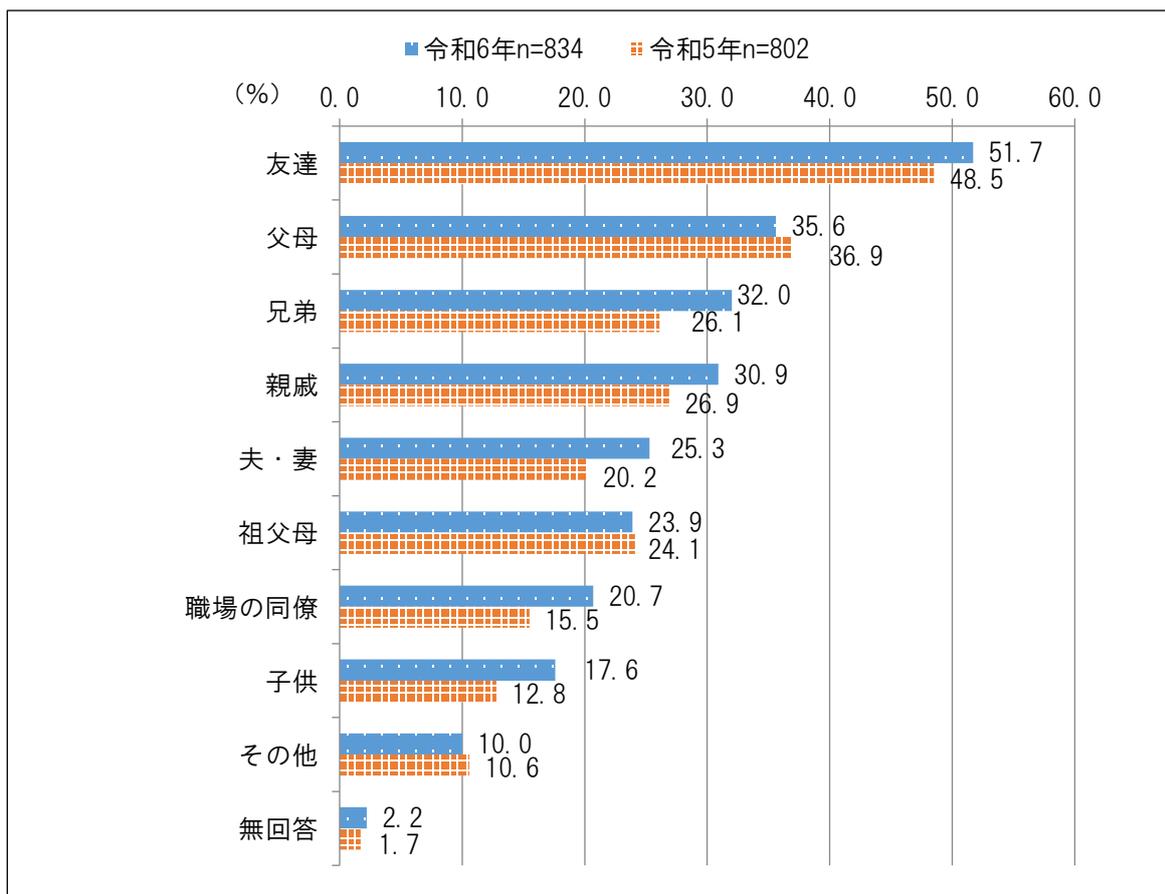
○前回調査 (令和5年度)

【割合が高いもの】・友達 (48.5%)、父母 (36.9%)、親戚 (26.9%)

【割合が低いもの】・夫・妻 (20.2%)、職場の同僚 (15.5%)、子供 (12.8%)

ポイント

- ・友達、父母、兄弟が主な使用相手であり、家族や親しい間柄での使用が多い。



(6) ビジネスや公共の場での「しまくとぅば」の使用に関する意識

【全体】

- ・ そう思う 15.9%
- ・ ややそう思う 24.5%
- ・ 合計 40.4%

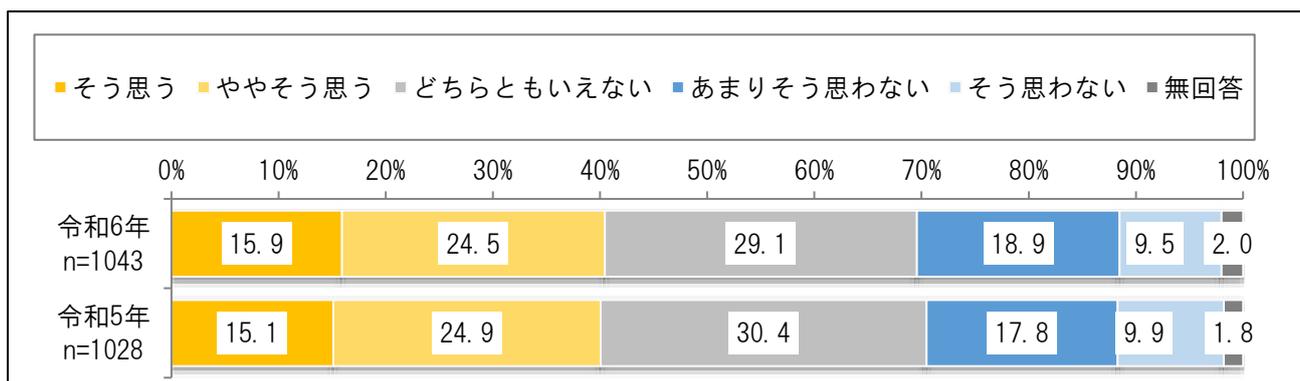
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・ そう思う 16.0%
- ・ ややそう思う 22.3%
- ・ 合計 38.3%

○前回調査（令和5年度）

- ・ そう思う 15.1%
- ・ ややそう思う 24.9%
- ・ 合計 40.0%



【性別】

○男性

- ・ そう思う 17.7%
- ・ ややそう思う 23.6%
- ・ 合計 41.3%

○女性

- ・ そう思う 14.8%
- ・ ややそう思う 25.4%
- ・ 合計 40.2%

【年代】

○最も高い→20代

- ・ そう思う 12.9%
- ・ ややそう思う 31.8%
- ・ 合計 44.7%

○最も低い→10代

- ・ そう思う 20.6%
- ・ ややそう思う 14.7%
- ・ 合計 35.3%

【地域別】

○最も高い→その他の離島

- ・ そう思う 11.9%
- ・ ややそう思う 38.8%
- ・ 合計 50.7%

○最も低い→中部

- ・ そう思う 14.3%
- ・ ややそう思う 21.3%
- ・ 合計 35.6%

ポイント

・ ビジネスや公共の場での使用に肯定的な意識を持つ割合が40.4%となっており、前年度と比較して増加している。特に20代で肯定的な意識が高く、地域別ではその他の離島が最も肯定的。

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性 n=436	17.7	23.6	25.2	20.6	10.6	2.3
	女性 n=603	14.8	25.4	31.8	17.4	8.8	1.8
	その他 n=2	-	-	-	100.0	-	-
年齢	10代 n=34	20.6	14.7	26.5	29.4	8.8	-
	20代 n=85	12.9	31.8	22.4	22.4	8.2	2.4
	30代 n=152	20.4	21.7	23.0	22.4	11.2	1.3
	40代 n=175	13.1	28.6	29.7	16.0	11.4	1.1
	50代 n=196	13.8	26.0	32.1	15.8	10.7	1.5
	60代 n=215	14.0	23.7	37.2	16.7	6.0	2.3
	70歳以上 n=171	18.7	22.2	24.0	21.1	9.9	4.1
地域別	北部 n=145	22.1	22.8	33.8	14.5	4.8	2.1
	中部 n=300	14.3	21.3	34.3	18.7	9.7	1.7
	南部 n=422	14.7	25.8	26.3	19.7	11.4	2.1
	宮古 n=30	16.7	26.7	16.7	26.7	3.3	10.0
	八重山 n=62	19.4	24.2	21.0	22.6	12.9	-
	その他の離島 n=67	11.9	38.8	26.9	13.4	7.5	1.5

(7) 普段の生活の中での「しまくとぅば」の必要性

【全体】

- ・非常に必要 13.0%
- ・ある程度必要 59.8%
- ・合計 72.8%

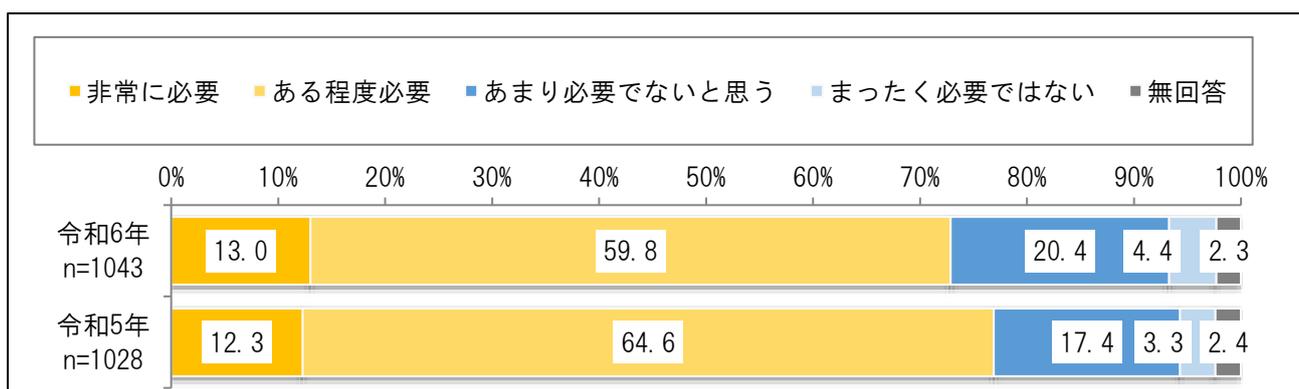
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・非常に必要 11.3%
- ・ある程度必要 62.1%
- ・合計 73.4%

○前回調査（令和5年度）

- ・非常に必要 12.3%
- ・ある程度必要 64.6%
- ・合計 76.9%



【性別】

○男性

- ・非常に必要 16.1%
- ・ある程度必要 56.2%
- ・合計 72.3%

○女性

- ・非常に必要 10.8%
- ・ある程度必要 62.5%
- ・合計 73.3%

【年代別】

○最も高い→70歳以上

- ・非常に必要 15.2%
- ・ある程度必要 60.2%
- ・合計 75.4%

○最も低い→20代

- ・非常に必要 11.8%
- ・ある程度必要 56.5%
- ・合計 68.3%

ポイント

・非常に必要と感じる人とある程度必要と感じる人を合わせた割合が7割を超えており、必要性を感じている人が多い。

(%)

		非常に必要	ある程度必要	あまり必要でないと思う	まったく必要ではない	無回答
性別	男性 n=436	16.1	56.2	19.7	5.5	2.5
	女性 n=603	10.8	62.5	21.1	3.6	2.0
	その他 n=2	50.0	-	-	-	50.0
年齢	10代 n=34	14.7	55.9	23.5	2.9	2.9
	20代 n=85	11.8	56.5	23.5	8.2	-
	30代 n=152	13.2	55.9	24.3	5.3	1.3
	40代 n=175	13.1	59.4	18.3	7.4	1.7
	50代 n=196	11.7	61.2	21.4	3.1	2.6
	60代 n=215	10.2	65.1	17.7	3.7	3.3
	70歳以上 n=171	15.2	60.2	19.3	1.8	3.5
地域別	北部 n=145	17.9	64.1	16.6	1.4	-
	中部 n=300	9.3	61.3	22.3	4.7	2.3
	南部 n=422	12.3	55.9	22.7	5.7	3.3
	宮古 n=30	20.0	63.3	6.7	3.3	6.7
	八重山 n=62	11.3	58.1	22.6	6.5	1.6
	その他の離島 n=67	14.9	71.6	11.9	1.5	-

(8) 子どもたちが「しまくとぅば」を使うようになることへの意識

【全体】

- ・是非、使えるようになって欲しい 21.7%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 56.5%
- ・合計 78.2%

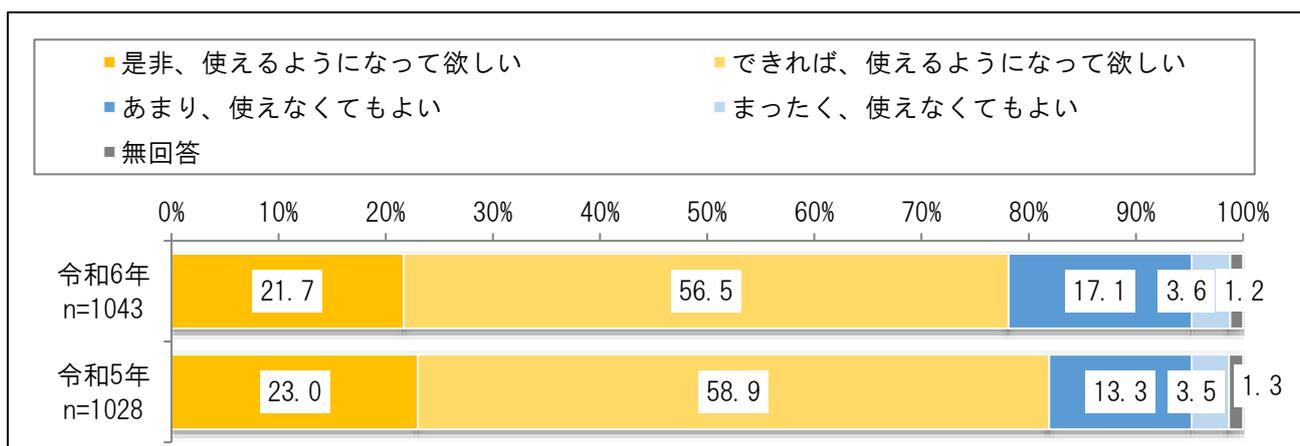
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・是非、使えるようになって欲しい 21.8%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 57.2%
- ・合計 79.0%

○前回調査（令和5年度）

- ・是非、使えるようになって欲しい 23.0%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 58.9%
- ・合計 81.9%



【性別】

○男性

- ・是非、使えるようになって欲しい 23.9%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 53.2%
- ・合計 77.1%

○女性

- ・是非、使えるようになって欲しい 20.2%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 58.5%
- ・合計 78.7%

【年代別】

○最も高い→70歳以上

- ・是非、使えるようになってほしい 18.1%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 63.2%
- ・合計 81.3%

○最も低い→20代

- ・是非、使えるようになってほしい 18.8%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 49.4%
- ・合計 68.2%

【地域別】

○最も高い→八重山

- ・是非、使えるようになってほしい 24.2%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 58.1%
- ・合計 82.3%

○最も低い→中部

- ・是非、使えるようになってほしい 4.0%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 53.7%
- ・合計 57.7%

ポイント

- ・全体では子どもたちに「しまくとぅば」を使えるようになってほしいと考える割合が約8割と高い。

(%)

		是非、使えるようになって欲しい	できれば、使えるようになって欲しい	あまり、使えなくてもよい	まったく、使えなくてもよい	無回答
性別	男性 n=436	23.9	53.2	17.4	4.1	1.4
	女性 n=603	20.2	58.5	16.9	3.3	1.0
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-
年齢	10代 n=34	29.4	41.2	20.6	5.9	2.9
	20代 n=85	18.8	49.4	27.1	3.5	1.2
	30代 n=152	23.0	51.3	19.7	5.9	-
	40代 n=175	26.3	53.1	14.9	5.7	-
	50代 n=196	20.4	58.7	17.3	2.6	1.0
	60代 n=215	19.1	61.4	14.9	2.3	2.3
	70歳以上 n=171	18.1	63.2	14.6	2.3	1.8
地域別	北部 n=145	26.2	54.5	17.9	0.7	0.7
	中部 n=300	4.0	53.7	21.3	3.3	0.3
	南部 n=422	18.7	59.5	16.4	4.3	1.2
	宮古 n=30	26.7	46.7	20.0	3.3	3.3
	八重山 n=62	24.2	58.1	8.1	8.1	1.6
	その他の離島 n=67	22.4	58.2	10.4	4.5	4.5

(9) 学校の授業科目に「しまくとぅば」を加えることについて

【全体】

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい 15.1%
- ・授業以外での活動で取り組んで欲しい 56.7%
- ・合計 71.8%

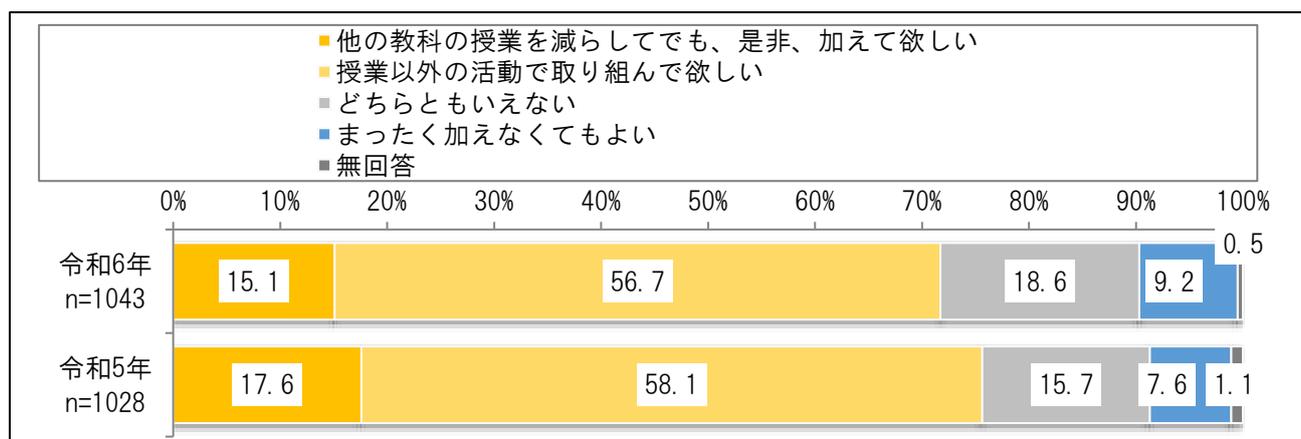
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい 14.7%
- ・授業以外での活動で取り組んで欲しい 58.9%
- ・合計 73.6%

○前回調査（令和5年度）

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい 17.6%
- ・授業以外での活動で取り組んで欲しい 58.1%
- ・合計 75.7%



【性別】

○男性

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい 17.4%
- ・授業以外での活動で取り組んで欲しい 52.8%
- ・合計 70.2%

○女性

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい 13.4%
- ・授業以外での活動で取り組んで欲しい 59.2%
- ・合計 72.6%

【年代別】

○最も高い→70歳以上

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい 12.3%
- ・授業以外での活動で取り組んで欲しい 63.7%
- ・合計 76.0%

○最も低い→20代

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい 14.1%
- ・授業以外での活動で取り組んで欲しい 54.1%
- ・合計 68.2%

【地域別】

○最も高い→その他の離島

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい 14.9%
- ・授業以外での活動で取り組んで欲しい 62.7%
- ・合計 77.6%

○最も低い→宮古

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい 30.0%
- ・授業以外での活動で取り組んで欲しい 36.7%
- ・合計 66.7%

ポイント

- ・授業以外の活動で取り組むべきとの意見が多く、授業科目として加えることには慎重な意見が目立つ。

(%)

		他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい	授業以外での活動で取り組んで欲しい	どちらともいえない	まったく加えなくてもよい	無回答
性別	男性 n=436	17.4	52.8	17.4	11.9	0.5
	女性 n=603	13.4	59.2	19.6	7.3	0.5
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-
年齢	10代 n=34	11.8	61.8	14.7	8.8	2.9
	20代 n=85	14.1	54.1	17.6	14.1	-
	30代 n=152	17.8	51.3	20.4	10.5	-
	40代 n=175	21.7	50.3	14.9	13.1	-
	50代 n=196	13.3	57.1	21.9	7.7	-
	60代 n=215	11.6	60.5	19.1	7.4	1.4
	70歳以上 n=171	12.3	63.7	17.5	5.8	0.6
地域別	北部 n=145	13.8	57.2	20.0	9.0	-
	中部 n=300	15.0	57.0	18.3	9.7	-
	南部 n=422	13.0	57.6	19.0	9.5	0.9
	宮古 n=30	30.0	36.7	26.7	3.3	3.3
	八重山 n=62	22.6	51.6	16.1	9.7	-
	その他の離島 n=67	14.9	62.7	13.4	9.0	-

(10) 家庭内での「しまくとぅば」への取組状況

【全体】

- ・積極的に教えている 3.5%
- ・時々教えている 38.2%
- ・合計 41.7%

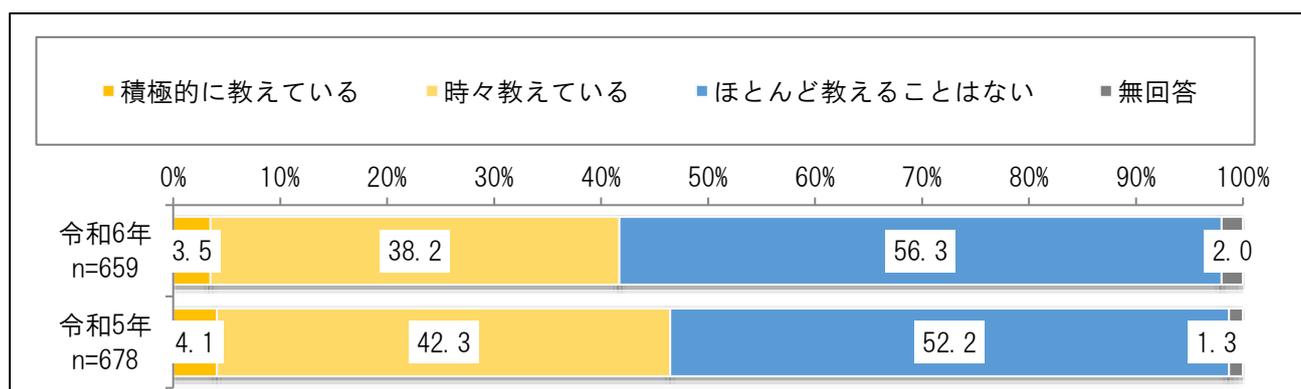
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・積極的に教えている 5.2%
- ・時々教えている 40.2%
- ・合計 45.4%

○前回調査（令和5年度）

- ・積極的に教えている 4.1%
- ・時々教えている 42.3%
- ・合計 46.4%



【性別】

○男性

- ・積極的に教えている 3.8%
- ・時々教えている 39.1%
- ・合計 42.9%

○女性

- ・積極的に教えている 3.3%
- ・時々教えている 37.4%
- ・合計 40.7%

【年代別】

○最も高い→40代

- ・積極的に教えている 4.0%
- ・時々教えている 41.9%
- ・合計 45.9%

○最も低い→20代

- ・積極的に教えている なし (-)
- ・時々教えている 33.3%
- ・合計 33.3%

【地域別】

○最も高い→その他の離島

- ・積極的に教えている 4.5%
- ・時々教えている 45.5%
- ・合計 50.0%

○最も低い→八重山

- ・積極的に教えている 2.4%
- ・時々教えている 26.2%
- ・合計 28.6%

ポイント

- ・全体では約4割の家庭でしまくとぅばを教えている。

(%)

		積極的に教えている	時々教えている	ほとんど教えることはない	無回答
性別	男性 n=266	3.8	39.1	54.9	2.3
	女性 n=390	3.3	37.4	57.4	1.8
	その他 n=1	-	-	100.0	-
年齢	10代 n=-	-	-	-	-
	20代 n=9	-	33.3	66.7	-
	30代 n=77	1.3	39.0	57.1	2.6
	40代 n=124	4.0	41.9	54.0	-
	50代 n=132	3.8	41.7	53.8	0.8
	60代 n=164	3.0	37.2	57.9	1.8
	70歳以上 n=150	4.7	32.7	58.0	4.7
地域別	北部 n=83	2.4	43.4	54.2	-
	中部 n=189	3.7	39.2	54.0	3.2
	南部 n=275	2.9	36.7	58.9	1.5
	宮古 n=21	9.5	38.1	52.4	-
	八重山 n=42	2.4	26.2	69.0	2.4
	その他の離島 n=44	4.5	45.5	45.5	4.5

(11) 自身が住んでいる地域への愛着について

【全体】

- ・とてもある 40.1%
- ・ややある 44.1%
- ・合計 84.2%

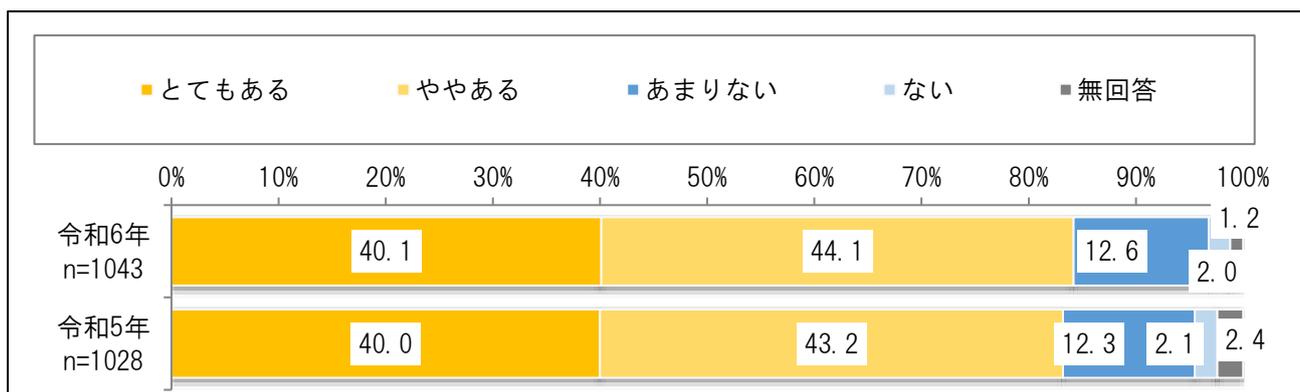
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・とてもある 39.0%
- ・ややある 44.9%
- ・合計 83.9%

○前回調査（令和5年度）

- ・とてもある 40.0%
- ・ややある 43.2%
- ・合計 83.2%



【性別】

○男性

- ・とてもある 41.5%
- ・ややある 42.0%
- ・合計 83.5%

○女性

- ・とてもある 39.1%
- ・ややある 45.4%
- ・合計 84.5%

【年代別】

○最も高い→60代

- ・とてもある 40.5%
- ・ややある 47.9%
- ・合計 88.4%

○最も低い→30代

- ・とてもある 34.2%
- ・ややある 46.1%
- ・合計 80.3%

【地域別】

○最も高い→北部

- ・とてもある 45.5%
- ・ややある 44.1%
- ・合計 89.6%

○最も低い→南部

- ・とてもある 39.6%
- ・ややある 42.7%
- ・合計 82.3%

ポイント

- ・多くの回答者が自身の住む地域に強い愛着を持っている。特に北部で愛着の割合が高い。

(%)

		とてもある	ややある	あまりない	ない	無回答
性別	男性 n=436	41.5	42.0	12.8	2.1	1.6
	女性 n=603	39.1	45.4	12.4	2.0	1.0
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-
年齢	10代 n=34	44.1	38.2	11.8	-	5.9
	20代 n=85	40.0	44.7	11.8	3.5	-
	30代 n=152	34.2	46.1	16.4	2.0	1.3
	40代 n=175	41.7	40.0	13.7	4.0	0.6
	50代 n=196	38.8	45.9	12.8	1.5	1.0
	60代 n=215	40.5	47.9	7.9	2.3	1.4
	70歳以上 n=171	43.9	40.4	14.6	-	1.2
地域別	北部 n=145	45.5	44.1	9.0	1.4	-
	中部 n=300	34.7	48.7	13.3	1.7	1.7
	南部 n=422	39.6	42.7	13.7	2.4	1.7
	宮古 n=30	50.0	36.7	10.0	3.3	-
	八重山 n=62	43.5	40.3	12.9	1.6	1.6
	その他の離島 n=67	43.3	41.8	11.9	3.0	-

(12) 普及継承の取り組みについての認知度

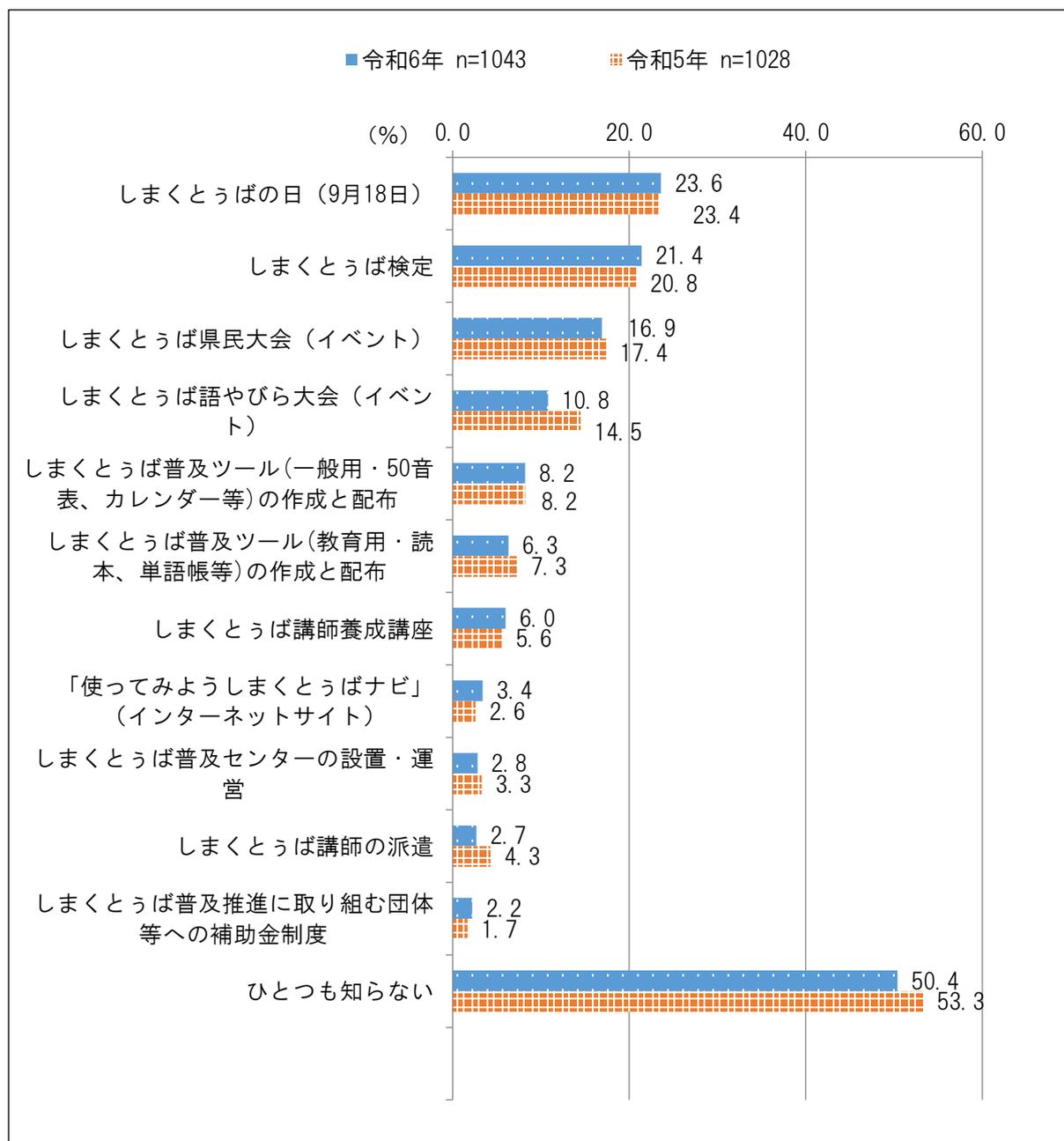
【全体】

○最も高い

「しまくとうばの日(9月18日)」→ 23.6%

○最も低い

「しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」→2.2%



※いずれの選択肢にも○がついていない回答を「ひとつも知らない」として集計した。

【性別】

○男性

最も高い→「ひとつも知らない」55.0%

最も低い→「しまくとうば普及センターの設置・運営」2.8%

○女性

最も高い→「ひとつも知らない」47.4%

最も低い→「しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」1.3%

【年代別】

○40代

最も高い→「ひとつも知らない」40.0%

最も低い→「しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」1.7%

【地域別】

○南部

最も高い→「ひとつも知らない」52.8%

最も低い→「しまくとうば講師の派遣」0.9%

ポイント

・普及継承の取り組みについては全体的に低めだが、中でも「しまくとうば県民大会」や「しまくとうば検定」といった広く参加しやすい取り組みは比較的認知されている。

(%)

		しまくとうばの日 (9月18日)	しまくとうば県民大会 (イベント)	しまくとうば語やびら大会 (イベント)	しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度	しまくとうば普及センターの設置・運営	しまくとうば講師養成講座
性別	男性 n=436	22.5	15.1	11.7	3.4	2.8	6.0
	女性 n=603	24.0	18.1	10.1	1.3	2.7	5.8
	その他 n=2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	100.0
年齢	10代 n=34	11.8	20.6	5.9	-	-	-
	20代 n=85	28.2	17.6	5.9	-	-	1.2
	30代 n=152	21.1	15.1	7.9	-	4.6	3.9
	40代 n=175	26.3	17.1	9.7	1.7	3.4	7.4
	50代 n=196	30.1	17.9	15.8	3.6	2.0	7.7
	60代 n=215	20.5	15.8	11.6	2.8	3.3	7.4
	70歳以上 n=171	20.5	17.0	11.7	3.5	2.9	6.4
地域別	北部 n=145	22.1	13.8	9.0	0.7	2.1	6.9
	中部 n=300	23.7	20.0	14.0	3.7	4.0	5.0
	南部 n=422	23.5	16.8	9.5	1.7	2.6	5.9
	宮古 n=30	20.0	20.0	6.7	-	-	6.7
	八重山 n=62	22.6	16.1	12.9	3.2	1.6	9.7
	その他の離島 n=67	34.3	11.9	10.4	1.5	3.0	6.0

(%)

		しまくとうば講師の派遣	しまくとうば検定	「使ってみようしまくとうばナビ」(インターネットサイト)	しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布	しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布	ひとつも知らない
性別	男性 n=436	3.0	20.2	3.7	6.4	6.2	55.0
	女性 n=603	2.5	21.9	3.0	9.6	6.3	47.4
	その他 n=2	-	100.0	50.0	-	50.0	-
年齢	10代 n=34	8.8	23.5	8.8	2.9	8.8	41.2
	20代 n=85	1.2	24.7	2.4	7.1	5.9	45.9
	30代 n=152	4.6	21.1	3.3	9.9	8.6	50.7
	40代 n=175	3.4	25.1	4.0	8.6	10.3	40.0
	50代 n=196	2.0	28.1	5.1	10.2	8.7	45.4
	60代 n=215	1.9	20.0	3.3	9.8	4.2	54.0
	70歳以上 n=171	1.8	11.1	0.6	4.1	0.6	64.3
地域別	北部 n=145	2.8	16.6	3.4	8.3	7.6	51.7
	中部 n=300	3.7	26.3	4.0	10.3	8.0	43.3
	南部 n=422	0.9	21.3	2.8	6.9	4.7	52.8
	宮古 n=30	3.3	10.0	6.7	6.7	6.7	60.0
	八重山 n=62	6.5	16.1	1.6	11.3	8.1	53.2
	その他の離島 n=67	6.0	23.9	4.5	6.0	6.0	49.3

(13) 「しまくとぅば」の普及に必要なこと

【全体】

・最も高い

「学校の総合学習などでのしまくとぅば教育の実施」 →52.5%

・最も低い

「官公庁等でのしまくとぅばの使用」 →15.7%

【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

・最も高い

「学校の総合学習などでのしまくとぅば教育の実施」 →40.0%

・最も低い

「官公庁等でのしまくとぅばの使用」 → 11.3%

○前回調査（令和5年度）

・最も高い

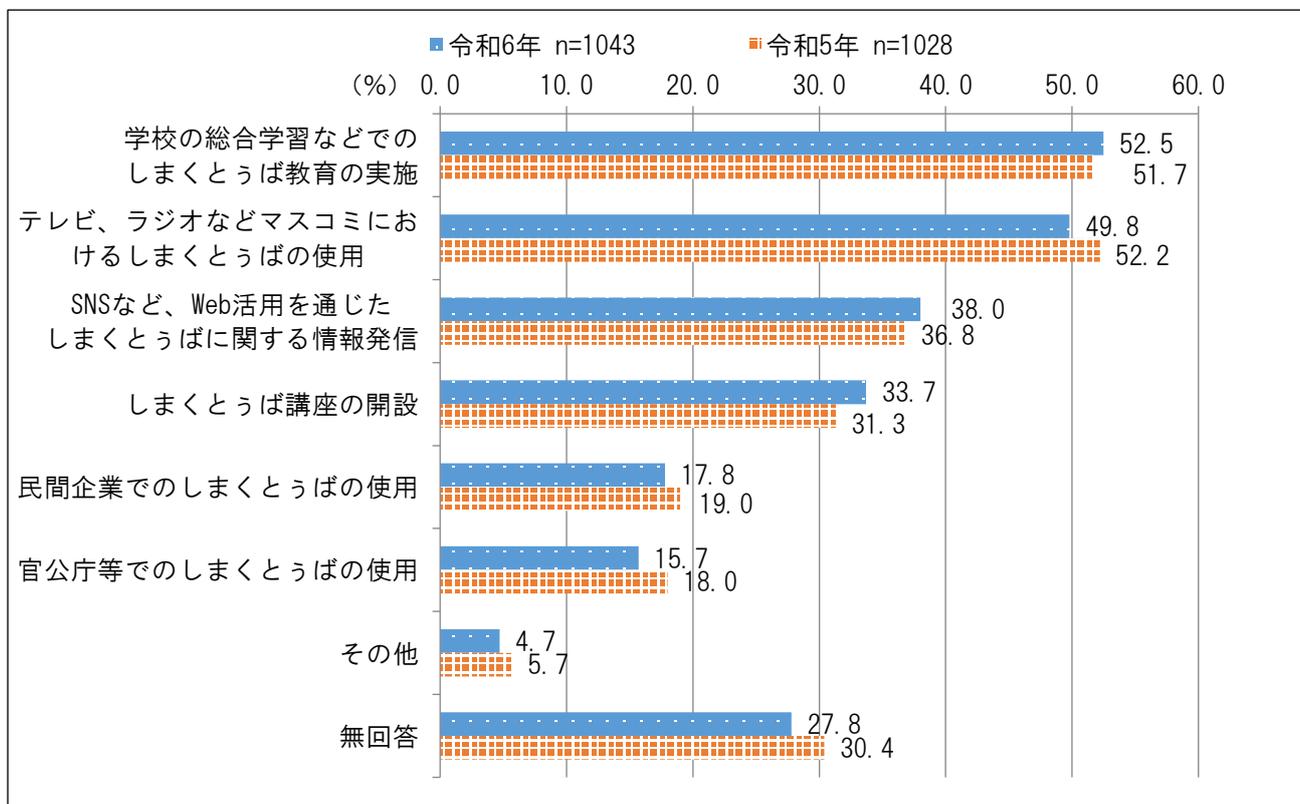
「テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとぅばの使用」 →52.2%

・最も低い

「官公庁等でのしまくとぅばの使用」 → 18.0%

ポイント

- ・学校でのしまくとぅば教育が普及に必要なとされており、5割を超えている。



(14) 自身の出身地の「しまくとぅば」の認知度

【全体】

- ・知っている 64.3%
- ・知らない 33.6%

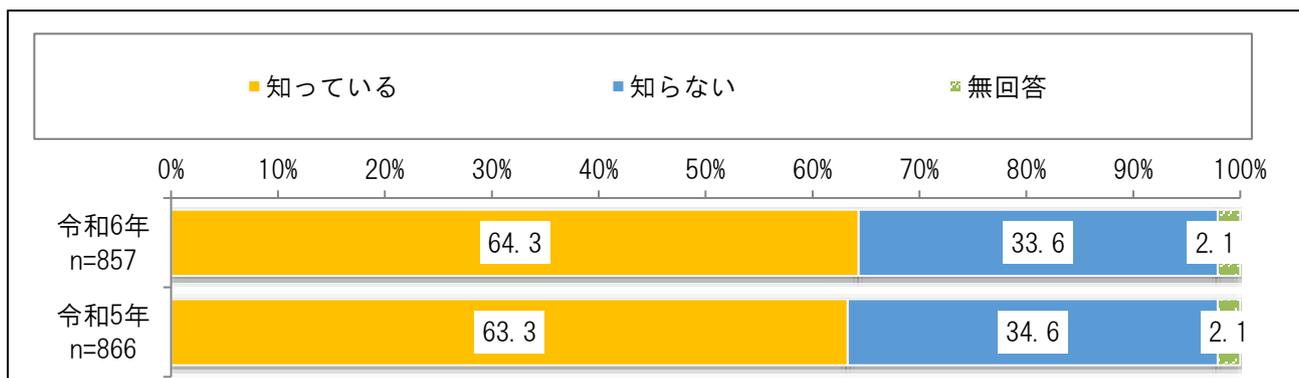
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・知っている 62.8%
- ・知らない 34.6%

○前回調査（令和5年度）

- ・知っている 63.3%
- ・知らない 34.6%



【性別】

○男性

- ・知っている 68.0%
- ・知らない 29.8%

○女性

- ・知っている 61.5%
- ・知らない 36.5%

【年代】

○最も低い→10代

- ・知っている 32.3%
- ・知らない 64.5%

○最も高い→70歳以上

- ・知っている 86.8%
- ・知らない 11.8%

【地域別】

○最も低い→中部

- ・知っている 61.6%
- ・知らない 36.1%

○最も高い→宮古

- ・知っている 95.5%
- ・知らない なし (-)

ポイント

・多くの県民が自身の出身地の「しまくとぅば」を知っているものの、10代においては3分の2が自分の出身地のしまくとぅばを知らないと回答している。

(%)

		知っている	知らない	無回答
性別	男性 n=362	68.0	29.8	2.2
	女性 n=491	61.5	36.5	2.0
	その他 n=2	50.0	50.0	-
年齢	10代 n=31	32.3	64.5	3.2
	20代 n=78	50.0	48.7	1.3
	30代 n=131	51.1	47.3	1.5
	40代 n=148	53.4	43.9	2.7
	50代 n=154	58.4	38.3	3.2
	60代 n=168	82.1	16.1	1.8
	70歳以上 n=144	86.8	11.8	1.4
地域別	北部 n=115	65.2	33.9	0.9
	中部 n=255	61.6	36.1	2.4
	南部 n=373	61.9	36.2	1.9
	宮古 n=22	95.5	-	4.5
	八重山 n=42	73.8	21.4	4.8
	その他の離島 n=47	74.5	23.4	2.1

(15) 自身の出身地の「しまくとぅば」の継承を望むかについて

【全体】

- ・ そう思う 60.6%
- ・ ややそう思う 24.6%
- ・ 合計 85.2%

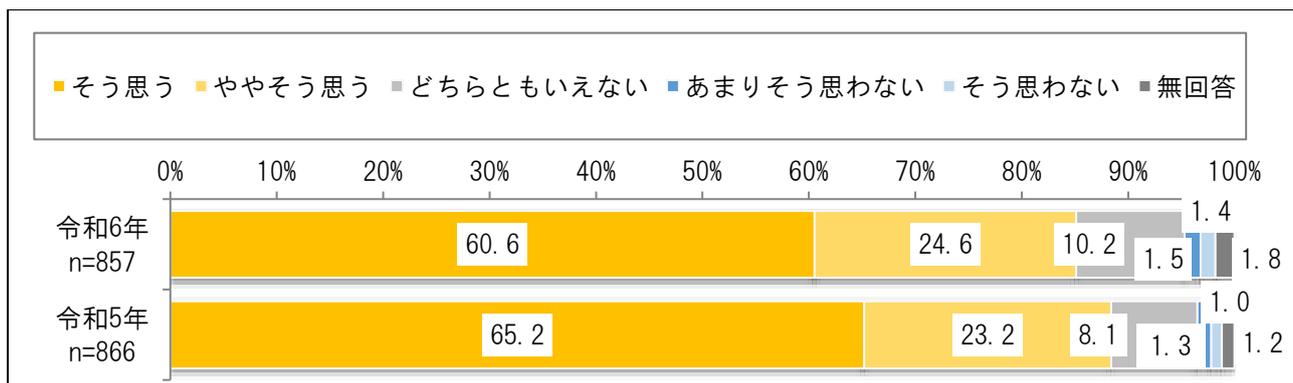
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和4年度）

- ・ そう思う 61.9%
- ・ ややそう思う 23.8%
- ・ 合計 85.7%

○前回調査（令和5年度）

- ・ そう思う 65.2%
- ・ ややそう思う 23.2%
- ・ 合計 88.4%



【性別】

○男性

- ・ そう思う 61.6%
- ・ ややそう思う 22.9%
- ・ 合計 84.5%

○女性

- ・ そう思う 59.7%
- ・ ややそう思う 25.9%
- ・ 合計 85.6%

【年代別】

○最も高い→50代

- ・ そう思う 61.7%
- ・ ややそう思う 26.0%
- ・ 合計 87.7%

○最も低い→20代

- ・ そう思う 51.3%
- ・ ややそう思う 30.8%
- ・ 合計 82.1%

【地域別】

○最も高い→八重山

- ・ そう思う 71.4%
- ・ ややそう思う 16.7%
- ・ 合計 88.1%

○最も低い→その他の離島

- ・ そう思う 48.9%
- ・ ややそう思う 31.9%
- ・ 合計 80.8%

ポイント

・ すべての年代・性別で半数以上が「将来に渡って継承してほしい」と思っている。地域別では特に八重山でその願望が強い。

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性 n=362	61.6	22.9	10.2	1.9	1.9	1.4
	女性 n=491	59.7	25.9	10.2	1.2	1.0	2.0
	その他 n=2	100.0	-	-	-	-	-
年齢	10代 n=31	54.8	32.3	9.7	-	-	3.2
	20代 n=78	51.3	30.8	14.1	2.6	1.3	-
	30代 n=131	56.5	26.7	9.2	3.8	2.3	1.5
	40代 n=148	58.8	27.0	9.5	-	3.4	1.4
	50代 n=154	61.7	26.0	7.8	1.3	0.6	2.6
	60代 n=168	64.3	21.4	11.9	-	0.6	1.8
	70歳以上 n=144	66.0	18.1	10.4	2.8	0.7	2.1
地域別	北部 n=115	60.0	27.0	8.7	2.6	0.9	0.9
	中部 n=255	57.6	27.5	10.6	2.0	0.4	2.0
	南部 n=373	62.5	22.3	11.3	1.3	1.6	1.1
	宮古 n=22	68.2	18.2	9.1	-	-	4.5
	八重山 n=42	71.4	16.7	2.4	-	4.8	4.8
	その他の離島 n=47	48.9	31.9	10.6	-	4.3	4.3

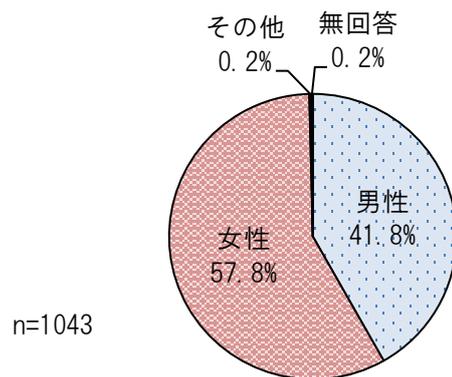
調査結果

1. 回答者の基本属性

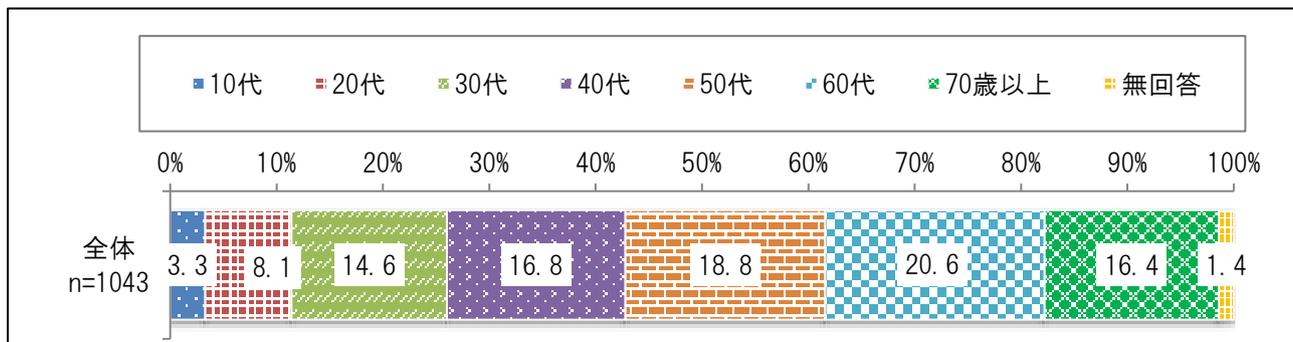
性別は、「男性」が41.8%、「女性」が57.8%である。

年齢について、「60代」が20.6%と高く、次いで「50代」が18.8%と続く。

図表1. 性別

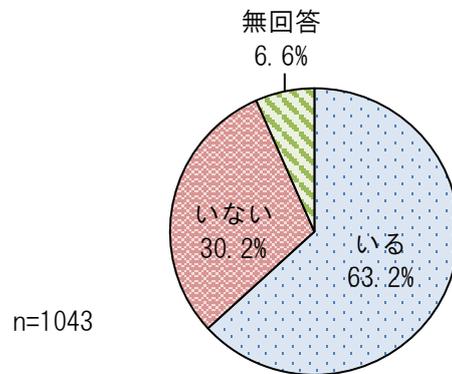


図表2. 年齢

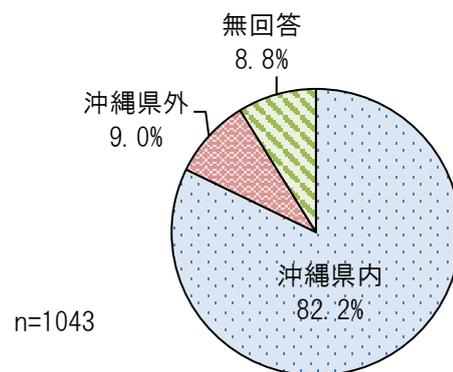


子供の有無は「いる」が63.2%で高い。
 出身地は、「沖縄県内」が82.2%で高い。

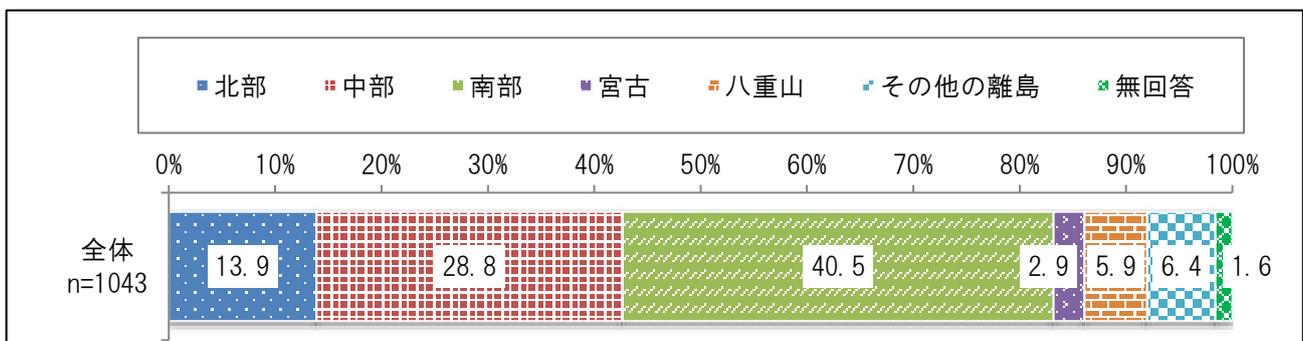
図表3. 子供の有無



図表4. 出身地



図表5. 地域別



2. 調査結果の詳細

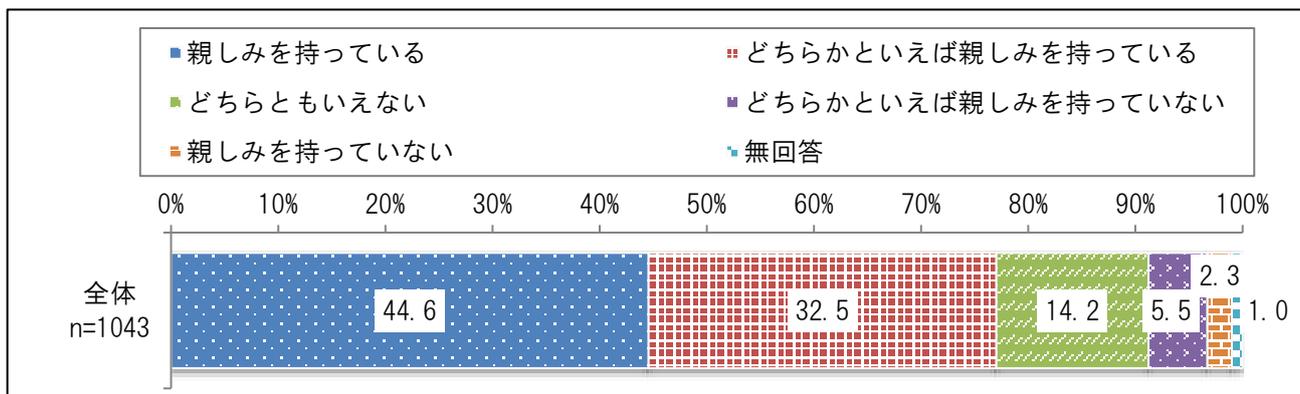
(1) 問1.「しまくとぅば」に親しみを持っていますか。

「しまくとぅば」に対する親しみは「親しみを持っている」が44.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば親しみを持っている」が32.5%、「どちらともいえない」が14.2%である。

「親しみを持っている」と「どちらかといえば親しみを持っている」を合わせた回答は、77.1%である。

性別では、「親しみを持っている」は男性が48.4%で女性の42.0%より6.4ポイント高い。

図表6. 「しまくとぅば」に対する親しみ



		(%)					
		親しみを持っ ている	どちらかといえ ば親しみを持っ ている	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば親しみを持っ ていない	親しみを持っ ていない	無回答
性別	男性 n=436	48.4	29.6	13.3	5.3	2.5	0.9
	女性 n=603	42.0	34.3	14.9	5.6	2.2	1.0
	その他 n=2	50.0	50.0	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	20.6	38.2	20.6	14.7	5.9	-
	20代 n=85	32.9	36.5	17.6	11.8	1.2	-
	30代 n=152	30.3	39.5	15.1	10.5	3.9	0.7
	40代 n=175	38.9	32.6	20.0	6.3	2.3	-
	50代 n=196	49.5	31.1	13.8	2.0	3.6	-
	60代 n=215	51.2	32.1	10.2	4.2	1.4	0.9
	70歳以上 n=171	59.1	27.5	10.5	1.2	0.6	1.2
地域別	北部 n=145	53.1	29.7	11.0	3.4	2.1	0.7
	中部 n=300	40.0	32.7	16.3	8.0	2.7	0.3
	南部 n=422	46.0	32.0	13.7	5.5	2.4	0.5
	宮古 n=30	53.3	33.3	13.3	-	-	-
	八重山 n=62	38.7	40.3	12.9	4.8	3.2	-
	その他の離島 n=67	37.3	38.8	17.9	3.0	1.5	1.5

2. 調査結果の詳細

(%)

		非常にやわらかい	やややわらかい	どちらでもない	やや硬い	非常に硬い	無回答
性別	男性 n=436	21.8	35.8	26.6	4.6	9.4	1.8
	女性 n=603	18.6	37.1	26.0	5.3	9.1	3.8
	その他 n=2	50.0	50.0	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	17.6	35.3	35.3	2.9	8.8	-
	20代 n=85	20.0	36.5	25.9	5.9	10.6	1.2
	30代 n=152	17.1	34.2	22.4	10.5	15.8	-
	40代 n=175	16.0	37.1	22.3	4.0	17.7	2.9
	50代 n=196	20.9	40.8	27.0	4.1	6.1	1.0
	60代 n=215	19.1	38.6	30.7	4.2	5.1	2.3
	70歳以上 n=171	27.5	32.7	25.1	3.5	2.3	8.8
地域別	北部 n=145	14.5	38.6	31.7	5.5	6.2	3.4
	中部 n=300	19.7	34.3	26.7	4.7	12.0	2.7
	南部 n=422	21.1	37.4	23.7	6.2	8.5	3.1
	宮古 n=30	30.0	30.0	23.3	6.7	6.7	3.3
	八重山 n=62	19.4	40.3	27.4	3.2	8.1	1.6
	その他の離島 n=67	20.9	43.3	28.4	-	7.5	-

(%)

		非常に明るい	やや明るい	どちらでもない	やや暗い	非常に暗い	無回答
性別	男性 n=436	25.0	37.4	29.6	3.4	0.7	3.9
	女性 n=603	25.4	41.3	24.4	3.3	0.7	5.0
	その他 n=2	50.0	50.0	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	29.4	44.1	17.6	5.9	-	2.9
	20代 n=85	35.3	43.5	17.6	-	-	2.4
	30代 n=152	26.3	39.5	25.7	4.6	2.0	2.0
	40代 n=175	24.6	42.3	26.9	2.9	0.6	2.9
	50代 n=196	21.9	41.8	30.6	3.1	-	2.6
	60代 n=215	23.7	36.7	31.2	4.7	-	3.7
	70歳以上 n=171	25.7	36.3	22.8	2.3	1.8	11.1
地域別	北部 n=145	25.5	41.4	24.1	2.8	-	6.2
	中部 n=300	23.0	41.3	28.3	4.0	0.3	3.0
	南部 n=422	26.8	38.2	26.3	3.1	1.2	4.5
	宮古 n=30	20.0	43.3	26.7	3.3	-	6.7
	八重山 n=62	22.6	41.9	29.0	3.2	1.6	1.6
	その他の離島 n=67	26.9	40.3	22.4	4.5	-	6.0

(%)

		非常に丁寧	やや丁寧	どちらでもない	やや乱暴	非常に乱暴	無回答
性別	男性 n=436	8.9	17.0	47.9	18.8	2.8	4.6
	女性 n=603	9.3	19.1	42.0	22.7	1.8	5.1
	その他 n=2	-	50.0	-	50.0	-	-
年齢	10代 n=34	-	11.8	35.3	47.1	2.9	2.9
	20代 n=85	5.9	10.6	43.5	35.3	4.7	-
	30代 n=152	3.9	10.5	47.4	33.6	4.6	-
	40代 n=175	5.1	14.3	45.7	31.4	2.3	1.1
	50代 n=196	6.6	20.9	50.5	18.9	1.0	2.0
	60代 n=215	13.0	22.8	46.5	11.2	1.4	5.1
	70歳以上 n=171	20.5	25.7	32.7	2.3	1.2	17.5
地域別	北部 n=145	7.6	17.2	46.9	20.0	0.7	7.6
	中部 n=300	6.7	15.0	48.3	23.7	3.0	3.3
	南部 n=422	10.0	21.6	42.4	19.4	2.8	3.8
	宮古 n=30	16.7	16.7	30.0	16.7	3.3	16.7
	八重山 n=62	8.1	17.7	45.2	25.8	-	3.2
	その他の離島 n=67	16.4	17.9	41.8	17.9	-	6.0

2. 調査結果の詳細

(%)

		非常に誇らしい	やや誇らしい	どちらでもない	やや恥ずかしい	非常に恥ずかしい	無回答
性別	男性 n=436	37.2	27.3	26.1	4.8	0.9	3.7
	女性 n=603	33.5	29.2	28.2	3.3	0.8	5.0
	その他 n=2	50.0	50.0	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	52.9	26.5	17.6	-	2.9	-
	20代 n=85	32.9	35.3	25.9	5.9	-	-
	30代 n=152	34.9	34.2	24.3	3.3	2.6	0.7
	40代 n=175	34.3	25.7	32.0	6.9	-	1.1
	50代 n=196	33.7	33.2	26.5	3.1	1.0	2.6
	60代 n=215	33.5	25.6	32.6	2.8	0.9	4.7
	70歳以上 n=171	38.6	21.1	22.2	3.5	-	14.6
地域別	北部 n=145	37.2	26.2	26.9	2.1	2.1	5.5
	中部 n=300	29.7	31.7	30.3	4.0	1.0	3.3
	南部 n=422	38.2	25.8	26.3	5.2	0.7	3.8
	宮古 n=30	26.7	26.7	30.0	-	-	16.7
	八重山 n=62	41.9	33.9	21.0	1.6	-	1.6
	その他の離島 n=67	34.3	32.8	25.4	3.0	-	4.5

(%)

		非常に豪快	やや豪快	どちらでもない	やや繊細	非常に繊細	無回答
性別	男性 n=436	12.8	27.5	44.3	7.8	3.4	4.1
	女性 n=603	13.8	32.0	39.5	6.6	2.0	6.1
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	47.1	26.5	17.6	2.9	5.9	-
	20代 n=85	21.2	44.7	25.9	4.7	3.5	-
	30代 n=152	15.1	36.8	38.2	7.2	2.0	0.7
	40代 n=175	16.0	35.4	34.9	9.7	1.7	2.3
	50代 n=196	6.1	35.7	46.4	7.1	1.5	3.1
	60代 n=215	9.8	19.5	57.2	6.5	1.4	5.6
	70歳以上 n=171	11.7	21.1	37.4	7.6	5.3	17.0
地域別	北部 n=145	13.8	29.7	38.6	6.2	5.5	6.2
	中部 n=300	13.3	30.0	40.7	9.3	2.3	4.3
	南部 n=422	12.3	31.0	43.8	6.2	2.4	4.3
	宮古 n=30	16.7	16.7	40.0	10.0	-	16.7
	八重山 n=62	12.9	32.3	45.2	4.8	1.6	3.2
	その他の離島 n=67	19.4	35.8	28.4	7.5	1.5	7.5

(%)

		非常にさわやか	ややさわやか	どちらでもない	ややうっとうしい	非常にうっとうしい	無回答
性別	男性 n=436	10.3	21.1	52.3	10.6	1.4	4.4
	女性 n=603	10.1	22.1	53.1	9.0	0.5	5.3
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	5.9	17.6	52.9	23.5	-	-
	20代 n=85	4.7	20.0	62.4	12.9	-	-
	30代 n=152	7.2	15.8	59.9	16.4	0.7	-
	40代 n=175	5.1	20.0	62.9	9.1	1.1	1.7
	50代 n=196	8.2	21.4	55.1	11.7	1.0	2.6
	60代 n=215	13.5	25.1	49.8	4.7	1.9	5.1
	70歳以上 n=171	19.9	27.5	31.6	4.1	-	17.0
地域別	北部 n=145	6.9	26.9	51.0	8.3	1.4	5.5
	中部 n=300	8.3	21.3	56.0	9.7	0.7	4.0
	南部 n=422	10.4	22.3	51.7	10.4	0.9	4.3
	宮古 n=30	20.0	10.0	43.3	10.0	-	16.7
	八重山 n=62	9.7	25.8	53.2	9.7	-	1.6
	その他の離島 n=67	17.9	14.9	50.7	9.0	1.5	6.0

2. 調査結果の詳細

(%)

		非常にかっこいい	ややかっこいい	どちらでもない	ややかっこ悪い	非常にかっこ悪い	無回答
性別	男性 n=436	16.7	22.9	47.5	7.8	1.4	3.7
	女性 n=603	17.7	22.2	47.6	5.6	1.3	5.5
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	26.5	32.4	29.4	8.8	2.9	-
	20代 n=85	21.2	23.5	45.9	8.2	1.2	-
	30代 n=152	17.1	28.3	44.1	8.6	2.0	-
	40代 n=175	16.0	21.7	49.1	9.7	2.3	1.1
	50代 n=196	14.8	27.0	50.0	5.6	-	2.6
	60代 n=215	17.7	15.8	54.4	5.1	2.3	4.7
	70歳以上 n=171	18.7	20.5	40.9	2.9	-	17.0
地域別	北部 n=145	13.8	29.7	42.1	7.6	1.4	5.5
	中部 n=300	14.3	23.7	49.0	7.7	2.0	3.3
	南部 n=422	19.9	19.7	49.1	6.6	0.9	3.8
	宮古 n=30	20.0	20.0	40.0	3.3	-	16.7
	八重山 n=62	16.1	32.3	45.2	1.6	-	4.8
	その他の離島 n=67	25.4	16.4	44.8	4.5	3.0	6.0

(%)

		非常に面白い	やや面白い	どちらでもない	やや面白くない	非常に面白くない	無回答
性別	男性 n=436	31.7	32.8	25.9	5.3	0.7	3.7
	女性 n=603	34.5	34.2	22.7	2.7	0.8	5.1
	その他 n=2	50.0	50.0	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	52.9	35.3	5.9	5.9	-	-
	20代 n=85	40.0	35.3	21.2	2.4	-	1.2
	30代 n=152	36.2	31.6	25.0	5.3	1.3	0.7
	40代 n=175	34.3	40.0	20.0	3.4	1.7	0.6
	50代 n=196	31.6	36.7	25.5	4.1	-	2.0
	60代 n=215	29.3	32.1	28.8	4.7	0.9	4.2
	70歳以上 n=171	31.0	25.1	25.1	1.8	0.6	16.4
地域別	北部 n=145	33.8	33.1	23.4	2.8	1.4	5.5
	中部 n=300	35.3	30.7	24.7	5.0	1.3	3.0
	南部 n=422	32.9	34.8	24.2	3.8	0.5	3.8
	宮古 n=30	23.3	40.0	20.0	-	-	16.7
	八重山 n=62	40.3	25.8	27.4	4.8	-	1.6
	その他の離島 n=67	29.9	40.3	20.9	1.5	-	7.5

(%)

		非常に身近に感じる	やや身近に感じる	どちらでもない	やや身近に感じない	非常に身近に感じない	無回答
性別	男性 n=436	31.9	30.7	20.0	8.7	5.5	3.2
	女性 n=603	24.4	37.5	18.2	10.3	5.8	3.8
	その他 n=2	50.0	-	50.0	-	-	-
年齢	10代 n=34	29.4	35.3	20.6	11.8	2.9	-
	20代 n=85	23.5	40.0	14.1	15.3	7.1	-
	30代 n=152	21.7	40.1	18.4	11.8	7.2	0.7
	40代 n=175	20.6	40.0	19.4	12.0	6.9	1.1
	50代 n=196	25.5	36.7	17.9	10.7	7.7	1.5
	60代 n=215	29.8	33.0	20.9	7.4	4.7	4.2
	70歳以上 n=171	40.4	22.8	19.9	3.5	2.3	11.1
地域別	北部 n=145	30.3	36.6	17.2	9.0	3.4	3.4
	中部 n=300	21.0	39.3	18.0	11.0	8.0	2.7
	南部 n=422	29.9	30.6	20.4	11.6	5.2	2.4
	宮古 n=30	23.3	36.7	16.7	-	6.7	16.7
	八重山 n=62	30.6	33.9	22.6	6.5	3.2	3.2
	その他の離島 n=67	32.8	38.8	16.4	-	6.0	6.0

2. 調査結果の詳細

(%)

		非常に感情的	やや感情的	どちらでもない	やや理論的	非常に理論的	無回答
性別	男性 n=436	19.0	33.5	40.8	2.3	0.5	3.9
	女性 n=603	19.6	36.3	33.7	3.6	0.7	6.1
	その他 n=2	-	50.0	-	50.0	-	-
年齢	10代 n=34	41.2	20.6	29.4	8.8	-	-
	20代 n=85	30.6	36.5	30.6	-	1.2	1.2
	30代 n=152	21.7	40.1	34.2	2.6	0.7	0.7
	40代 n=175	24.0	36.0	34.9	3.4	0.6	1.1
	50代 n=196	15.3	43.9	35.2	3.1	-	2.6
	60代 n=215	14.9	33.5	42.3	3.7	0.9	4.7
	70歳以上 n=171	12.3	26.3	38.6	3.5	0.6	18.7
地域別	北部 n=145	13.8	42.1	31.0	4.8	0.7	7.6
	中部 n=300	19.0	35.0	39.0	3.0	0.3	3.7
	南部 n=422	20.1	34.4	37.7	2.8	0.7	4.3
	宮古 n=30	10.0	33.3	40.0	-	-	16.7
	八重山 n=62	24.2	37.1	32.3	1.6	1.6	3.2
	その他の離島 n=67	28.4	26.9	34.3	4.5	-	6.0

(%)

		非常に田舎っぽい	やや田舎っぽい	どちらでもない	やや都会的	非常に都会的	無回答
性別	男性 n=436	19.7	27.3	44.3	3.2	1.4	4.1
	女性 n=603	19.7	30.8	39.5	2.7	1.2	6.1
	その他 n=2	-	50.0	-	50.0	-	-
年齢	10代 n=34	41.2	29.4	26.5	2.9	-	-
	20代 n=85	28.2	41.2	28.2	-	1.2	1.2
	30代 n=152	30.9	34.2	29.6	3.3	0.7	1.3
	40代 n=175	23.4	33.1	38.3	2.9	1.1	1.1
	50代 n=196	14.8	36.7	40.8	3.1	0.5	4.1
	60代 n=215	8.8	23.7	56.7	2.8	2.8	5.1
	70歳以上 n=171	15.8	16.4	47.4	2.9	1.2	16.4
地域別	北部 n=145	14.5	30.3	46.9	2.8	0.7	4.8
	中部 n=300	19.7	32.0	38.3	4.0	1.7	4.3
	南部 n=422	18.5	29.4	43.6	2.6	1.4	4.5
	宮古 n=30	33.3	20.0	30.0	-	-	16.7
	八重山 n=62	30.6	24.2	37.1	3.2	-	4.8
	その他の離島 n=67	22.4	28.4	37.3	3.0	1.5	7.5

(%)

		非常に明瞭	やや明瞭	どちらでもない	やや不明瞭	非常に不明瞭	無回答
性別	男性 n=436	8.0	17.4	47.9	16.5	6.0	4.1
	女性 n=603	8.3	17.2	42.6	19.4	5.8	6.6
	その他 n=2	-	-	50.0	50.0	-	-
年齢	10代 n=34	8.8	20.6	29.4	20.6	17.6	2.9
	20代 n=85	2.4	27.1	40.0	21.2	8.2	1.2
	30代 n=152	4.6	17.1	47.4	21.7	7.9	1.3
	40代 n=175	5.7	9.7	50.9	24.6	8.0	1.1
	50代 n=196	4.6	19.9	45.4	21.9	5.1	3.1
	60代 n=215	11.6	17.7	48.8	13.0	3.7	5.1
	70歳以上 n=171	16.4	18.1	35.1	9.4	2.3	18.7
地域別	北部 n=145	6.9	17.2	46.2	16.6	6.2	6.9
	中部 n=300	7.7	16.3	48.3	17.7	5.7	4.3
	南部 n=422	7.8	19.7	41.9	19.4	6.4	4.7
	宮古 n=30	13.3	16.7	40.0	10.0	3.3	16.7
	八重山 n=62	8.1	12.9	43.5	24.2	8.1	3.2
	その他の離島 n=67	11.9	14.9	47.8	14.9	3.0	7.5

2. 調査結果の詳細

(3) 問3.「しまくとぅば」は、あなたのアイデンティティにとってどれくらい重要ですか。

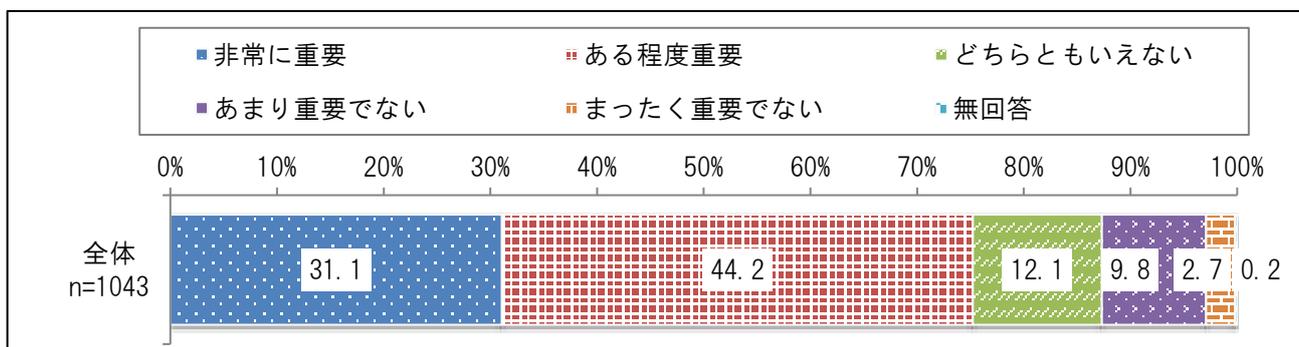
「しまくとぅば」がアイデンティティにとってどれくらい重要かは「ある程度重要」が44.2%で最も高く、次いで「非常に重要」が31.1%、「どちらともいえない」が12.1%である。

「重要」（「非常に重要」+「ある程度重要」を合わせる）が75.3%と、しまくとぅばがアイデンティティに大きく影響を及ぼしている。

年代別では、10代で「非常に重要」が38.2%で最も高く、次いで70歳以上が38.0%である。

地域別では、宮古で「非常に重要」が36.7%で最も高く、次いで北部が35.9%である。

図表8. 「しまくとぅば」のアイデンティティに対する重要度



(%)

		非常に重要	ある程度重要	どちらともいえない	あまり重要でない	まったく重要でない	無回答
性別	男性 n=436	33.0	41.1	11.7	11.7	2.3	0.2
	女性 n=603	29.7	46.4	12.3	8.5	3.0	0.2
	その他 n=2	50.0	-	50.0	-	-	-
年齢	10代 n=34	38.2	50.0	-	8.8	2.9	-
	20代 n=85	30.6	42.4	15.3	9.4	2.4	-
	30代 n=152	25.0	48.0	13.2	11.8	2.0	-
	40代 n=175	29.7	39.4	12.6	13.1	5.1	-
	50代 n=196	30.1	46.9	9.2	9.7	4.1	-
	60代 n=215	29.8	45.6	14.0	9.8	0.9	-
	70歳以上 n=171	38.0	41.5	12.9	5.3	1.8	0.6
地域別	北部 n=145	35.9	45.5	9.0	6.9	2.8	-
	中部 n=300	28.7	45.7	13.7	10.0	2.0	-
	南部 n=422	30.3	42.2	12.3	11.4	3.6	0.2
	宮古 n=30	36.7	36.7	13.3	13.3	-	-
	八重山 n=62	30.6	46.8	12.9	8.1	1.6	-
	その他の離島 n=67	29.9	50.7	10.4	6.0	3.0	-

(4) 問 4.「しまくとぅば」を聞いて、どの程度わかりますか。

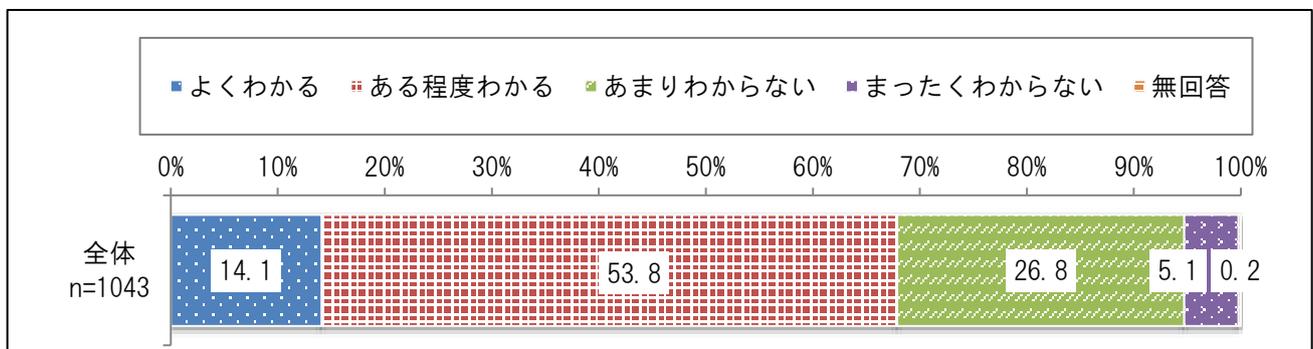
「しまくとぅば」に対する理解度は「ある程度わかる」が53.8%で最も高く、次いで「あまりわからない」が26.8%、「よくわかる」が14.1%である。

「わかる」（「よくわかる」＋「ある程度わかる」を合わせる）が67.9%と半数以上がしまくとぅばについて理解している。

年代別では、10代で「あまりわからない」が55.9%で最も高く、年代が上がるにつれ低くなっていく。

地域別では、宮古で「よくわかる」が36.7%と最も高い。

図表9. 「しまくとぅば」に対する理解度



(%)

		よくわかる	ある程度わかる	あまりわからない	まったくわからない	無回答
性別	男性 n=436	15.4	56.0	24.8	3.9	-
	女性 n=603	13.3	52.1	28.4	6.0	0.3
	その他 n=2	-	50.0	50.0	-	-
年齢	10代 n=34	-	23.5	55.9	20.6	-
	20代 n=85	3.5	37.6	49.4	9.4	-
	30代 n=152	4.6	49.3	38.2	7.9	-
	40代 n=175	4.0	54.3	37.1	4.6	-
	50代 n=196	6.1	58.2	29.1	6.6	-
	60代 n=215	20.5	65.1	12.1	2.3	-
	70歳以上 n=171	40.4	52.0	6.4	-	1.2
地域別	北部 n=145	9.0	66.2	21.4	3.4	-
	中部 n=300	11.7	54.3	29.0	5.0	-
	南部 n=422	14.9	51.2	28.2	5.5	0.2
	宮古 n=30	36.7	40.0	20.0	3.3	-
	八重山 n=62	12.9	50.0	27.4	9.7	-
	その他の離島 n=67	17.9	50.7	25.4	4.5	1.5

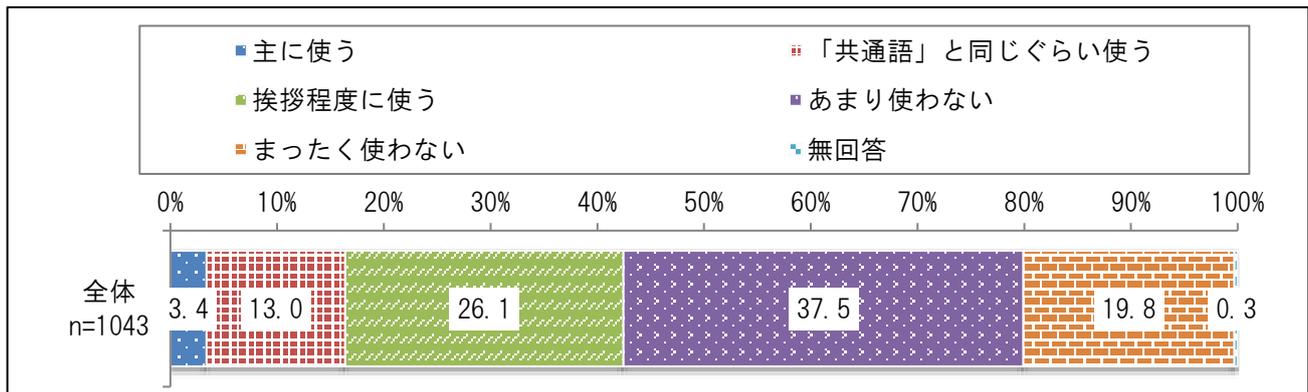
2. 調査結果の詳細

(5) 問 5.人と話すとき「しまくとぅば」を使いますか。

人と話すとき「しまくとぅば」を使うかは「あまり使わない」が37.5%で最も高く、次いで「挨拶程度に使う」が26.1%、「まったく使わない」が19.8%である。

性別では、男性がしまくとぅばを使う割合が（「主に使う」+「共通語と同じくらい使う」を合わせる）20.0%と女性の13.8%より6.2ポイント高い。

図表10. 人と話すとき「しまくとぅば」を使うか



(%)

		主に使う	「共通語」と同じくらい使う	挨拶程度に使う	あまり使わない	まったく使わない	無回答
性別	男性 n=436	3.9	16.1	26.1	37.2	16.5	0.2
	女性 n=603	3.0	10.8	26.0	37.8	22.1	0.3
	その他 n=2	-	-	-	50.0	50.0	-
年齢	10代 n=34	-	2.9	20.6	32.4	44.1	-
	20代 n=85	-	8.2	28.2	42.4	21.2	-
	30代 n=152	-	9.9	25.0	37.5	27.6	-
	40代 n=175	1.1	7.4	29.1	38.3	24.0	-
	50代 n=196	1.0	8.2	30.6	39.3	20.9	-
	60代 n=215	3.7	17.7	23.7	40.9	13.0	0.9
	70歳以上 n=171	11.1	25.1	21.6	30.4	11.1	0.6
地域別	北部 n=145	3.4	15.9	32.4	31.0	17.2	-
	中部 n=300	2.0	12.0	23.7	41.7	20.0	0.7
	南部 n=422	2.6	12.6	25.4	37.2	22.0	0.2
	宮古 n=30	20.0	23.3	16.7	26.7	13.3	-
	八重山 n=62	-	8.1	29.0	46.8	16.1	-
	その他の離島 n=67	4.5	16.4	28.4	35.8	14.9	-

(6) 問 6.「しまくとぅば」を使う相手は誰ですか。

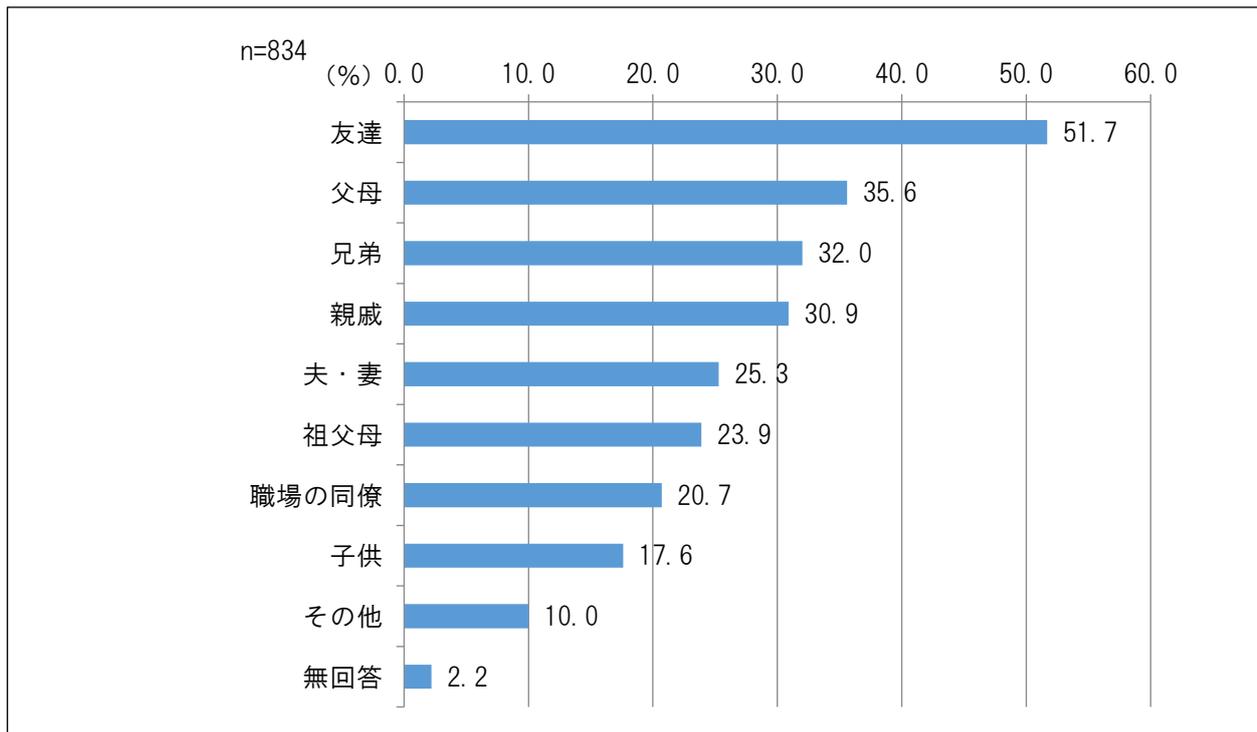
(問5でしまくとぅばを使うと回答した人) (〇はいくつでも)

「しまくとぅば」を使う相手は「友達」が51.7%で最も高く、次いで「父母」が35.6%、「兄弟」が32.0%である。

性別では、男性の61.7%が「友達」で、女性の43.8%より17.9ポイント高い。

年代別では、20代が「祖父母」に対して67.2%と最も高く、次いで10代が57.9%である。

図表11. 「しまくとぅば」を使う相手



(%)

		祖父母	父母	夫・妻	兄弟	子供	友達	親戚	職場の同僚	その他	無回答
性別	男性 n=363	24.2	35.5	22.3	31.4	13.8	61.7	31.4	27.0	6.6	2.8
	女性 n=468	23.5	35.7	27.4	32.3	20.7	43.8	30.3	15.8	12.4	1.7
	その他 n=1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
年齢	10代 n=19	57.9	26.3	-	15.8	-	47.4	5.3	5.3	21.1	-
	20代 n=67	67.2	52.2	4.5	28.4	6.0	49.3	16.4	17.9	9.0	3.0
	30代 n=110	34.5	50.9	23.6	27.3	20.0	50.0	34.5	29.1	5.5	0.9
	40代 n=133	21.8	45.1	30.8	24.8	29.3	49.6	25.6	27.8	8.3	2.3
	50代 n=155	19.4	41.3	27.1	27.7	20.6	51.0	25.8	28.4	11.0	2.6
	60代 n=185	14.1	27.6	27.0	36.2	15.1	51.4	34.1	15.7	13.5	1.6
	70歳以上 n=151	10.6	12.6	29.1	42.4	12.6	56.3	43.0	9.9	7.9	2.6
地域別	北部 n=120	29.2	31.7	23.3	28.3	17.5	55.0	29.2	23.3	10.0	3.3
	中部 n=238	25.2	34.5	25.6	30.3	21.0	51.7	29.8	19.7	6.7	1.7
	南部 n=328	18.9	36.6	23.8	33.2	14.3	49.4	27.7	18.6	11.9	2.1
	宮古 n=26	23.1	46.2	53.8	46.2	15.4	57.7	53.8	26.9	7.7	-
	八重山 n=52	19.2	28.8	19.2	25.0	21.2	51.9	40.4	21.2	11.5	3.8
	その他の離島 n=57	40.4	38.6	24.6	36.8	19.3	54.4	36.8	29.8	12.3	1.8

2. 調査結果の詳細

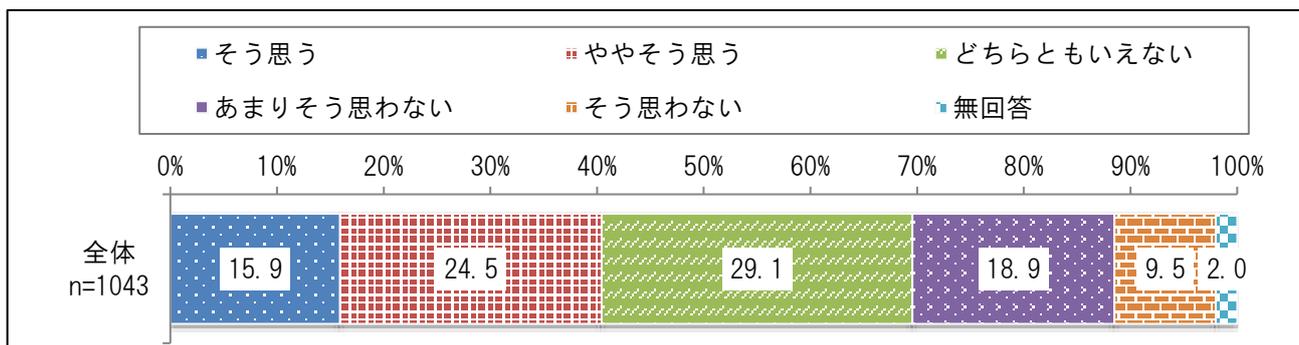
(7) 問 7.ビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思いますか。

ビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思うかは「どちらともいえない」が29.1%で最も高く、次いで「ややそう思う」が24.5%、「あまりそう思わない」が18.9%である。

性別では、男性、女性共にビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使うことに対し、「(「そう思う」+「ややそう思う」を合わせる) 約4割の人が「しまくとぅば」を使っていいと思っている。

年代別では、10代の20.6%が「そう思う」で最も高く、次いで30代で20.4%である。

図表12. ビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思うか



(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性 n=436	17.7	23.6	25.2	20.6	10.6	2.3
	女性 n=603	14.8	25.4	31.8	17.4	8.8	1.8
	その他 n=2	-	-	-	100.0	-	-
年齢	10代 n=34	20.6	14.7	26.5	29.4	8.8	-
	20代 n=85	12.9	31.8	22.4	22.4	8.2	2.4
	30代 n=152	20.4	21.7	23.0	22.4	11.2	1.3
	40代 n=175	13.1	28.6	29.7	16.0	11.4	1.1
	50代 n=196	13.8	26.0	32.1	15.8	10.7	1.5
	60代 n=215	14.0	23.7	37.2	16.7	6.0	2.3
	70歳以上 n=171	18.7	22.2	24.0	21.1	9.9	4.1
地域別	北部 n=145	22.1	22.8	33.8	14.5	4.8	2.1
	中部 n=300	14.3	21.3	34.3	18.7	9.7	1.7
	南部 n=422	14.7	25.8	26.3	19.7	11.4	2.1
	宮古 n=30	16.7	26.7	16.7	26.7	3.3	10.0
	八重山 n=62	19.4	24.2	21.0	22.6	12.9	-
	その他の離島 n=67	11.9	38.8	26.9	13.4	7.5	1.5

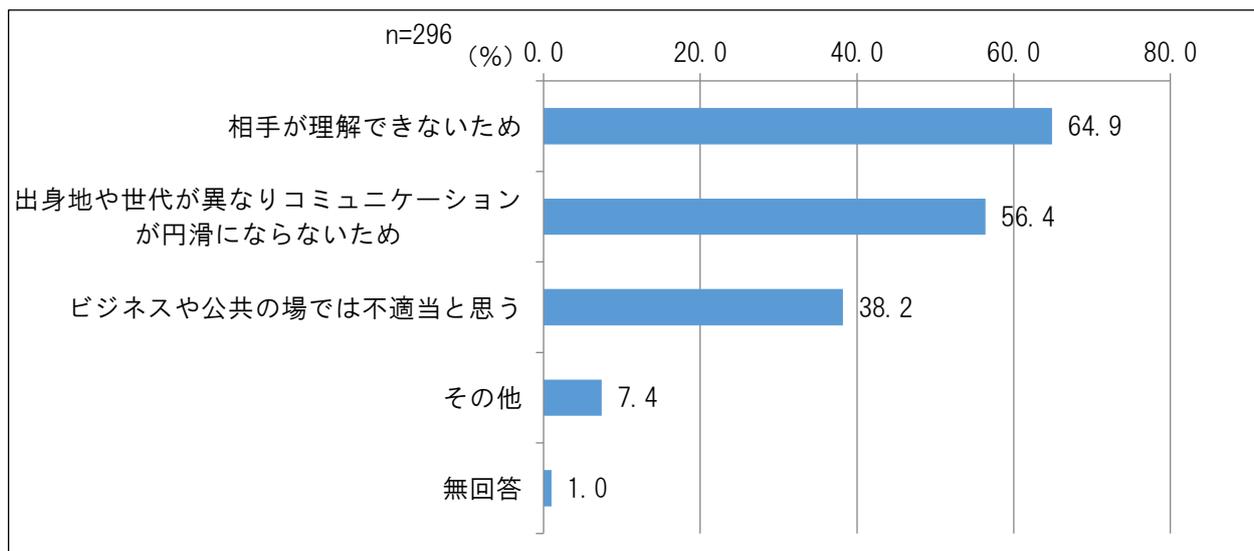
(8) 問 7-1.ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。

(問 7 で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答)

ビジネスや公共の場で使うべきでないと思う理由は「相手が理解できないため」が 64.9%で最も高く、次いで「出身地や世代が異なりコミュニケーションが円滑にならないため」が 56.4%、「ビジネスや公共の場では不適當と思う」が 38.2%である。

年代では、20代で「出身地や世代が異なりコミュニケーションが円滑にならないため」の割合が他の年代より低くなっている。

図表13. ビジネスや公共の場で使うべきでないと思う理由



(%)

		ビジネスや公共の場では不適當と思う	相手が理解できないため	出身地や世代が異なりコミュニケーションが円滑にならないため	その他	無回答
性別	男性 n=136	41.9	66.2	53.7	7.4	-
	女性 n=158	35.4	63.9	58.9	7.0	1.9
	その他 n=2	-	50.0	50.0	50.0	-
年齢	10代 n=13	53.8	84.6	46.2	7.7	-
	20代 n=26	30.8	65.4	65.4	7.7	-
	30代 n=51	41.2	56.9	56.9	11.8	-
	40代 n=48	27.1	62.5	62.5	8.3	-
	50代 n=52	36.5	57.7	53.8	5.8	-
	60代 n=49	40.8	71.4	55.1	6.1	2.0
	70歳以上 n=53	45.3	69.8	52.8	5.7	3.8
地域別	北部 n=28	32.1	67.9	57.1	10.7	3.6
	中部 n=85	47.1	50.6	55.3	10.6	1.2
	南部 n=131	35.9	67.9	58.8	6.9	0.8
	宮古 n=9	22.2	77.8	22.2	-	-
	八重山 n=22	27.3	77.3	68.2	4.5	-
	その他の離島 n=14	42.9	78.6	35.7	-	-

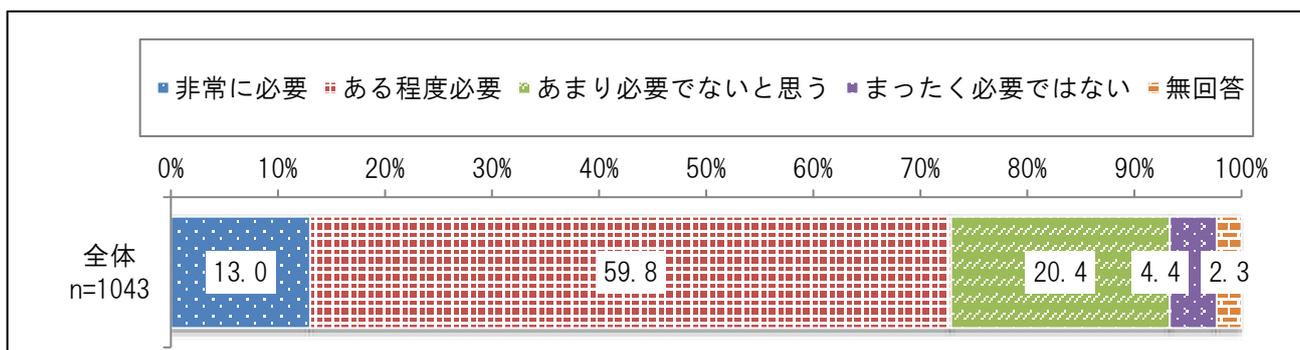
2. 調査結果の詳細

(9) 問 8. 普段の生活の中で「しまくとぅば」は必要だと思いますか。

「しまくとぅば」の必要性は「ある程度必要」が59.8%で最も高く、次いで「あまり必要でないと思う」が20.4%、「非常に必要」が13.0%である。

年代では、必要（「非常に必要」＋「ある程度必要」を合わせる）が20代・30代以外では7割を超える。

図表14. 「しまくとぅば」の必要性



(%)

		非常に必要	ある程度必要	あまり必要でないと思う	まったく必要ではない	無回答
性別	男性 n=436	16.1	56.2	19.7	5.5	2.5
	女性 n=603	10.8	62.5	21.1	3.6	2.0
	その他 n=2	50.0	-	-	-	50.0
年齢	10代 n=34	14.7	55.9	23.5	2.9	2.9
	20代 n=85	11.8	56.5	23.5	8.2	-
	30代 n=152	13.2	55.9	24.3	5.3	1.3
	40代 n=175	13.1	59.4	18.3	7.4	1.7
	50代 n=196	11.7	61.2	21.4	3.1	2.6
	60代 n=215	10.2	65.1	17.7	3.7	3.3
	70歳以上 n=171	15.2	60.2	19.3	1.8	3.5
地域別	北部 n=145	17.9	64.1	16.6	1.4	-
	中部 n=300	9.3	61.3	22.3	4.7	2.3
	南部 n=422	12.3	55.9	22.7	5.7	3.3
	宮古 n=30	20.0	63.3	6.7	3.3	6.7
	八重山 n=62	11.3	58.1	22.6	6.5	1.6
	その他の離島 n=67	14.9	71.6	11.9	1.5	-

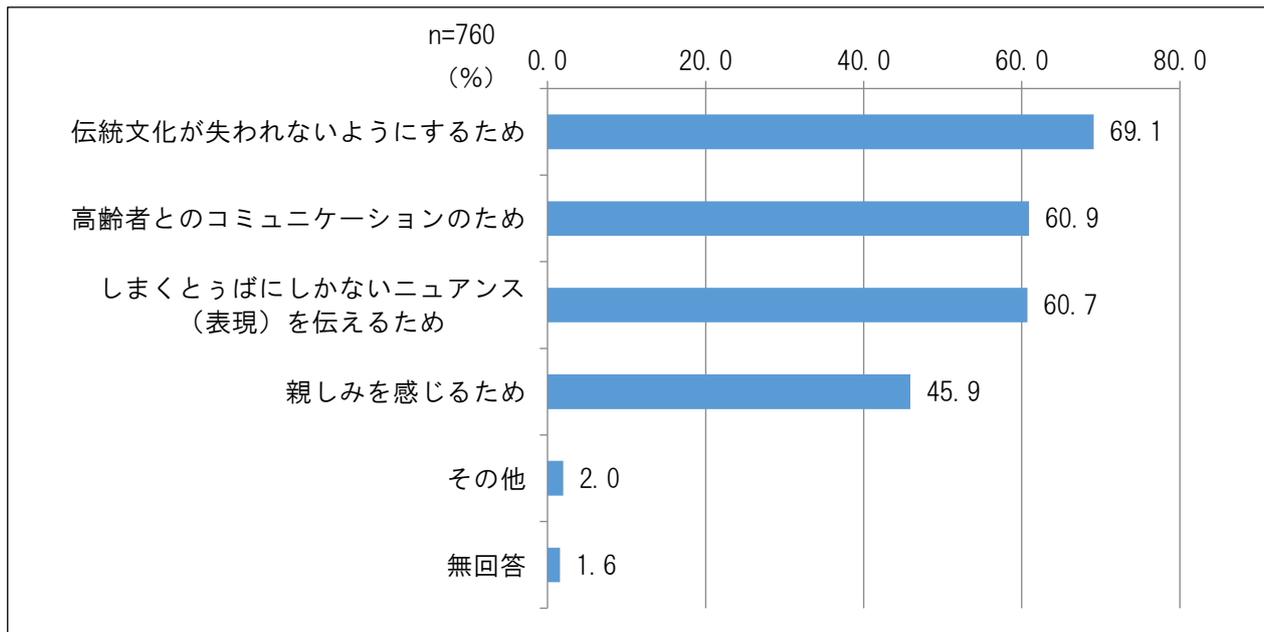
(10) 問 8-1.生活での必要性について、その理由を教えてください。

(問 8 で「非常に必要」「ある程度必要」と回答) (〇はいくつでも)

「しまくとぅば」が必要な理由は「伝統文化が失われないようにするため」が 69.1%で最も高く、次いで「高齢者とのコミュニケーションのため」が 60.9%、「しまくとぅばにしかないニュアンス（表現）を伝えるため」が 60.7%である。

地域別では、八重山が「伝統文化が失われないようにするため」で 81.4%と最も高い。

図表15. 「しまくとぅば」が必要な理由



(%)

		伝統文化が失われないようにするため	高齢者とのコミュニケーションのため	しまくとぅばにしかないニュアンス（表現）を伝えるため	親しみを感じるため	その他	無回答
性別	男性 n=315	69.2	54.0	61.0	47.0	1.6	1.9
	女性 n=442	69.0	65.8	60.2	45.0	2.3	1.4
	その他 n=1	100.0	100.0	100.0	-	-	-
年齢	10代 n=24	62.5	58.3	45.8	29.2	-	4.2
	20代 n=58	72.4	53.4	55.2	46.6	1.7	-
	30代 n=105	77.1	64.8	63.8	41.9	3.8	-
	40代 n=127	74.8	59.8	68.5	48.0	1.6	1.6
	50代 n=143	67.1	62.9	57.3	51.0	-	2.1
	60代 n=162	63.6	61.7	64.2	42.0	1.9	1.9
	70歳以上 n=129	63.6	59.7	56.6	49.6	3.9	2.3
地域別	北部 n=119	63.0	62.2	67.2	39.5	0.8	0.8
	中部 n=212	72.2	62.7	60.8	45.8	1.9	1.9
	南部 n=288	69.4	59.4	59.4	48.6	1.7	2.1
	宮古 n=25	44.0	60.0	56.0	40.0	4.0	4.0
	八重山 n=43	81.4	55.8	58.1	51.2	4.7	-
	その他の離島 n=58	63.8	69.0	63.8	46.6	1.7	-

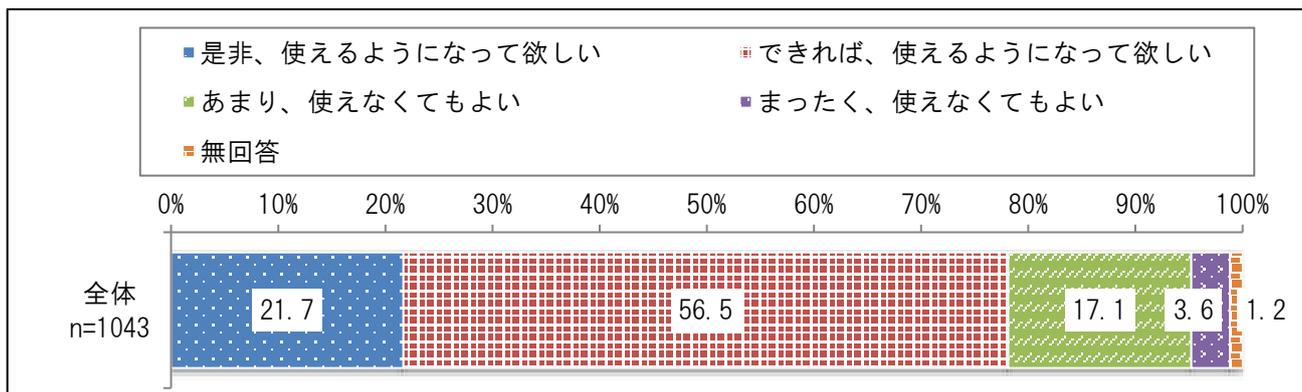
2. 調査結果の詳細

(11) 問 9.子どもたちに「しまくとぅば」を使えるようになって欲しいですか。

子供たちの「しまくとぅば」の使用は「できれば、使えるようになって欲しい」が56.5%で最も高く、次いで「是非、使えるようになって欲しい」が21.7%、「あまり、使えなくてもよい」が17.1%である。

性別では、男性の「是非、使えるようになって欲しい」が23.9%で女性の20.2%より3.7ポイント高い。

図表16. 子供たちの「しまくとぅば」の使用



(%)

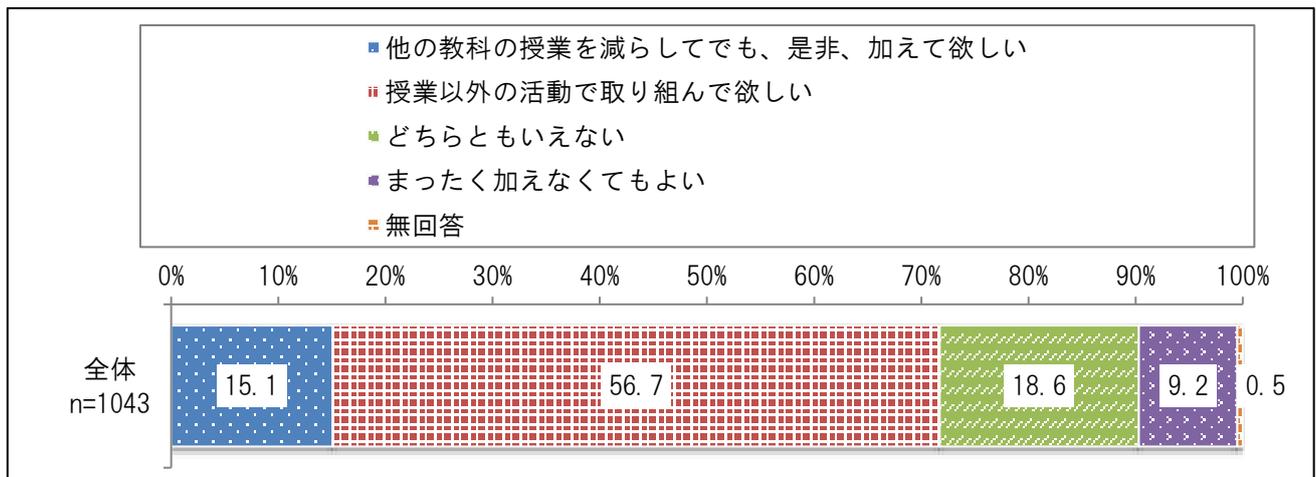
		是非、使えるようになって欲しい	できれば、使えるようになって欲しい	あまり、使えなくてもよい	まったく、使えなくてもよい	無回答
性別	男性 n=436	23.9	53.2	17.4	4.1	1.4
	女性 n=603	20.2	58.5	16.9	3.3	1.0
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-
年齢	10代 n=34	29.4	41.2	20.6	5.9	2.9
	20代 n=85	18.8	49.4	27.1	3.5	1.2
	30代 n=152	23.0	51.3	19.7	5.9	-
	40代 n=175	26.3	53.1	14.9	5.7	-
	50代 n=196	20.4	58.7	17.3	2.6	1.0
	60代 n=215	19.1	61.4	14.9	2.3	2.3
	70歳以上 n=171	18.1	63.2	14.6	2.3	1.8
地域別	北部 n=145	26.2	54.5	17.9	0.7	0.7
	中部 n=300	4.0	53.7	21.3	3.3	0.3
	南部 n=422	18.7	59.5	16.4	4.3	1.2
	宮古 n=30	26.7	46.7	20.0	3.3	3.3
	八重山 n=62	24.2	58.1	8.1	8.1	1.6
	その他の離島 n=67	22.4	58.2	10.4	4.5	4.5

(12) 問 10.授業科目に「しまくとぅば」を加えることについてどう思いますか。

学校の授業科目に加えることは「授業以外の活動で取り組んで欲しい」が56.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が18.6%、「他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい」が15.1%である。

年代別では、40代で「他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい」が21.7%と最も高い。

図表17. 学校の授業科目に加えること



		(%)				
		他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい	授業以外の活動で取り組んで欲しい	どちらともいえない	まったく加えなくてもよい	無回答
性別	男性 n=436	17.4	52.8	17.4	11.9	0.5
	女性 n=603	13.4	59.2	19.6	7.3	0.5
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-
年齢	10代 n=34	11.8	61.8	14.7	8.8	2.9
	20代 n=85	14.1	54.1	17.6	14.1	-
	30代 n=152	17.8	51.3	20.4	10.5	-
	40代 n=175	21.7	50.3	14.9	13.1	-
	50代 n=196	13.3	57.1	21.9	7.7	-
	60代 n=215	11.6	60.5	19.1	7.4	1.4
	70歳以上 n=171	12.3	63.7	17.5	5.8	0.6
地域別	北部 n=145	13.8	57.2	20.0	9.0	-
	中部 n=300	15.0	57.0	18.3	9.7	-
	南部 n=422	13.0	57.6	19.0	9.5	0.9
	宮古 n=30	30.0	36.7	26.7	3.3	3.3
	八重山 n=62	22.6	51.6	16.1	9.7	-
	その他の離島 n=67	14.9	62.7	13.4	9.0	-

2. 調査結果の詳細

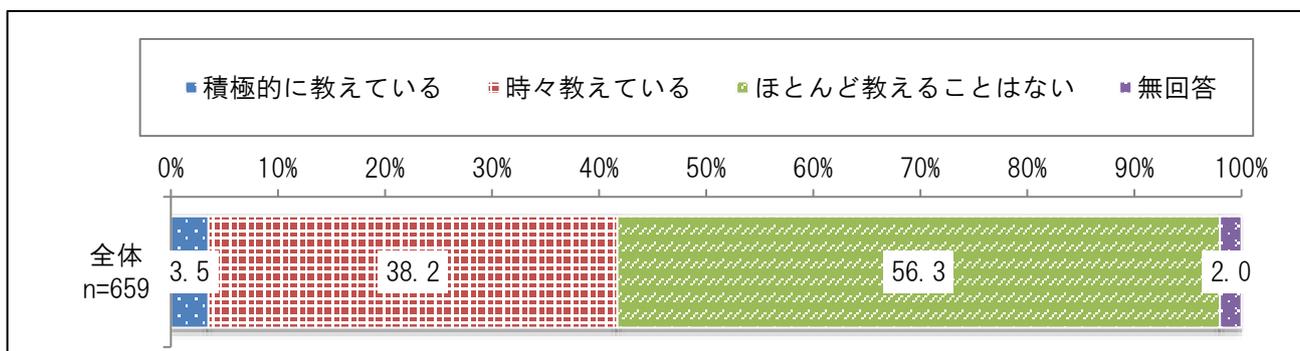
(13) 問 11.家庭内で子どもに対して「しまくとぅば」を教えるようにしていますか。

(子どもの有無で「いる」と回答)

家庭内で「しまくとぅば」を教えるようにしているかは「ほとんど教えることはない」が56.3%で最も高く、次いで「時々教えている」が38.2%、「積極的に教えている」が3.5%である。

地域別では、教えている（「積極的に教えている」+「時々教えている」を合わせると）が宮古で47.6%と最も高い。

図表18. 家庭内で「しまくとぅば」を教えるようにしているか



(%)

		積極的に教えている	時々教えている	ほとんど教えることはない	無回答
性別	男性 n=266	3.8	39.1	54.9	2.3
	女性 n=390	3.3	37.4	57.4	1.8
	その他 n=1	-	-	100.0	-
年齢	10代 n=-	-	-	-	-
	20代 n=9	-	33.3	66.7	-
	30代 n=77	1.3	39.0	57.1	2.6
	40代 n=124	4.0	41.9	54.0	-
	50代 n=132	3.8	41.7	53.8	0.8
	60代 n=164	3.0	37.2	57.9	1.8
	70歳以上 n=150	4.7	32.7	58.0	4.7
地域別	北部 n=83	2.4	43.4	54.2	-
	中部 n=189	3.7	39.2	54.0	3.2
	南部 n=275	2.9	36.7	58.9	1.5
	宮古 n=21	9.5	38.1	52.4	-
	八重山 n=42	2.4	26.2	69.0	2.4
	その他の離島 n=44	4.5	45.5	45.5	4.5

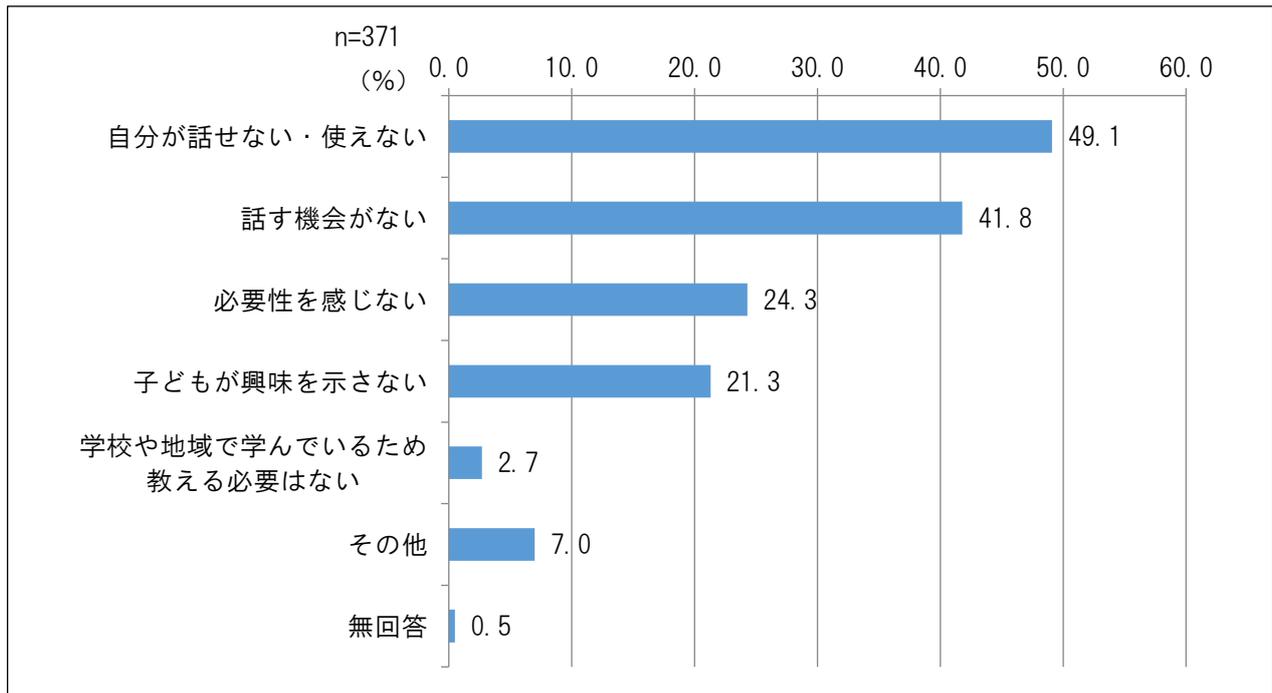
(14) 問 11-1.家庭内でほとんど教えることはない理由はなんですか。

(問 11 で「ほとんど教えることはない」と回答) (〇はいくつでも)

家庭内で教えることはない理由は「自分が話せない・使えない」が 49.1%で最も高く、次いで「話す機会がない」が 41.8%、「必要性を感じない」が 24.3%である。

年代別では、「自分が話せない・使えない」が 40代で 71.6%と最も高い。70歳以上では「子どもが興味を示さない」が 39.1%と他の年代より高い。

図表19. 家庭内で教えることはない理由



(%)

		自分が話せない・使えない	話す機会がない	必要性を感じない	子どもが興味を示さない	学校や地域で学んでいるため教える必要はない	その他	無回答
性別	男性 n=146	40.4	46.6	28.1	26.0	4.1	8.9	-
	女性 n=224	54.5	38.8	21.9	18.3	1.8	5.4	0.9
	その他 n=1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
年齢	10代 n=-	-	-	-	-	-	-	-
	20代 n=6	66.7	33.3	16.7	-	-	33.3	-
	30代 n=44	65.9	34.1	15.9	4.5	2.3	6.8	2.3
	40代 n=67	71.6	35.8	17.9	17.9	-	10.4	-
	50代 n=71	56.3	40.8	21.1	16.9	1.4	4.2	-
	60代 n=95	43.2	54.7	28.4	20.0	3.2	4.2	1.1
	70歳以上 n=87	23.0	36.8	32.2	39.1	5.7	8.0	-
地域別	北部 n=45	40.0	40.0	24.4	15.6	2.2	13.3	-
	中部 n=102	47.1	40.2	23.5	18.6	2.0	6.9	1.0
	南部 n=162	51.2	47.5	26.5	23.5	4.3	3.7	0.6
	宮古 n=11	45.5	36.4	-	36.4	-	9.1	-
	八重山 n=29	58.6	31.0	27.6	20.7	-	6.9	-
	その他の離島 n=20	45.0	25.0	20.0	25.0	-	20.0	-

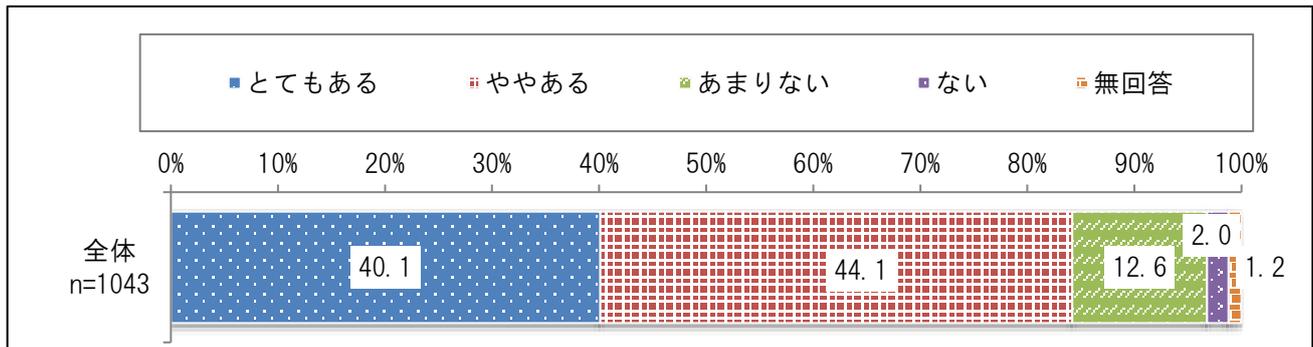
2. 調査結果の詳細

(15) 問 12.ご自身が住んでいる地域(市町村)にどの程度愛着や誇りがありますか。

地域に対する愛着や誇りは「ややある」が44.1%で最も高く、次いで「とてもある」が40.1%、「あまりない」が12.6%である。

年代別では、10代で「とてもある」が44.1%と最も高い。

図表20. 地域に対する愛着や誇り



(%)

		とてもある	ややある	あまりない	ない	無回答
性別	男性 n=436	41.5	42.0	12.8	2.1	1.6
	女性 n=603	39.1	45.4	12.4	2.0	1.0
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-
年齢	10代 n=34	44.1	38.2	11.8	-	5.9
	20代 n=85	40.0	44.7	11.8	3.5	-
	30代 n=152	34.2	46.1	16.4	2.0	1.3
	40代 n=175	41.7	40.0	13.7	4.0	0.6
	50代 n=196	38.8	45.9	12.8	1.5	1.0
	60代 n=215	40.5	47.9	7.9	2.3	1.4
	70歳以上 n=171	43.9	40.4	14.6	-	1.2
地域別	北部 n=145	45.5	44.1	9.0	1.4	-
	中部 n=300	34.7	48.7	13.3	1.7	1.7
	南部 n=422	39.6	42.7	13.7	2.4	1.7
	宮古 n=30	50.0	36.7	10.0	3.3	-
	八重山 n=62	43.5	40.3	12.9	1.6	1.6
	その他の離島 n=67	43.3	41.8	11.9	3.0	-

(16) 問 13.ご自身の出身地の「しまくとぅば」を知っていますか。

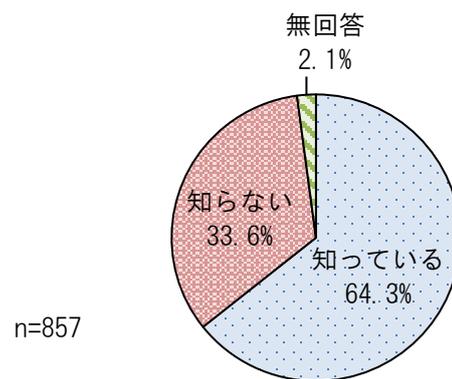
(出身地で「沖縄県内」と回答)

出身地の「しまくとぅば」を「知っている」は64.3%で半数を超えている。

年代別では70歳以上で「知っている」が86.8%と最も高い。

地域別では、宮古で「知っている」が95.5%と群を抜いて高くなっている。

図表21. 出身地の「しまくとぅば」



(%)

		知っている	知らない	無回答
性別	男性 n=362	68.0	29.8	2.2
	女性 n=491	61.5	36.5	2.0
	その他 n=2	50.0	50.0	-
年齢	10代 n=31	32.3	64.5	3.2
	20代 n=78	50.0	48.7	1.3
	30代 n=131	51.1	47.3	1.5
	40代 n=148	53.4	43.9	2.7
	50代 n=154	58.4	38.3	3.2
	60代 n=168	82.1	16.1	1.8
	70歳以上 n=144	86.8	11.8	1.4
地域別	北部 n=115	65.2	33.9	0.9
	中部 n=255	61.6	36.1	2.4
	南部 n=373	61.9	36.2	1.9
	宮古 n=22	95.5	-	4.5
	八重山 n=42	73.8	21.4	4.8
	その他の離島 n=47	74.5	23.4	2.1

2. 調査結果の詳細

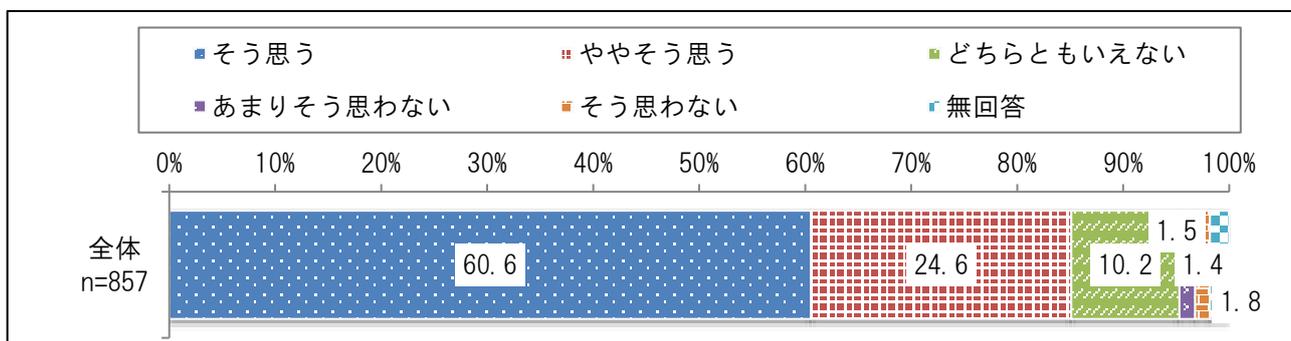
(17) 問 14.ご自身の出身地の「しまくとぅば」が将来に渡って残ってほしいと思いますか。

(出身地で「沖縄県内」と回答)

「しまくとぅば」の継承は「そう思う」が60.6%で最も高く、次いで「ややそう思う」が24.6%である。残って欲しいと思う（「そう思う」＋「ややそう思う」を合わせる）は85.2%と継承することを望んでいる。

地域別では、八重山で「そう思う」が71.4%で最も高く、「ややそう思う」と合わせると88.1%となる。

図表22. 「しまくとぅば」の継承



(%)

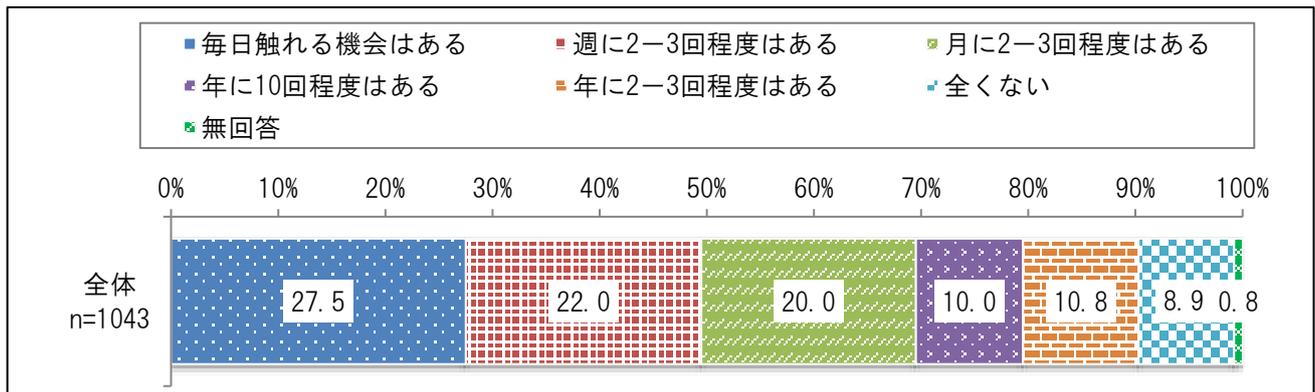
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性 n=362	61.6	22.9	10.2	1.9	1.9	1.4
	女性 n=491	59.7	25.9	10.2	1.2	1.0	2.0
	その他 n=2	100.0	-	-	-	-	-
年齢	10代 n=31	54.8	32.3	9.7	-	-	3.2
	20代 n=78	51.3	30.8	14.1	2.6	1.3	-
	30代 n=131	56.5	26.7	9.2	3.8	2.3	1.5
	40代 n=148	58.8	27.0	9.5	-	3.4	1.4
	50代 n=154	61.7	26.0	7.8	1.3	0.6	2.6
	60代 n=168	64.3	21.4	11.9	-	0.6	1.8
	70歳以上 n=144	66.0	18.1	10.4	2.8	0.7	2.1
地域別	北部 n=115	60.0	27.0	8.7	2.6	0.9	0.9
	中部 n=255	57.6	27.5	10.6	2.0	0.4	2.0
	南部 n=373	62.5	22.3	11.3	1.3	1.6	1.1
	宮古 n=22	68.2	18.2	9.1	-	-	4.5
	八重山 n=42	71.4	16.7	2.4	-	4.8	4.8
	その他の離島 n=47	48.9	31.9	10.6	-	4.3	4.3

(18) 問 15.「しまくとぅば」に触れる機会(聞く・話す)はどの程度ありますか。

「しまくとぅば」に触れる機会は「毎日触れる機会はある」が27.5%で最も高く、次いで「週に2-3回程度はある」が22.0%、「月に2-3回程度はある」が20.0%である。

地域別では、沖縄本島より離島の宮古が「毎日触れる機会がある」割合が63.3%で高く、日常的に触れる機会が高い傾向にある。

図表23. 「しまくとぅば」に触れる機会



(%)

		毎日触れる機会はある	週に2-3回程度はある	月に2-3回程度はある	年に10回程度はある	年に2-3回程度はある	全くない	無回答
性別	男性 n=436	28.7	25.7	17.9	7.6	11.0	7.8	1.4
	女性 n=603	26.7	19.1	21.7	11.8	10.6	9.8	0.3
	その他 n=2	-	100.0	-	-	-	-	-
年齢	10代 n=34	26.5	17.6	8.8	11.8	5.9	26.5	2.9
	20代 n=85	30.6	15.3	23.5	7.1	11.8	11.8	-
	30代 n=152	18.4	28.9	21.1	5.9	14.5	10.5	0.7
	40代 n=175	24.6	23.4	20.0	13.7	12.0	6.3	-
	50代 n=196	28.6	25.0	14.8	10.7	11.2	9.2	0.5
	60代 n=215	29.3	20.0	23.7	9.8	8.4	7.9	0.9
	70歳以上 n=171	31.6	18.1	22.2	10.5	10.5	5.8	1.2
地域別	北部 n=145	35.2	26.9	15.2	9.7	8.3	4.8	-
	中部 n=300	21.3	24.7	21.7	10.7	11.3	9.3	1.0
	南部 n=422	24.9	19.2	21.8	10.7	12.1	10.7	0.7
	宮古 n=30	63.3	13.3	10.0	6.7	3.3	-	3.3
	八重山 n=62	16.1	24.2	24.2	9.7	14.5	11.3	-
	その他の離島 n=67	49.3	17.9	16.4	3.0	7.5	6.0	-

2. 調査結果の詳細

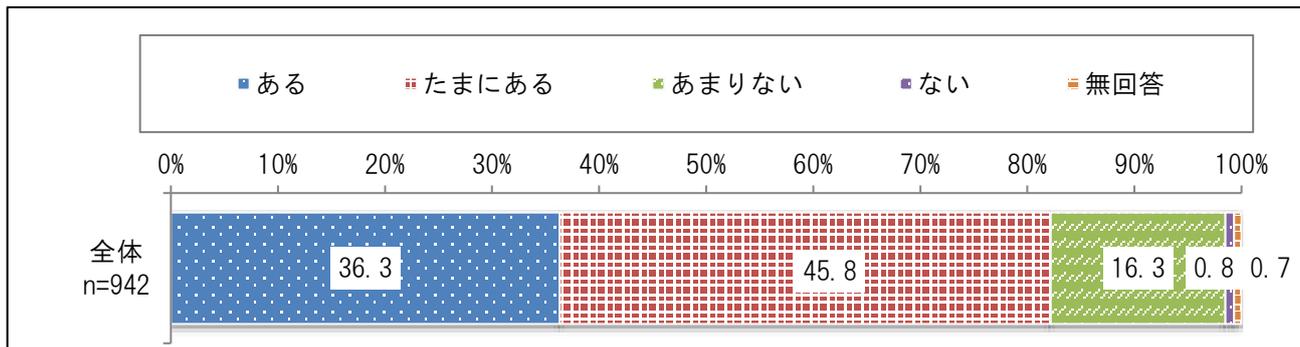
(19) 問 16.「しまくとぅば」を聞く機会はどの程度ありますか。

(問 15 で「全くない」と回答した人以外)

「しまくとぅば」を聞く機会は「たまにある」が45.8%で最も高く、次いで「ある」が36.3%、「あまりない」が16.3%である。聞く機会がある（「たまにある」＋「ある」を合わせる）は82.1%である。

地域別では、中部で「あまりない」が22.3%と他の地域より高い。

図表24. 「しまくとぅば」を聞く機会



		(%)				
		ある	たまにある	あまりない	ない	無回答
性別	男性 n=290	33.1	43.8	17.2	4.5	1.4
	女性 n=438	27.9	42.7	22.1	5.7	1.6
年齢	10代 n=29	24.1	48.3	20.7	6.9	-
	20代 n=76	28.9	38.2	19.7	11.8	1.3
	30代 n=129	33.3	43.4	14.7	7.8	0.8
	40代 n=173	28.3	45.1	22.5	2.3	1.7
	50代 n=202	26.2	44.1	23.8	5.0	1.0
	60代 n=231	30.3	42.9	19.5	6.1	1.3
	70歳以上 n=174	30.5	44.3	16.1	6.3	2.9
地域別	北部 n=148	34.5	43.2	18.9	1.4	2.0
	中部 n=264	28.8	41.3	22.3	6.4	1.1
	南部 n=432	23.6	44.9	22.0	7.9	1.6
	宮古 n=35	57.1	37.1	5.7	-	-
	八重山 n=68	29.4	51.5	13.2	4.4	1.5
	その他の離島 n=66	45.5	37.9	10.6	4.5	1.5

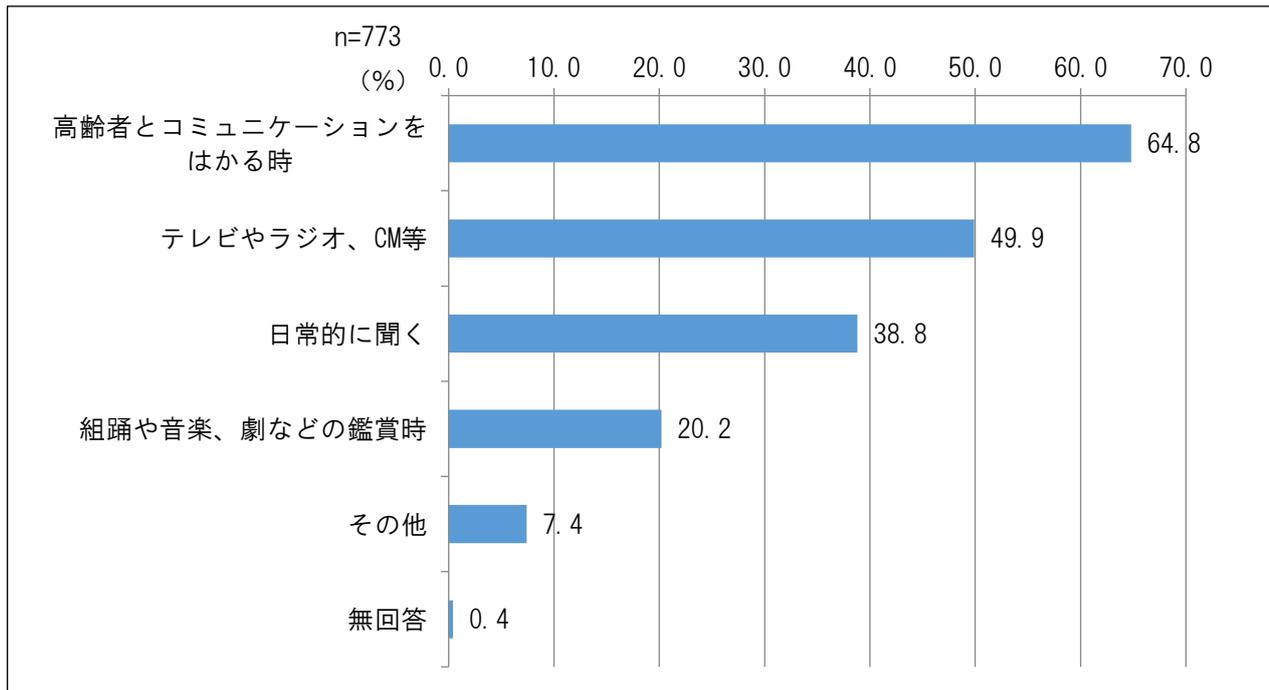
(20) 問 16-1.「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時ですか。

(問 16 で「ある」「たまにある」と回答) (○はいくつでも)

「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時かは「高齢者とコミュニケーションをはかる時」が 64.8%で最も高く、次いで「テレビやラジオ、CM等」が 49.9%、「日常的に聞く」が 38.8%である。

性別では、男性で「日常的に聞く」が 44.6%と、女性の 34.8%より 9.8 ポイント高い。

図表25. 「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時か



(%)

		日常的に聞く	高齢者とコミュニケーションをはかる時	テレビやラジオ、CM等	組踊や音楽、劇などの鑑賞時	その他	無回答
性別	男性 n=323	44.6	65.6	49.5	16.7	6.5	-
	女性 n=446	34.8	64.3	50.0	22.6	7.8	0.7
	その他 n=2	-	100.0	50.0	-	50.0	-
年齢	10代 n=20	45.0	55.0	30.0	20.0	5.0	-
	20代 n=65	36.9	73.8	49.2	13.8	4.6	1.5
	30代 n=110	33.6	67.3	42.7	17.3	11.8	-
	40代 n=134	42.5	73.9	52.2	15.7	9.0	-
	50代 n=145	40.7	64.1	49.0	14.5	8.3	0.7
	60代 n=161	32.3	63.4	55.9	27.3	4.3	0.6
	70歳以上 n=127	42.5	51.2	52.0	28.3	6.3	-
地域別	北部 n=114	40.4	72.8	48.2	16.7	6.1	-
	中部 n=218	30.3	70.6	51.4	19.3	7.3	0.9
	南部 n=295	38.6	56.3	55.3	20.0	7.8	0.3
	宮古 n=29	55.2	62.1	20.7	20.7	6.9	-
	八重山 n=45	35.6	68.9	51.1	33.3	15.6	-
	その他の離島 n=59	59.3	69.5	39.0	22.0	1.7	-

2. 調査結果の詳細

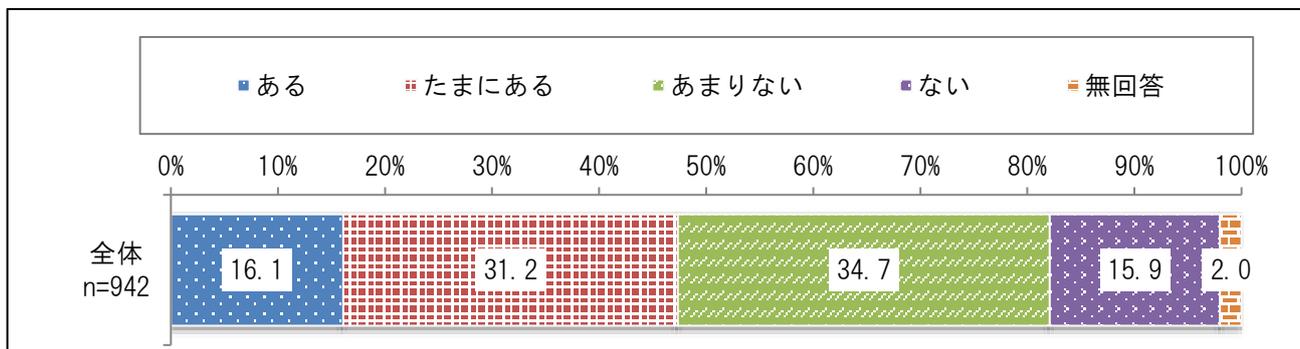
(21) 問 17.「しまくとぅば」を話す機会はどの程度ありますか。

(問 15 で「全くない」と回答した人以外)

「しまくとぅば」を話す頻度は「あまりない」が 34.7%で最も高く、次いで「たまにある」が 31.2%、「ある」が 16.1%である。

年代では、40代で「あまりない」が 44.5%と最も高く、最も低い 70 歳以上の 25.8%より 18.7 ポイント高い。

図表26. 「しまくとぅば」を話す頻度



(%)

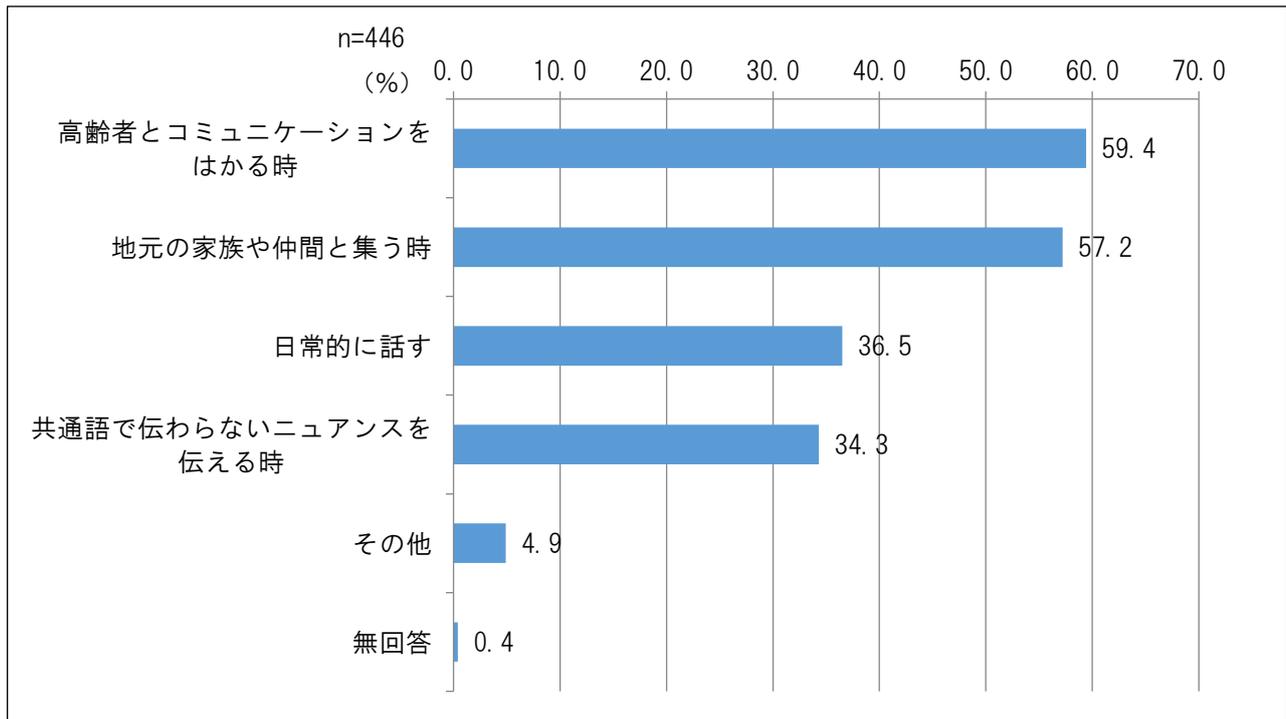
		ある	たまにある	あまりない	ない	無回答
性別	男性 n=396	21.7	31.8	32.8	11.9	1.8
	女性 n=542	12.0	30.8	36.2	18.8	2.2
	その他 n=2	-	-	50.0	50.0	-
年齢	10代 n=24	12.5	29.2	33.3	25.0	-
	20代 n=75	10.7	30.7	38.7	20.0	-
	30代 n=135	7.4	25.2	37.8	28.1	1.5
	40代 n=164	14.6	22.0	44.5	17.7	1.2
	50代 n=177	13.0	32.2	37.3	16.4	1.1
	60代 n=196	16.3	40.3	29.1	11.2	3.1
	70歳以上 n=159	29.6	34.0	25.8	6.9	3.8
地域別	北部 n=138	17.4	32.6	33.3	14.5	2.2
	中部 n=269	10.4	32.7	40.5	14.1	2.2
	南部 n=374	16.3	29.1	33.4	20.1	1.1
	宮古 n=29	41.4	31.0	10.3	6.9	10.3
	八重山 n=55	9.1	29.1	47.3	12.7	1.8
	その他の離島 n=63	28.6	34.9	23.8	9.5	3.2

(22) 問 17-1.「しまくとぅば」を話す機会はどのような時ですか。

(問 17 で「ある」「たまにある」と回答) (○はいくつでも)

「しまくとぅば」を話す機会はどのような時は、「高齢者とコミュニケーションをはかる時」が 59.4% で最も高く、次いで「地元の家族や仲間と集う時」が 57.2%、「日常的に話す」が 36.5%である。

図表27. 「しまくとぅば」を話す機会はどのような時か



(%)

		日常的に話す	高齢者とコミュニケーションをはかる時	共通語で伝わらないニュアンスを伝える時	地元の家族や仲間と集う時	その他	無回答
性別	男性 n=212	39.2	60.4	31.1	60.4	4.7	0.5
	女性 n=232	34.1	59.1	37.1	53.9	5.2	0.4
	その他 n=-	-	-	-	-	-	-
年齢	10代 n=10	60.0	50.0	-	40.0	-	-
	20代 n=31	41.9	71.0	38.7	64.5	-	-
	30代 n=44	25.0	63.6	36.4	47.7	11.4	-
	40代 n=60	41.7	50.0	43.3	55.0	8.3	-
	50代 n=80	32.5	63.8	36.3	66.3	3.8	-
	60代 n=111	29.7	61.3	30.6	62.2	4.5	0.9
	70歳以上 n=101	41.6	53.5	32.7	50.5	4.0	1.0
地域別	北部 n=69	40.6	56.5	37.7	58.0	4.3	-
	中部 n=116	24.1	65.5	34.5	62.9	3.4	0.9
	南部 n=170	40.0	54.1	33.5	54.1	8.2	-
	富古 n=21	47.6	52.4	28.6	33.3	-	-
	八重山 n=21	19.0	52.4	38.1	71.4	-	4.8
	その他の離島 n=40	47.5	75.0	32.5	60.0	2.5	-

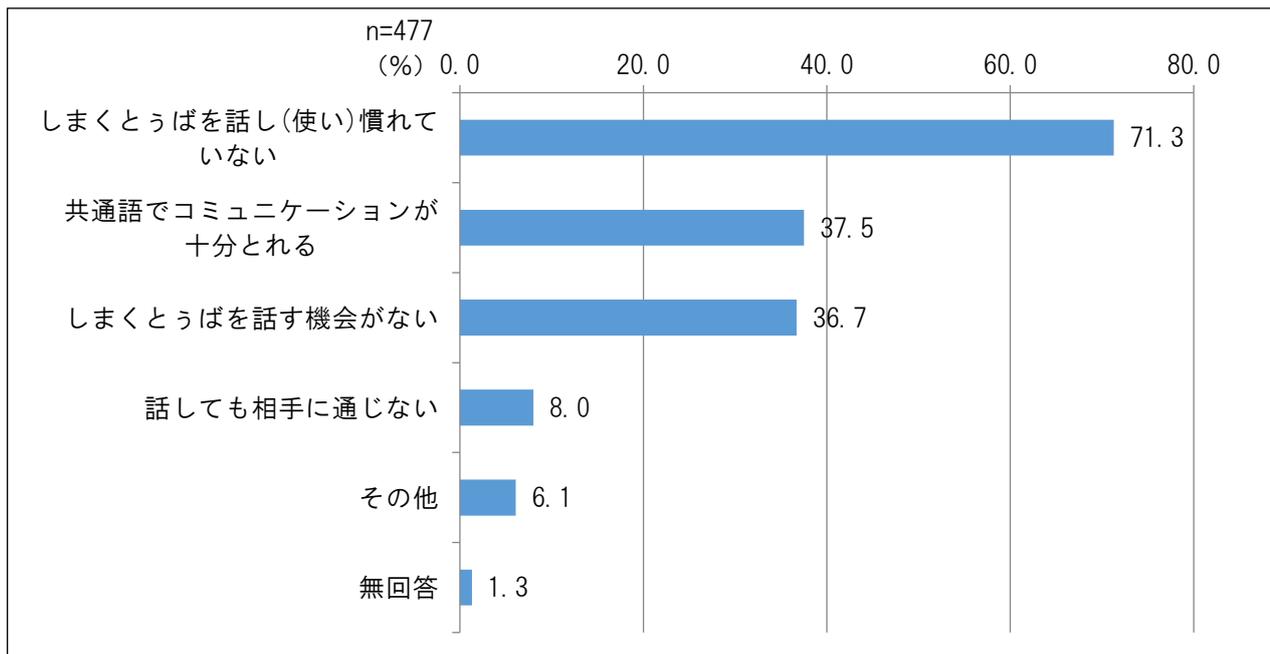
2. 調査結果の詳細

(23) 問 17-2.「しまくとぅば」を話さない理由について教えてください。

(問 17 で「あまりない」「ない」と回答) (〇はいくつでも)

「しまくとぅば」を話さない理由は「しまくとぅばを話し(使い)慣れていない」が71.3%で最も高く、次いで「共通語でコミュニケーションが十分とれる」が37.5%、「しまくとぅばを話す機会がない」が36.7%である。

図表28. 「しまくとぅば」を話さない理由



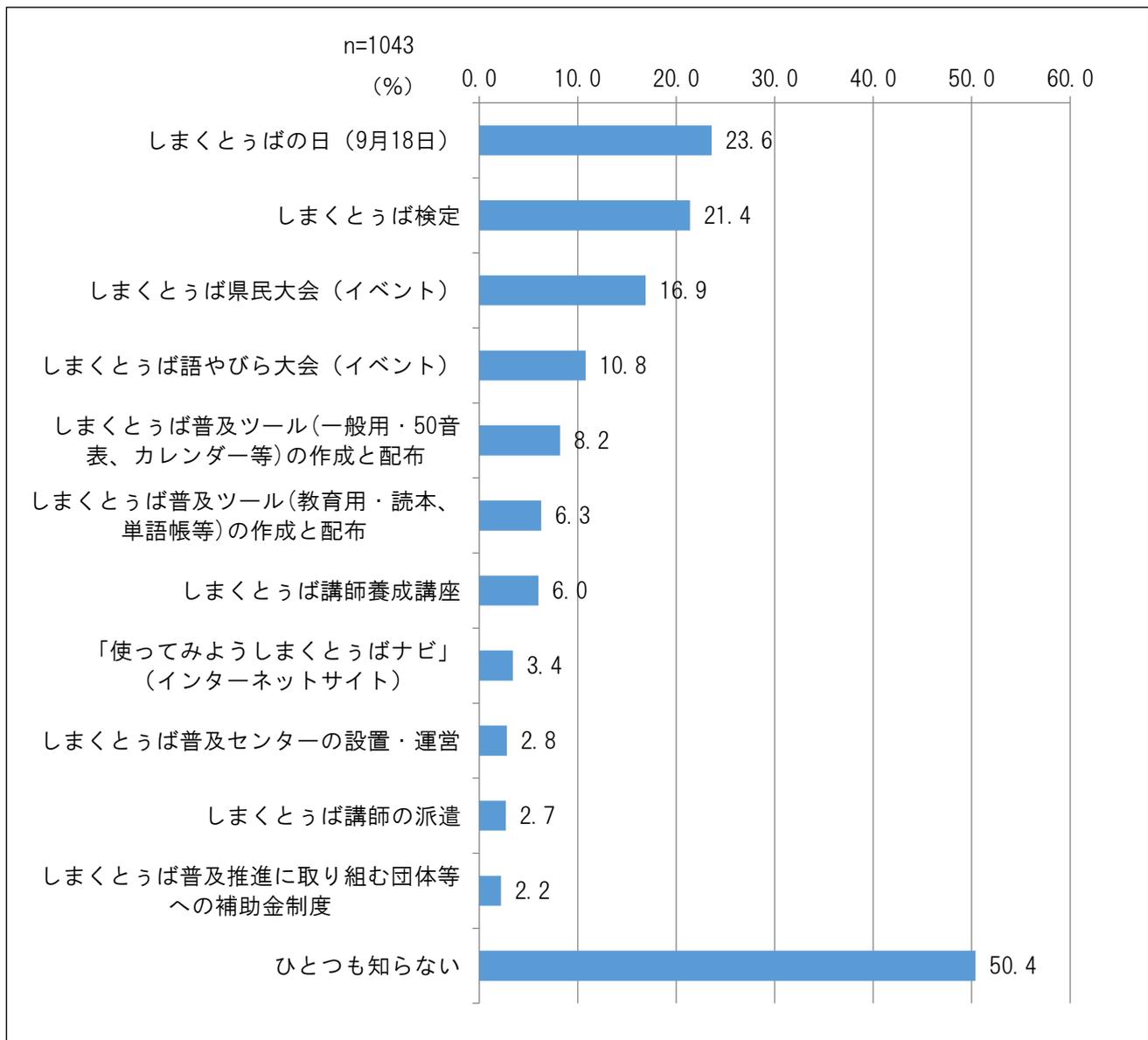
		しまくとぅばを話す機会がない	しまくとぅばを話し(使い)慣れていない	話しても相手に通じない	共通語でコミュニケーションが十分とれる	その他	無回答
性別	男性 n=177	33.3	71.8	8.5	37.3	4.0	1.7
	女性 n=298	38.6	70.8	7.7	37.6	6.7	1.0
	その他 n=2	50.0	100.0	-	50.0	100.0	-
年齢	10代 n=14	50.0	57.1	7.1	42.9	7.1	-
	20代 n=44	43.2	77.3	9.1	36.4	-	2.3
	30代 n=89	34.8	79.8	6.7	36.0	4.5	1.1
	40代 n=102	27.5	79.4	7.8	38.2	7.8	-
	50代 n=95	38.9	70.5	5.3	34.7	7.4	1.1
	60代 n=79	43.0	62.0	11.4	34.2	7.6	3.8
	70歳以上 n=52	34.6	55.8	9.6	48.1	5.8	-
地域別	北部 n=66	24.2	74.2	6.1	37.9	7.6	-
	中部 n=147	38.1	73.5	6.8	40.8	4.8	0.7
	南部 n=200	42.5	68.5	10.0	37.0	5.0	1.5
	宮古 n=5	20.0	60.0	-	20.0	20.0	-
	八重山 n=33	39.4	66.7	12.1	48.5	12.1	3.0
	その他の離島 n=21	9.5	85.7	-	4.8	4.8	4.8

(24) 問 18. 今後、普及継承していくための取組で「知っている」ものをお答えください。

(○はいくつでも)

取組みの認知度は「しまくとうばの日(9月18日)」が23.6%で最も高く、次いで「しまくとうば検定」が21.4%、「しまくとうば県民大会(イベント)」が16.9%である。

図表29. 取組の認知度



※いずれの選択肢にも○がついていない回答を「ひとつも知らない」として集計した。

2. 調査結果の詳細

(%)

		しまくとぅばの日 (9月18日)	しまくとぅば県民大 会(イベント)	しまくとぅば語やび ら大会(イベント)	しまくとぅば普及推 進に取り組む団体等 への補助金制度	しまくとぅば普及セ ンターの設置・運営	しまくとぅば講師養 成講座
性別	男性 n=436	22.5	15.1	11.7	3.4	2.8	6.0
	女性 n=603	24.0	18.1	10.1	1.3	2.7	5.8
	その他 n=2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	100.0
年齢	10代 n=34	11.8	20.6	5.9	-	-	-
	20代 n=85	28.2	17.6	5.9	-	-	1.2
	30代 n=152	21.1	15.1	7.9	-	4.6	3.9
	40代 n=175	26.3	17.1	9.7	1.7	3.4	7.4
	50代 n=196	30.1	17.9	15.8	3.6	2.0	7.7
	60代 n=215	20.5	15.8	11.6	2.8	3.3	7.4
	70歳以上 n=171	20.5	17.0	11.7	3.5	2.9	6.4
地域別	北部 n=145	22.1	13.8	9.0	0.7	2.1	6.9
	中部 n=300	23.7	20.0	14.0	3.7	4.0	5.0
	南部 n=422	23.5	16.8	9.5	1.7	2.6	5.9
	宮古 n=30	20.0	20.0	6.7	-	-	6.7
	八重山 n=62	22.6	16.1	12.9	3.2	1.6	9.7
	その他の離島 n=67	34.3	11.9	10.4	1.5	3.0	6.0

(%)

		しまくとぅば講師の 派遣	しまくとぅば検定	「使ってみようしま くとぅばナビ」(イ ンターネットサイ ト)	しまくとぅば普及 ツール(一般用・50音 表、カレンダー等)の 作成と配布	しまくとぅば普及 ツール(教育用・読 本、単語帳等)の作成 と配布	ひとつも知らない
性別	男性 n=436	3.0	20.2	3.7	6.4	6.2	55.0
	女性 n=603	2.5	21.9	3.0	9.6	6.3	47.4
	その他 n=2	-	100.0	50.0	-	50.0	-
年齢	10代 n=34	8.8	23.5	8.8	2.9	8.8	41.2
	20代 n=85	1.2	24.7	2.4	7.1	5.9	45.9
	30代 n=152	4.6	21.1	3.3	9.9	8.6	50.7
	40代 n=175	3.4	25.1	4.0	8.6	10.3	40.0
	50代 n=196	2.0	28.1	5.1	10.2	8.7	45.4
	60代 n=215	1.9	20.0	3.3	9.8	4.2	54.0
	70歳以上 n=171	1.8	11.1	0.6	4.1	0.6	64.3
地域別	北部 n=145	2.8	16.6	3.4	8.3	7.6	51.7
	中部 n=300	3.7	26.3	4.0	10.3	8.0	43.3
	南部 n=422	0.9	21.3	2.8	6.9	4.7	52.8
	宮古 n=30	3.3	10.0	6.7	6.7	6.7	60.0
	八重山 n=62	6.5	16.1	1.6	11.3	8.1	53.2
	その他の離島 n=67	6.0	23.9	4.5	6.0	6.0	49.3

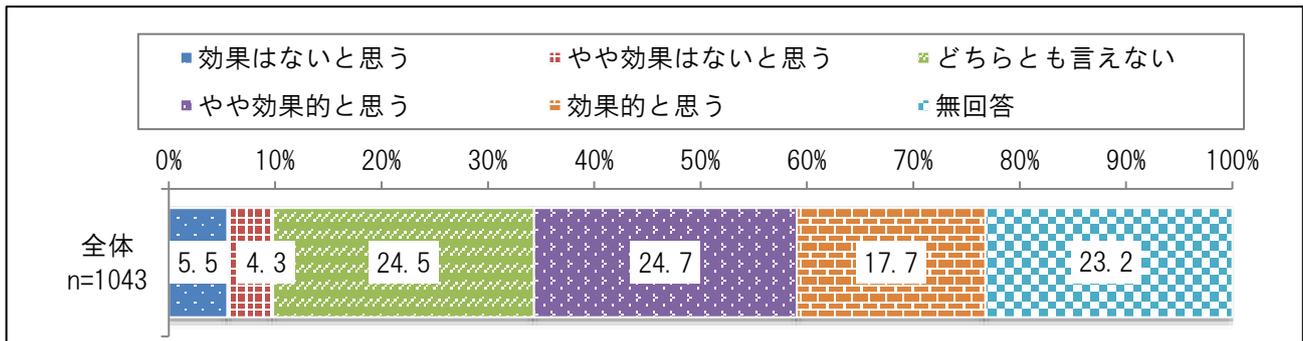
[1] 問 18-1.取組みの効果度

① しまくとぅばの日 (9月18日)

しまくとぅばの日 (9月18日) は『効果がある』(「効果的と思う」+「やや効果的と思う」)の割合が42.4%である。

年代別では、20代で「効果的と思う」が21.2%と他年代よりも高い。

図表30. しまくとぅばの日 (9月18日)



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	6.4	4.8	26.4	24.5	15.8	22.0
	女性 n=603	4.8	4.0	23.4	25.0	18.9	23.9
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	8.8	8.8	17.6	32.4	17.6	14.7
	20代 n=85	8.2	4.7	24.7	27.1	21.2	14.1
	30代 n=152	5.3	7.9	26.3	22.4	19.7	18.4
	40代 n=175	7.4	5.1	28.6	28.0	16.0	14.9
	50代 n=196	5.1	2.0	24.0	29.6	18.9	20.4
	60代 n=215	5.1	3.7	25.1	21.9	14.9	29.3
	70歳以上 n=171	2.9	2.9	21.1	19.3	17.0	36.8
地域別	北部 n=145	4.8	3.4	29.7	22.1	17.9	22.1
	中部 n=300	4.7	4.7	25.3	27.0	16.0	22.3
	南部 n=422	6.6	4.5	23.0	24.6	18.7	22.5
	宮古 n=30	3.3	3.3	20.0	26.7	13.3	33.3
	八重山 n=62	3.2	3.2	30.6	25.8	12.9	24.2
	その他の離島 n=67	6.0	6.0	17.9	22.4	22.4	25.4

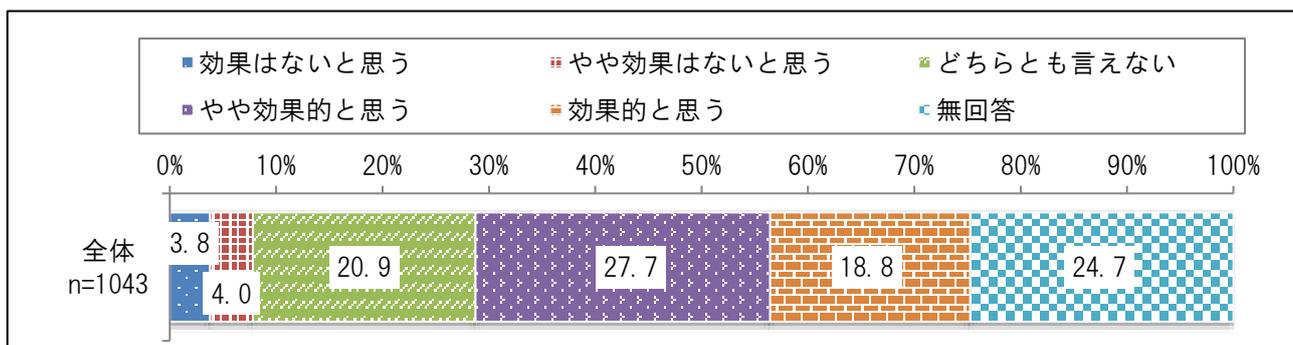
2. 調査結果の詳細

② しまくとぅば県民大会（イベント）

しまくとぅば県民大会（イベント）は『効果がある』（「効果的と思う」+「やや効果的と思う」）の割合が46.5%である。

年代別では、30代で「効果的と思う」が24.3%と他年代よりも高い。

図表31. しまくとぅば県民大会（イベント）



(%)

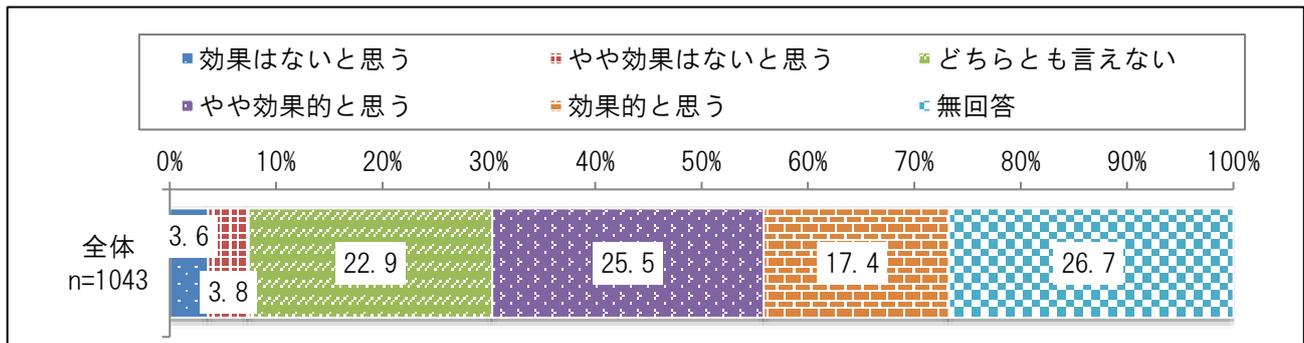
		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	6.0	4.8	22.7	26.4	16.5	23.6
	女性 n=603	2.3	3.5	19.7	28.9	20.4	25.2
	その他 n=2	-	-	-	-	50.0	50.0
年齢	10代 n=34	-	2.9	29.4	44.1	8.8	14.7
	20代 n=85	7.1	8.2	18.8	28.2	20.0	17.6
	30代 n=152	2.6	7.2	21.7	26.3	24.3	17.8
	40代 n=175	5.1	5.1	18.3	37.1	20.6	13.7
	50代 n=196	3.1	2.6	21.4	29.6	15.8	27.6
	60代 n=215	5.1	2.3	22.8	21.9	17.7	30.2
	70歳以上 n=171	2.3	2.3	20.5	21.1	17.0	36.8
地域別	北部 n=145	2.1	2.8	20.7	31.7	17.2	25.5
	中部 n=300	4.0	3.3	20.7	31.0	19.7	21.3
	南部 n=422	4.3	5.2	21.8	25.1	19.4	24.2
	宮古 n=30	3.3	-	20.0	30.0	16.7	30.0
	八重山 n=62	4.8	4.8	24.2	27.4	14.5	24.2
	その他の離島 n=67	4.5	4.5	17.9	20.9	16.4	35.8

③ しまくとぅば語やびら大会（イベント）

しまくとぅば語やびら大会（イベント）は『効果がある』（「効果的と思う」+「やや効果的と思う」）の割合が42.9%である。

年代別では、10代の「やや効果的と思う」が44.1%と高い。

図表32. しまくとぅば語やびら大会（イベント）



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	6.0	4.8	25.7	22.0	15.4	26.1
	女性 n=603	2.0	3.2	21.1	28.2	19.1	26.5
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	-	5.9	26.5	44.1	8.8	14.7
	20代 n=85	5.9	9.4	23.5	28.2	17.6	15.3
	30代 n=152	2.6	5.9	22.4	23.7	23.7	21.7
	40代 n=175	5.7	5.1	22.9	29.1	19.4	17.7
	50代 n=196	3.1	2.0	25.5	27.0	15.3	27.0
	60代 n=215	4.2	2.8	23.7	21.9	14.9	32.6
	70歳以上 n=171	2.3	1.2	19.3	22.8	15.2	39.2
地域別	北部 n=145	2.1	4.8	22.8	29.0	15.2	26.2
	中部 n=300	4.3	2.3	23.3	27.3	19.3	23.3
	南部 n=422	3.8	4.5	23.5	23.7	17.3	27.3
	宮古 n=30	3.3	-	30.0	23.3	10.0	33.3
	八重山 n=62	1.6	4.8	27.4	30.6	11.3	24.2
	その他の離島 n=67	6.0	6.0	14.9	19.4	19.4	34.3

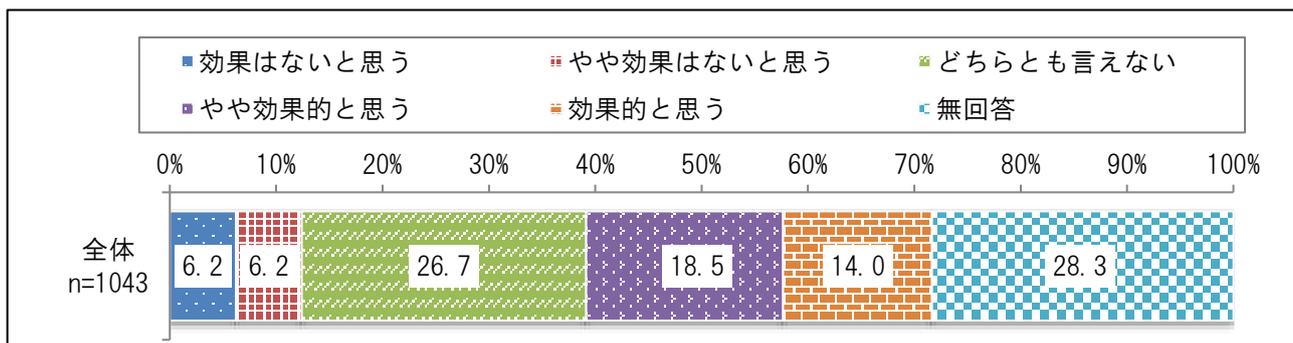
2. 調査結果の詳細

④ しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は『効果がある』（「効果的と思う」+「やや効果的と思う」）の割合が32.5%である。

年代別では、20代の「やや効果的と思う」が27.1%と最も高い。

図表33. しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度



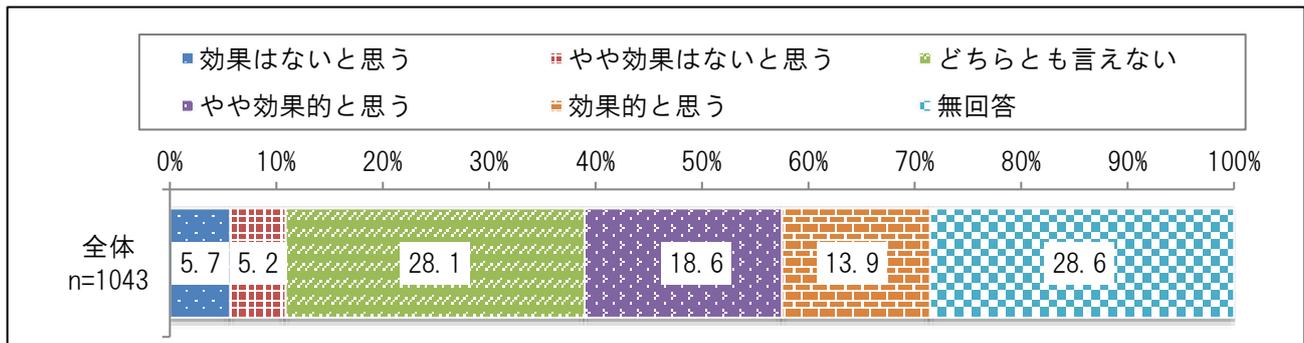
		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	9.4	7.6	26.6	15.8	15.8	27.5
	女性 n=603	4.0	5.3	27.0	20.6	18.9	28.4
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	-	14.7	41.2	23.5	17.6	14.7
	20代 n=85	9.4	10.6	20.0	27.1	21.2	15.3
	30代 n=152	5.9	5.9	30.9	16.4	19.7	21.1
	40代 n=175	11.4	6.3	33.1	20.6	16.0	18.3
	50代 n=196	2.6	8.2	24.5	25.0	18.9	29.6
	60代 n=215	6.5	3.7	26.0	14.0	14.9	35.8
	70歳以上 n=171	4.7	3.5	22.8	11.7	17.0	42.1
地域別	北部 n=145	5.5	5.5	33.1	13.8	17.9	29.7
	中部 n=300	7.7	6.0	26.3	20.0	16.0	25.0
	南部 n=422	5.2	7.6	25.6	19.9	18.7	28.7
	宮古 n=30	6.7	3.3	30.0	16.7	13.3	33.3
	八重山 n=62	4.8	6.5	29.0	14.5	12.9	25.8
	その他の離島 n=67	9.0	1.5	23.9	17.9	22.4	35.8

⑤ しまくとぅば普及センターの設置・運営

しまくとぅば普及センターの設置・運営は『効果がある』（「効果的と思う」+「やや効果的と思う」）の割合が32.5%である。

地域別では、八重山で『効果的と思う』が21.0%で他の地域よりも高い。

図表34. しまくとぅば普及センターの設置・運営



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	8.5	6.4	28.0	16.1	12.6	28.4
	女性 n=603	3.6	4.3	28.4	20.6	14.9	28.2
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	5.9	41.2	20.6	14.7	14.7
	20代 n=85	9.4	4.7	30.6	23.5	16.5	15.3
	30代 n=152	4.6	5.9	30.9	19.1	18.4	21.1
	40代 n=175	9.7	5.7	33.7	24.6	8.6	17.7
	50代 n=196	4.1	6.1	27.6	21.4	10.7	30.1
	60代 n=215	4.2	3.7	26.0	15.8	13.0	37.2
	70歳以上 n=171	4.7	5.3	21.1	9.4	17.5	42.1
地域別	北部 n=145	4.1	4.1	31.0	20.7	10.3	29.7
	中部 n=300	6.3	6.0	30.0	19.3	13.7	24.7
	南部 n=422	5.9	4.5	26.8	19.0	14.9	28.9
	宮古 n=30	3.3	10.0	30.0	16.7	6.7	33.3
	八重山 n=62	3.2	6.5	27.4	12.9	21.0	29.0
	その他の離島 n=67	7.5	3.0	23.9	16.4	11.9	37.3

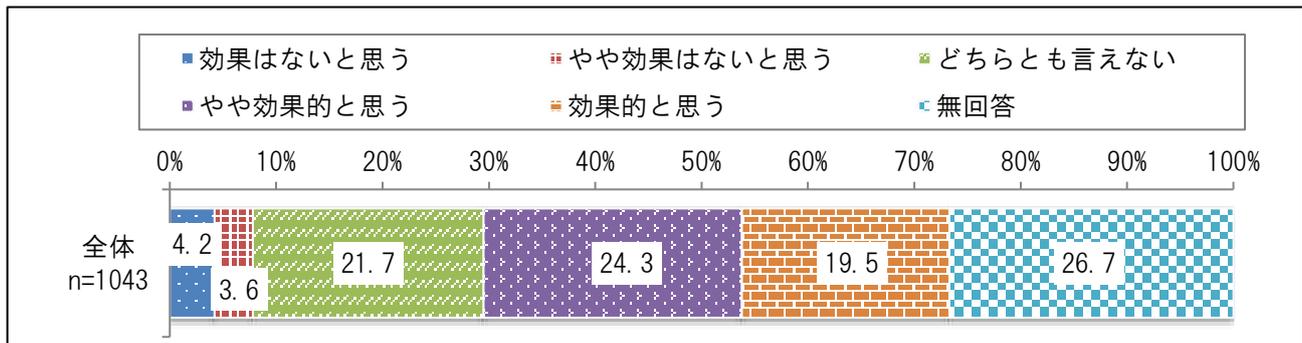
2. 調査結果の詳細

⑥ しまくとぅば講師養成講座

しまくとぅば講師養成講座は『効果がある』（「効果的と思う」+「やや効果的と思う」）の割合が43.8%である。

年代では、40代の『効果がある』は53.2%と他年代より高い割合である。

図表35. しまくとぅば講師養成講座



(%)

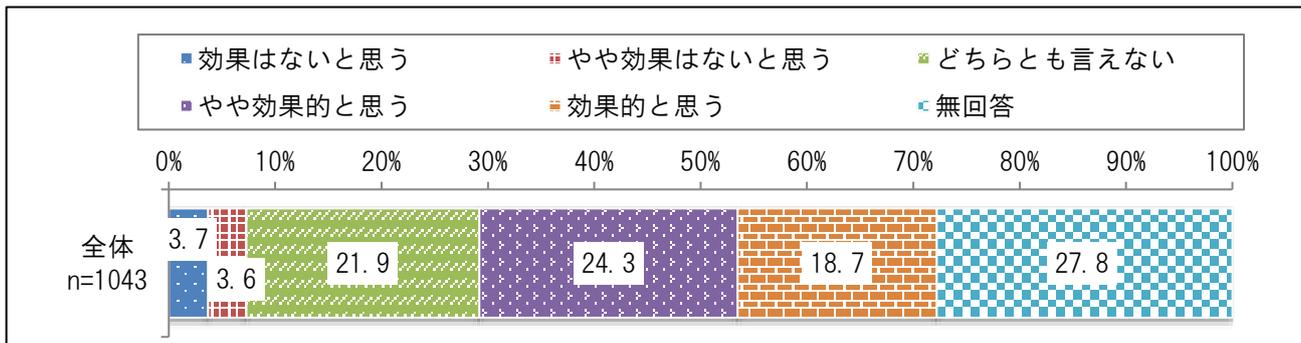
		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	6.9	4.4	22.0	22.5	17.7	26.6
	女性 n=603	2.3	3.2	21.6	25.7	20.7	26.5
	その他 n=2	-	-	-	-	50.0	50.0
年齢	10代 n=34	-	11.8	26.5	20.6	26.5	14.7
	20代 n=85	5.9	4.7	27.1	18.8	28.2	15.3
	30代 n=152	2.6	3.3	25.7	23.7	24.3	20.4
	40代 n=175	7.4	2.3	21.1	34.9	18.3	16.0
	50代 n=196	2.6	4.1	19.4	25.5	21.4	27.0
	60代 n=215	3.7	2.8	24.7	20.9	13.5	34.4
	70歳以上 n=171	4.7	4.1	14.0	21.1	16.4	39.8
地域別	北部 n=145	4.1	3.4	18.6	28.3	20.7	24.8
	中部 n=300	4.0	4.3	22.7	23.7	20.3	25.0
	南部 n=422	4.0	3.8	21.6	24.9	19.2	26.5
	宮古 n=30	3.3	6.7	30.0	16.7	13.3	30.0
	八重山 n=62	1.6	3.2	22.6	22.6	22.6	27.4
	その他の離島 n=67	9.0	-	17.9	22.4	16.4	34.3

⑦ しまくとぅば講師の派遣

しまくとぅば講師の派遣は『効果がある』（「効果的と思う」+「やや効果的と思う」）の割合が43.0%である。

性別では、女性の『効果がある』が45.9%と男性の39.2%と比べて6.7ポイント高い。

図表36. しまくとぅば講師の派遣



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	6.0	3.9	23.2	22.5	16.7	27.8
	女性 n=603	2.2	3.5	21.1	25.7	20.2	27.4
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	8.8	29.4	17.6	26.5	14.7
	20代 n=85	3.5	3.5	25.9	28.2	24.7	14.1
	30代 n=152	2.0	3.9	27.0	23.0	24.3	19.7
	40代 n=175	8.0	2.3	22.3	30.9	18.9	17.7
	50代 n=196	1.0	3.1	20.9	26.5	19.4	29.1
	60代 n=215	3.7	2.8	22.3	22.3	12.1	36.7
	70歳以上 n=171	4.1	4.7	15.2	18.7	17.0	40.4
地域別	北部 n=145	3.4	3.4	19.3	25.5	21.4	26.9
	中部 n=300	4.0	4.0	22.7	24.3	20.0	25.0
	南部 n=422	3.3	3.6	23.0	24.6	17.3	28.2
	宮古 n=30	3.3	3.3	26.7	20.0	13.3	33.3
	八重山 n=62	3.2	3.2	22.6	27.4	17.7	25.8
	その他の離島 n=67	6.0	3.0	16.4	19.4	19.4	35.8

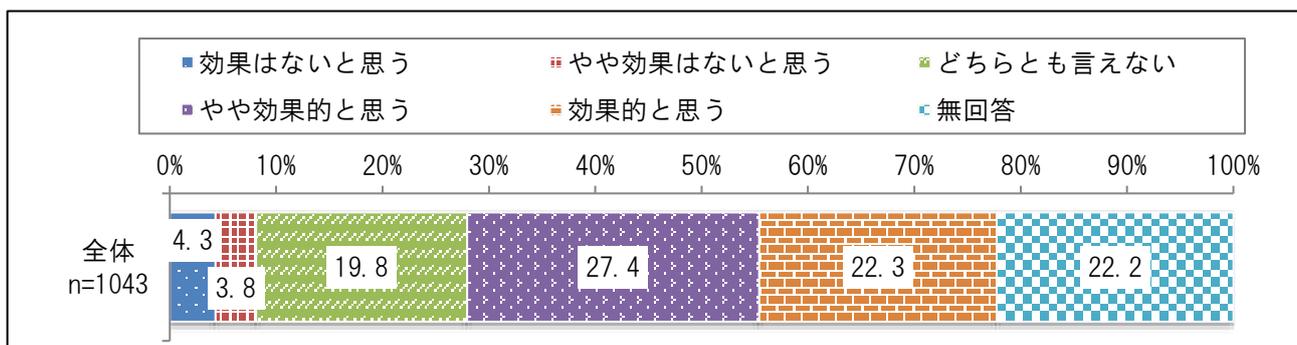
2. 調査結果の詳細

⑧ しまくとぅば検定

しまくとぅば検定は『効果がある』（「効果的と思う」+「やや効果的と思う」）の割合が49.7%である。

年代別では、40代の『効果がある』が59.4%と他年代より高い。

図表37. しまくとぅば検定



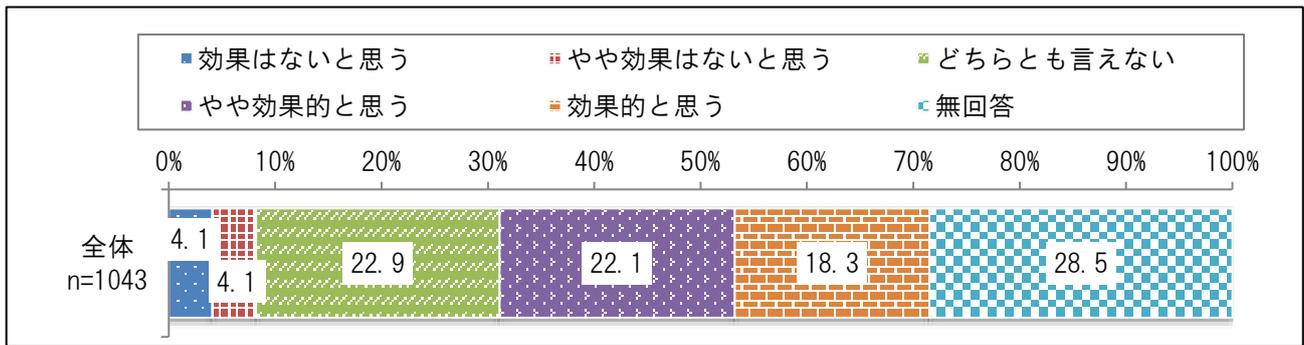
		(%)					
		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	6.0	4.6	19.5	27.3	20.4	22.2
	女性 n=603	3.2	3.3	20.1	27.7	23.7	22.1
	その他 n=2	-	-	-	-	50.0	50.0
年齢	10代 n=34	-	14.7	17.6	23.5	32.4	11.8
	20代 n=85	4.7	4.7	29.4	23.5	24.7	12.9
	30代 n=152	2.6	2.0	22.4	30.3	25.7	17.1
	40代 n=175	6.3	4.0	17.7	33.1	26.3	12.6
	50代 n=196	3.1	2.6	16.8	34.2	22.4	20.9
	60代 n=215	3.3	5.1	22.3	22.3	19.1	27.9
	70歳以上 n=171	7.0	2.9	16.4	22.8	15.2	35.7
地域別	北部 n=145	4.1	3.4	25.5	27.6	19.3	20.0
	中部 n=300	3.7	2.7	21.7	28.3	23.7	20.0
	南部 n=422	4.5	4.5	15.9	29.4	23.7	22.0
	宮古 n=30	10.0	3.3	26.7	13.3	20.0	26.7
	八重山 n=62	1.6	4.8	21.0	30.6	17.7	24.2
	その他の離島 n=67	6.0	4.5	20.9	20.9	17.9	29.9

⑨ 「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)は『効果がある』(「やや効果的」+「効果的」)の割合が40.4%である。

年代別では、10代の『効果がある』は50.0%と他年代より高い。

図表38. 「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	5.7	4.6	24.8	20.6	16.3	28.0
	女性 n=603	3.0	3.8	21.7	23.2	19.9	28.4
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	-	5.9	29.4	23.5	26.5	14.7
	20代 n=85	4.7	5.9	29.4	18.8	27.1	14.1
	30代 n=152	4.6	5.9	23.0	22.4	23.0	21.1
	40代 n=175	8.0	3.4	23.4	26.3	21.1	17.7
	50代 n=196	1.0	3.1	20.9	26.0	19.9	29.1
	60代 n=215	3.3	2.8	26.0	20.9	10.2	36.7
	70歳以上 n=171	4.1	5.3	18.1	17.0	11.7	43.9
地域別	北部 n=145	3.4	4.8	22.1	22.8	18.6	28.3
	中部 n=300	4.3	3.0	23.3	22.7	21.3	25.3
	南部 n=422	4.0	4.7	23.5	23.2	15.4	29.1
	宮古 n=30	3.3	3.3	33.3	16.7	13.3	30.0
	八重山 n=62	1.6	3.2	24.2	24.2	19.4	27.4
	その他の離島 n=67	6.0	3.0	19.4	14.9	19.4	37.3

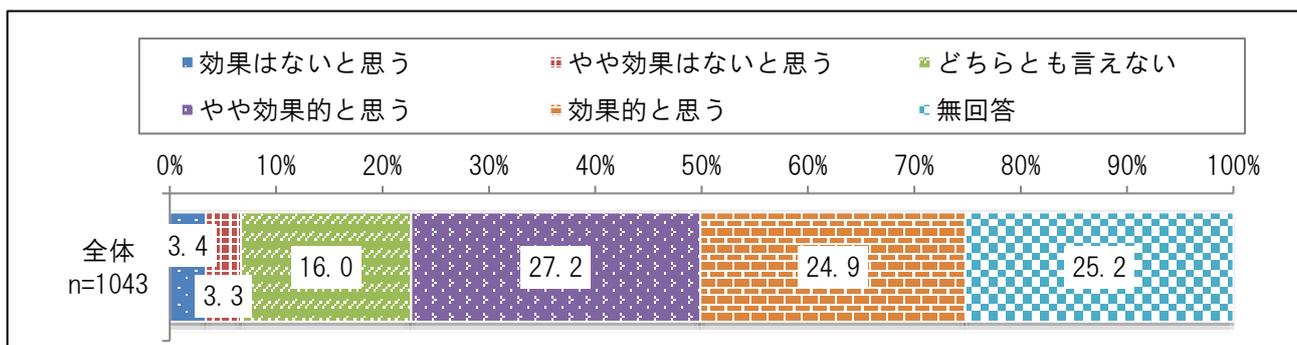
2. 調査結果の詳細

⑩ しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は『効果がある』(「やや効果的と思う」+「効果的と思う」)の割合が52.1%である。

年代では、40代の『効果がある』が60.6%と6割を超えている。

図表39. しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布



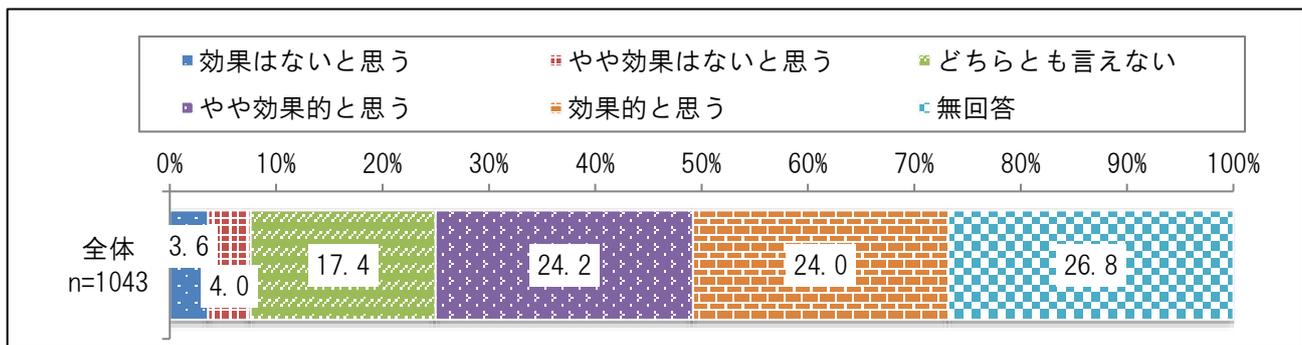
		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	5.3	3.7	17.0	25.0	23.4	25.7
	女性 n=603	2.0	3.0	15.4	29.0	26.2	24.4
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	-	11.8	20.6	32.4	20.6	14.7
	20代 n=85	4.7	4.7	16.5	31.8	27.1	15.3
	30代 n=152	2.0	3.3	16.4	27.6	31.6	19.1
	40代 n=175	7.4	1.7	14.9	32.0	28.6	15.4
	50代 n=196	1.5	3.6	16.3	27.6	25.5	25.5
	60代 n=215	1.4	3.7	18.1	27.4	18.1	31.2
	70歳以上 n=171	4.7	1.8	12.9	20.5	21.1	39.2
地域別	北部 n=145	2.1	3.4	19.3	25.5	24.8	24.8
	中部 n=300	3.3	2.7	15.0	29.0	27.3	22.7
	南部 n=422	4.0	3.8	15.4	29.1	22.0	25.6
	宮古 n=30	3.3	3.3	20.0	20.0	26.7	26.7
	八重山 n=62	1.6	1.6	19.4	29.0	25.8	22.6
	その他の離島 n=67	3.0	3.0	11.9	17.9	28.4	35.8

⑪ しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は『効果がある』(「やや効果的と思う」+「効果的と思う」)の割合が48.2%である。

年代別では、40代の『効果がある』が、58.3%と他年代より高い。

図表40. しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	5.0	6.0	17.4	22.2	23.2	26.1
	女性 n=603	2.7	2.7	17.4	25.7	24.7	26.9
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	-	8.8	29.4	20.6	26.5	14.7
	20代 n=85	4.7	4.7	20.0	27.1	27.1	16.5
	30代 n=152	2.6	4.6	21.7	22.4	29.6	19.1
	40代 n=175	7.4	3.4	15.4	30.9	27.4	15.4
	50代 n=196	1.0	4.6	16.8	28.6	21.9	27.0
	60代 n=215	2.8	4.2	17.7	21.9	18.6	34.9
	70歳以上 n=171	4.7	2.3	12.9	17.5	21.6	40.9
地域別	北部 n=145	2.8	4.1	20.0	23.4	22.8	26.9
	中部 n=300	3.3	4.0	18.0	23.7	27.7	23.3
	南部 n=422	4.0	4.7	16.4	26.3	21.3	27.3
	宮古 n=30	3.3	3.3	26.7	20.0	20.0	26.7
	八重山 n=62	1.6	1.6	21.0	22.6	25.8	27.4
	その他の離島 n=67	6.0	1.5	10.4	20.9	25.4	35.8

2. 調査結果の詳細

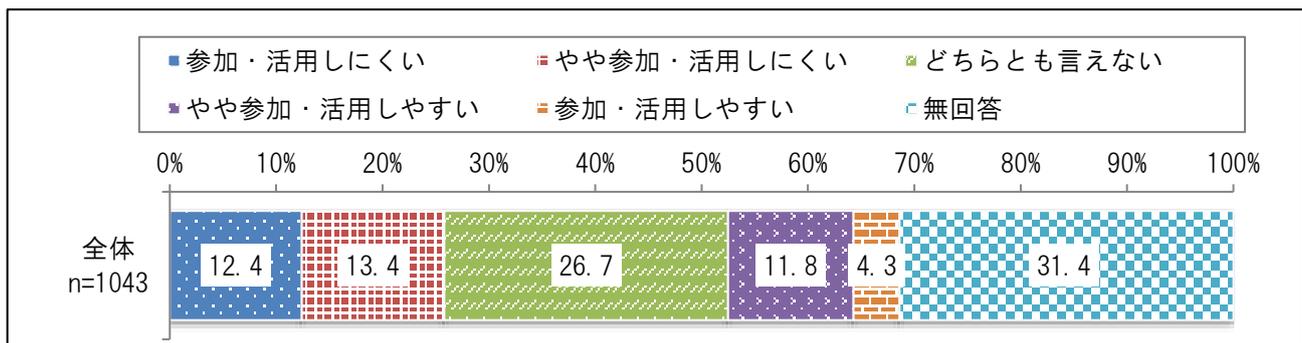
[2] 問 18-2.取組みの参加・活用のしやすさ

① しまくとぅば県民大会（イベント）

しまくとぅば県民大会（イベント）は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」）の割合が16.1%である。

年代別では、40代の『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」）が、24.0%と他年代より高い。

図表41. しまくとぅば県民大会（イベント）



(%)

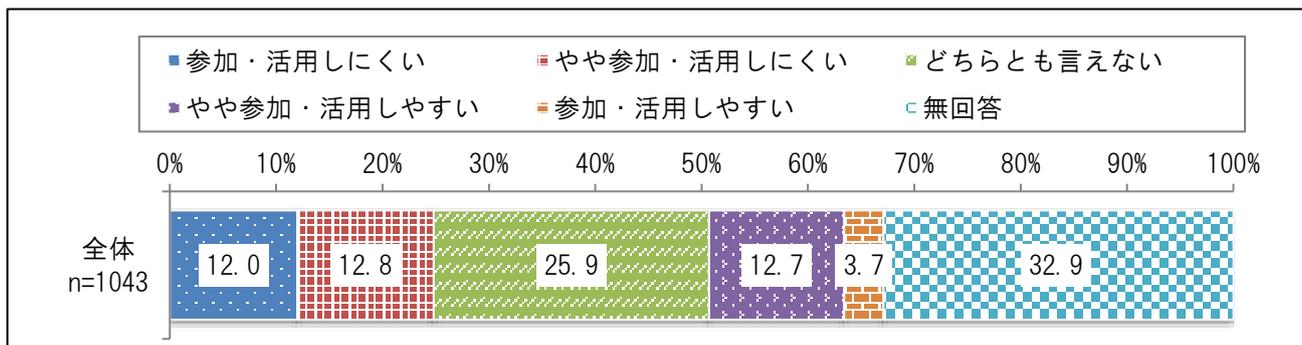
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	16.3	12.4	25.9	10.1	4.6	30.7
	女性 n=603	9.5	14.3	27.5	13.1	4.1	31.5
	その他 n=2	50.0	-	-	-	-	50.0
年齢	10代 n=34	2.9	35.3	35.3	8.8	2.9	14.7
	20代 n=85	12.9	24.7	23.5	14.1	4.7	20.0
	30代 n=152	18.4	16.4	23.0	11.2	4.6	26.3
	40代 n=175	14.9	16.6	27.4	18.3	5.7	17.1
	50代 n=196	13.3	10.7	31.6	10.7	3.1	30.6
	60代 n=215	11.2	8.8	29.3	9.3	4.7	36.7
	70歳以上 n=171	7.6	7.0	20.5	9.9	3.5	51.5
地域別	北部 n=145	11.7	14.5	24.1	13.1	2.8	33.8
	中部 n=300	13.7	14.7	27.7	11.3	4.3	28.3
	南部 n=422	13.0	12.6	30.3	10.9	4.5	28.7
	宮古 n=30	6.7	10.0	20.0	20.0	6.7	36.7
	八重山 n=62	14.5	11.3	19.4	12.9	4.8	37.1
	その他の離島 n=67	7.5	16.4	16.4	11.9	4.5	43.3

② しまくとぅば語やびら大会（イベント）

しまくとぅば語やびら大会（イベント）は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい+「参加・活用しやすい」）の割合が16.4%である。

地域別では、宮古の『参加・活用のしやすさ』が、23.4%と他地域より高い。

図表42. しまくとぅば語やびら大会（イベント）



(%)

		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	16.1	11.2	24.3	11.5	4.1	32.8
	女性 n=603	9.1	14.1	27.2	13.6	3.5	32.5
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	5.9	29.4	29.4	17.6	2.9	14.7
	20代 n=85	11.8	27.1	25.9	12.9	2.4	20.0
	30代 n=152	18.4	13.8	22.4	12.5	3.9	28.9
	40代 n=175	14.9	14.3	31.4	14.9	4.6	20.0
	50代 n=196	12.2	10.2	32.1	11.2	4.1	30.1
	60代 n=215	10.7	9.8	24.2	12.1	3.7	39.5
	70歳以上 n=171	7.0	7.6	18.1	12.3	2.9	52.0
地域別	北部 n=145	11.0	15.9	22.8	14.5	2.1	33.8
	中部 n=300	13.7	13.0	27.0	13.0	3.7	29.7
	南部 n=422	12.6	11.8	29.1	10.9	3.8	31.8
	宮古 n=30	6.7	10.0	20.0	16.7	6.7	40.0
	八重山 n=62	9.7	12.9	21.0	14.5	6.5	35.5
	その他の離島 n=67	10.4	11.9	16.4	16.4	3.0	41.8

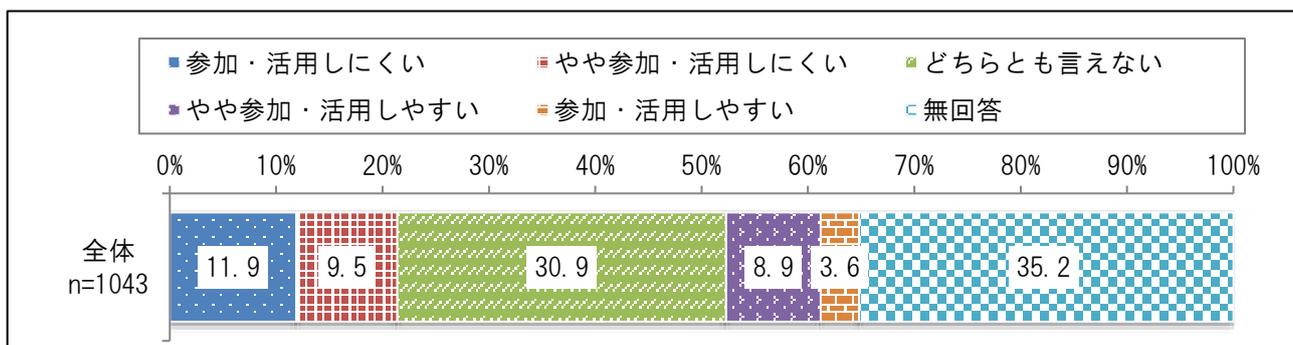
2. 調査結果の詳細

③ しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が12.5%である。

地域別では、八重山の『参加・活用のしやすさ』が、17.7%と他地域より高い。

図表43. しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度



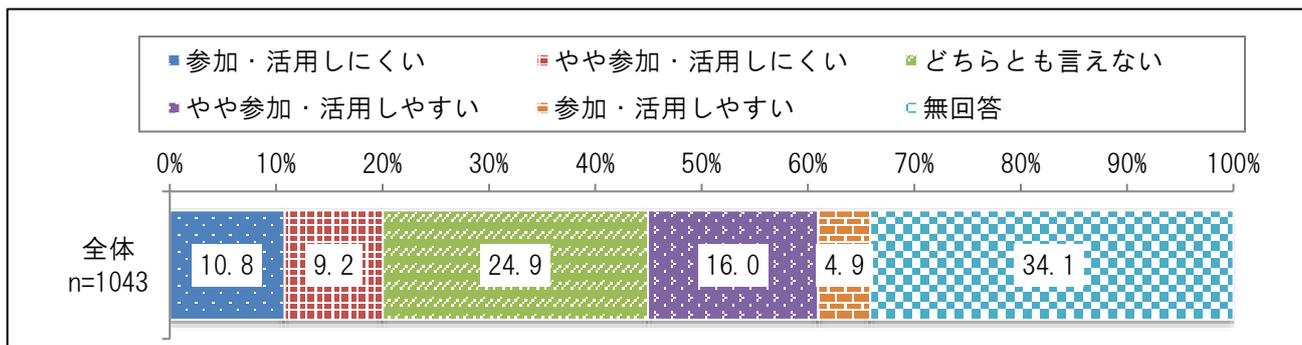
		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	14.9	9.6	28.7	7.8	3.4	35.6
	女性 n=603	9.8	9.5	32.7	9.8	3.8	34.5
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	23.5	38.2	14.7	2.9	17.6
	20代 n=85	18.8	14.1	34.1	11.8	2.4	18.8
	30代 n=152	15.8	11.2	28.9	9.9	4.6	29.6
	40代 n=175	17.7	12.6	39.4	6.9	2.9	20.6
	50代 n=196	10.7	7.7	36.7	10.2	2.6	32.1
	60代 n=215	9.8	6.5	27.9	8.4	4.2	43.3
	70歳以上 n=171	5.8	6.4	19.9	5.8	4.7	57.3
地域別	北部 n=145	11.7	12.4	27.6	6.9	3.4	37.9
	中部 n=300	14.0	8.0	34.0	9.0	3.7	31.3
	南部 n=422	10.9	9.5	32.7	9.5	3.3	34.1
	宮古 n=30	6.7	10.0	33.3	6.7	3.3	40.0
	八重山 n=62	12.9	12.9	16.1	12.9	4.8	40.3
	その他の離島 n=67	13.4	6.0	29.9	6.0	3.0	41.8

④ しまくとぅば講師養成講座

しまくとぅば講師養成講座は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が20.9%である。

年代別では、10代の『参加・活用のしやすさ』が、32.4%と他年代より高い。

図表44. しまくとぅば講師養成講座



(%)

		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	13.8	9.9	21.3	16.5	3.9	34.6
	女性 n=603	8.6	8.8	27.7	15.8	5.6	33.5
	その他 n=2	50.0	-	-	-	-	50.0
年齢	10代 n=34	2.9	20.6	29.4	26.5	5.9	14.7
	20代 n=85	16.5	15.3	30.6	14.1	4.7	18.8
	30代 n=152	15.1	9.2	23.7	17.1	5.3	29.6
	40代 n=175	13.7	11.4	29.7	20.6	5.7	18.9
	50代 n=196	10.7	8.2	25.5	19.4	5.6	30.6
	60代 n=215	8.8	6.5	26.5	11.6	3.7	42.8
	70歳以上 n=171	6.4	7.0	15.8	11.7	3.5	55.6
地域別	北部 n=145	10.3	9.7	26.9	15.9	2.8	34.5
	中部 n=300	11.3	9.7	27.0	16.3	5.3	30.3
	南部 n=422	11.4	8.5	25.6	16.4	5.5	32.7
	宮古 n=30	6.7	10.0	16.7	23.3	3.3	40.0
	八重山 n=62	9.7	9.7	21.0	14.5	3.2	41.9
	その他の離島 n=67	11.9	10.4	16.4	11.9	4.5	44.8

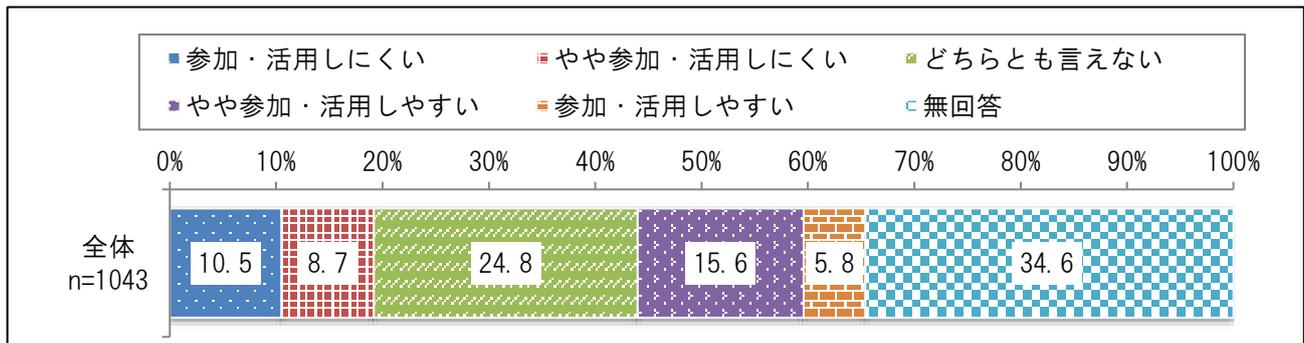
2. 調査結果の詳細

⑤ しまくとぅば講師の派遣

しまくとぅば講師の派遣は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が21.4%である。

年代別では、20代の『参加・活用のしやすさ』が、28.2%と他年代より高い。

図表45. しまくとぅば講師の派遣



(%)

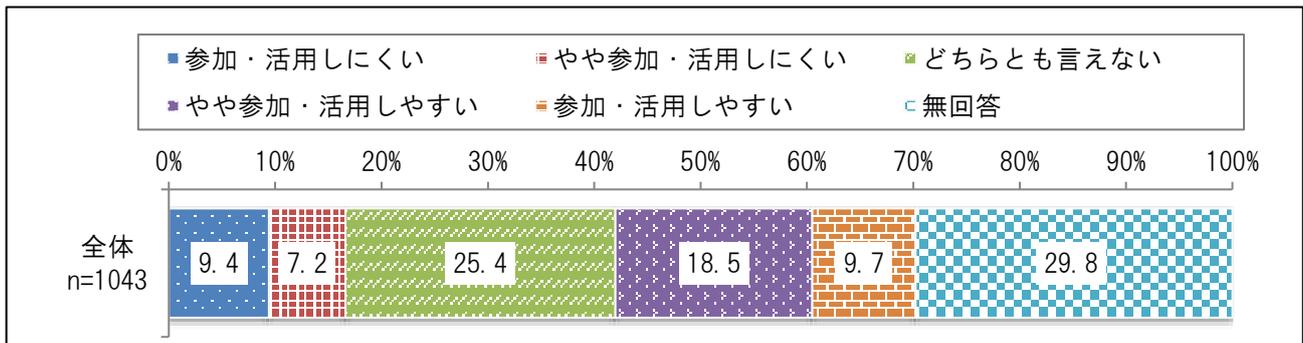
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	13.3	8.3	22.7	15.6	5.0	35.1
	女性 n=603	8.5	9.1	26.5	15.8	6.3	33.8
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	23.5	32.4	17.6	8.8	14.7
	20代 n=85	16.5	12.9	24.7	23.5	4.7	17.6
	30代 n=152	14.5	7.2	28.3	13.2	7.2	29.6
	40代 n=175	13.7	12.6	25.7	19.4	7.4	21.1
	50代 n=196	9.2	8.7	24.0	19.9	6.6	31.6
	60代 n=215	8.8	6.5	27.4	11.2	3.3	42.8
	70歳以上 n=171	6.4	4.7	18.1	10.5	4.7	55.6
地域別	北部 n=145	9.7	10.3	24.8	15.9	3.4	35.9
	中部 n=300	12.3	9.0	26.0	14.7	7.3	30.7
	南部 n=422	10.4	8.3	26.5	14.7	6.4	33.6
	宮古 n=30	6.7	6.7	23.3	20.0	-	43.3
	八重山 n=62	9.7	11.3	17.7	21.0	3.2	37.1
	その他の離島 n=67	9.0	6.0	16.4	19.4	4.5	44.8

⑥ しまくとぅば検定

しまくとぅば検定は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」）の割合が28.2%である。

年代別では、10代の『参加・活用のしやすさ』が、47.1%と他年代より高い。

図表46. しまくとぅば検定



(%)

		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	11.0	6.7	24.5	16.7	9.9	31.2
	女性 n=603	8.3	7.6	26.0	19.9	9.6	28.5
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	11.8	26.5	26.5	20.6	11.8
	20代 n=85	11.8	9.4	22.4	28.2	11.8	16.5
	30代 n=152	9.9	5.9	25.0	17.8	14.5	27.0
	40代 n=175	12.0	6.3	26.9	24.6	13.7	16.6
	50代 n=196	9.2	5.6	28.6	20.4	11.2	25.0
	60代 n=215	9.8	8.4	27.4	14.4	3.7	36.3
	70歳以上 n=171	7.0	8.2	21.1	10.5	3.5	49.7
地域別	北部 n=145	11.0	9.7	25.5	18.6	4.8	30.3
	中部 n=300	8.3	7.7	27.0	20.0	11.3	25.7
	南部 n=422	10.0	6.4	26.5	17.3	11.1	28.7
	宮古 n=30	16.7	6.7	20.0	16.7	6.7	33.3
	八重山 n=62	6.5	11.3	21.0	19.4	6.5	35.5
	その他の離島 n=67	9.0	1.5	20.9	20.9	7.5	40.3

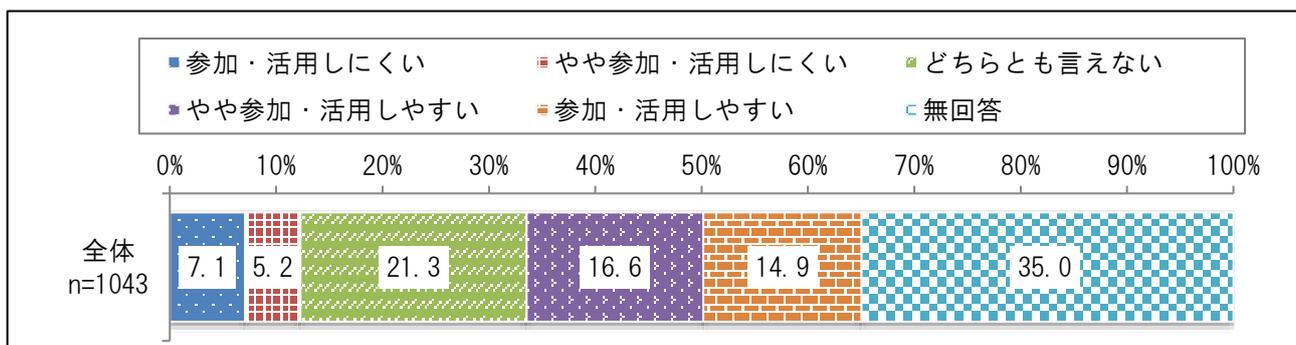
2. 調査結果の詳細

⑦ 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)は『参加・活用のしやすさ』(「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」)の割合が31.5%である。

年代別では、20代の『参加・活用のしやすさ』が44.7%と他年代より高い。

図表47. 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)



(%)

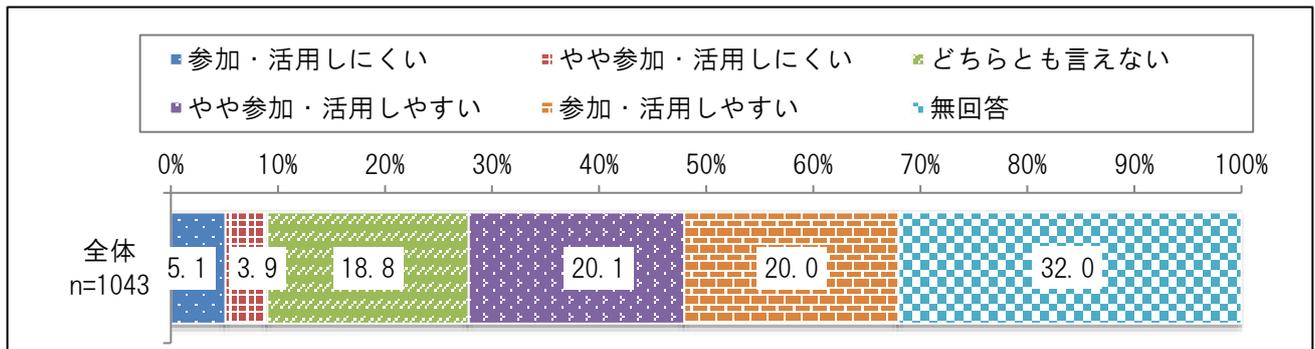
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	9.2	5.5	20.0	18.1	11.5	35.8
	女性 n=603	5.6	5.0	22.4	15.6	17.4	34.0
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	8.8	29.4	14.7	29.4	14.7
	20代 n=85	11.8	5.9	17.6	21.2	23.5	20.0
	30代 n=152	7.2	3.9	17.1	16.4	25.0	30.3
	40代 n=175	8.6	5.1	26.3	19.4	20.0	20.6
	50代 n=196	5.1	5.1	19.9	21.9	16.8	31.1
	60代 n=215	7.9	5.6	24.7	13.0	5.6	43.3
	70歳以上 n=171	5.8	5.3	19.3	9.9	2.9	56.7
地域別	北部 n=145	8.3	5.5	22.1	18.6	9.7	35.9
	中部 n=300	6.3	6.0	18.0	16.3	21.3	32.0
	南部 n=422	8.1	4.7	24.2	15.2	13.7	34.1
	宮古 n=30	6.7	3.3	23.3	26.7	3.3	36.7
	八重山 n=62	3.2	9.7	19.4	21.0	9.7	37.1
	その他の離島 n=67	7.5	1.5	19.4	11.9	14.9	44.8

⑧ しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は『参加・活用のしやすさ』(「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」)の割合が40.1%である。

年代別では、40代の『参加・活用しやすさ』が53.1%で他年代より高い。

図表48. しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布



(%)

		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	6.7	3.7	18.6	19.0	18.8	33.3
	女性 n=603	4.0	4.1	19.1	21.1	21.1	30.7
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	14.7	17.6	26.5	23.5	14.7
	20代 n=85	10.6	4.7	17.6	23.5	24.7	18.8
	30代 n=152	3.9	2.0	17.8	19.1	28.9	28.3
	40代 n=175	8.0	2.9	18.3	27.4	25.7	17.7
	50代 n=196	4.6	3.6	20.4	19.9	23.0	28.6
	60代 n=215	3.7	6.5	22.8	16.7	12.1	38.1
	70歳以上 n=171	3.5	1.8	15.2	16.4	9.9	53.2
地域別	北部 n=145	4.1	4.1	22.1	21.4	15.2	33.1
	中部 n=300	5.3	3.3	21.3	16.7	24.3	29.0
	南部 n=422	5.9	5.0	16.8	22.3	19.4	30.6
	宮古 n=30	3.3	-	23.3	16.7	23.3	33.3
	八重山 n=62	3.2	4.8	14.5	25.8	17.7	33.9
	その他の離島 n=67	4.5	1.5	16.4	16.4	16.4	44.8

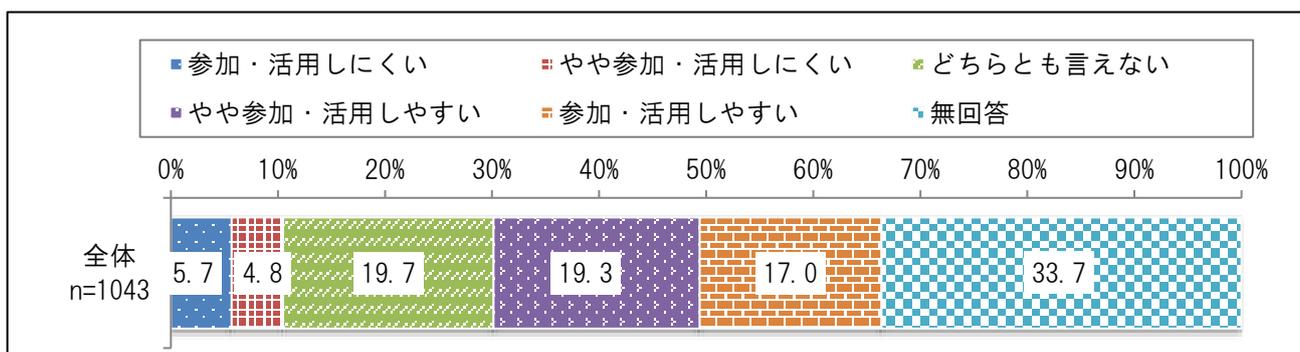
2. 調査結果の詳細

⑨ しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は『参加・活用のしやすさ』(「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」)の割合が36.3%である。

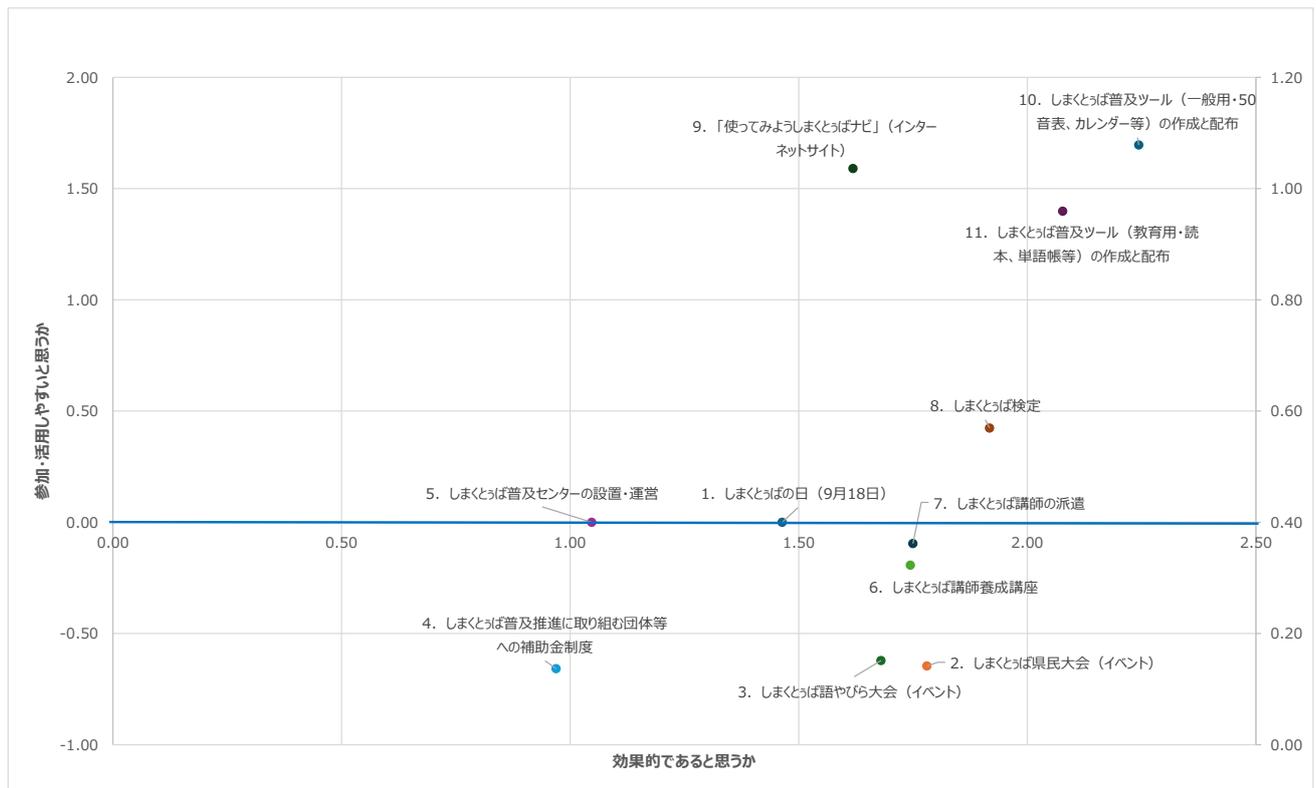
年代別では、10代の『参加・活用しやすさ』が52.9%と他年代より高い。

図表49. しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布



		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	7.1	4.4	19.3	20.2	15.1	33.9
	女性 n=603	4.6	5.1	20.1	18.7	18.4	33.0
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	5.9	11.8	14.7	35.3	17.6	14.7
	20代 n=85	11.8	2.4	18.8	25.9	22.4	18.8
	30代 n=152	4.6	5.3	21.1	17.8	23.0	28.3
	40代 n=175	8.6	2.9	22.3	24.0	22.9	19.4
	50代 n=196	4.1	5.1	21.4	20.9	18.9	29.6
	60代 n=215	5.1	6.5	20.9	14.4	10.2	42.8
	70歳以上 n=171	3.5	4.1	15.2	14.6	8.2	54.4
地域別	北部 n=145	4.8	5.5	18.6	22.1	13.1	35.9
	中部 n=300	6.0	4.7	21.0	17.7	21.0	29.7
	南部 n=422	6.6	5.0	20.6	19.7	15.6	32.5
	宮古 n=30	3.3	3.3	23.3	20.0	13.3	36.7
	八重山 n=62	3.2	6.5	17.7	17.7	17.7	37.1
	その他の離島 n=67	4.5	3.0	13.4	19.4	14.9	44.8

問 18. 「効果度」「参加・活用のしやすさ」についてのポジショニング分析



※本図は、以下の11項目について、「効果度」と「参加・活用のしやすさ」の2軸で5段階評価によるアンケート結果を集計し、平均値をもとにポジショニング分析を行ったものである。

【評価対象の取組】1. しまくとぅばの日 (9月18日)、2. しまくとぅば県民大会 (イベント)、3. しまくとぅば語やびら大会 (イベント)、4. しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度、5. しまくとぅば普及センターの設置・運営、6. しまくとぅば講師養成講座、7. しまくとぅば講師の派遣、8. しまくとぅば検定、9. 「使ってみようしまくとぅばナビ」(インターネットサイト)、10. しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布、11. しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

※なお、1. しまくとぅばの日 (9月18日) および 5. しまくとぅば普及センターの設置・運営については、「参加・活用のしやすさ」に関する設問は設けておらず、効果度のみを評価対象としている。

【スコア設定】

・効果度：

「効果的と思う」=+5、「やや効果的と思う」=+2.5、「どちらともいえない」=0、

「やや効果はないと思う」=-2.5、「効果はないと思う」=-5

2. 調査結果の詳細

・参加・活用のしやすさ：

「参加・活用しやすい」=+5、「やや参加・活用しやすい」=+2.5、「どちらともいえない」=0、
「やや参加・活用しにくい」=-2.5、「参加・活用しにくい」=-5

【グラフの読み方】

縦軸は「参加・活用のしやすさ」、上に行くほどしやすいと感じられている取組、
横軸は「効果度」、右に行くほど効果があると認識されている取組を示している。

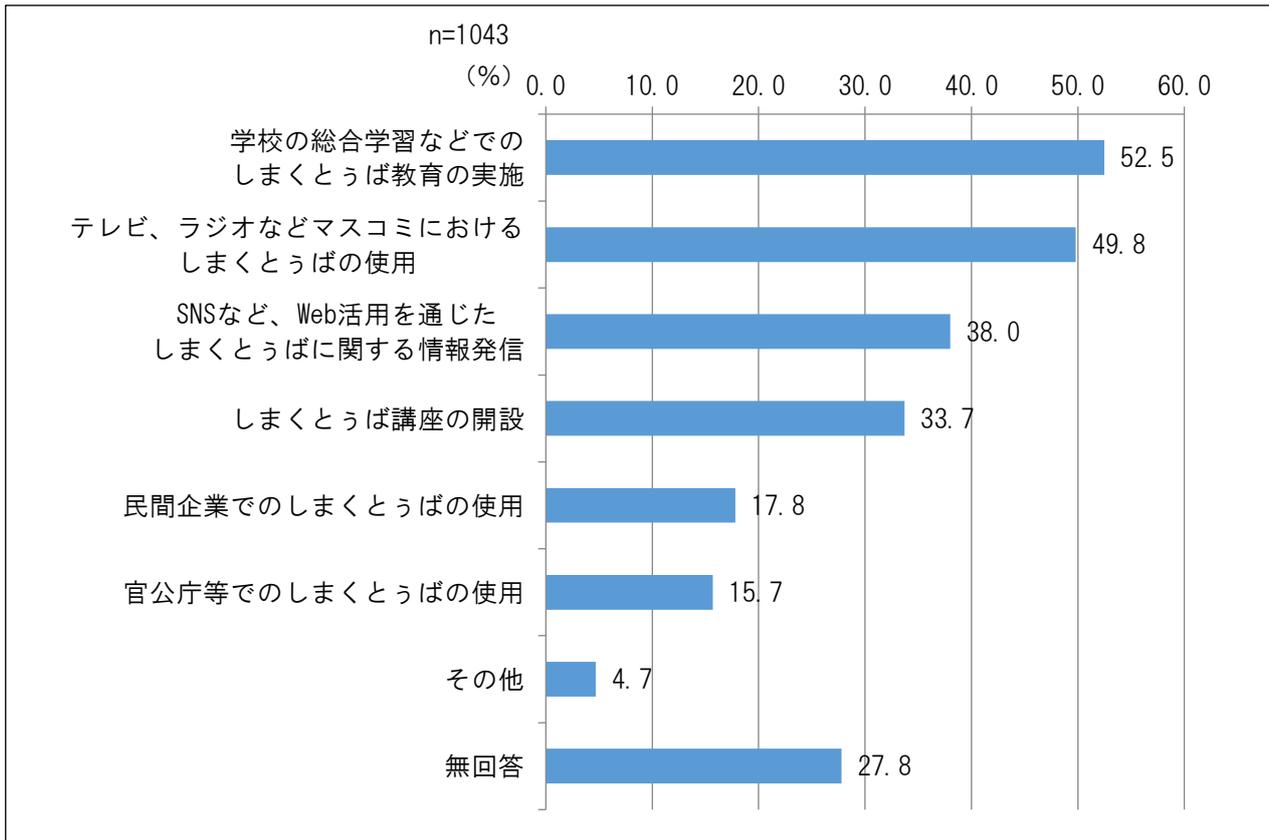
「10. しまくとうば普及ツール（一般用・50音表、カレンダー等）の作成と配布」および「11. しまくとうば普及ツール（教育用・読本、単語帳等）の作成と配布」は、「効果度」「参加・活用のしやすさ」のいずれにおいても高いスコアを示した。一方で、「4. しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」は、両指標ともに最もスコアが低く、相対的に評価が伸び悩む結果となった。

(25) 問 19.今後、普及継承していくための取組で「すべきと思うもの」をお答えください。

(○はいくつでも)

すべきと思う取組は「学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施」が52.5%で最も高く、次いで「テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用」が49.8%、「SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信」が38.0%である。

図表50. 普及継承・各取組について



(%)

		学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施	しまくとうば講座の開設	官公庁等でのしまくとうばの使用	民間企業でのしまくとうばの使用	テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用	SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信	その他	無回答
性別	男性 n=436	49.3	30.3	17.7	19.7	48.2	34.2	7.1	29.6
	女性 n=603	54.9	36.2	14.4	16.6	50.7	40.8	3.0	26.5
	その他 n=2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0
年齢	10代 n=34	61.8	52.9	5.9	11.8	58.8	64.7	2.9	11.8
	20代 n=85	64.7	35.3	17.6	27.1	56.5	56.5	3.5	11.8
	30代 n=152	61.2	34.2	19.1	25.7	53.9	52.0	4.6	19.7
	40代 n=175	61.7	29.1	12.6	14.3	51.4	45.1	4.6	20.6
	50代 n=196	58.2	39.3	16.3	16.8	55.1	42.3	3.1	21.4
	60代 n=215	41.9	31.6	15.8	13.5	48.4	22.8	4.2	35.8
	70歳以上 n=171	35.1	29.8	15.8	16.4	36.8	18.1	7.6	49.1
地域別	北部 n=145	48.3	32.4	12.4	17.2	53.1	34.5	5.5	31.0
	中部 n=300	53.3	33.0	15.0	16.0	49.3	39.7	5.3	26.3
	南部 n=422	52.8	33.9	17.3	19.2	51.4	40.3	3.3	26.1
	宮古 n=30	63.3	36.7	23.3	20.0	30.0	23.3	3.3	36.7
	八重山 n=62	46.8	35.5	17.7	17.7	43.5	30.6	9.7	32.3
	その他の離島 n=67	56.7	34.3	10.4	16.4	50.7	35.8	3.0	26.9

2. 調査結果の詳細

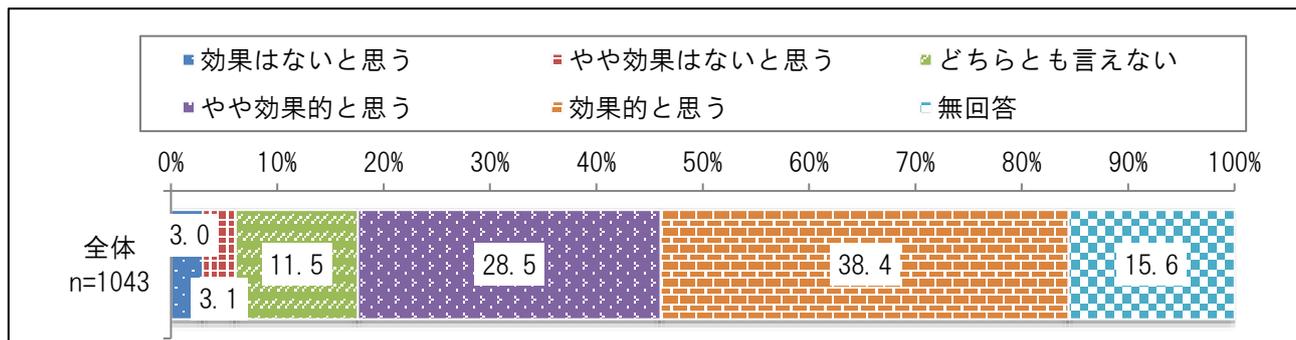
[1] 問 19-1.普及継承していくための各取組の効果度

① 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施

学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施は『効果がある』（「やや効果的と思う」＋「効果的と思う」）の割合が66.9%である。

年代別では、20代で「効果的と思う」が5割を超える。

図表51. 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施



(%)

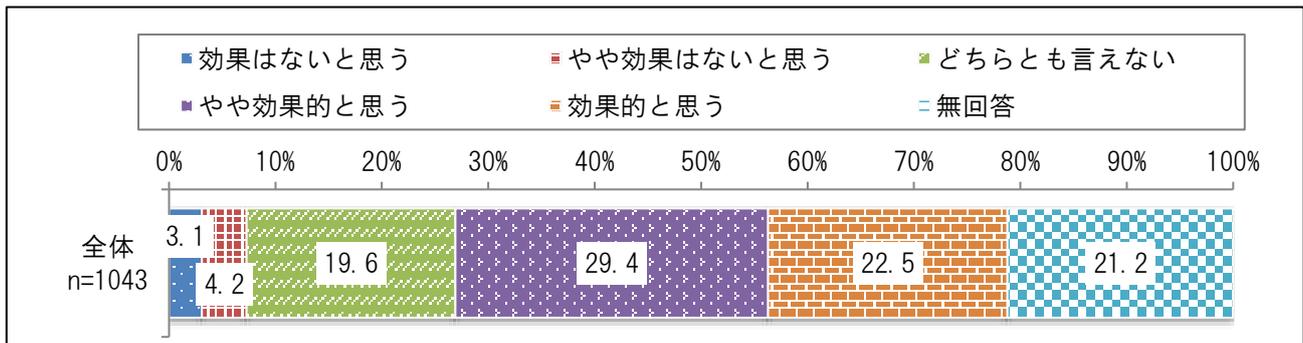
		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	4.6	2.8	13.3	25.2	38.3	15.8
	女性 n=603	1.8	3.3	10.3	31.0	38.3	15.3
	その他 n=2	-	-	-	-	50.0	50.0
年齢	10代 n=34	-	-	17.6	38.2	38.2	5.9
	20代 n=85	1.2	4.7	5.9	25.9	54.1	8.2
	30代 n=152	1.3	5.3	10.5	27.0	46.1	9.9
	40代 n=175	4.6	2.3	10.9	28.6	46.3	7.4
	50代 n=196	2.6	3.1	8.7	35.7	36.7	13.3
	60代 n=215	3.7	2.8	14.9	29.3	27.4	21.9
	70歳以上 n=171	3.5	2.3	14.6	21.1	29.8	28.7
地域別	北部 n=145	2.1	3.4	12.4	29.7	35.2	17.2
	中部 n=300	3.3	3.0	11.7	25.7	41.7	14.7
	南部 n=422	2.4	3.8	12.8	28.0	38.4	14.7
	宮古 n=30	3.3	-	6.7	36.7	36.7	16.7
	八重山 n=62	4.8	-	8.1	32.3	33.9	21.0
	その他の離島 n=67	4.5	3.0	9.0	35.8	34.3	13.4

② しまくとぅば講座の開設

しまくとぅば講座の開設は『効果がある』（「やや効果的と思う」+「効果的と思う」）の割合が51.9%である。

年代別では、10代と20代で『効果がある』が、58.8%で同数となっている。

図表52. しまくとぅば講座の開設



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	4.1	6.2	19.3	25.7	22.5	22.2
	女性 n=603	2.3	2.8	19.9	32.2	22.6	20.2
	その他 n=2	-	-	-	-	50.0	50.0
年齢	10代 n=34	-	5.9	26.5	29.4	29.4	8.8
	20代 n=85	1.2	4.7	20.0	30.6	28.2	15.3
	30代 n=152	3.3	7.9	23.7	26.3	23.0	15.8
	40代 n=175	6.3	4.6	19.4	33.7	22.9	13.1
	50代 n=196	2.6	2.6	17.9	32.7	24.0	20.4
	60代 n=215	1.9	2.3	20.9	31.2	17.7	26.0
	70歳以上 n=171	2.9	4.1	16.4	21.6	22.2	32.7
地域別	北部 n=145	1.4	2.8	21.4	33.1	21.4	20.0
	中部 n=300	2.7	4.3	21.7	27.3	23.3	20.7
	南部 n=422	3.6	5.0	19.0	29.4	22.5	20.6
	宮古 n=30	-	10.0	16.7	23.3	30.0	20.0
	八重山 n=62	3.2	3.2	12.9	37.1	19.4	24.2
	その他の離島 n=67	6.0	-	22.4	25.4	22.4	23.9

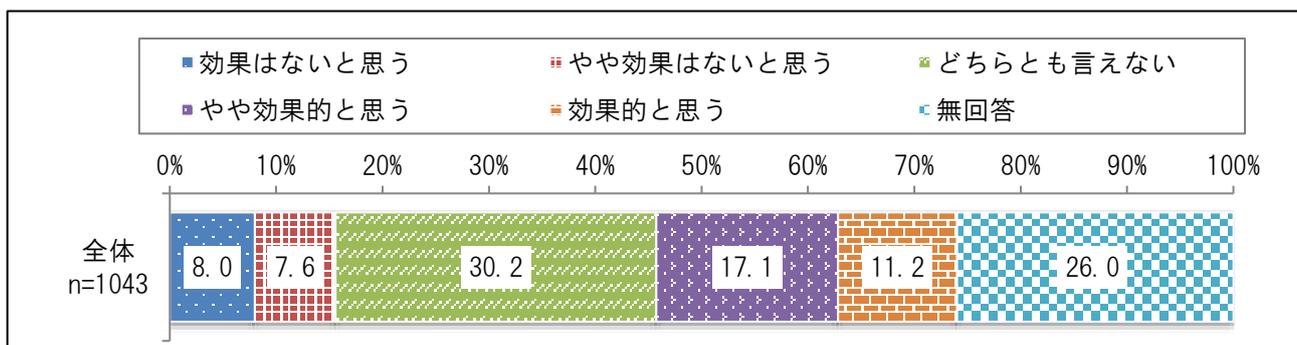
2. 調査結果の詳細

③ 官公庁等でのしまくとうばの使用

官公庁等でのしまくとうばの使用は『効果がある』（「やや効果的と思う」+「効果的と思う」）の割合が28.3%である。

地域別では、宮古の『効果がある』が40.0%で他地域より高い。

図表53. 官公庁等でのしまくとうばの使用



(%)

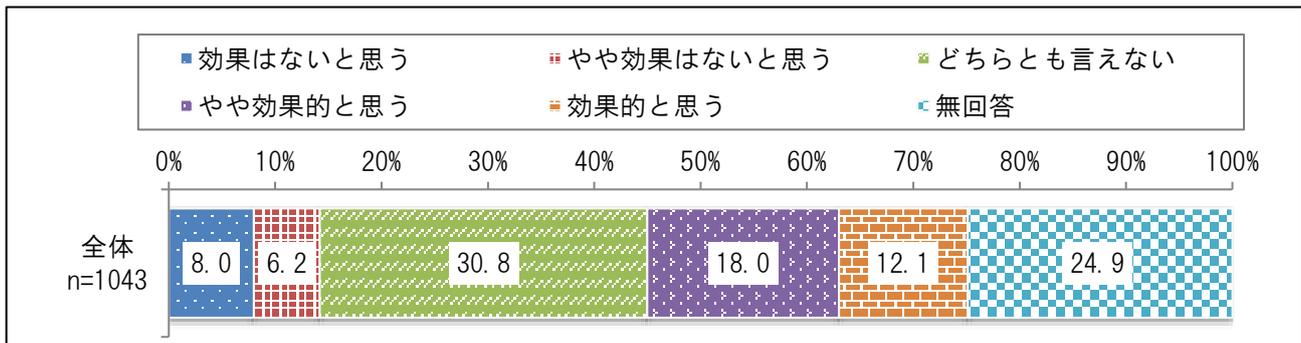
		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	10.6	8.9	28.9	14.9	11.0	25.7
	女性 n=603	6.1	6.6	31.3	18.7	11.4	25.7
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	8.8	50.0	11.8	14.7	11.8
	20代 n=85	4.7	7.1	25.9	31.8	8.2	22.4
	30代 n=152	9.2	12.5	30.3	15.8	15.1	17.1
	40代 n=175	10.9	10.3	34.9	17.1	9.7	17.1
	50代 n=196	9.2	8.7	32.1	14.8	12.2	23.0
	60代 n=215	7.4	2.3	32.6	17.7	7.9	32.1
	70歳以上 n=171	5.8	5.8	19.3	14.6	12.9	41.5
地域別	北部 n=145	5.5	5.5	33.8	16.6	10.3	28.3
	中部 n=300	8.7	7.7	35.3	15.3	10.3	22.7
	南部 n=422	8.8	9.0	27.7	17.3	11.4	25.8
	宮古 n=30	6.7	3.3	26.7	23.3	16.7	23.3
	八重山 n=62	9.7	4.8	29.0	17.7	11.3	27.4
	その他の離島 n=67	4.5	4.5	19.4	23.9	14.9	32.8

④ 民間企業でのしまくとぅばの使用

民間企業でのしまくとぅばの使用は『効果がある』（「やや効果的と思う」＋「効果的と思う」）の割合が30.1%である。

年代別では、20代の『効果がある』が45.8%で他年代より高い。

図表54. 民間企業でのしまくとぅばの使用



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	10.6	7.8	29.1	14.7	12.8	25.0
	女性 n=603	6.1	5.1	32.2	20.6	11.6	24.4
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	11.8	44.1	17.6	11.8	11.8
	20代 n=85	4.7	7.1	23.5	32.9	12.9	18.8
	30代 n=152	7.9	7.9	30.3	17.8	19.1	17.1
	40代 n=175	11.4	8.6	32.6	18.9	12.0	16.6
	50代 n=196	8.2	8.2	34.2	15.8	10.7	23.0
	60代 n=215	9.3	2.8	33.5	14.9	7.9	31.6
	70歳以上 n=171	4.7	3.5	24.6	17.0	11.1	39.2
地域別	北部 n=145	5.5	6.9	29.7	20.0	13.1	24.8
	中部 n=300	9.0	5.7	36.0	17.3	9.7	22.3
	南部 n=422	8.3	7.6	28.0	19.2	11.8	25.1
	宮古 n=30	3.3	3.3	36.7	16.7	16.7	23.3
	八重山 n=62	9.7	3.2	32.3	14.5	14.5	25.8
	その他の離島 n=67	4.5	3.0	25.4	16.4	17.9	32.8

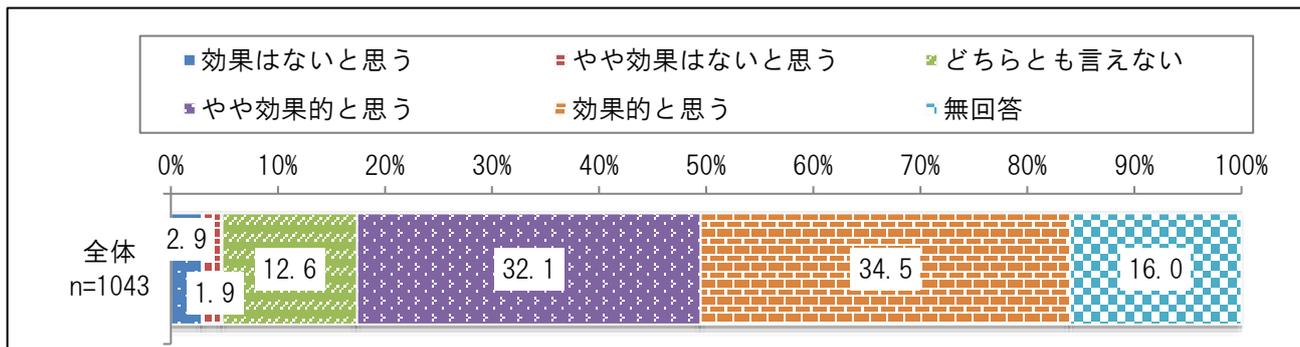
2. 調査結果の詳細

⑤ テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用

テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用は『効果がある』（「やや効果的と思う」+「効果的と思う」）の割合が66.6%である。

地域別では、北部とその他離島で『効果がある』がそれぞれ71.7%、71.6%と他地域より高い。

図表55. テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用



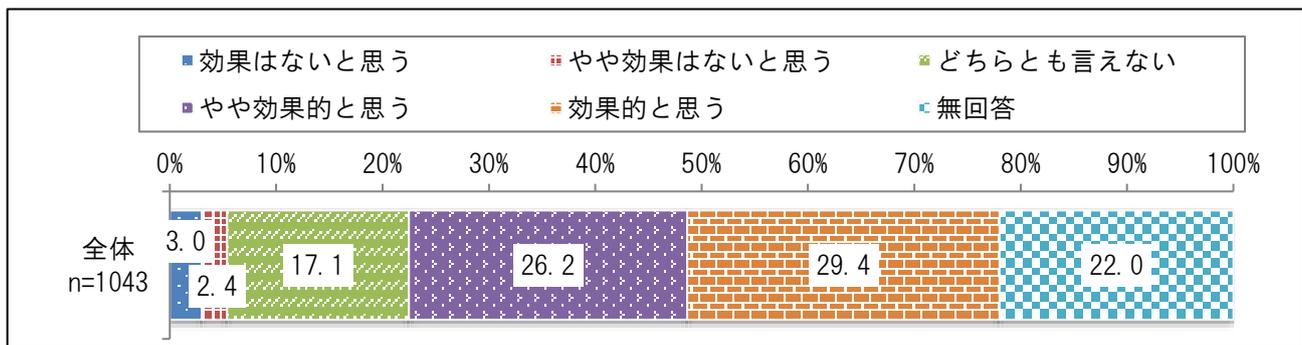
		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	3.4	3.0	12.4	31.2	33.9	16.1
	女性 n=603	2.5	1.2	12.8	32.8	34.8	15.9
	その他 n=2	-	-	-	-	50.0	50.0
年齢	10代 n=34	-	-	20.6	38.2	35.3	5.9
	20代 n=85	1.2	3.5	9.4	36.5	40.0	9.4
	30代 n=152	1.3	3.9	11.8	30.9	37.5	14.5
	40代 n=175	5.1	1.1	10.3	37.1	37.1	9.1
	50代 n=196	3.1	1.5	15.8	32.1	32.7	14.8
	60代 n=215	2.3	1.4	14.0	34.4	31.6	16.3
	70歳以上 n=171	3.5	1.8	9.9	22.8	32.7	29.2
地域別	北部 n=145	2.1	-	11.7	34.5	37.2	14.5
	中部 n=300	3.3	3.3	12.0	27.0	36.0	18.3
	南部 n=422	2.6	2.1	12.1	36.5	33.4	13.3
	宮古 n=30	3.3	3.3	16.7	23.3	26.7	26.7
	八重山 n=62	4.8	-	21.0	29.0	29.0	16.1
	その他の離島 n=67	1.5	-	9.0	31.3	40.3	17.9

⑥ SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信

SNS など Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信は『効果がある』（「やや効果的と思う」+「効果的と思う」）の割合が 55.6%である。

年代別では、10代、20代、40代で『効果がある』が7割を超える。

図表56. SNS など Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=436	3.7	3.9	18.3	24.3	27.5	22.2
	女性 n=603	2.5	1.3	16.3	27.7	30.8	21.4
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	-	2.9	14.7	38.2	38.2	5.9
	20代 n=85	1.2	2.4	8.2	35.3	42.4	10.6
	30代 n=152	2.6	2.6	19.1	25.7	36.8	13.2
	40代 n=175	2.9	1.7	12.6	33.7	38.3	10.9
	50代 n=196	2.0	1.5	16.8	30.6	29.1	19.9
	60代 n=215	4.2	2.3	20.9	23.7	19.1	29.8
	70歳以上 n=171	4.1	4.1	20.5	11.1	19.9	40.4
地域別	北部 n=145	3.4	1.4	13.8	30.3	29.0	22.1
	中部 n=300	3.0	1.7	17.7	23.0	35.3	19.3
	南部 n=422	2.1	3.8	17.1	28.0	27.0	22.0
	宮古 n=30	3.3	3.3	20.0	23.3	26.7	23.3
	八重山 n=62	4.8	1.6	19.4	22.6	27.4	24.2
	その他の離島 n=67	4.5	-	17.9	25.4	25.4	26.9

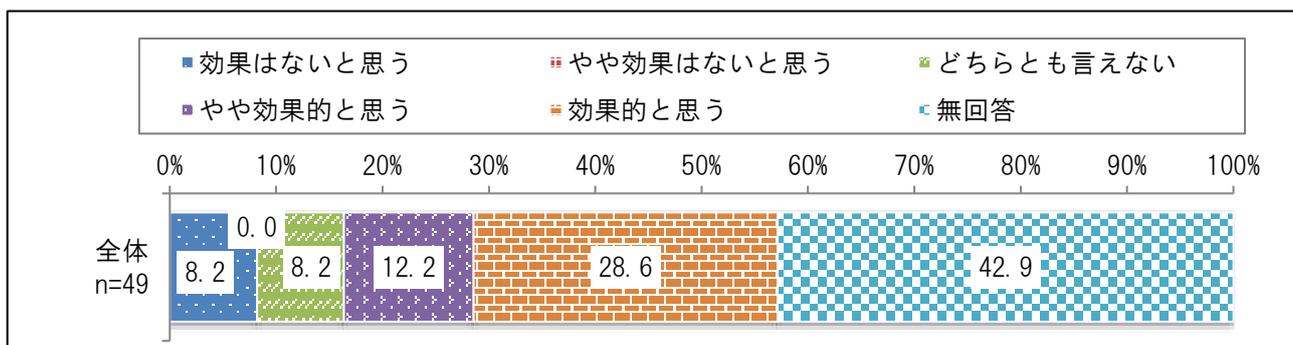
2. 調査結果の詳細

⑦ その他

(その他を記載した人のみ)

自由回答で「その他にすべきと思うもの」の回答は49件だった。その回答に対する『効果がある』(「やや効果的と思う」+「効果的と思う」)の割合は40.8%である。

図表57. その他



(%)

		効果はないと思う	やや効果はないと思う	どちらとも言えない	やや効果的と思う	効果的と思う	無回答
性別	男性 n=31	12.9	-	6.5	9.7	35.5	35.5
	女性 n=18	-	-	11.1	16.7	16.7	55.6
	その他 n=-	-	-	-	-	-	-
年齢	10代 n=1	-	-	-	-	100.0	-
	20代 n=3	33.3	-	33.3	33.3	-	-
	30代 n=7	-	-	28.6	14.3	14.3	42.9
	40代 n=8	-	-	12.5	25.0	62.5	-
	50代 n=6	-	-	-	-	33.3	66.7
	60代 n=9	11.1	-	-	-	22.2	66.7
	70歳以上 n=13	15.4	-	-	15.4	23.1	46.2
地域別	北部 n=8	12.5	-	-	12.5	12.5	62.5
	中部 n=16	-	-	18.8	12.5	25.0	43.8
	南部 n=14	14.3	-	7.1	21.4	35.7	21.4
	宮古 n=1	-	-	-	-	100.0	-
	八重山 n=6	16.7	-	-	-	33.3	50.0
	その他の離島 n=2	-	-	-	-	-	100.0

<「その他」回答一部抜粋>

- ・アニメに使用する
- ・年間カレンダーに、しまくとぅばを入れる(会社、銀行、病院、新聞等のカレンダー)
- ・アクセント、イントネーション(各地域)テープの作成、生の声の集録を早く作るべき

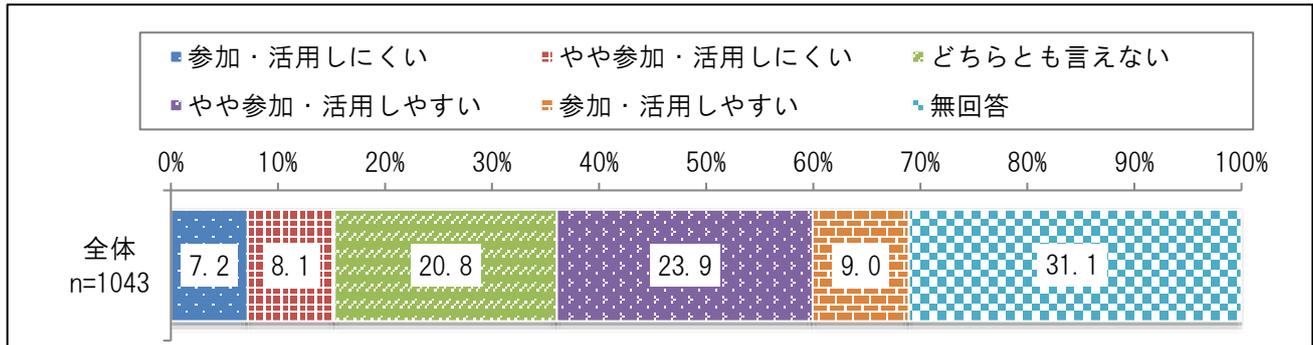
[2] 問 19-2.取組みの参加・活用のしやすさ

① しまくとぅば講座の開設

しまくとぅば講座の開設は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」）の割合が32.9%である。

年代別では、10代の『参加・活用のしやすさ』が、44.1%と他年代より高い。

図表58. しまくとぅば講座の開設



(%)

		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	10.1	7.3	20.2	21.3	8.5	32.6
	女性 n=603	5.1	8.6	21.2	25.7	9.5	29.9
	その他 n=2	-	-	50.0	-	-	50.0
年齢	10代 n=34	2.9	11.8	32.4	29.4	14.7	8.8
	20代 n=85	8.2	7.1	21.2	34.1	8.2	21.2
	30代 n=152	10.5	9.2	19.7	23.0	13.8	23.7
	40代 n=175	9.7	10.9	18.9	29.1	10.3	21.1
	50代 n=196	7.7	8.2	22.4	24.5	7.7	29.6
	60代 n=215	5.6	5.6	24.7	18.1	6.5	39.5
	70歳以上 n=171	4.1	7.6	15.8	19.9	7.0	45.6
地域別	北部 n=145	4.8	9.7	21.4	24.8	4.8	34.5
	中部 n=300	7.7	8.7	22.7	22.3	8.3	30.3
	南部 n=422	8.1	6.9	21.8	23.7	11.1	28.4
	宮古 n=30	-	16.7	16.7	23.3	13.3	30.0
	八重山 n=62	11.3	6.5	8.1	30.6	8.1	35.5
	その他の離島 n=67	6.0	7.5	22.4	23.9	6.0	34.3

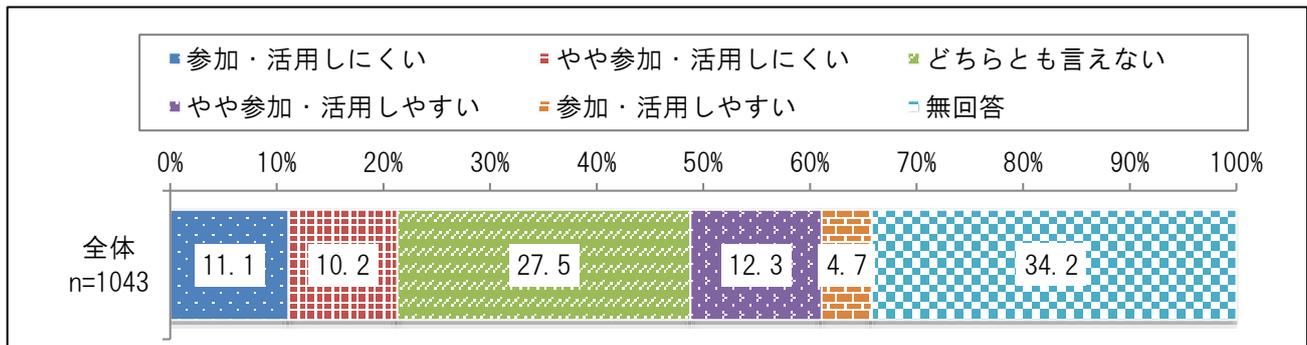
2. 調査結果の詳細

② 官公庁等でのしまくとうばの使用

官公庁等でのしまくとうばの使用は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が17.0%である。

地域別では、その他の離島で『参加・活用のしやすさ』が22.4%で他の地域より高い。

図表59. 官公庁等でのしまくとうばの使用



(%)

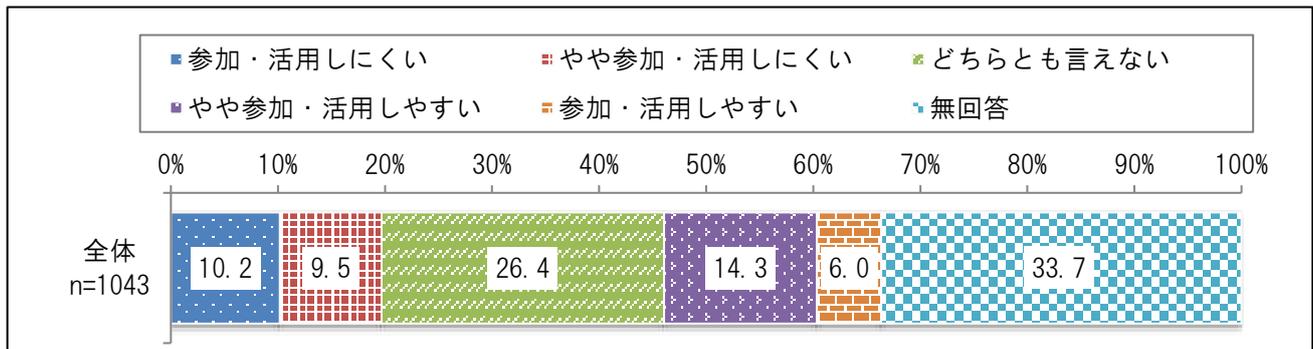
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	14.2	8.3	27.1	11.9	4.1	34.4
	女性 n=603	9.0	11.6	28.0	12.6	5.1	33.7
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	2.9	23.5	32.4	20.6	5.9	14.7
	20代 n=85	10.6	12.9	28.2	16.5	5.9	25.9
	30代 n=152	14.5	14.5	27.6	7.9	9.2	26.3
	40代 n=175	15.4	10.9	33.7	14.9	4.0	21.1
	50代 n=196	14.3	11.2	26.0	12.2	4.6	31.6
	60代 n=215	7.4	5.6	30.7	10.7	1.4	44.2
	70歳以上 n=171	7.6	7.0	18.7	11.1	4.1	51.5
地域別	北部 n=145	9.0	9.7	28.3	9.0	2.1	42.1
	中部 n=300	11.3	12.7	30.3	10.3	5.0	30.3
	南部 n=422	12.6	9.5	26.1	14.9	5.2	31.8
	宮古 n=30	6.7	13.3	30.0	10.0	6.7	33.3
	八重山 n=62	12.9	8.1	25.8	6.5	4.8	41.9
	その他の離島 n=67	9.0	4.5	23.9	17.9	4.5	40.3

③ 民間企業でのしまくとぅばの使用

民間企業でのしまくとぅばの使用は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が20.3%である。

年代別では、20代で『参加・活用のしやすさ』が35.3%と他年代より高い。

図表60. 民間企業でのしまくとぅばの使用



(%)

		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	11.7	9.6	25.5	12.6	6.0	34.6
	女性 n=603	9.1	9.5	27.2	15.6	6.1	32.5
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	5.9	23.5	26.5	20.6	8.8	14.7
	20代 n=85	8.2	7.1	24.7	27.1	8.2	24.7
	30代 n=152	13.2	13.2	26.3	10.5	11.8	25.0
	40代 n=175	13.1	8.6	32.0	20.0	5.7	20.6
	50代 n=196	13.3	11.7	26.5	11.7	4.6	32.1
	60代 n=215	7.9	7.4	27.9	11.2	2.3	43.3
	70歳以上 n=171	6.4	5.8	20.5	12.3	3.5	51.5
地域別	北部 n=145	9.0	10.3	23.4	13.8	4.1	39.3
	中部 n=300	10.3	12.7	28.0	12.7	5.0	31.3
	南部 n=422	10.4	8.8	26.5	16.6	6.9	30.8
	宮古 n=30	10.0	3.3	30.0	16.7	6.7	33.3
	八重山 n=62	11.3	8.1	25.8	11.3	6.5	37.1
	その他の離島 n=67	9.0	3.0	23.9	13.4	7.5	43.3

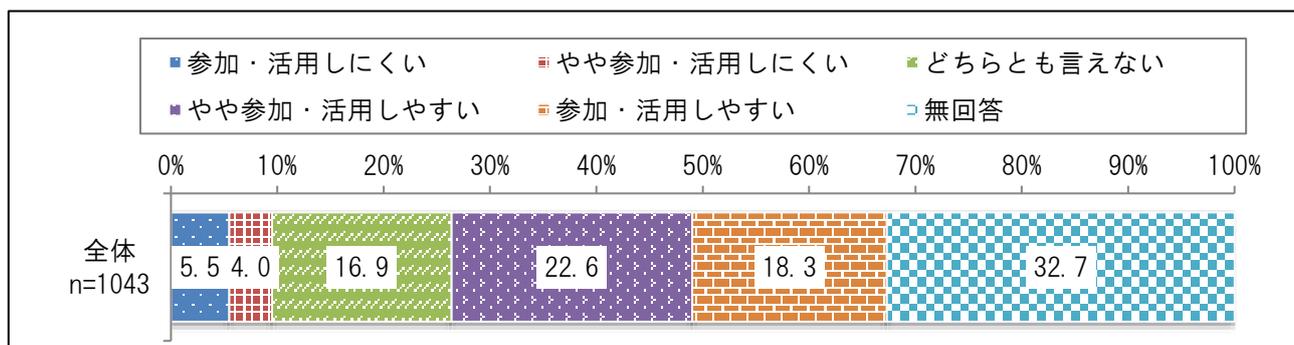
2. 調査結果の詳細

④ SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信

SNS など Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」）の割合が40.9%である。

年代別では20代で『参加・活用のしやすさ』が64.7%と他年代より高い。

図表61. SNS など Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信



(%)

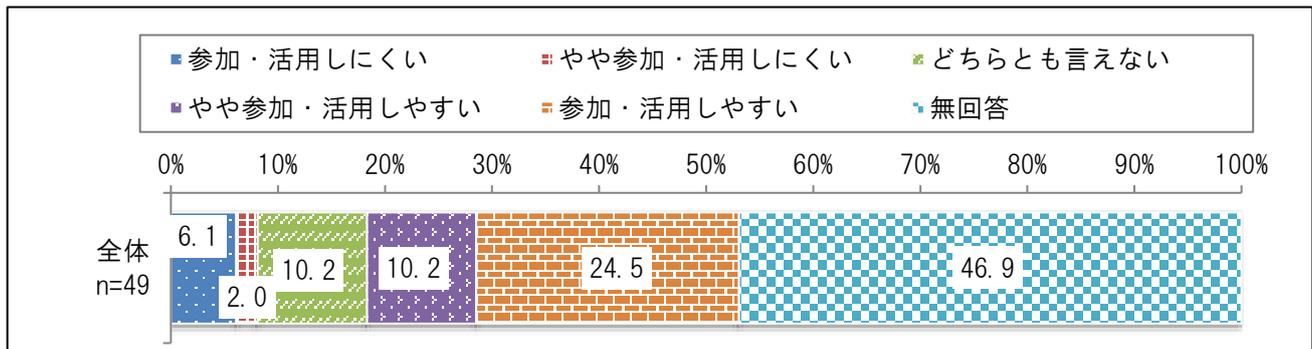
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=436	6.4	3.9	17.0	22.7	15.8	34.2
	女性 n=603	4.8	4.1	16.9	22.6	20.2	31.3
	その他 n=2	-	-	-	-	-	100.0
年齢	10代 n=34	-	5.9	23.5	23.5	35.3	11.8
	20代 n=85	5.9	1.2	7.1	34.1	30.6	21.2
	30代 n=152	5.3	2.6	16.4	19.7	32.2	23.7
	40代 n=175	6.3	2.3	20.6	34.3	18.9	17.7
	50代 n=196	4.1	2.6	17.9	30.1	14.8	30.6
	60代 n=215	6.0	7.4	19.1	13.5	10.2	43.7
	70歳以上 n=171	7.0	5.3	14.6	11.1	9.4	52.6
地域別	北部 n=145	4.1	5.5	15.9	19.3	16.6	38.6
	中部 n=300	5.3	4.0	16.3	23.0	20.0	31.3
	南部 n=422	5.5	4.3	18.5	23.2	19.0	29.6
	宮古 n=30	6.7	-	26.7	26.7	10.0	30.0
	八重山 n=62	11.3	4.8	6.5	22.6	14.5	40.3
	その他の離島 n=67	4.5	1.5	19.4	23.9	16.4	34.3

⑤ その他

(その他を記載した人のみ)

自由回答の「その他にすべきと思うもの」に対する『参加・活用のしやすさ』(「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」)の割合は34.7%である。

図表62. その他

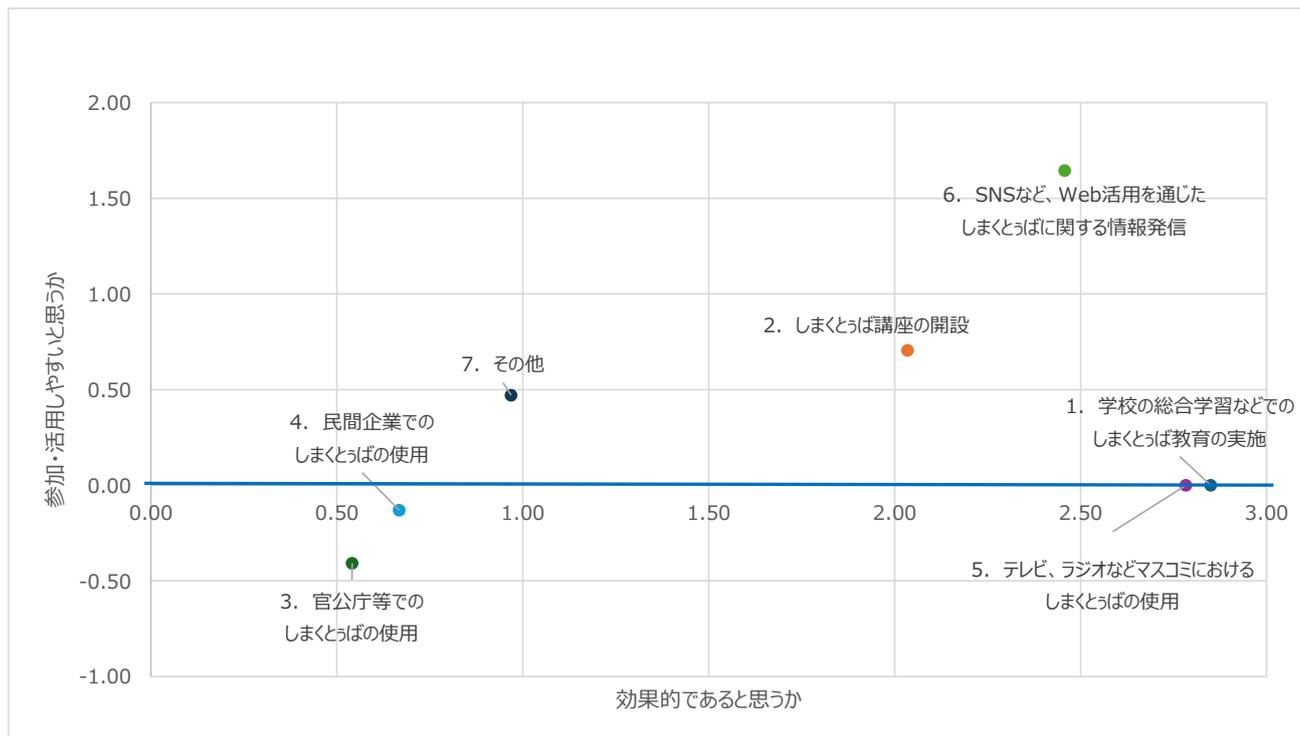


(%)

		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=31	9.7	3.2	6.5	9.7	32.3	38.7
	女性 n=18	-	-	16.7	11.1	11.1	61.1
	その他 n=-	-	-	-	-	-	-
年齢	10代 n=1	-	-	-	100.0	-	-
	20代 n=3	-	-	33.3	-	33.3	33.3
	30代 n=7	-	14.3	28.6	-	14.3	42.9
	40代 n=8	-	-	25.0	12.5	62.5	-
	50代 n=6	-	-	-	-	33.3	66.7
	60代 n=9	11.1	-	-	-	22.2	66.7
	70歳以上 n=13	15.4	-	-	23.1	7.7	53.8
地域別	北部 n=8	12.5	-	25.0	-	-	62.5
	中部 n=16	-	6.3	12.5	12.5	18.8	50.0
	南部 n=14	7.1	-	7.1	14.3	42.9	28.6
	宮古 n=1	-	-	-	-	100.0	-
	八重山 n=6	16.7	-	-	16.7	16.7	50.0
	その他の離島 n=2	-	-	-	-	-	100.0

2. 調査結果の詳細

問 19. 「効果度」「参加・活用のしやすさ」についてのポジショニング分析



※本図は、以下の7項目について、「効果度」と「参加・活用のしやすさ」の2軸で5段階評価によるアンケート結果を集計し、平均値をもとにポジショニング分析を行ったものである。

【評価対象の取組】 1. 学校の総合学習などでのしまくとぅば教育の実施、2. しまくとぅば講座の開設、3. 官公庁等でのしまくとぅばの使用、4. 民間企業でのしまくとぅばの使用、5. テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとぅばの使用、6. SNSなど、Web活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信、7. その他

※なお、1. 学校の総合学習などでのしまくとぅば教育の実施および5. テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとぅばの使用については、「参加・活用のしやすさ」に関する設問は設けておらず、効果度のみを評価対象としている。また、【スコア設定】と【グラフの読み方】は問18.と同様である。

「6. SNSなど、Web活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信」は、「効果度」「参加・活用のしやすさ」のいずれにおいても高いスコアを示した。一方で、「3. 官公庁等でのしまくとぅばの使用」は、両指標ともに最もスコアが低い結果となった。

(26) 問 20. 意見・感想

しまくとうばの普及継承についての自由意見を求めたところ、多くの意見・感想が寄せられた。

(自由意見記入回答数：362 件／1043 件)

※自由回答の内容については、原文の意図を損なわない範囲で、誤字脱字の修正や文意がより明確になるよう一部表現を調整しています。

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（10代）

女性	10代	那覇市	50音表はいいと思う。小学生向けとか。お父さんは聞きとれて、私は聞きとれない、おじいちゃんが話すしまくとうば。文字だけではわからないこともあるのかと思う。
女性	10代	南城市	テレビのCMで、「しまくとうばクイズ」をやると、しまくとうばに対して、興味を持ち、日常会話に取り入れたいくなる気持ちが高まる。
男性	10代	那覇市	小中学生に「しまくとうば」を楽しく教える授業を取り入れる。
男性	10代	粟国村	まず、「しまくとうば」を小さい子達に伝える。
女性	10代	東村	高齢者の方でも若い世代に話しかけるときは、共通語になっていて、あまり方言を（もともと）話さないという方もいる。上の世代の方がもっと、しまくとうばを若者にも積極的に使ってくれたらいいと思う。
女性	10代	名護市	テレビ講座を開設（発信）する。
女性	10代	宜野湾市	しまくとうばが入った本、昔話、特に沖縄の伝承などを読み聞かせなどで取り入れると良いと思う。しまくとうばの辞書を設置しておき、本の中に分からない単語があったら調べるといようにしておく、自然としまくとうばが身につくのでは無いか。新聞の4コマ漫画などで用いられるしまくとうばは印象に残りやすいので、学習として行うよりも娯楽の中にあたりすると覚えやすいと思う。
女性	10代	宜野湾市	沖縄の大切な方言を小学校の道徳の時間や中学校、高校の講座でするとより若い世代にも知れ渡っていくと思います。身近におじい、おばあが居ない人達にとって方言はあまり通じないので学校や団体の方々が伝えて行くといいと思います！
女性	10代	宜野湾市	しまくとうばのイベントとかがそもそもやっているのを知らなかったからもっとそういう情報を発信した後に、講座とか開けばいいと思う。
女性	10代	宜野湾市	しまくとうばについて興味関心を持ってもらうことと、話す機会が設けられれば少しずつ家庭でも話せる子供が増えて、しまくとうばを話せる子が多くなると思います。しまくとうば検定などがあれば沖縄にしかないことだから受けたいと思いました。

2. 調査結果の詳細

女性	10代	宜野湾市	ももっとも、しまくとうばを使う機会を増やしてほしいです！ 今からの若い世代にもちゃんと浸透していくようにお願いします！！ みんなが使えるようになると、県外に行った際、自慢できたりもすると思うから、ちょっとでも喋れるような沖縄になってほしいです！！お願いします！
女性	10代	うるま市	しまくとうばを話すことのできるおじいちゃんおばあちゃんでも、孫には標準語を使ったりするのであまりしまくとうばに触れる機会がない。しまくとうばが絶滅言語となり、沖縄の大切な伝統がなくなっていくのは嫌なので、もっとしまくとうばに触れる機会を増やしてほしい。
男性	10代	本部町	しまくとうばは未来へと残していくべきだと思う！
女性	10代	今帰仁村	しまくとうばが話せる、理解できる人はカッコいいと思うし、地域性として方言はわかりやすいので、使用する人は少なくなっているけど継承していきたいと思う。
男性	10代	北中城村	沖縄のしまくとうばは非常に歴史的にも見どころがたくさんあるものだと思いますが、それと同時にしまくとうばの話者が年々減少しており、若者世代のしまくとうば離れが進んでいるのが現状だと思います。いきなりこの様な状況を打破するのは難しいことだと思いますが、最近では沖縄を題材にしたテレビアニメ「沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる」など沖縄のみならず、全国やアニメということで世界中にも発信していくことができると思います。私は1人のただの10代に過ぎませんが私に出来ることといえば基礎的な言葉からでも祖父母など周りのお年寄りや方言話者から教わったらすことで次の世代に継承することだと思います。小さなことからコツコツと積み上げてしまくとうばを普及していきたいです！！

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（20代）

女性	20代	国頭村	朝の挨拶運動みたいな感じで、「しまくとうば」を使ったあいさつを取り入れるのが良いと思う。
女性	20代	那覇市	テレビで流す。ニュースはあまり見ないのでミニアニメみたいな5分ぐらいの番組があれば気軽に見られると思う。学校の朝の読書の時間の時にミニアニメを流せば子ども達も興味を持ってそう。
女性	20代	那覇市	だれでも自然にお話しができるしまくとうばがこれから先も子供達に継承して行ってほしい。
女性	20代	那覇市	しまくとうばを使えるようになりたい、知りたいと思っていても、触れる機会がないのが、現状です。大人になった今、学校等でもっと勉強したかったと思いました。また、本当にしまくとうばを話す方と会う機会があればと感じた。
女性	20代	浦添市	「しまくとうば」でディズニーの歌やセリフの吹替をしているのをユーチューブで見た事があります。それをTVなどで紹介し動画を流せば「しまくとうば」に触れる機会が増えると思います。また、子どもも興味を持ちやすいと思います。（私はユーチューブやマンガの沖ツラで興味を持ちました！）
女性	20代	那覇市	若手も興味を持つようにイベントやT i K T o K等で、発信していくといいと思います。
男性	20代	南風原町	大人にしまくとうばを促すより、子供に促していくことが一番大切だと思う。そのためには学校やおもちゃ、SNSやYouTube等での発信が重要と思う。また、上記で「おもちゃ」と挙げたが、それもある等のものではなく、トランプやカードゲーム等の普段から現代の子供達が遊んでいるものを考案することが必要だと思う。決してかるたは悪くないと思います。よい案です、以上。
女性	20代	与那原町	聞く機会は多い方が良いと思うので、共通語と合わせて、もっと色々な場面に積極的に取り入れるといいと思う（テレビやネットでの広告、ポスターやチラシなど）。
女性	20代	中城村	しまくとうばを使うことが恥ずかしいと思うことがない環境づくり。
女性	20代	竹富町	学校のタブレットで使えるゲーム式の「しまくとうば」アプリがあると面白い。
女性	20代	宜野湾市	間10であった学校の授業を減らして「しまくとうば」の科目を加える事には反対ですが、例えば、国語や社会の授業で共通語に+αで、しまくとうばではどう言うのから教えるなど、今までの授業科目を邪魔しない範囲であれば、やってみても良いと思いました。
男性	20代	糸満市	聞く、話す機会があるかどうかで、使う人が分かれると思う。

2. 調査結果の詳細

女性	20代	名護市	これらの文化・伝統は幼少の記憶と結びついて自身のアイデンティティとなるものだと思うので、多くの人が集う学校や地域のイベント、行事で取り入れた遊びを行うなど、幼い頃から、しまくとうばに触れる経験を増やすべきだと感じます。
女性	20代	宜野湾市	方言を話せない、親しみのない大人も増えているので、学校教育に委ねるのは難しいと思う。しかし、「生まれ島ぬ言葉忘ねー、国ん忘しゆん」という言葉の通り、先祖のルーツが分かる言葉は失ってはいけないので、しまくとうばに触れ合う時間は少しでも大事になってくると思う。組踊や、劇等、観て楽しめる講演会が増えるといいと思います。
男性	20代	宜野湾市	学校教育やイベント、資料などは元々興味がある人しか参加しないので継承の点では意味はあると思うが、普及の点では効果が薄く感じます。
男性	20代	宜野湾市	転勤者が多い職場で働いているが他地域の方は方言で話しているのに沖縄県出身者はしまくとうばの使用を控える傾向があり、フォーマルな場でなくとも沖縄県出身のしまくとうばの使用は上司に諫められることもある。
女性	20代	宜野湾市	しまくとうばを話すのがビジネスの場でもある程度許される環境じゃないと、廃れると思います。
男性	20代	宜野湾市	しまくとうばの普及より、国際的な共通語の英語を普及させる方が優先だと思う。しまくとうばが話せても仕事には就けない。
男性	20代	宜野湾市	しまくとうばを残すなら学校教育で教えるのが一番効果的だと思う。あと辞書。
女性	20代	那覇市	学校で沖縄方言の教育をすることは、柔軟な思考ができる学生たちにとっては効果があると思う。
女性	20代	那覇市	しまくとうばはとてもいいものだと思うのでもっと普及したらいいなと思います。
男性	20代	嘉手納町	文化として継承していくことは必要だと考えるが、ビジネスの場や公共の場での使用は適さないと考えるため、その折り合いが必要で、なぜこういった言葉を継承していく必要があるのかをこうした言葉を推進していきたい人たちが伝えていくべきだと思います。私自身、なぜこの言葉を継承、普及させるべきなのかということが理解できていないので。時代とともに、生活様式も変わり、言葉も変わるので、こういった折り合いをつけて、現代社会と融合させていくかを考える必要があると考えます。

女性	20代	石垣市	<p>普段から地域行事に参加する者です。私の周りでは若者の中でも、青年会として地域活動に参加している者は日頃から活動を通して、地域の先輩との関わりがあり、会話中に方言混じりで話すことも多くあり、普段から活動を通して伝統も知れ、方言も学ぶ機会が多くあります。しかし、そういった活動をしない人は伝統行事に対しても興味を示す事すらなく、しまくとうばに触れる事も少ないと思う。周りの同世代でも伝統に興味がない、身近に喋れる人がいない人は会話で方言が出た時に理解出来ない場面もあり、少し悲しくなった。</p> <p>私は青年会活動を通して地域の先輩と話す事も触れる機会も多くある。今後伝統を継承する者は昔に比べたら少なくなってくるのかもしれない。だからこそ、青年会という団体から発信していくのもひとつだと思う。今後しまくとうばだけでなく、伝統行事を継承していくためにも青年会活動を支援して欲しいと思う。自ずと今後、いまの伝統を守り、継承していく者は地域愛のある若人だと思うから。</p>
男性	20代	名護市	<p>仕事に着くと（学生でない）中々、学ぶ機会や触れる機会がないので、学生の頃に、なんらかの形で教えると、記憶に残るかも。</p>
女性	20代	沖縄市	<p>地域ごとに違いや歴史が知れるしまくとうばの施設（博物館や資料館など）があると、行きたいと思います。</p>

2. 調査結果の詳細

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（30代）

女性	30代	那覇市	ゆいレール等でも、案内をしまくとうばで流しても面白いし、観光客の人にも親しんでもらえそうです。沖縄の島くとうば、広まって欲しいです。
女性	30代	那覇市	自分自身や子どもが、しまくとうばを話せる（理解できる）ようになりたい／なつてほしいと思うが、那覇で普通に暮らしているとテレビ（NHK）や市町村の広報誌、日常の表現位しか触れる機会がない。竹富小中学校に勤務していた頃、「てーどうんむに大会」という小中学生が竹富の言葉で物語や意見発表などをする機会があり、職員も自己紹介をしたりして（方言で）、てーどうんむにを学ぶ貴重な機会となっていました。学校の職員の多忙化の問題もあり、選択は必須だが、これくらい強制的に触れる機会を設けないと会話としての継承は厳しいと思う。
男性	30代	那覇市	人気アニメ、SNS、AIでの方言が親みやすいと感じる。
女性	30代	うるま市	沖縄のアイデンティティ形成や文化歴史継承のためにも、しまくとうば（方言とは意味合いが違いますか？方言の方がしっくりきますが）は必要と思います。持続可能な社会を作るためにも重要と思います）ただ、今の時代、英語や数学などの授業を削ってまでも、しまくとうばを習わせたいか？と言われると自信を持って「はい」とは言えないと思いました。なぜ大切なのか？をもっと落とし込む必要があるのではないのでしょうか。
男性	30代	北谷町	ネットフリックスやグーグルなども、しまくとうばに日本語字幕をつけて沖縄限定で作り、インスタ（SNS）も、それにしたらすぐ広がると思う。
女性	30代	中城村	沖縄の文化として学んでいきたいし、継承していきたいと感じるが、中々機会がなく、私の母親・父親世代も、なんとなく聞きとれる程度なので、なくなってしまうのではないかと不安になる。第二外国語のようにすれば、使用する機会が増え、普及できるのかなと思うが難しいのかな。
女性	30代	糸満市	今の子供達はあまり分かってないので授業でも取り入れてほしい。
男性	30代	南風原町	今でこそ方言は重要視されてきていますが、日常の会話も共通語なので、私自身含め、日常的に方言があれば、少しずつ普及継承されていくのかと思います。
女性	30代	那覇市	しまことばの辞典を図書館に置く。自ら学校に行つて習おうとは思わない。ネットとSNS、本などで身近な所で入ってくるようにしたらいい。
男性	30代	宜野湾市	公用語にするとかが一番の可能性があると思うが、県内でも地域により違うので難しいと思う。地域の学校で週1回でも授業に島ことばを使う（オール島ことば）。先生から使用して行かないとダメだと思う。
女性	30代	南風原町	学校や民間企業で、きれいな「しまくとうば」が話されたらいいです。

女性	30代	北谷町	それぞれ地方には独等の方言があります。内地で就職した時など発音のクセやアクセントで、コンプレックスになる若者が増ると困ると思う。興味がある人達へのアプローチが得策、本州人からすると外国語に感じる。島ことばの語源、意味を教えることが先。
女性	30代	粟国村	沖縄とひとくくりにしても、それぞれの島でも独自のものがあると思うので、その土地のおじーおばーとコミュニケーションを取ることが大切だと思います。
女性	30代	恩納村	高齢者とのコミュニケーションをするように心掛けていくようにする。
男性	30代	嘉手納町	高齢の方々ともっと交流をもつ、現在もニュース番組で行っている様に、しまくとうばを放送継続する。
女性	30代	那覇市	Eテレビ語学講座の番組を見て、楽しく学んだ経験があります。バラエティ番組として面白く、堅苦しくなく続けられたので、同じようにしまくとうばを学べたら楽しそうだなあと思います。
女性	30代	恩納村	学校からの配給パソコンに地元の「しまくとうば」情報を定期的に配信し周知させたら良いと思います。
女性	30代	糸満市	県や市・みんなで、SNSやTVを使って、しまくとうばクイズをちょいちょい出してほしいです。 『ていんがーら』とは何？ ①かいがら ②天の川 ③食器棚 の様に。
男性	30代	石垣市	テレビ、ラジオに加え、ネットやSNSで「しまくとうば」を聞く、見る機会が増えれば、より一般的になり普及してくのではないかと思います。
女性	30代	宜野湾市	沖縄のタレントがしまくとうばを使い、訳も一緒に表示などして目に触れる機会を増す。
女性	30代	那覇市	今しまくとうばのアニメをやっているのを見てると、なんとなく忘れていたしまくとうばを思い出しています。今は標準語が9割しまくとうばが1割になっています。そうなってくるとしまくとうばを忘れてきて、標準語を10割使うのだろうなって、アニメを見たときに思いました。アニメみたいに笑って覚えられる、親しみやすいものをどんどん出してほしい。こどもにアニメを見せて自然と覚えてくるか？私もおじー、おばーがゆんたくしているのを聞いて、しまくとうばを覚えていた。今の子は、おじーおばーがしゃべっている時は、ゲームやらなんやらしている。そんな毎日のように、おじーおばーに会う機会がないなか、アニメとか、こどもの興味を引く形に変えて、やっていったほうがいいのかと思います。
男性	30代	名護市	次世代に残していくという気持が大事だと思います。
女性	30代	竹富町	高齢者の方々と、子どもたちが小さい頃から関わり“学習”としてではなく、“言葉”として自然と身につく環境づくり。私の世代では、“方言札”の時代を生きた祖父母は、お互いでは方言、孫には標準語で語りかける割合が多かったです。ご高齢（方言話者）の方々に、積極的にしまくとうばを使って子どもたちへ語りかけて頂けたら嬉しいです。

2. 調査結果の詳細

男性	30代	八重瀬町	常に耳にする環境作り・聞きとれないじゃなく、聞いていて面白いと思わせるやり方（沖縄の芸人は聞いていて面白い）。憧れにする。
その他	30代	糸満市	若い世代の親世代でも既に話せない人達がいる。まずは、その人達が話さないと、その次の世代には教えられないと思う。中間がすっぽり抜けている感じ。やるなら、小さい時から教えて親しみを持たせることが大事。「しまくとうば」に実用性がないので難しいと思います。実用性を考えるなら「英語」「中国語」などに実際負けてしまう。なのでわざわざ家で教えようと思わない、教えられない。なので「学校」でやるのが一番かなと思います。あと「うちなーんちゅ」のアイデンティティをもっと強める。地域・歴史に愛着を持つ教育を。
男性	30代	宜野湾市	しまくとうばは大事な文化であるが、それを教育に入れるのはいかがなものかと思う。生徒が主体となり活動を起こす機会を作り出す方が重要である。興味を持ってもらうキッカケづくり（例えばT i k T o k等で、中高生が使う言葉をしまくとうばにしてみた等）の方に力を入れるべきである。団体等へは、そもそも興味のある者しか集まらない。興味のない者の目に留まる機会、大量にある情報の中で見てもらう工夫に注力すべき。行政の取組の中に新しい形を入れないと若者は関心を持たない。
男性	30代	渡嘉敷村	内地からの移住が増えて言葉が伝わらないことが多い。内地の方もわかるようになると話せる。普及してくれると嬉しい。
男性	30代	南城市	言語が文化であるということは、理解しているつもりである。学校や講座など限られた場で使われるだけでは、馴染みや、使用の場は限られるため、公共の場で触れられるような方が良いと思う。生活に馴染んでなければ、使用できない。年を重ねて、以前より、ラジオ、テレビで、うちなーぐちの番組を見るようになった。そのような体験がもっと若い頃にあれば、良かったと思う。
男性	30代	今帰仁村	日常的にというよりも、“聞かねば” “話さねば” “見なければ” ならない。音楽と同じ。又、一つの言語。公用文書や教科書、も含め、強いては、このアンケートの文章も、方言を取り入れるくらいにしなければ、普及継承は難しい。言葉とは、言語とは、そういうものです。強制的に、テストとして学問（成績）に普及させるのも、悪くはないが…まずは、アイデンティティとなるように、行政や我々大人の社会が使わなくては、誰が親しみを込めて話すか。それが無ければ子々孫々に、薄れるのは必然である。三百六十五日「しまくとうばの日」にしないと！
男性	30代	宜野湾市	伝統という意味では大切であると思うが、今の時代英語や他の国の言語を取り入れる必要の方が高いと感じる。県内の方にしか必要がなく、他県や他国では必要としない。観光などのビジネスでは県外の方に向けて発信しても効果はあると思う。必要性が高いものは、残そうとしなくても無くならない。
女性	30代	名護市	もっと、しまくとうばに触れ合える時間を、子ども達から増やしてほしいと思う。

女性	30代	浦添市	「沖ツラ」のアニメを子どもが楽しく見ている。それで、方言がすごく身近になった。以前は方言が含まれていると、恥ずかしかったけど、このアニメのおかげで笑って過ごせることができたし、あったかい気持ちになれた。沖縄に生まれて良かったと思うようにもなった。しまくとうばは大切なものだと思うけど、アンケートで科目を減らして授業に入れるのは、少し違うかと思いました。総合学習とかでも良いと思う。沖縄の子の学力ワースト1位もあるので、授業の時間はそのままにしてほしいです。アニメや、地域のまつり、エイサーは、これからも普及、継承していきたい。乱筆、乱字ですみません。
女性	30代	宜野湾市	授業時間に取り組んでほしいと思います（週1回程）。
女性	30代	西原町	学校の授業や行事活動で取り入れることで、どの子どもも、しまくとうばに触れさせることができると思います。でも、楽しくないと興味を持たないと思うので、演劇、芝居等（創作エイサー、踊り、三線。地域のおじいおばあ様の読みかせとか？ウチナー口バージョン）観る経験からとかでもよさそう。教員が教えるってことにならないような段取りが必要だと思います。
男性	30代	浦添市	幼い頃からの環境を整える（子ども会と老人会の交流等）まだ話せる人が多い内にアーカイブ化する（音声と文字起こしと共通語での訳）。
男性	30代	浦添市	しまくとうばを楽しく学べる場所を作ってほしい。自分達若い世代でも、おじーおばーが話していることは、雰囲気や伝わるが内容は微妙。自分達の子供にも少しでもしまくとうばを伝えて下さい。活動頑張ってください。
女性	30代	中城村	県内のニュースを伝える時も、しまくとうばで伝える。 村内放送（〇月〇日に春の一斉清掃があります。など）を、最初にしまくとうばで話して、次に標準語で話す。 コンビニやお店の人も、いらっしやいませではなく「めんそーれー」と言う。 小さい時から、しまくとうばに触れる機会を増やす。（とにかく耳から入る機会を増やす）例えば、しまくとうばの紙芝居を作る。その童謡をアニメーションにして流す。 しまくとうばのキャラクターを作って、イベントで会う機会を作る。 しまくとうば教室を各地域で、無料で開く。
女性	30代	北中城村	小さい頃から発表会などで子供たちがしまくとうばに慣れ親しんでいれば、少しずつ関連して普及していくと思います。
女性	30代	座間味村	日常生活の中で受動的に耳に入る方法だと廃れないと思います。
女性	30代	宜野湾市	介護施設や介護士向けのしまくとうば講座とかも良いと思います！高齢者との仲も深まるし、働く若年層にも定着する事で使える人も増えると思います！

2. 調査結果の詳細

男性	30代	宜野湾市	<p>正しいしまくとうば=おじいおばあが話す(若者には何を言っているかわからない)言葉と定義されている気がします。</p> <p>言葉は変わり行くものなので違和感があります。</p> <p>既にコミュニケーションが取れる言語を使っているにもかかわらず、更にしまくとうばを覚えることは、人間には苦痛というか難儀かと思います。</p> <p>普及継承していくにはハードルが高すぎます。学校科目の古文を現代に普及させようとする様なものです。</p> <p>普及継承させていくには、しまくとうばの定義を若者が使っている言語への拡張(言葉が変化した歴史なども)が必要かと思います。</p> <p>言葉の難易度を下げ、簡単な挨拶や単語から、徐々に一般社会へ普及させるのはどうでしょうか。</p> <p>継承は日常の常用と義務教育への組み込みで可能かと思います。</p>
男性	30代	宜野湾市	<p>アンケート内の項目にある講座などは、興味がある人しか参加しないような気がします。学校などで(あくまで親しみやすく)取り入れられれば面白いかなと思います。</p> <p>例えば老人ホームと幼稚園や小学校を併設し、方言を使う世代と全く使わない世代の交流会を実施するのは良いかと思いません。</p> <p>私が小学生の頃は地元にはいた民話を語り継ぐお爺さんが、小学校で沖縄の民話を読み聞かせし、その中で方言も交えていた記憶があります。</p>
男性	30代	宜野湾市	<p>実際、聞けても、話す(発音、イントネーション、表現力)には普段から言い慣れていないと無理で、すらすらと標準語のように言葉が出てくるような領域に達するのは、今の若い人ではほぼ無理です。</p> <p>昔のように、普段から標準語より方言を話す(家でも、学校でも、職場でも)のが普通の時代はもうないので、習得するには外国語並に難度の高い伝統の一つだと思います。</p> <p>今現時点で方言を日常的に使いまくっている世代がいなくなれば、単語の意味は残っても、方言の持つ独特の表現力や機知性は失われていくような気がして残念な気持ちになります。</p>
女性	30代	宜野湾市	<p>学校の授業に取り入れるというよりは、朝の読み聞かせの時間を使ってしまくとうばを話せる人に読み聞かせではなくお話し会として参加してもらう等して会話に取り入れる方が覚えやすくなりやすいと思います。</p>
男性	30代	宜野湾市	<p>外国語よりは、触れる機会が多いと思うので小学校など、幼いうちから学べる機会が多かったら良かったと自分自身では思う。</p>
女性	30代	宜野湾市	<p>じゅん選手のようなお笑い+しまくとうばは、ラフで親しみやすい印象があります。</p>

女性	30代	豊見城市	<p>他人とコミュニケーションをとる上で自分と向き合うことは必要なことであり、自ずとアイデンティティと向き合うこととなります。沖縄という島で生まれ育ち、しまくとうばの普及継承についてはとても前向きに考えています。もちろん本島の言葉だけではなく離島のしまくとうばも大切です。方言話者が減っていくなかで、最低限これくらいは…、というラインを定めて重点的に、そして長期的に、取り組んでいくのがいいのだろうなあとと思います。あと、既に取り組まれているかと思いますが方言話者の録音を進めて、インターネットなどで公開してほしいです。同じ原稿を様々な沖縄のしまくとうばで読んで音源を聞きたいなあと考えたことがあります。</p>
女性	30代	浦添市	<p>取り組み内容ですが、高齢者は参加しやすいが若者には響かない内容だと思った（大会やイベント）。補助金制度ですが、他の所へ補助金を回すべき。インターネットもしまくとうばに興味があれば検索しない。普及センターなども高齢者メインになると思う。しまくとうば検定は、しまくとうば講師になりたい人が取ると思うが、しまくとうば講師以外、取った所で活用できなさそう。官公庁などでの使用ですが、そこまでしてやる事なのか、他にやってほしい事、課題は沢山ある。しまくとうばをそこまで重要視する前に。</p>
女性	30代	北中城村	<p>テレビ、ラジオ、公共交通機関など日常生活の中にもっと使われるようになると親しみが更に出ると思う。</p>
女性	30代	伊是名村	<p>年々わかる人が少なくなっている。聞けるけど話せないから、少しだけ聞けるになり全く聞くことも話すこともできないというのが現状である。地元の言葉として、なくなってほしくないと思う。</p>
女性	30代	名護市	<p>方言を教えてくれる人が周りにいないので、サークルなど作ってほしいです。</p>
男性	30代	那覇市	<p>しまくとうばの辞書などがあれば欲しい。文化を残していくためには口伝より文書で残していった方がより後世に残るのではないかと思う。</p>
女性	30代	豊見城市	<p>あまり使いませんが、沖縄から消えていくのは寂しいので、メディアやSNSでの発信は続けて欲しいです。</p>
女性	30代	八重瀬町	<p>観光客や移住者など、しまくとうばを使わない人も大事にするような視点も重要かと思っています。生活において誰にとっても困り感、疎外感がない程度に、普及継承できるといい。家庭や地域での生活の言葉と、学校での学習言語に差がありすぎると、学力を身につけにくい要因にもなるかと思いますが、しまくとうばがアイデンティティを育てるとも思います。学力もアイデンティティも、人生を支え、豊かにする大事なもののなので、しまくとうばを普及継承しやすいバランスを発見できることを楽しみにしています。</p>

2. 調査結果の詳細

男性	30代	浦添市	しまくとうばを喋りたい人にだけ教えればいいと思っています。
女性	30代	うるま市	ドラマや芸人のネタなど メディアが1番普及に繋がると思います。 「琉神マブヤー」「ワイドー」など、とてもいいツールだと思います。
女性	30代	糸満市	正しい「しまくとうば」の普及継承してほしい。 地域によって方言の違いがある為、何が正しいと決めるのは難しいが、正しいしまくとうばを学ぶ場所として一番良いのは、「沖縄芝居」を観るのがオススメです。 これから子供達に正しい「しまくとうば」を普及継承していけるよう頑張っていきたいですね。

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（40代）

男性	40代	宜野湾市	しまくとうばを普及するのであれば、しまくとうばは上品だというイメージをつけてほしい。
女性	40代	沖縄市	夕方の県内ニュースでクイズ形式で「しまくとうば」を紹介しているのを視聴した時「しまくとうば」の勉強になると思いました（琉球朝日放送）。
女性	40代	沖縄市	きれいなしまくとうばを残していきたいと思います。学校で習っていけるといいのかなと思います。私自身も祖母など身近な人から習っていききたいと思います。
女性	40代	南城市	沖縄県特有の重要な言語のため、ぜひ残して行ってほしい。「しまくとうば」を学べる機会を増やしなが、実際に使用していくことで普及・継承につながっていくと思う。
女性	40代	竹富町	ラジオで、沖縄本島のしまくとうばを聞く機会があるが、離島（八重山）のともあると勉強になると思う。
男性	40代	宜野湾市	英語学習や中国語学習など、語学学習に「しまくとうば」を活用すると面白い。
男性	40代	うるま市	影響力のある人（カリスマ性のある人など）が進んでプロモーションをすれば興味を持つ人は増えると思います。言葉は生き物なので話す人がどんな人物なのかによって印象が変わる。普及させたいなら、クリアファイルなどを配布するよりも、カリスマ性のある人をオーディションなどで発掘して本気で広げていく方が、若い人たちには刺さると思います。古いやり方にとらわれず、新しい広げ方を試すことをおすすめします。
女性	40代	浦添市	テレビなどで教えてほしい
女性	40代	那覇市	Eテレ「うちなーであそぼ」はしまくとうばに親しみが持てて良い番組だと思います。
女性	40代	浦添市	方言の翻訳機の開発・外国人や県外から来る人向けの方言指導（観光客は省く、移住者、米軍人向け）。まずは新たな「ていんさぐぬ花」の様な歌・音楽を作曲し幼少期から保育園等で慣れ親しむ事。
男性	40代	石垣市	イベント（発表会や演奏会など）標識などの案内版など（空港や港商店街、町中など）課外授業や活動など。
男性	40代	那覇市	アロハと言うハワイの挨拶の様に、まずは挨拶から普及に努める（空港などで）。
女性	40代	南風原町	アニメなど今、方言を使ってやっているものは子どもも、とても食いつきが良いので、アニメやゲームなど子ども達が見る物に、しまくとうばを使うとより効果的だと思う。
女性	40代	南風原町	高齢者とコミュニケーションが取れる地域の行事に参加するようにしたり、家族や祖父母と話をしたり、聞いたりする事ができたらいいと思います。
女性	40代	那覇市	地域によって違うしまくとうばがあるので伝わらない時がある。その違いも分かるような普及活動が必要。
女性	40代	中城村	「しまくとうば」で話す白雪姫のお話を偶然観ましたが、とても面白かったです！

2. 調査結果の詳細

女性	40代	宜野湾市	TV、CM等は主要地の言葉ばかりなので、その言葉を、あちこちの地域バージョンを作ると良いと思う。自分の地域の言葉が流れれば興味を持てるし、他の地域では、そうやって言うのだと分かりやすいと思う。主要地の方言が全てみたいCMで流れているので、それは違うのではないのでしょうか。
男性	40代	西原町	文化継承はしていかなければならないが補助金等で、普及させたりするのは個人的には無しの方向でお願いします。
女性	40代	国頭村	テレビで郷土劇場復活して欲しい（昔の映像も含めて）。
女性	40代	那覇市	県外出身なので、県出身の夫や夫家族が使う単語を使用しているのですが、独特の響きがあり、かわいい言葉が多いと思います。ただ、全部しまくとうばでとなると非常に難しいです。なかなか覚えられず、テレビなどを見ては、一度勉強したいなと思うのですがなかなか。今やっているアニメで沖縄の方言を話す女の子がヒロインのものがありませんが、とても面白く、子どもと見ています。興味を持つきっかけは、たくさんあるほうがいいのかな、と思いました。
男性	40代	中城村	日常で耳にする事が少しでも多くなる取り組みが必要だと感じます。じゅん選手（芸人）の様なインフルエンサーを増やしていくのも良いと思います。
女性	40代	東村	学校司書をしています。毎年しまくとうば読み聞かせを実施しています。その際、副読本や、50音表、しまくとうばナビを利用させていただいています。そこで感じたことは、しまくとうばナビの充実です。もっとたくさんの単語や、会話形式を、入れてくださると助かります。
女性	40代	うるま市	「しまくとうば」を正しく理解し、正しく発音できる方が普及の為の活動に参加していただくと良いと思います。今は間違っ「しまくとうば」を使い、人に伝えてしまっている方もおられるので、悲しくなります。「しまくとうば」が好きなので、伝統に従って普及継承して行って欲しいと思います。
男性	40代	南城市	以前、琉球舞踊や三味線の発表会に妻が子どもと、見に行った際にしまくとうばがあまりわからなくても表現で伝わる場所があり、特にコントが面白かったと聞いた。学校で子どもでも伝わるしまくとうばコントなどをやると、より興味をもち、伝統につながるのではないかと思います。又、高齢者との交流の機会もあればよいと思う。高齢者と子ども達でチームを作り、司会者が方言でクイズや指示、それを高齢者が通訳となり、子ども達に伝えるなど。
女性	40代	宜野湾市	小学校から英語の授業の様に取り入れて欲しい。又は親子で参加する授業やイベントがあつて欲しい。
男性	40代	名護市	しまくとうば大使で広めること。
女性	40代	八重瀬町	地域のお年寄りの方々との交流、学校行事に取り入れるなど経験の場が必要かと思います。運動会のエイサー、学習発表会の演劇など、いつまでも続いてほしいです。

女性	40代	名護市	おばあちゃんという言葉で綺麗なしまくとうばを聴くとすごく心が穏やかになります。 汚い言葉もありますが、きれいな言葉を学べる機会はすごく大事だと思いました。
男性	40代	那覇市	テレビ等でしまくとうばを聞ける環境があればいいと思う。
男性	40代	那覇市	目にする、耳にする機会を提供し続けていくしかないと思います。
女性	40代	那覇市	方言のルーツを楽しく説明すると、もっと身近に感じられ覚えたい気持ちになるのではないかと思います。
女性	40代	宜野湾市	組踊や、芝居。民謡等の伝統藝能を学校でも取り入れてみると、いいと思います。
女性	40代	宜野湾市	ハワイの小学校でハワイ語の授業に参加する機会があり、沖縄でも是非取り入れて欲しいと思った。学校での組踊鑑賞会なども普及してきているが、難しい印象があるので子ども向けのウチナー芝居なども取り入れてはどうか。それぞれの年齢に応じた教科書もあったらいいと思う。
女性	40代	宜野湾市	じゅん選手など、若者に認知されているタレントさんを積極的にSNSなどでPRしてほしい。
男性	40代	宜野湾市	なぜ継承していく必要があるのか若者が納得しない限り無意味だと考える。
女性	40代	宜野湾市	しまくとうばは温かいイメージとぶっきらぼうな感じのイメージがありますが、沖縄独自の文化だと思うので大事だと思います。 自分達の小さい頃と比べて大分話さない時代になっていると感じます。 何が違うのかと考えてみれば家庭でも喋らない、祖母や祖父なども方言を使わなく子供や孫がわかるように標準語で喋る様になったからだと思います。 昔は今の意味は何？と子供から祖母などにその都度聞いていましたが今は逆に子供達が聞き返さないくらい親や祖父祖母が思いやりから標準語で接する様になり子供達も接する機会がないと思います。 SNSでも普及は大事ですが興味を引かない事には意味がありません。そんな事より高齢者施設や老人と子供達を触れ合う機会が多ければ多いほど子供達は自然に覚えると思います。そういう触れ合いに幼稚園児など何事も興味がある世代から接する事が大事だと感じます。
男性	40代	宜野湾市	独特のしまくとうばのある地域に住んでいます。個性的でカッコイイのですが、移住者の自分には聞き取れないです。わからない言葉を質問して、それがコミュニケーションになるのを楽しんでいます。いろいろとしまくとうばに触れられるコンテンツがあると、より興味を持って学べると思います。子どもたちは、友達からガンガン吸収しています。自分も話せるようになりたいです。

2. 調査結果の詳細

男性	40代	宜野湾市	私は介護職なので日常的に『しまくとうば』を聞いたり使ったりしています。 地域によって意味やイントネーションなど違ったりもしますが、次の世代に残していく価値はある大事な財産だと思えます！
男性	40代	宜野湾市	しまくとうばの普及や継承自体は賛成です。ただ、先ほども書きましたが、それを学校でとなるのなら、教員を増やして下さい。幼い頃の教育がと考えるのなら！教員の責任感だけに任せるのは無責任です。
女性	40代	宜野湾市	年配の方はテレビやラジオを聞きますが、今の若い人達はテレビを見る事があまりないし、テレビすらないお家が多くなっています。インターネットを通じた方が子供や若い人達に繋がると思えます。
女性	40代	宜野湾市	言語は日常的に使用していないと普及は難しいと思えます。
女性	40代	-	教育の場でわざわざ島くとうばを学ぶ時間を設けるのではなく、教育する立場の先生方が学校にいる間先生方それぞれが知っている限りの島くとうばを使って子供達と接する機会を1週間に一度設けるだけで子供達、もしくは子供達の親とかが意識して島くとうばを使うようになると思えます。
女性	40代	宜野湾市	言語は意思疎通をする単なるツールでしかないと思えます。大事と思う人が多いと広まるし、そうでないと無くなっていくのが自然です。なぜそれを残そうとお金を使うのか、疑問です。
女性	40代	金武町	沖縄出身者なら産まれた時から、しまくとうばに触れているから普及活動に参加しやすいと思うが、県外から移住者が増えて昨今では積極的なしまくとうばの普及活動は抵抗があり身に付けるまでに時間がかかり、負担になる事もあるかもしれない。積極的な普及活動よりも興味を持った時に誰でもしまくとうばに触れる事が出来るような機会や仕組みを作ったらいいかと思う。
男性	40代	石垣市	スイマムニに触れる機会が多いのは公民館等で行われる行事で地域の方々と触れ合う時です。公民館で生きたスイマムニを話す、聞く事はどんなイベントに参加するよりも身につくスピードは圧倒的に違います。公民館が元気になれば自ずと伝統文化は普及継承できると考えますが、住民からの会費頼りの予算では、どこも運営に苦慮している現状があります。公民館への助成を強化していただければと思えます。
男性	40代	宜野湾市	小さい子向けに簡単に話せる授業みたいのがあればいいと思えます。
女性	40代	粟国村	若者にアピールするならキャラクターゲーム的な物は有効的だと思います。
女性	40代	名護市	しまくとうばを聞いて分かるけど話せない。 話せるようになりたい。 補助金でしまくとうばが話せる人を講師として雇って各学校へ派遣するなど、沖縄県全体に普及して欲しいと思えます。 あと、Netflixなどで字幕にしまくとうば版のやつ出すとか。
女性	40代	那覇市	言葉と一緒に、歴史も教えて欲しいです。

女性	40代	石垣市	ラジオでよくしまくとぅばを聞きますが（方言ニュース）、時々何語づつかでいいので、〇〇はこういう意味だよ、みたいなのをやって欲しいです。特に沖縄全域共通のしまくとぅばがいいかなあ。住まいの石垣市では、地域によっても言葉が違っていると聞くので、普及継承は大変だろうなあ、と想像します。
女性	40代	南風原町	乱暴なイメージがありますが柔らかいしまくとぅばもあると思うのでそこを推して広がると誇りを持って県外の人にも紹介できると思います。
女性	40代	那覇市	日常的に利用するスーパー、大型ショッピングセンターなどの商品、放送を「しまくとぅば」にする。 自然に目と耳から情報が入りやすい？
男性	40代	名護市	①しまくとぅばの普及継承について、必ずやらなければならないのは、学校での教育が必要と考えます。 復帰以降の世代は、自分自身も含めてすでに日常会話で、しまくとぅばを話すことは少ないと思います。 ところどころ単語等は使うことはあるとは思いますが、しまくとぅばをあまり話さない復帰以降の世代の子供たちも成人を迎えつつあり、2世代が経過しようとしています。 そのため、これから子供たちに普及させようとしても、親世代がしまくとぅばを話さない・話せない状況では、やはり学校での教育が必要だと考えます。 ②イメージ的に男性より女性が話していないと感じます。 50代以下の女性に限って、しまくとぅばを話さない理由などの分析をぜひしてもらいたいです。

2. 調査結果の詳細

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（50代）

男性	50代	浦添市	標準語で事足りるので、「しまくとうば」をあえて教えなくても良いと思います。子供が学校で「服をはく」と皆が言っているのを真似てしまいました。洋服は、「はく」ではなく「着る」と教えてもなかなか直りません。布団も「かぶる」と言いますが、「かける」が標準語なのに友達の影響で「かぶる」を使っているのが困っています。
女性	50代	うるま市	方言はよく使うのですが、しまくとうばはまったく使っていません。テレビ・ラジオなどではよく聞き、沖縄だな〜って思って伝統文化が失われないように、しまくとうばの取り組み応援します。
男性	50代	那覇市	高齢者とのコミュニケーションで必要だと思う。和やかな会話になるから、私は祖母に育てられた為、良く知っている。現社会の子供達は、話せないのが悲しく思うので、この高齢社会に必要なと思う。鳥くとうばのニュアンスで笑いも多々あると思う！！
女性	50代	宜野湾市	「しまくとうば」は普及継承よりも、もう音声採取・保存が急がれる時が来ていると思います（話者の高齢化、伝統行事の消失）。琉球大学が、ウェブサイト「大琉球語辞典」を公開したと聞きました。そのような地道な取り組みで、変化していくのが常の言語を記録し、現在、未来に必要な人々に残していく活動に資金や労力をあてがって欲しいと思っています。地域によって、まったく異なる「しまくとうば」を理解したいと思う時、「大琉球語辞典」のような検索システムが、より充実して一般に公開されると嬉しいです。
男性	50代	石垣市	学校ばかりに頼るのも限界があるのではないのでしょうか。
男性	50代	浦添市	理解できる人だけでも良いから、TVで字幕付きで良いので邦画や洋画の方言しまくとうばの字幕があればよい。
女性	50代	沖縄市	「しまくとうば」の対比語の本！！マンガ、ステッカー、チラシ等々に可愛く載せて誰でも楽しめるようにあったらいいですね。
女性	50代	那覇市	授業の1つとして小学校から学習していけば受け入れやすいと思います。高齢者の方も、子供、お孫さんへうちな〜がちが通じないため、共通語で話しているのではないのでしょうか。実際、私のおばあちゃんもそうでした。
女性	50代	石垣市	住んでいる地域のしまくとうばから、始めると良いと思う。

女性	50代	那覇市	子供の頃、祖母が話すしまくとうば（以下方言）を理解できなくても、聞いていた覚えがあります。話す人の表情や、単語から「こうゆう内容の話なのだろうな」と、推測して聞いていました。方言で叱られると、何故かキツく聞こえ、傷ついた覚えがあります。大人になり、その理由を考えますと、言葉の持つ力がすごいのだと思います。標準語では、なかなか言い表しにくいニュアンスを、内包しているのだと思います。比較でき、話す言葉を選択できる贅沢さ。大変、誇らしいです。ちなみに、子供の時に耳にし、強烈に覚えている方言は、「ういあんり」です。人それぞれに、そのような忘れられない大切な方言がきっとあると思います。話す事ができなくても、人は聞いて考えて、覚えているものです。自分自身も、すべて方言で会話ができるわけではありませんが、大事なニュアンスは標準語ではすぐに出てきません。又、他の人が方言を話すのを聞いて、しっくりきています。恐らく、このアンケートの「しまくとうば」というのは、もっと高尚なものかとは思いますが、私の考える方言（しまくとうば）も、いつまでもなくなる事なく、存在して欲しいと思っております。
女性	50代	与那原町	固有の言葉が奪われた歴史的背景を教えるような教育は必要だと思う。文化人類学的な視点も踏まえる等。
男性	50代	那覇市	あまりしまくとうばを話さないが、伝統、文化の継承を考えると粘り強い取り組みが必要だと感じる。
男性	50代	与那国町	映像、録音を活用し、視聴する機会が増えるといいなと思います。CD付きのかるたを購入しました。飛行機に乗った時にしまくとうばで挨拶があり身近に感じました。
女性	50代	那覇市	子ども向け歌を配信（単純で解りやすく明るい曲）し、公共で歌を流すなど。公共用掲示に加える（例えば美味しい（マーサン）など）と、目につきやすくする。メインプレイスなど公共で人が集まりやすい所で、寸劇や歌のイベントもいいと思う。パレードなどで歌を歌ってまわる。
男性	50代	那覇市	積極的に方言を使った番組を増やす。
女性	50代	浦添市	私は55歳、母やおばあちゃんは普段の会話で、しまくとうばを使用していました。私はまったく話せません。母やおばあちゃんは今この世にいません。次の世代の人達は、聞いた事さえない人が出てくると思います。このアンケートも良い機会となりました。特別な事だけではなく、日常的にしまくとうばを感じられる機会がもっと多くあればよいと思います。しまくとうばのかるたや、ゲームなどを学校へ配布して、LHRや総探の時間で活用できたらと思います。
女性	50代	那覇市	本来のしまくとうばは大変美しいと思います。私は両親が他界し聞く機会がなくなりました。最近はテレビなどで、うちなーぐちを聞きますが間違った使い方があり、少し乱暴な言い方になっていると感じます。正しく継承していけたら良いと思います。

2. 調査結果の詳細

女性	50代	浦添市	学校の総合学習等であるが教員に負担させることは反対。ほとんどがしゃべれない、聞けない世代である。実施するなら、完全に講師を派遣するなど、環境と人材を県が準備、手配、予算まで責任を持つべき。そうすれば子ども達の中から、しまくとうば検定とかに興味を持つ子も増えるかも。
女性	50代	与那国町	カレンダー、ポスターで普及していく。
男性	50代	那覇市	しまくとうばがなくなると、うちなーらしさがなくなり、寂しい。
男性	50代	名護市	各市町村の公共施設に「しまくとうばコーナー」を設置し、講師が教える環境が整えば、少しずつ普及継承、拡大につながると思います（毎週日曜日とか）。
女性	50代	南城市	私は、話せないし、聞いてもわからないので広く多くの人にとより、少なくとも専門的に詳しい人材育成をして、正しくしまくとうばを残していって欲しいと思います。
女性	50代	与那原町	出身地の訛りは残ると思う。しまくとうばは私の世代でもほぼ使えない、使っている同世代はいない。無理して使って高齢者に話しかけたら、「おかしい」とおばに言われた。
女性	50代	宜野湾市	20代の頃、ももたろうのお話をしまくとうばで聞いたことが、とても印象に残っています。地元を離れることが、しまくとうばからも遠ざかる気がします。主人は、今でも電話で両親と話すときはしまくとうばで、子どもたちは小さい頃から「なんて言っているの?」と聞いてきたときに私が話す感じで、夫婦の会話で単語として出てくるしまくとうばを共通語と思っていたと息子が言っていました。「しまくとうば」継承を意識して伝えていけば良かったと今では思っています。
男性	50代	那覇市	身近に感じられるように取り組んでいただきたいと思います。聞く機会、使う機会があればいいと思います。
女性	50代	竹富町	那覇あたりで聞く島くとうばは、やわらかいニュアンスがあるが、自分の主人は石垣くとうば、強い感じであまり好きではない。しゃべる人によるのか、たまたま使う言葉がそう聞こえたのか、だから日常的に聞こえてきても、あまり真似しようと思わず、いつまでも覚えられません。身近な人がバンバン使ってくれたらなあ～と思います。
男性	50代	那覇市	復帰前の生まれのため両親その他、本土の文化に迎合するため、自分らのような子供の前では敢えて方言を使わなかった。よって大人だけの模合等の時、両親が方言を話していても全く意味がわからなかった。本土の文化に合わせていくため、そういう風潮があったことを残念に思う。
女性	50代	名護市	しまくとうばを話せる年配の方と若者が触れ合う機会が減ってきているので、小、中、高、保、幼、子どもたちにしっかり伝承していく場の確保が必要だと思います（授業で触れて感想を出してもらう）。保育園に勤めている為、園ではしっかりと取り組んでいます。9/18のしまくとうばの日の意味の背景と一緒に沖縄独特の文化を発信していく方法（アイデア）を若者目線で考えてみても良いと思う。
男性	50代	うるま市	県民一人一人が普段家での会話でしまくとうばを使う。親戚、家族が集まる機会の確保・旧盆などの行事の継続。

女性	50代	大宜味村	しまくとうばと方言との違いや線引きが、はっきりとはわからないが、方言としては若い世代でも今後使われて行くとは思いますが、昔から使われて来たしまくとうばを今後も残して行くためには、大学などの機関にて正式に研究、継承、普及して行く必要があるのかと思う。そのためには資金も必要となる。
男性	50代	大宜味村	北部・離島では講座の受講が困難なのでマスコミやインターネットを有効活用して頂きたいです。
男性	50代	八重瀬町	私の地域は高齢の方も多く、日常から方言等に触れる場面が多く、名詞で出て来るので、私の子供達（20代前半～30代）も、ある程度のヒアリングはできています。やはり住んでいる地域で、ばらつきがあると思います。組踊や琉舞、民謡に触れ、興味を持ってくれたら（しまくとうばに）なと思います。
男性	50代	八重瀬町	日常的に話す相手がいれば自然と身に付くが、話す相手や、話せる人のしまくとうばを聞いたりしないと難しい。
男性	50代	西原町	明石家さんまさんのように関西弁を全国区にするのは、難しいとは思いますが、ゴーヤーやシーサーのように、商品を全国区にするのは可能だと思います。しまくとうばを残す一つの方法だと思います。いろいろな商品にしまくとうばを使って、子供達に身近に触れさせ、耳に残るようにするのはいかがでしょうか。
女性	50代	糸満市	テンポのよい日常会話をCMで取り上げるといいと思います。挨拶程度なフレーズもいいですが「チャーガンジュー」、「ハイサイ、ハイタイ」とかはちょっと聞き飽きました。上間不動産や登川誠仁さんのようなCMはインパクトがあって、面白いと思います。
男性	50代	南風原町	ハワイ州みたいに、ハワイアンランゲージの課を作って継承したらいかが？
女性	50代	豊見城市	現代においては、若者、子どもたちへの普及継承するためには、SNSやネット等の活用が良いと思う。沖縄芸人の活用でも効果はあると思う。
女性	50代	南城市	「沖縄らしさ」を重視するのも大事だと思いますが、高齢者以外は丁寧なしまくとうばを使えなくなっていると思います。沖縄の民謡を聞いても意味の分からないものもありますので「ていんさぐぬ花」のように身近な歌で親近感を持って分かるようになればより覚え易いのでは。
男性	50代	沖縄市	子供達がしまくとうばを使用する事になると、大人も話すきっかけになりコミュニケーションが広がり、今後の子供達の職業にもつながると思います。学校のあいさつや、月に1回休み時間にその時は、しまくとうばを使う時間！！と決める。
女性	50代	那覇市	他県出身者からすると、このような文化があることはうらやましいです。自分自身はこれから覚える機会はありませんが、消えていくことなく継承されるといいなと思います。

2. 調査結果の詳細

女性	50代	東村	50代の私ですが、両親がほぼしまくとうばを使わなかったので、馴染みがないのですが、60代の主人はふだんから、結構使っているので、私的には身近なものなのですが、子供達はやはり耳にする事はあっても使ったりする事はなかったですね。学校での取組にするならば、やはり地域のお年寄りを、ぜひ参加させてほしいですね。現代ではWebなど、インターネットなどで身近に感じていけそうな気がします。親世代も若い方なので、教育本、絵本などの作成もとても良いかと思います。“くうにくとうば”たくさんではなくても大事な一言残ってほしいです！！
男性	50代	那覇市	私自身、あまり「しまくとうば」を使う機会はありませんが、身近で普段から使う事で自然と話せたら良いと思います。そのためにも、取組を増やして、知識を学べたら良いと思います。無くしてはいけない文化だと思います！
女性	50代	那覇市	しまくとうば普及ツール（ポスター？）等、子供にも目を引く言葉や、言い回しなど各企業（特に商業施設のエレベーター内）に貼ってもらう（エレベーター内は静かにしているために目につきやすいのでは）。子供たちも静かにしているので、出たあとに親子の会話にもつながるのでは（親子で話そうなどの表示）。これは親子に限った案ですが、私も割とこのようなポスターとか貼っていれば出た時に子供に話しかけていました（ポスターの内容）。静かに見る事ができるので！！
女性	50代	南城市	普及継承対策として、すでに行われていると思いますが、学校教育だけでなく、放課後利用している学童等に協力してもらい、地域において親子で学ぶ「しまくとうば学習会」のようなものを夏季休業中に、取り組んでみてはどうでしょうか。例えば「しまくとうば」で記入された沖縄の名所を巡り、そこでの「しまくとうば」を調べたりするなどスタンプラリーのようにして、夏季休業中の選択制の課題の1つにしてみてもよいのではないのでしょうか。言語学習は、無理なく楽しく、身近に感じて学ぶことが身に付くと思います。
女性	50代	恩納村	学校の授業に入れるのは、いかがなものかと思います。講演会でいいのでは！！
男性	50代	久米島町	他言語・方言も同様ですが、ヒアリングがまず難しいです。共通語と意味が違ったり（例「～しましようね」など）方言+訛りがあったり、調べようにも困る事が多々あります（そもそも何と言っているか聞き取れないので）。しかし生活や仕事の上で、この島が好きで移住した以上、是非馴染みたくて日々覚えたり、使えたりするよう努めています。普及ツールも、とても興味があります！！
男性	50代	沖縄市	私より年上の方と話をする時は、時々使用する事がありますが、相手が若くなればなるほど、話の中で使用する事が少なくなっていくのが現実と感じられます。まず、話せる方を講師として協力してもらい、私達の世代や若い世代で話せるようになりたい方を募集して、講習を行う事が最初の一步だと思います。私自身としては、しまくとうばを聞き、ちゃんと理解し、話せる様になりたいと思います。

男性	50代	名護市	テレビやラジオは、自然にしまくとうばに触れる良い機会。家庭の中では、祖父母がいると耳慣れしているので理解しやすい。単語で常に使用しているが、丁寧な言葉では、どこまで話しているのかと思う。ウートーの時などに多く使っている。聞いていて理解出来ているのもあれば、できないものもある。アクセントでも違うと思う。話す事はあまりないが「しまくとうば」は宝だと思う、忘れてはもったいない。
女性	50代	石垣市	私は地元に住んでいるので気付きにくいと思いますが、本土に長年住んでいる叔母によると島言葉を聞く機会がある時には、やはり故郷を思い出しては涙するそうです。それは、都会に出た私達の子供も、いずれ年齢を重ねて違う土地で、自分のふるさとの言葉を聞いた時に嬉しかった事も悲しかった事も思い出として蘇る事と思いますし、そうであってほしいと心から思います。出来るだけ残してほしいと願います。ありがとうございます。
女性	50代	浦添市	アニメの「沖ツラ」が面白くて子供とよく見ている。
その他	50代	本部町	方言は、地域によって違う為、本を管理している図書館の様に方言の図書館があれば、自分の空いている時間にヒアリングできる。図書館の職員が、方言の専門の方で図書館内では方言で案内・説明してもらったら面白いと思う。
女性	50代	多良間村	普及継承していくためにも子ども達が親しみやすい環境、学校などでも取り入れが必要だと思います。本島、離島でのしまくとうばのイントネーションも違ってくるので、この世代核家族化になっていることで高齢者とのコミュニケーションも取りにくくなっているのでは、高齢者と話し、しまくとうばに触れる機会もあってもいいのかなと思います。
女性	50代	名護市	身近に耳にする機会があればもっと普及するし、後世に繋ぐ為に小学生など教育に少し枠を取るなど出来れば可愛い伝道師が興味を持って若い親に教えてくれそうですね。
男性	50代	那覇市	沖縄人は「しまくとうば」の方が気持ちを伝えやすい事があると思います。 普及継承とても大事だと思います。
女性	50代	那覇市	学校で時間を取って普及させる。 沖縄出身の芸能人を積極的に活用する。 沖縄の芸人の活用など。
女性	50代	那覇市	自分は方言は使わないが、残して欲しい。義父母と生活しているため、昔ながらの方言を聞ける環境。アンケートで改めて考えさせられた。テレビ等でNHKの方言であそぼ等、常に放送があると良いと思う。
女性	50代	那覇市	方言を残すことがしまくとうばを残すことに繋がるのではと思いました。 方言講座の派生で取り組めば愛着が湧くと思います。
男性	50代	宜野湾市	日本語も時代に合わせて変化している、しまくとうばも現代に合わせて変わるのを認めなければならない。

2. 調査結果の詳細

女性	50代	宜野湾市	1つの言語として、英語のように方言のリスニングや活用、地域ごとの表現の違いなどを学び、方言での会話・プレゼンを行うなど、高校での選択科目の1つとして単位を与えるなど、科目として方言の授業の開設をしてみても良いのでは。啓発だけではなかなか方言を復活させるのは難しいのかとも思う。
女性	50代	宜野湾市	学校教育に入れるべきではなく、クラブ活動等で県費で配置されるなら良いが、学校現場の職員が「しまくとうばがあるからやりたく無い」の選択をしてほしくない。
男性	50代	宜野湾市	言葉は日常に使用すること、多数の人々が共通語として使用する事で残る。
女性	50代	宜野湾市	共通の言葉は、地元にも所属する者のアイデンティティを保つのに必要なもので、継承していく事が地元を大切にすることに繋がると思います。
男性	50代	宜野湾市	年齢的にしまくとうばはよく使いますが、30代以下がほとんど喋れない、聞き取れない、寂しいです！しまくとうばを残せるよう頑張っていきたい！ちなみに東京に住んでいる孫に教えていますよ！
男性	50代	那覇市	言葉は文化です。文化は常に変化して行きます。残そうと思わなければ消えて行きます。是非残す努力をして下さい。
男性	50代	那覇市	普段から使える環境が大事。祖父母、父母等が使っていたので聞くことはできるが、流暢に話せない。学校などあらゆる場面で話す機会を作らないと廃れてしまうので、官民間問わず積極的に機会を作してほしい。
女性	50代	与那原町	あいさつ程度でもいいので、学校等で日常的に使えば、方言の継承へつながると思います。
女性	50代	名護市	しまくとうばの表現は沖縄のちむぐりさを感じさせるものが多い、標準語ではうまく表現できないものがあります。このような、表現巧みな言語文化を持つ沖縄に生まれたことを誇りに思っています。使う人は減り、子どもたちの身の周りで使うためには学校でも学べるといいと思います。合わせて、沖縄の歴史も学べるようになってほしいと思っています。
男性	50代	宜野湾市	『しまことば』としての言葉の学術的意義の説明も必要と感じます。例えば、『ハイサイ』や『チャンプルー』は、外来語。『カリー』とかは、大和言葉など、古の言葉が現代でも使用されている大切さ等。

女性	50代	宜野湾市	<p>私が学生の頃、OTVとRBCが毎週沖縄芝居の放送をしていて、母が欠かさず見ていたことでしまくとうばを聞けるようになった。</p> <p>TVの力は強い。高齢の叔母が郷土劇場を楽しみにしているが月1では少ない。</p> <p>ローカルニュース番組のコーナーも良いが、もっと拡充させてもよいかも。</p> <p>祖父母は沖縄出身だが仕事で内地帰りのためしまくとうばで話したことはない。</p> <p>敬語が話せないで、兄弟やいとこくらいの親しい中でしか会話出来ない。</p> <p>また、同級生もほぼしまくとうばがわからないため、しまくとうばの和訳が出来ずにニュアンスが伝わらなくてもどかしい。</p> <p>欲を言えば、沖縄語辞典を再版して普及してもらいたい。</p>
女性	50代	竹富町	<p>しまくとうばはぜひ継承していただきたいです。</p> <p>私は移住者ですが、しまくとうばを話す高齢の親を持つ子どもですら、聴いて理解はできるけど話せないっておっしゃいます。</p> <p>島によって本当に違うので、画一的に学習できないのが難しいし、少し話せるようになったとしても、他の地域でも使えないのがもったいないです。</p>
女性	50代	恩納村	<p>誇りに思う言語です。しまくとうばが自然に飛び交うようになってほしい。</p>
男性	50代	那覇市	<p>いろいろ興味を持つ小学校で挨拶程度のしまくとうばは教えて欲しい。</p>
男性	50代	北大東村	<p>うちなんちゅのアイデンティティには、しまくとうばは必要だと思います。</p>
女性	50代	那覇市	<p>家庭でも学校でもしまくとうばを全く聞かない環境の中、残していくのは難しいと感じています。</p> <p>官公庁、テレビ等でしまくとうばを使うのはいいと思います。</p> <p>学校での授業でも取り入れていただけたら、時間はかかると思いますが、普及していくのではないのでしょうか？</p>
女性	50代	宮古島市	<p>若い世代に伝えていくのはとても、良い事だと思います。</p>
男性	50代	浦添市	<p>しまくとうばを特に意識して使用する月間など全県的に実施し、テレビや新聞、SNSと連携し年齢問わず普及する取り組みなどは継承に繋がるのではないのでしょうか。</p>
女性	50代	那覇市	<p>自分自身ではあまり使う機会はないが、地域の「ことば」はやはり残していきたい、残すべき、と思います。</p>
男性	50代	那覇市	<p>私は現在、57歳ですが、子供のころはどちらかというと、方言は使ってはいけない、標準語を使いなさいという時代だった記憶があります。</p> <p>しまくとうばを継承していくためには、子供のころから親しめる環境が大事だと思います。</p>

2. 調査結果の詳細

女性	50代	浦添市	一度廃れてしまったら復活させるのはかなり困難だと思うので、時代に合った SNS などを活用したりして普及活動していくのもいいと思います。活動があまり浸透していないように感じるので、アピールに役立つのではないのでしょうか。
男性	50代	那覇市	話すことが減り分からなくなってしまった。子どものときに比べて話す機会は激減しているように感じるので環境づくりは大事だと感じる。組踊等で標準語訳のパネルの公演を鑑賞したことがあるが動画配信や TV 等のメディア配信で耳にする機会作りが必要か？

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（60代）

女性	60代	那覇市	聞き取ることはできても、話し方はかなり難しい。特に目上の人に対しての丁寧語、幼い時から活用していなければ無理だと思う。官公庁等でしまくとうば話せる方はどのくらいいますか？
女性	60代	伊是名村	自信を持ってしまくとうばを推進して行ってほしいと思います。自分達が生まれ育った地のことばは、成長していくうえでの、その人の歴史の一部でもあると思います。又、自分のお父さん、お母さん、先祖代々いわば自分のルーツを知る上でも、ぜひ自信を持ってしまくとうばを使って行ってほしいと思います。
男性	60代	名護市	学校教育でのしまくとうばの推進。テレビ、ラジオでのしまくとうばの使用。
女性	60代	沖縄市	沖縄のしまくとうばが大切に継続されたら良いと思います。
女性	60代	那覇市	しまくとうばを耳にする機会がもっともって増えていけばよいと思う。お笑いや、TVなどで、面白く、工夫したものがないものかと思う。
女性	60代	那覇市	家庭や小学校での教育が必要です。沖縄芝居の面白さを理解できるようにしてほしいです。
女性	60代	那覇市	保育園など幼い子供たちに対して敬語などの美しいフレーズを草の根的に浸透させていく方法を考えていくべきだと思います。インターネットなど足を運ばなくても知識が得られる手段があれば、興味を持つ人々が取り組みやすくなると思います。
男性	60代	うるま市	言葉は幼少の頃から習うのが自然に覚えると思います。共通語まじりのシマクトウバでは、あまり伝わらないと思います。日本の英語の授業の様に実戦力になりません等々。
女性	60代	那覇市	子ども達があいさつ程度でも、しまくとうばを使える様になれば、沖縄の未来は明るいものだと感じます。
男性	60代	豊見城市	しまくとうばは地域によって異なり独特のイントネーションもあり大切にしたい。よって地域先輩方から直接教えてもらう、又は接する機会が必要。ゆんたく会も良いのでは。公民館等で。
男性	60代	那覇市	年齢が60代の私は、4、5歳頃隣に住んでいるおばあちゃんがよく沖縄芝居に連れて行ってくれたので方言は聞きとれました。幼稚園生や小学校低学年生は、学校で月に1回は、沖縄芝居をする方を招待して聞かせて欲しいです。回数を増やしていくと、感情、心情も伝わり、自然と聞けるようになると思います。優しい子供になると思います。
女性	60代	那覇市	比嘉光龍先生とか八木政男先生とか、ゲストに呼んでのイベントとかしてほしい。色々な地域の方言を習いたい。

2. 調査結果の詳細

男性	60代	沖縄市	沖縄文化の継承が必要であると思いますか？いざ生活の中ではどうでしょうか？伝統芸能などの時に教える言葉でのコミュニケーションツールですか？AIが普及している中でことばは廃っていく気がします。普及継承していくために、ことばを民謡調にして、誰もが歌えて聞けて話せる“ヒットソング”が必要だと思います。
女性	60代	宜野湾市	60代の私ども世代でも、上手く語ることの出来ないしまくとうば！先人の大切な日常のやさしさや思いやりから逆境を乗り越え自らを鼓舞する。励ましのしまくとうばは、是非後世に残したい。只、使用する環境、頻度を意図的に行政含めた取組みを構築する必要があるのではないか？例）月に一日はシマクトウバを使用する日！
女性	60代	那覇市	強制するのではなく、興味のある人が学べば良いと思う。アンケート実施するのは、いずれ強制するイメージがあり、あまり好ましくない。好きであれば自身で学ぶと思うので、楽しく学べると良いと思う。
女性	60代	沖縄市	沖縄県民として「しまくとうば」は、大切にし子や孫達の世代につなげて行って欲しいです。
男性	60代	うるま市	周囲に「しまくとうば」を話す方がいません。地域の老人会等の「ゆんたく会」に積極的に参加することだと考えています。
男性	60代	那覇市	日本語に英語表記を付ける様にしまくとうばを表記する。
男性	60代	南城市	日本語（共通語）同様、しまくとうばにも目上と話す敬語と友達と話す言葉があるので、それをしっかり分けて教育した方が良いと思う。学習する側も、ごっちゃにされると実用的じゃなくなり、途中で諦めてしまうと思います。ちなみに自分はウーフー（敬語）があまり得意じゃないので、親以外の年寄りには共通語で話しています。
男性	60代	大宜味村	地域の方言を教える事が優先だと思う。
男性	60代	南城市	必要な人は、自ずと学ぶ。廃れるのであれば、それは時代が必要としてないと考える。しまくとうばは、それぞれの地域で続けていけばよい。必要と感じている人は、使っていけば良い。島くとうばがなくなっても、沖縄はなくなる。アイデンティティは個人で考えればよい。政策は他にあるだろう。今必要課題か。
女性	60代	伊是名村	後生に残す為、必要だと思います。
男性	60代	八重瀬町	子ども達へ組踊りなどの鑑賞を増してはどうですか。授業の一貫として！！
男性	60代	宜野湾市	学校でお願いしたいと思います。
女性	60代	うるま市	SNSだと自分の好きな時に観て覚えられるのではと思う、効果的！どういうチャンネルがあるか、若い人が楽しそうと観るきっかけになるよう知らせてアピールする必要があると思う。SNSの利用活用に力を入れて！楽しいチャンネルがあると良い。今は配信が止まっている「You中部Okinawa」や「rain@沖縄方言で歌ってみた」はよく観ている。面白いです。地域でのイベントもあり楽しそう。イベントも効果あると思います。このアンケートで初めて知りみました「使ってみようしまくとうばナビ」インターネット音声でしまくとうばが聞けるのはよいですね。

男性	60代	本部町	保育園などからしまくとうばを少しずつ取り入れて遊ぶ。継承などの大切さを伝える。教育に取り入れていく。
男性	60代	豊見城市	各地域のしまくとうばの違いがあるので、学校で取り組めば良いと思う。
女性	60代	宜野湾市	ケースバイケースで「しまくとうば」を使っていければ良いと思う。
男性	60代	与那原町	小学校での総合学習、又は発表会などで大いに発表してほしい。
女性	60代	那覇市	官公庁や民間企業等での挨拶程度は親しみやすく何回も聞いた中で、自分自身に馴染んでくると思っている。共通語では表現できないニュアンスがある「しまくとうば」があるので、そのままを残していけるよう使っている。
男性	60代	那覇市	少しずつ話せるようになれば普及してゆくとと思います。
男性	60代	渡名喜村	県で取り組むと6地域の言葉を網羅しないといけない。各地域で地域の言葉を使うことが大事。その意味で大都会（市）は6地区以上からの寄り集まりで、一つの言語を指導するのは、難しい。
男性	60代	那覇市	地域によって重要性の違いがあると思う。学校の授業のカリキュラムに入れるのは、離島や中部・北部・南部はいいとして、那覇市や浦添市等では、その時間があれば英語等の外国語を教えた方が、まだいいと思う。那覇市の場合、私が話す方言と首里の方言とでも違いが大きい。使い方によっては失礼になる事もあるので、その時々で使いわけている。
女性	60代	今帰仁村	しまくとうばのことわざのカレンダーがあると興味を示しそうです
女性	60代	南城市	テレビやラジオのメディアを活用して普及して欲しいです
女性	60代	北大東村	北大東村での「しまくとうば」は有るのだろうか？八丈島文化・沖縄文化等が入り交った島なのでしまくとうばは活用した方が良いと思います。使い方（敬い言葉）等を学ぶと人（お年寄り）とのコミュニケーションが取りやすい非常に役に立って思います。普及継承して下さい
女性	60代	中城村	しまくとうばを直訳すると、インパクトの強い言葉もあります。意味を理解し話せたら良いと考えます。
女性	60代	那覇市	小さい頃から耳で聞き、使い、慣れ親しんでこそ「しまくとうば」だと思う。幼少期から「しまくとうば」に触れる機会、例えば沖縄の芸能文化（歌三線・組踊り等）に興味を持ってもらうよう課外授業に取り入れる。地域、離島で「しまくとうば」も異なるので、又それぞれに継承していくことも大切だと思う。
女性	60代	豊見城市	70・80・90代の方でも「しまくとうば」を使わず、共通語で話すので、どんどん話せる人が少なくなっていると思います。（年寄りが気を遣って方言をしゃべらない？）老人ホームとかに小・中学生（幼児も！）の子供達を授業の一環で行かせ、方言で会話するようにさせ交流を持たせたら1番いいのかなあとと思います。英会話もそうだけど、絶対遊びながら、友達感覚でワイワイ、フリーで楽しんでジェスチャーしながら会話をした方が言葉を使えるし「しまくとうば」を大切に思うと思います。

2. 調査結果の詳細

女性	60代	北谷町	話せる高齢者と若者との交流・伝統、地域料理や菓子、他手作業を行なうイベントでの実戦的、言葉の使用と習得。
女性	60代	東村	近年は核家族化が進み祖父母との交流、会話が少なくなっているのも一理かと思われます。自分自身、両親はもとより周りに高齢者が少なくなっていて会話も標準語が多く月2回の地域の高齢者の集まりで使うくらいです。絶やさないためにも学校で道徳の時間にでも取り入れた方がいいかと思います。今は保育園でも英語、中国語を教える代になっているのに地元の言葉がなくなるのは淋しいことです。
女性	60代	-	私は60代で本土から移住しました。地域の方との交流で方言を覚えてもらう事が有りますが、とても難しいです。
男性	60代	うるま市	テレビ、ラジオ、SNSで昔話のしまくとうばバージョン。文字、発音を目と耳で分かりやすく伝える。
女性	60代	うるま市	テレビ、ラジオでしまくとうばの番組（アニメとか）があると良いと思う。
女性	60代	那覇市	しまくとうばを学校の授業に取り入れたらいいと思います。今は、祖父母との同居が少なくなっているので、だんだんと日常にしまくとうばに触れる機会があまりにも少なくなっていると思います。
女性	60代	宜野湾市	60才台でも、聞けるけど話せない又は、全くわからない人が多い。
男性	60代	多良間村	言語は使わなければ、話さなければいずれ消滅する。若い世代が理解出来なくなり、あとは消滅を待つのみ。多良間のしまくとうばも、消滅言語の危機にさらされているが、島でそれを危機的に思っている人はいかほどいるのか。一度失われてしまえば永久に復活することはない。アイヌ語（北海道）の話し手がいなくなった様に、多良間のしまくとうばも何もしなかったら同じ道を歩む。若い世代が受け継いでくれない限り（話せない）、言語は残らない。日常や仕事では何ら必要はなくても、残さなくてはならない文化だと思う。沖縄の伝統と誇りがつまった「しまくとうば」を失ってはならない。今からの取り組みでは遅すぎるが、でもまだ間に合う。この世の中から消えた言語は多数ある。そして、消滅危機を迎えている言語も多数ある。今、何もしなければ「しまくとうば」は確実に消えてなくなる。県外出身、しまくとうばを全く話せはしないが、どうかなくならないでほしいと切に願う。
女性	60代	うるま市	沖縄県内のしまくとうばは、各市町村でも部落（地域）に寄って皆アクセントというものがあり、昔ながらの言葉は時代により難しいと思います。でも、私個人として孫達に有る程度、自分の生まれ育った方言を聞かしています。とても笑いますが英語使っているとも言っていますよ。

女性	60代	宮古島市	島言葉は若い時なかなか使いきれなかったのが、50～60代の年齢になってみて、とても重要だと思っています。それは聞けるのに話せていないのが現実だからです。60代の方達ほとんどの方が話せていません。若いうちから話す、聞くを、しっかりと訓練しておく、自然と「しまくとうば」が身につくやすく、話せたりする事につながっていくと思う。民謡もいいかもネ！とにかく毎日聞く、話すが大重要！！
男性	60代	南風原町	うちな一芝居をTV等で県民に見せることで、普及につなげてはどうでしょうか。
男性	60代	南城市	家族の中で、しまくとうばを使わないとダメ。
女性	60代	石垣市	しまくとうば講座の開設大いに開設してほしいです。仕事や時間等でなかなか参加が難しく、曜日を変えて時間も替えて開設してほしいです。
女性	60代	豊見城市	しまくとうばは聴くことができるし、とてもすばらしい表現が多く、今後残してほしいし、使う機会があったら良いと思うが話すことはできない、できなくなっているのが残念です。
女性	60代	南城市	しまくとうばにしか表現できない言葉が、普通に聞けなくて「どういう意味？」と会話が弾むコミュニケーションに使っていますが聞けても（なんとなくわかる）、しゃべれなくても、なくしてはいけないと思います。
女性	60代	北谷町	子供達に継承していく為にマンガなどに多く使用した方が受け入れやすいのでは。
女性	60代	宜野座村	「しまくとうば検定」とかを官公庁教員等の必須科目にするとか、若い方、子供達にどう普及させるかですよね。今、方言のアニメをしていますが、とてもいいと思います。
女性	60代	那覇市	小中学生の「しまくとうば」での弁論大会などとても良いと思う。小さい頃から馴染んでおくのが大切だと思う。
女性	60代	那覇市	昭和の時代はテレビで沖縄の踊りや芝居等を字幕付で流れていたの、祖父母と一緒に観る機会もあり、ある程度話せて聞き、理解出来ていたように思います。今は身近にしゃべれる年配の方も少なく（方言）言葉を覚える機会もありませんので、現在放映されているテレビアニメなどを利用すると子供達にも浸透していくのではないのでしょうか。標準語、国際語（英語等）、「しまくとうば」覚える言葉がたくさん。
男性	60代	那覇市	話す内容によって使い分けると良いと思います。
男性	60代	宜野湾市	グローバル化に反している。意思疎通のためのものであるため、英会話の普及に力を入れるべき。
男性	60代	宜野湾市	小学校から週に2授業程度教員がしまくとうばで授業をする。
女性	60代	宜野湾市	現在、放送されているアニメ「沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる」のような作品などでまずは方言に興味を持ってもらい、親しみと誇りを感じる人を増やす事が大事だと思う。
男性	60代	北谷町	無理やり普及させようとしても難しいのでは？
男性	60代	宮古島市	高齢者の方々の積極的な方言普及活動導入。
女性	60代	浦添市	家庭の中で家族同士がしまくとうばをどんどん使うことも良いのではないかと、思います。

2. 調査結果の詳細

女性	60代	宜野湾市	情報発信することでまず親しみを持つ人を増やすのが先だと思います。今アニメも配信されているのでいい機会だと思います。
男性	60代	那覇市	普及取組みをしている内容等、もっとPRして欲しい。現在ほとんど認知されていないのでは。
女性	60代	うるま市	しまくとうばを話せる高齢者が少なくなっていく中で是非、歌、芸能の保存をお願いします。方言は使わないようにしましょうと言う小学校での教育で学び、家庭でもそうでした。祖父母との関わりで聞く事はできますが話せません。
男性	60代	八重瀬町	地域ごとの言葉をアーカイブして使えるようにする。AI を利用することでアプリの開発など。
女性	60代	沖縄市	しまくとうばがわからない人への翻訳(スマホで同時にできないか?)。
男性	60代	沖縄市	沖縄にある4大方言を残すようにしてほしい。
女性	60代	那覇市	ローカルテレビならではで、しまくとうばでクイズ大会などやって欲しいですね。

「しまくとぅば」の普及推進についての意見、感想（70歳以上）

女性	70歳以上	那覇市	日常生活の中、さりげなく「しまくとぅば」を単語でも使うといいと思います。あいさつで少しずつ、自然体で「方言」を使うようにし、方言講座や沖縄芝居、身近な祖父、祖母や学校でも一口講座や芝居・御笑い等で伝える事もいいかと思います。「方言」は、大切だと思います。「ルーツ」のお勉強と合わせて方言を学べると楽しくなると思います。
男性	70歳以上	うるま市	民謡・古典の言葉の意味など、物に対しての方言名などTV（民謡で今日拝なびら、八木政男さんの方言）がとても参考になる。現在、70才になるが、子供の時方言を使う事はあまり出来なかったので、今でも物に対してなんと言っているのか、わからない。年配の方の方言だと金を払っても聞きたいです。
男性	70歳以上	宮古島市	QABで放送中のアニメ（沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる）は効果大、解説がついている。沖縄民謡の普及（背景、歴史の解説をつける）。方言ニュース、テレビでやってほしい。
男性	70歳以上	那覇市	方言禁止令の親の元で育ったので全く話す事が出来ません。この年で話せないのは、とても恥ずかしく思います。未来有る子供達には、ぜひしまくとぅばを継承して欲しいですね。
女性	70歳以上	那覇市	コミュニケーションが必要な場所で義務的にするのはどうかと思います。日常的に使っている言葉が残れば良い。プロ級に話す必要はあまり感じない、島んちゅのアイデンティは他でも感じると思う。
男性	70歳以上	那覇市	江戸時代の言葉は、現代人はほとんど知らない。ことばは時代とともに成長して行くので時代に合った言葉でいいと思います。
女性	70歳以上	伊平屋村	各市町村によって、いろいろと語り合う、アクセント、品物の名前も変わっています。その集落の話し方にもよると思います。
女性	70歳以上	久米島町	TV、ラジオ、マスメディアで数多く取り上げて欲しい。我々も多くはマスメディア等で琉球文化や方言やしまくとぅばを楽しみながら学んだ記憶がある。それが効率的であろう。例昔：OTV「郷土劇場 芸能の広場」、ラジオ沖縄「4時の沖縄放送劇」「方言ニュース」、RBC i ラジオ「民謡で今日拝なびら」等々。
男性	70歳以上	南城市	小、中学校の休み時間に方言（しまくとぅば）を使いましょうと教育する。
男性	70歳以上	那覇市	小学校低学年生から、あいさつや島くとぅばで体の名称が言えるなど教育の一環に取り入れていかないと「ワッターウチナーグチ」はなくなる気がする。県と教育関係で今後の「島くとぅば」推進を真剣に考えて行かないと将来、沖縄島くとぅばは消えてしまうと思う。

2. 調査結果の詳細

男性	70歳以上	南風原町	童話や童謡を方言訳にし「学習発表会」等で発表の場にするのもよいかと思えます。しまくとうばに馴染む第一歩だと思えます。
女性	70歳以上	那覇市	沖縄のことわざを紹介、琉歌の紹介等をする事や、物の名称を方言で伝える。例、あちこうこう、ひいさがまらさー、カンダバー、あしていびち、ガージュー、ガンジュームン。
女性	70歳以上	北谷町	教育でというよりも、楽しく覚えられれば忘れないのでは？例えば、音楽にのせて、マンガ本を作る、芸人の人達に使っていただく。
男性	70歳以上	宜野座村	地域の島クトウバの生の（75才以上）発音、イントネーションを早急に作る必要が大事である・言葉の辞典で地域の心・想いがそう遠くない日に消えていく気がして寂しい。
女性	70歳以上	那覇市	幼少の頃は父母と方言で会話していました。学校へ行くと方言使用禁止だったので、会話ではなく単語で方言を入れる程になり、今は聞く事は80%位理解出来、話す事は余り出来ません。TV等で方言ドラマやってほしいです。
男性	70歳以上	那覇市	各市町村で積極的に使ってほしい。
男性	70歳以上	八重瀬町	まず、すぐ会話と言う事より、ひとつひとつの単語をもっとメディア（新聞、テレビ等）に使用して行く事が良い方法と思えます（例、タレント、護得久栄昇さんの“チャメ”のように）。それから会話へと進めていけたらと思えます。話す事はすぐには無理です。まだ聞きわかる事が大切な要素と思われまます以上。
女性	70歳以上	那覇市	テレビで、しまくとうばの番組を多くすると、聞けるようになると思えます。ただ、話すのは、なかなかできないと思えます。聞けて、意味がわかるだけでもいいと思えます。
女性	70歳以上	浦添市	親が住んでいる地域の言葉を子や孫に教えること。自分の住んでいる地名は方言で言えるようにする。過去に高校生に地域の名を方言で言うと、全く理解しておらず、がっかりした事がある。今の子は方言で地域の呼び方をほとんど知らない。
女性	70歳以上	竹富町	尊敬語が使えないので、ついつい拒んでしまう（祖父母は尊敬語で伝えなかった）。その為、子供に伝えるのも、難しいものがある。
男性	70歳以上	石垣市	地域（各地域）の高齢者（方言ができる）が、どんどん少なくなっている。又は、方言を話す機会も少なくなっている。方言がなくなること（文化）がなくならないよう努力が必要。
男性	70歳以上	金武町	日本全国には色々な言葉はあると思う。各県もそうだけど、方言を大切にしたい。日常から型にはまらず、話せたら良いと思えます。
男性	70歳以上	うるま市	私が孫たちに「しまくとうば」を使って会話をしたりして、「しまくとうば」の言葉の意味の良さを教えたい。

女性	70 歳以上	北中城村	「しまくとうば」は好きだが、強制はしないでほしい。必要な人、使いたい人が学べるような環境を作るのは大賛成です。
女性	70 歳以上	那覇市	沖縄県人が過去築いた文化（琉球舞踊、空手、紅型染め、琉球織物、音楽、琉球料理、泡盛等々、独自の秀れた文化を創造発展させ花を咲かせたのは琉球語使用していた時代の言葉なのでウチナンチューとして継承発展させる事は良い事と思う。
女性	70 歳以上	名護市	昔の沖縄芝居（ストーリー）形式だと日常会話や敬語等々が楽しく（喜怒哀楽）学べると思います。自分自身も、祖母に連れられて、幼い頃に芝居小屋で、ストーリーを通して知らなかった「しまくとうば」を覚えることが出来ました。最近若い世代が使う「しまくとうば」には乱暴なイメージがある。敬語・普段語の違いをわからず使っているのを聞いて、教えられたらなあと痛感します。
女性	70 歳以上	石垣市	大事な言葉は標準語日本語です。その次は世界語である英語だと思います。このふたつの言葉ができれば、たいていの社会では生きて行けます。地方方言は必要な人、また好きな人がやればよい。学校教育では必要ないと思います。言葉は必要であれば、放っておいても残ります。必要がなければ消えます。アイデンティティも同じだと思います。
男性	70 歳以上	西原町	標準語での会話の中で「しまくとうば」を入れられるぐらいの「しまくとうば」使用能力はあった方がよい。しまくとうばの面白表現を会話の中で入れるとユンタクが盛り上がる。
女性	70 歳以上	那覇市	県内のニュースなどで島ことばで伝えるコーナーがあると良い。特に「お天気ニュース」など、ふだんの生活に生かせそう。毎日耳にすると慣れてきて日常に使える。年配者の使用だけでなく若い人が話すことでより身近に感じて使いやすく広がりやすいのでは？もっと若い人に普及して欲しい。
男性	70 歳以上	那覇市	このアンケートを読んで「しまくとうばの普及・継承」に取り組んでおられることに、とても感謝しています。現実が共通語の世界なので大変とは思いますが、少しずつ「しまくとうば」のアイデンティティが高まることを期待します。ぜひ高めて下さい。お願いします以上。
女性	70 歳以上	石垣市	郷友会、同窓会など、同郷の友人や仲間達とは、方言が飛び交います。地域の行事、神事などでは、方言が使えないと、戸惑うことがあります。方言（しまくとうば）を使えると楽しいコミュニティの場が多くできるといいね。郷友の経営しているパーマ屋さんは、うってつけのしまくとうば練習場になっています。おかしなイントネーションで話すので、皆周りが楽しくなりますよ。

2. 調査結果の詳細

女性	70 歳以上	南城市	テレビでハワイ語が島民の努力で復活普及しつつあるということを知ったが、他の国、地域でも消滅寸前の言語が復活した例がある。それらの成功例を研究して学ぶ必要がある。沖縄には世界に誇れる民謡・舞踊があり、それらを理解し継承していくには「しまくとうば」を絶やしてはならない。先ず学校や家庭で使えるように国語と同じ位に授業に位置付けるべきでは。そして、昔と比べて格段に減ったテレビやラジオでの沖縄民謡や芝居の放送を数多く活用してはどうだろうか？
女性	70 歳以上	竹富町	沖縄県は、離島が多いので、各島々の方言が違うので、各島で普及に取り組みれば良いと思います。ぜひ、普及してほしいです。
男性	70 歳以上	宜野湾市	テレビ等で方言を、使う番組を増やす。
女性	70 歳以上	石垣市	まだ語れる世代が残っているので、軽い取組でも、すぐ復活出来るのではないかと思います。まずは家庭内で話せる意識を持つことかな？
女性	70 歳以上	那覇市	しまくとうば「方言ニュース」各局でやって下さい。テレビでも。
女性	70 歳以上	宮古島市	テレビやラジオで各地域の島言葉を放送し、コマーシャルの中に取り入れて効果を出していただきたい。
女性	70 歳以上	糸満市	公民館や集会所で地元の言葉で話す機会を増やす事で自然に使い慣れていく事ができたらと思います。
女性	70 歳以上	那覇市	公民館や福祉センター、児童館等で、しまくとうば講座をしてほしいです。
男性	70 歳以上	うるま市	私は現在、校区の小学校にて週2回（1：30～1：45）島くとうばでの読みかせをしています。公立の小・中・高で積極的に学校サイドで、しまくとうばへの意識を高める取組を試行することを提案したいです。「話せる」前に耳を慣らすことから何らかの取組や工夫の挑戦を図ってみてはどうでしょう。老人会世代で「聞ける」けど「話せない」と言う老人層の感覚が理解できない。公的集いで「はいたい、ちゅうがなびら」だけの話し始めは全くナンセンス。せめて半分でも沖縄口の努力をしてほしい。
女性	70 歳以上	宜野湾市	教員がしまくとうばを知らないのでは？教員採用試験にしまくとうばも導入したらどうか。
女性	70 歳以上	糸満市	会話がな（特に若者）「しまくとうば」アニメで使ったあいさつでもと思う。
女性	70 歳以上	宜野湾市	常に使っていたらと思う。継続的に使う様にしたらどうか？
男性	70 歳以上	石垣市	周りに島言葉を話せる方がいない為、なかなか聞いたり、話したりする機会がない。毎年島くとうば大会があるが良い事だと思う。毎年楽しみにしています。聞く事は出来ても話せないもどかしさがある。
女性	70 歳以上	金武町	県民同士の会話の中で単語などが入ってくると、そのニュアンスがより効果的に伝わると思う。場合によっては楽しい時間にもなるでしょう。組踊りにも通じると思うし、古い単語の種類によっては沖縄の地域に発音が、どこかの県や国と同じ内容もあるだろうと考えられる事で、そのルーツを探し、時代を遡るのにも広く興味を持つことになると思う。
男性	70 歳以上	中城村	子供のときに教えた方が良く思う。

女性	70 歳以上	伊是名村	日常的にテレビやラジオで、「しまくとうば」を見たり、聞いたりできる企画をどんどん取り入れられたら自然に少しずつ、身につくのではないのでしょうか。たとえば、ウチナー版「サザエさん」みたいなアットホーム的企画なども良いのでは？
男性	70 歳以上	那覇市	NHKのおきなわHOTeye：沖縄の昔話（？）で正しい方言で話しているの、真似して話しています。
女性	70 歳以上	南城市	「しまくとうば」は、残して欲しい思いはあるんだけど、普段共通語に慣れすぎて、なかなか周りの人達と話す機会がない。今回のアンケートを通して次の世代に残す為には、私達「しまくとうば」を知っている高齢者が率先して使いたいと思う。
男性	70 歳以上	本部町	友達、各種集会では「しまくとうば」で会話を心掛けてはいかがでしょうか。
女性	70 歳以上	東村	方言札で育ち、嫌でも日本語を使う様な子供時代、沖縄のこぼの文化を失った今、大変な事だと思います。方言を使う老人も少なくなった今、大変だと思いますが頑張って下さい。
女性	70 歳以上	竹富町	しまくとうばは、大切な言葉です。なくさないようにしたい。
男性	70 歳以上	与那原町	標準語が通じない高齢者は、次第にいなくなると思うので、コミュニケーションのための「しまくとうば」は必要なくなると思う。したがって、「しまくとうば」の普及に力を入れなくてもよいのではと思う。
男性	70 歳以上	那覇市	しまくとうばのカルタで孫達とよく遊びます。大人より食いつきます。覚えたいというのを強く感じます。色んなCD付きカルタみたいなを作して下さい。
男性	70 歳以上	粟国村	私はS13年生れで沖縄しまくとばを使うのが楽しみです。
男性	70 歳以上	浦添市	しまくとうばと言っても地域ごとに違うため、普及の取組は、その地域ごとに細かく実施していくことが必要だと思う。取組に当たっては、地域ぐるみになるように工夫していくとよい。
女性	70 歳以上	那覇市	私は幼い頃におばあちゃんと生活してたので割と使用してたので割としゃべれるし、わかります。大分昔の事で今は全く近くで聞く事ありません。特に必要は感じません。残す事が難しくなっていくと思いますが残して欲しいと思います。
男性	70 歳以上	宜野湾市	各地域での、またそれぞれのしまくとうばがあるので、それもまた普及させたらどうでしょうか。
女性	70 歳以上	那覇市	家庭内で使える様になるといいですね。沖縄の昔話などの読み聞かせ等。
女性	70 歳以上	国頭村	幼稚園、小学生の孫が「アキサミヨー」と発する時家族が和みます。先生に教わったと喜んで話してます。学校で先生、友達と楽しみながら島言葉に触れていくのは良いと思います。私のマンチャーしまくとうばに興味を持って真似します。職場の入居者との会話等、日常生活でコミュニケーションに柔軟性が生まれています。

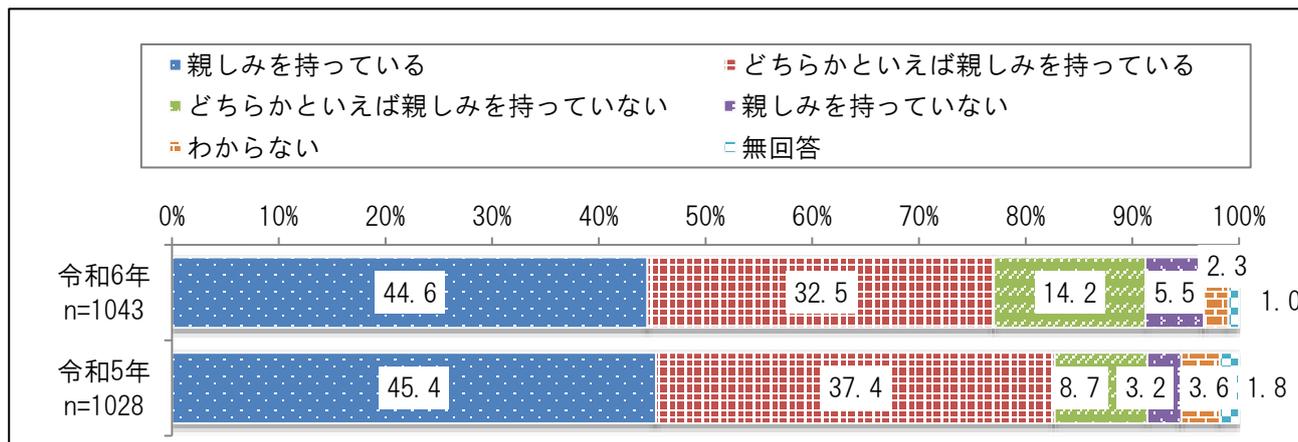
3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

(1) 問1.「しまくとぅば」に親しみを持っていますか。

「しまくとぅば」に対する親しみは、「親しみを持っている」の割合が令和6年度は44.6%で、令和5年度の45.4%より0.8ポイント低い。

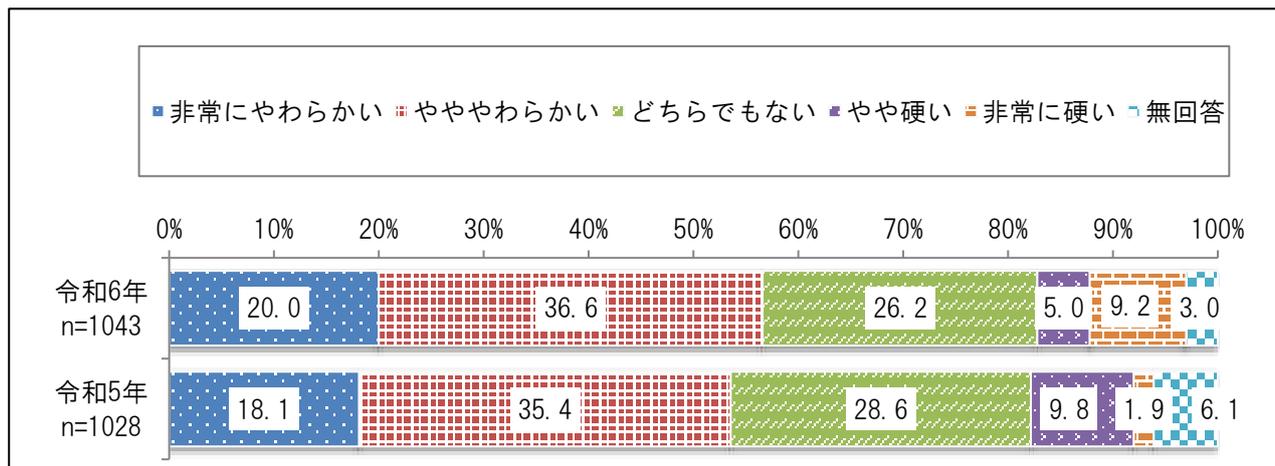
図表63. 「しまくとぅば」に対する親しみ



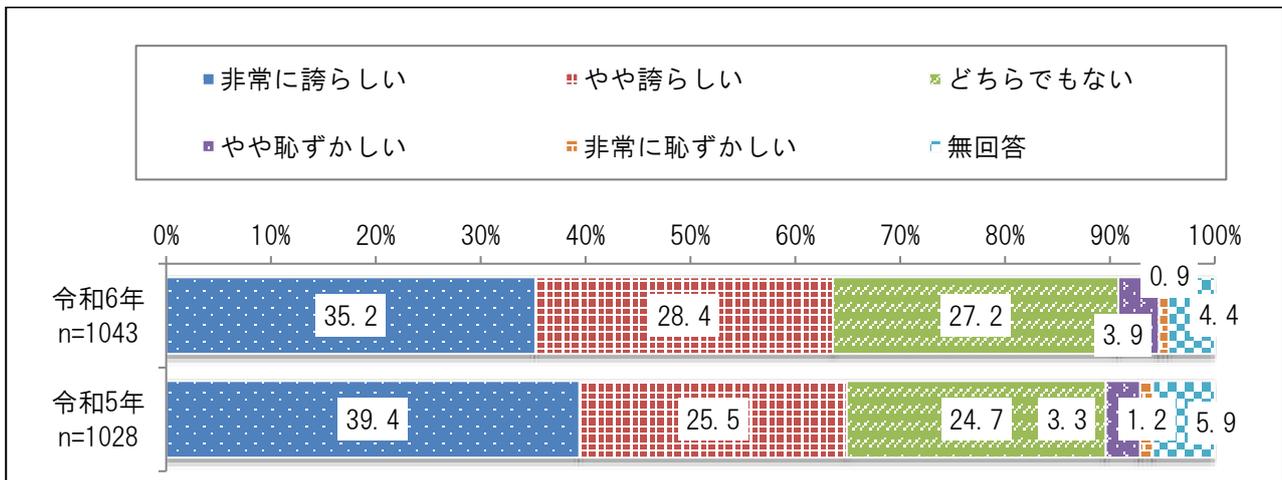
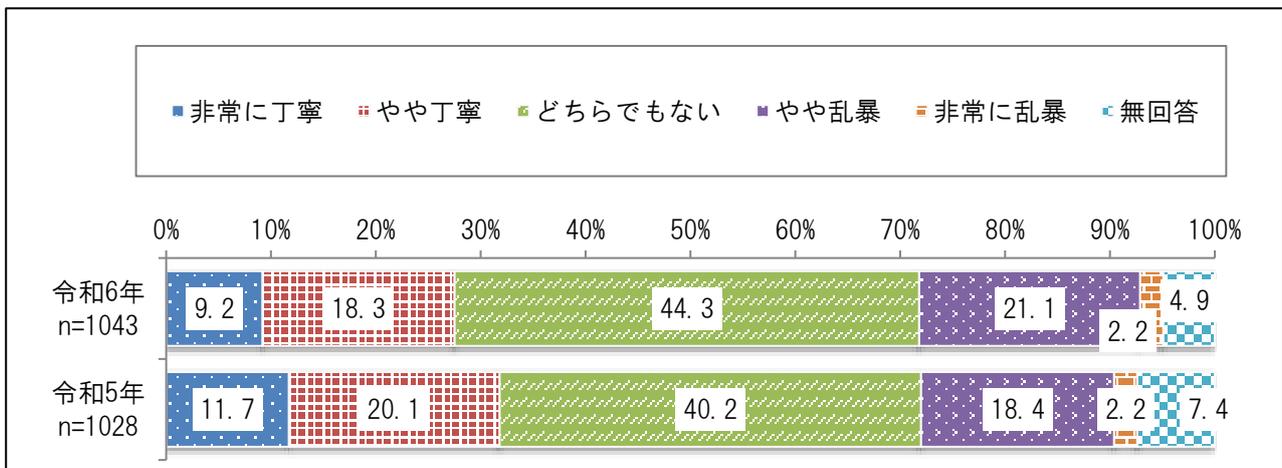
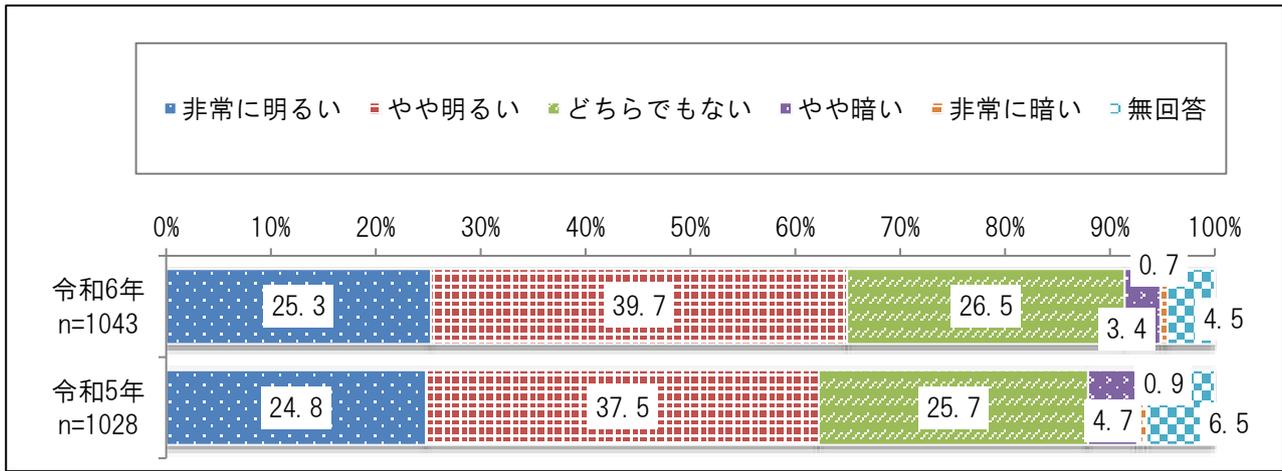
(2) 問2.「しまくとぅば」にどのようなイメージを持っていますか。

「しまくとぅば」に対するイメージは、「非常にやさしい」の割合が令和6年度20.0%で、令和5年度の18.1%より1.9ポイント高い。

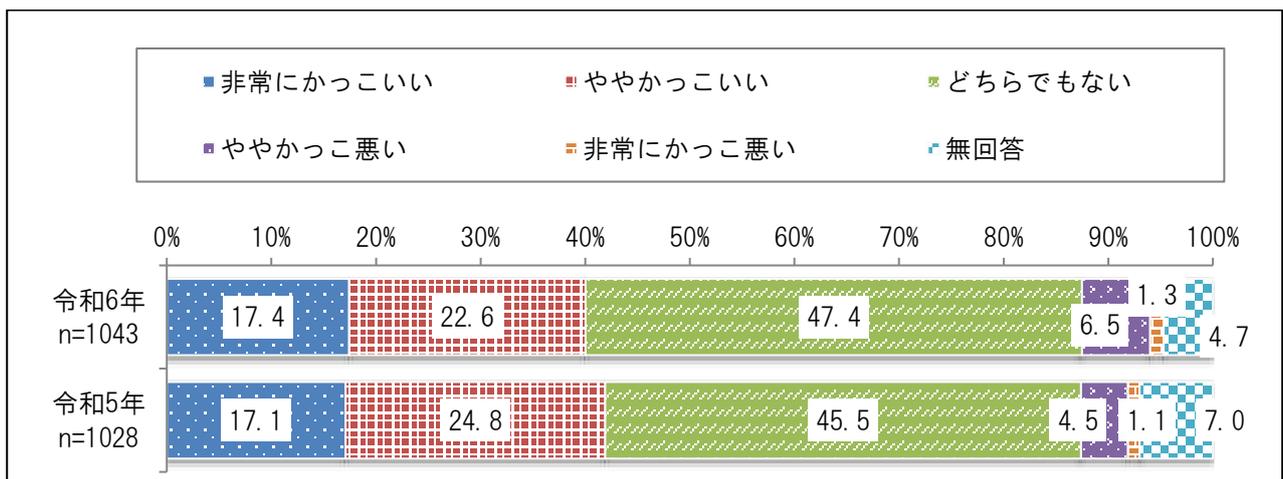
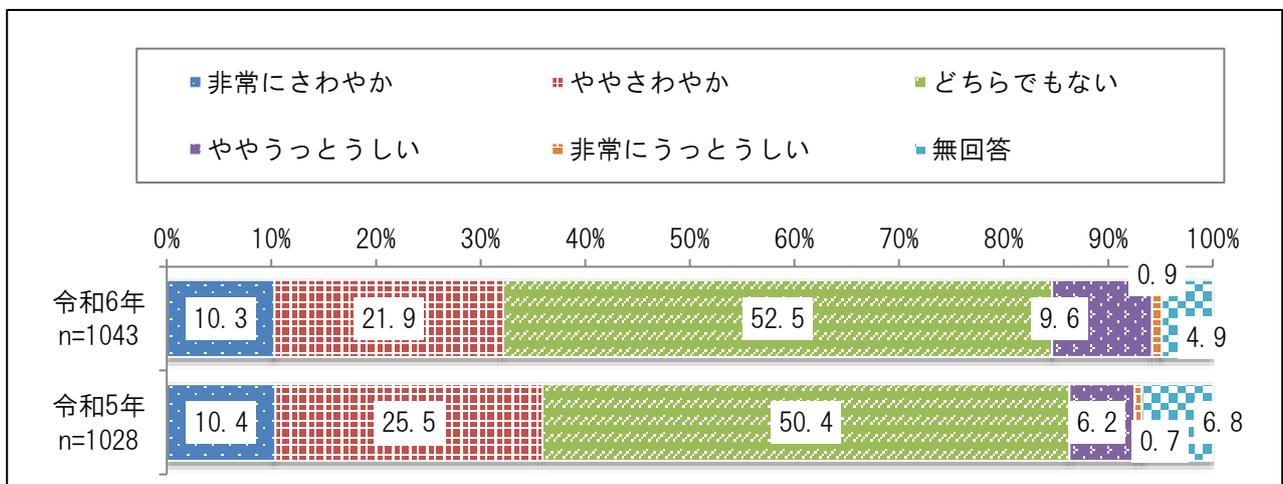
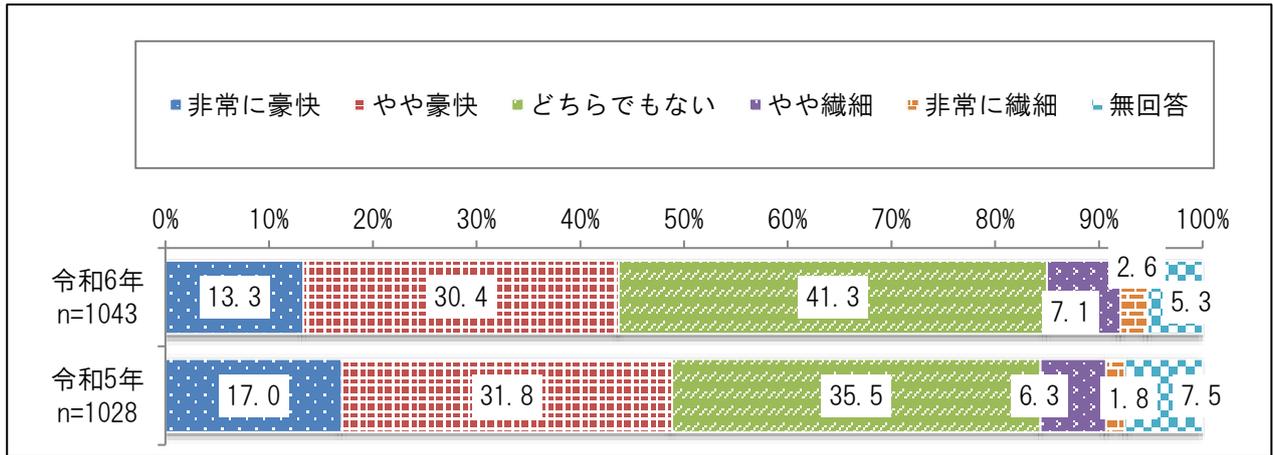
図表64. 「しまくとぅば」に対するイメージ

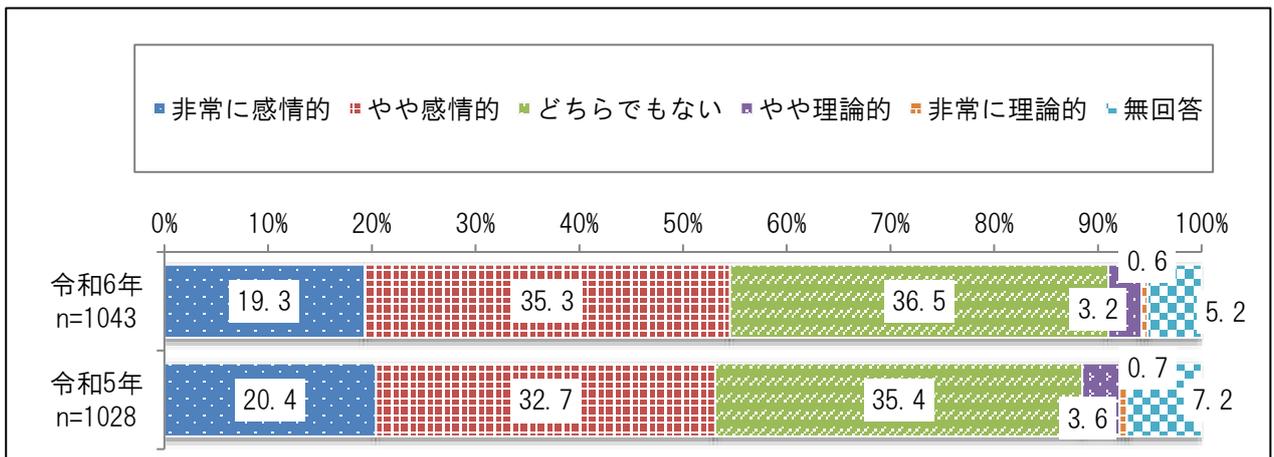
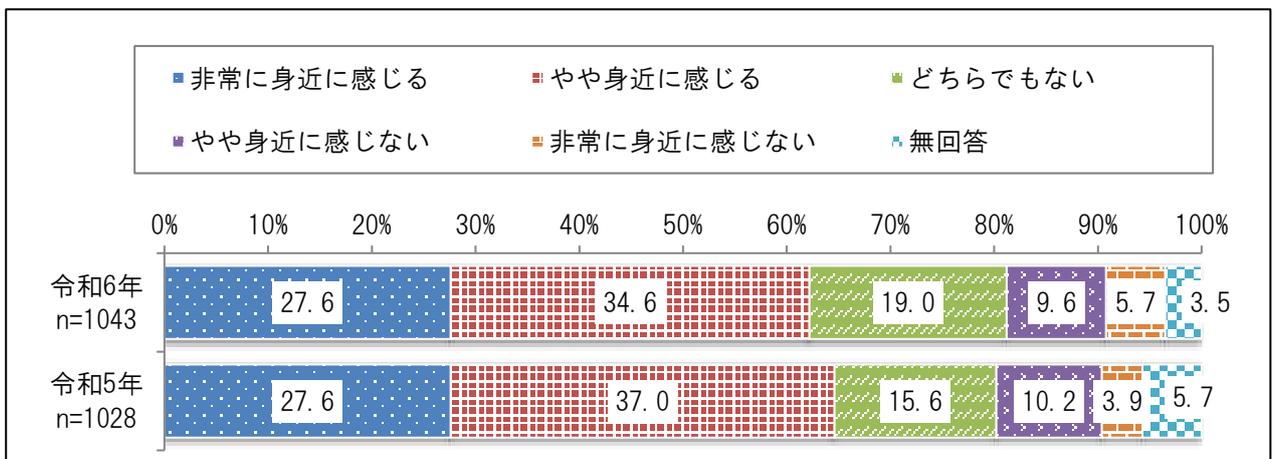
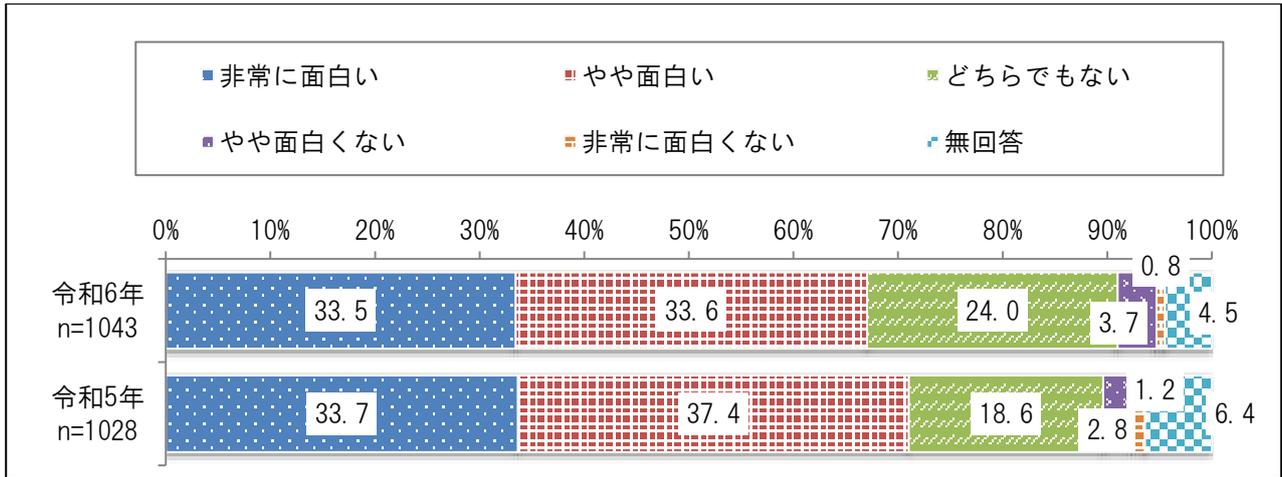


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

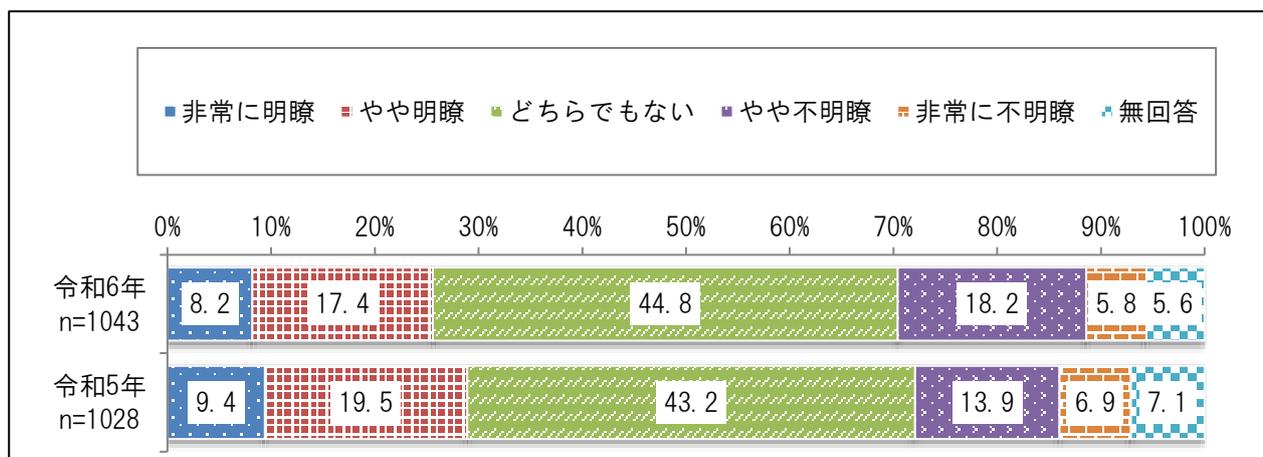
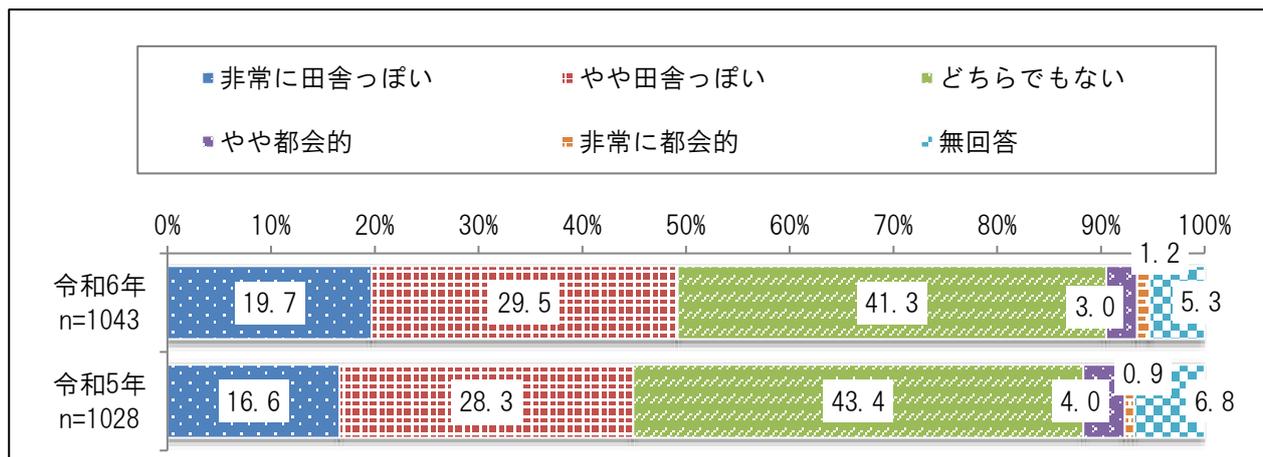


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較





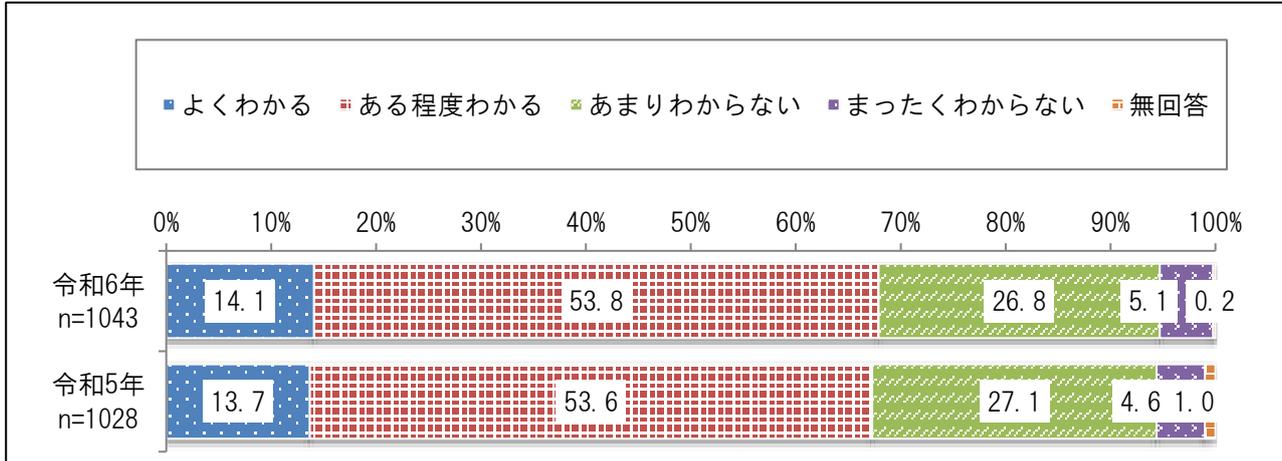
3. 令和5年・令和6年調査結果の比較



(3) 問4.「しまくとぅば」を聞いて、どの程度わかりますか。

「しまくとぅば」に対する理解度は、「よくわかる」の割合が令和6年度14.1%で、令和5年度の13.7%より0.4ポイント高い。

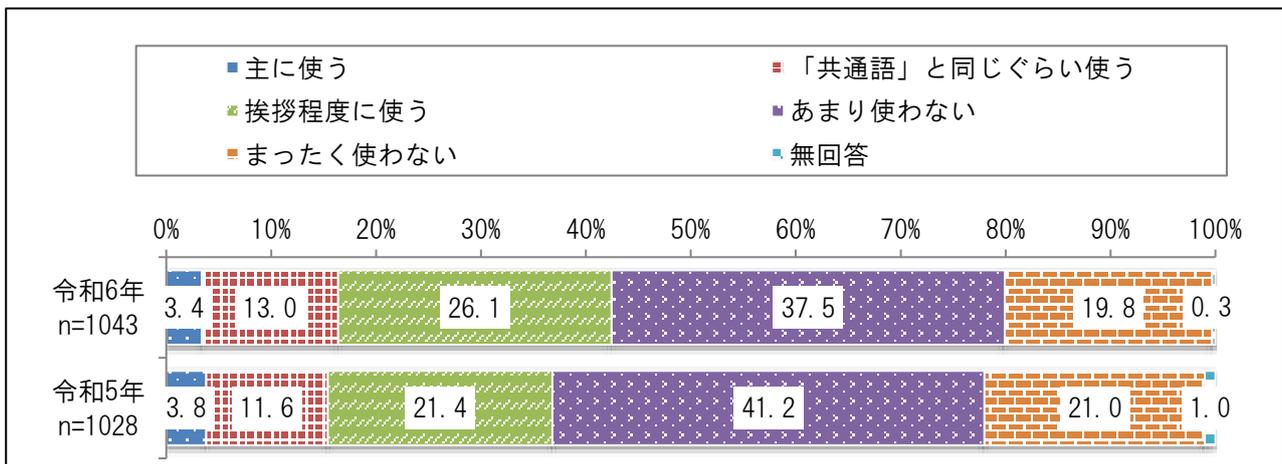
図表65. 「しまくとぅば」に対する理解度



(4) 問5.人と話すとき「しまくとぅば」を使いますか。

人と話すとき「しまくとぅば」を使うかは、「主に使う」の割合が令和6年度3.4%で、令和5年度の3.8%より0.4ポイント低い。

図表66. 人と話すとき「しまくとぅば」を使うか

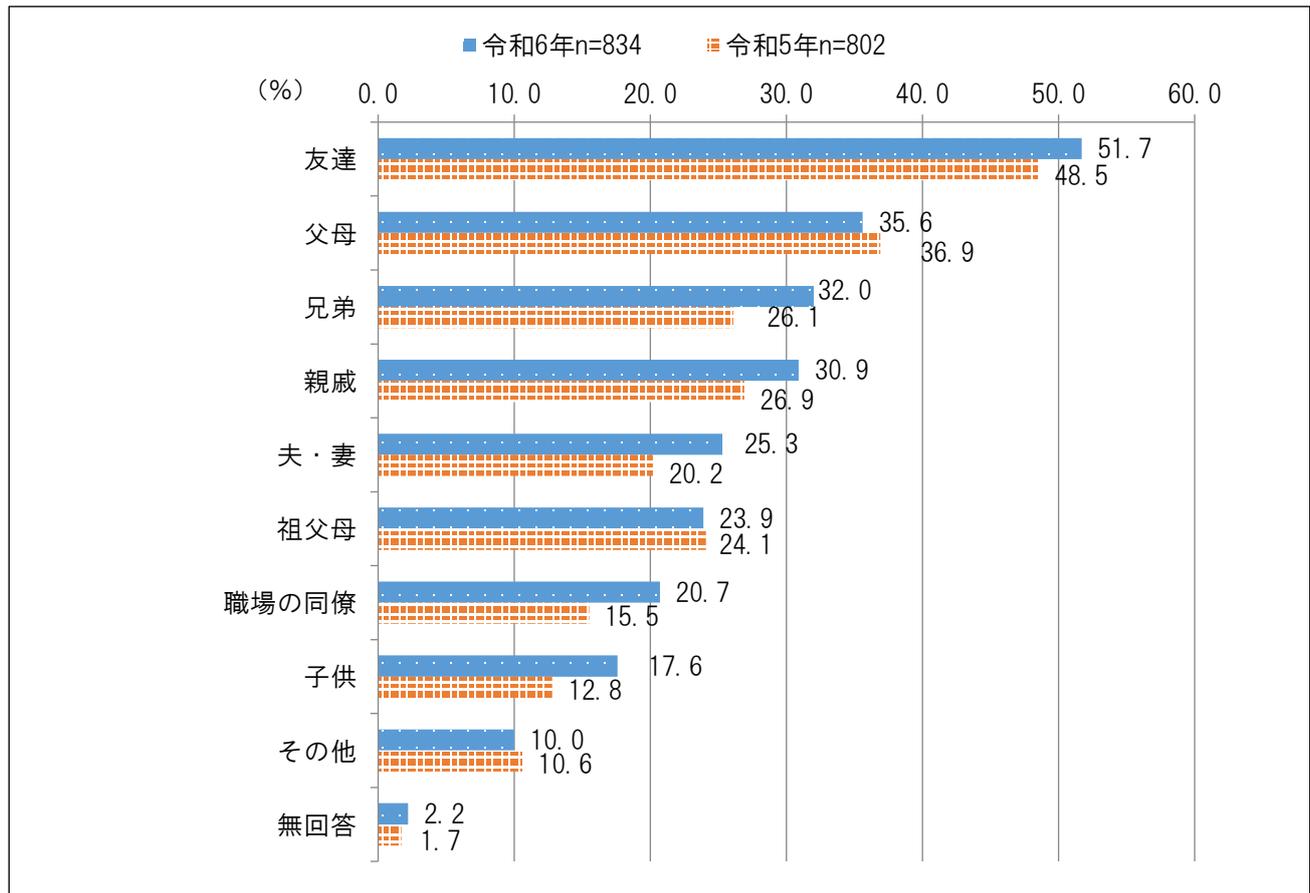


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

(5) 問 6.「しまくとぅば」を使う相手は誰ですか。

「しまくとぅば」を使う相手は、「友達」の割合が令和6年度 51.7%で、令和5年度の 48.5%より 3.2ポイント高い。

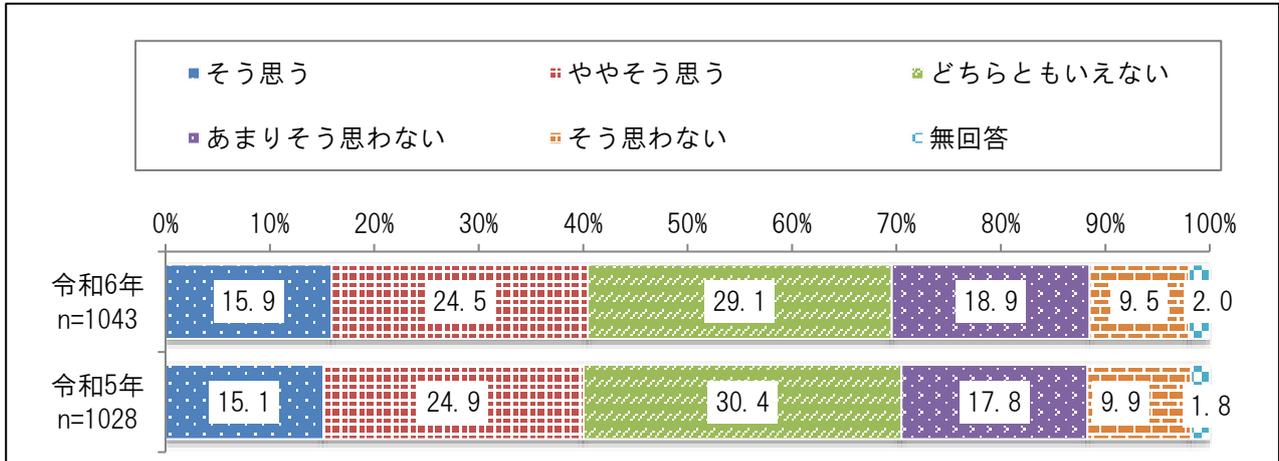
図表67. 「しまくとぅば」を使う相手



(6) 問 7.ビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思いますか。

ビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思うかは、「そう思う」の割合が令和6年度15.9%で、令和5年度の15.1%より0.8ポイント高い。

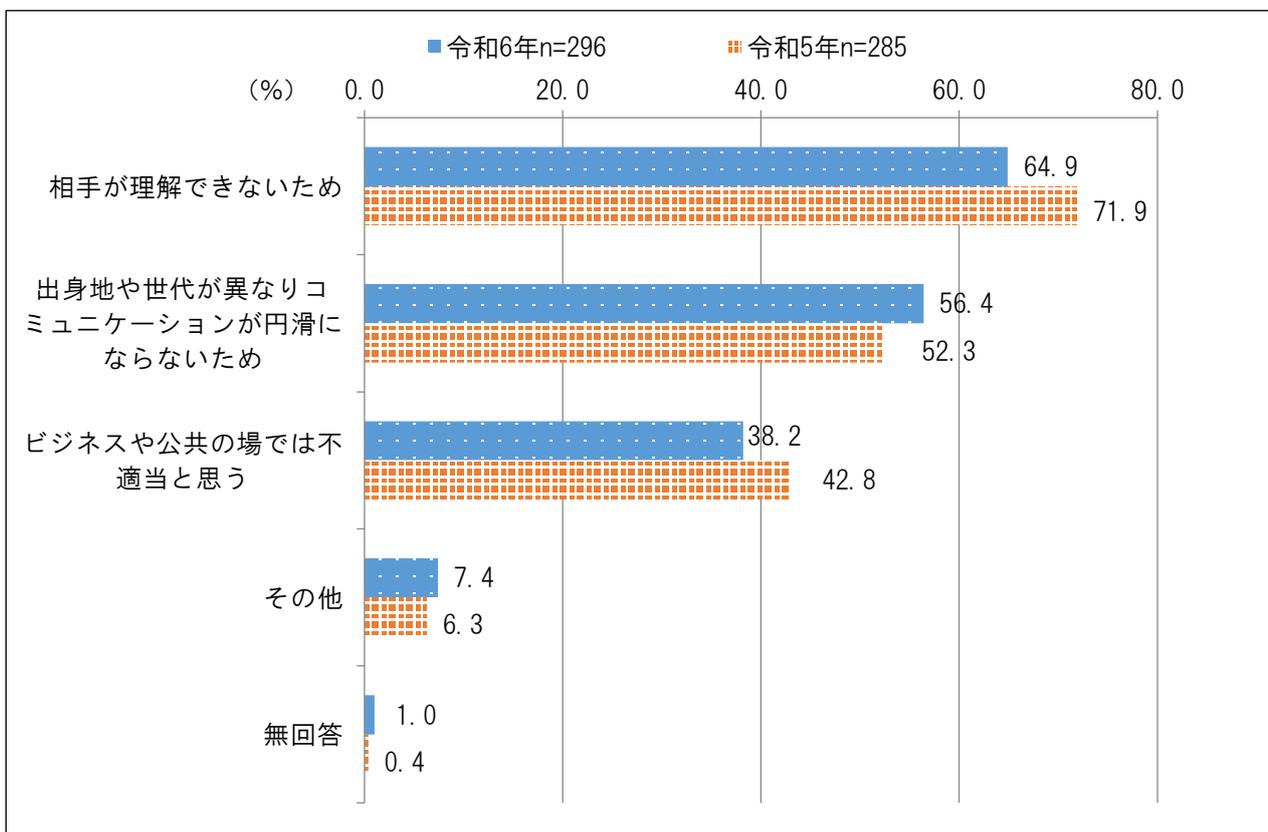
図表68. ビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思うか



(7) 問 7-1.ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。

ビジネスや公共の場で使うべきでない理由は、「相手が理解できないため」の割合が令和6年度64.9%で、令和5年度の71.9%より7.0ポイント低い。

図表69. ビジネスや公共の場で使うべきでない理由

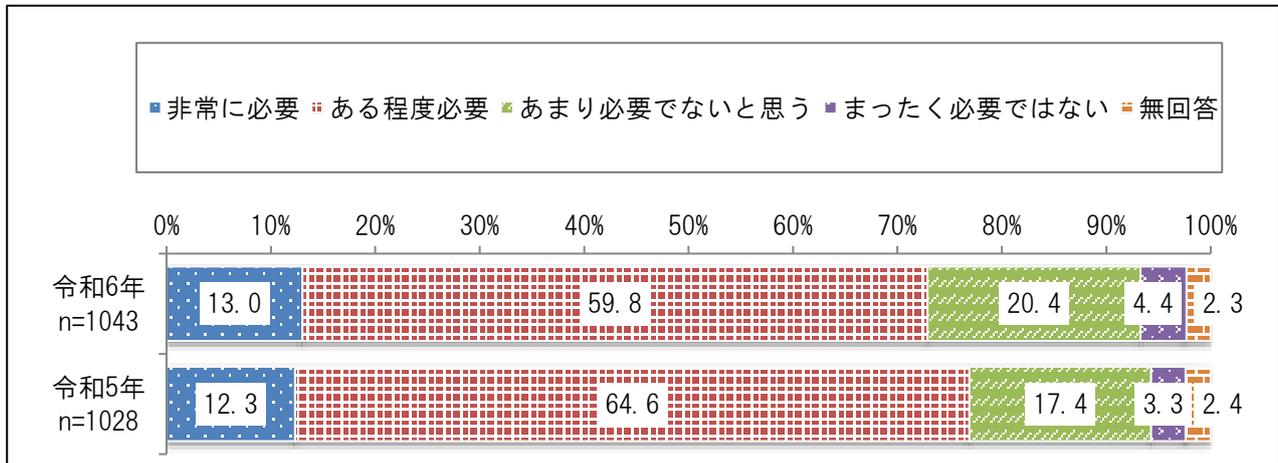


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

(8) 問 8. 普段の生活の中で「しまくとぅば」は必要だと思いますか。

「しまくとぅば」の必要性は、「非常に必要」の割合が令和6年度 13.0%で、令和5年度の 12.3%より 0.7ポイント高い。

図表70. 「しまくとぅば」の必要性

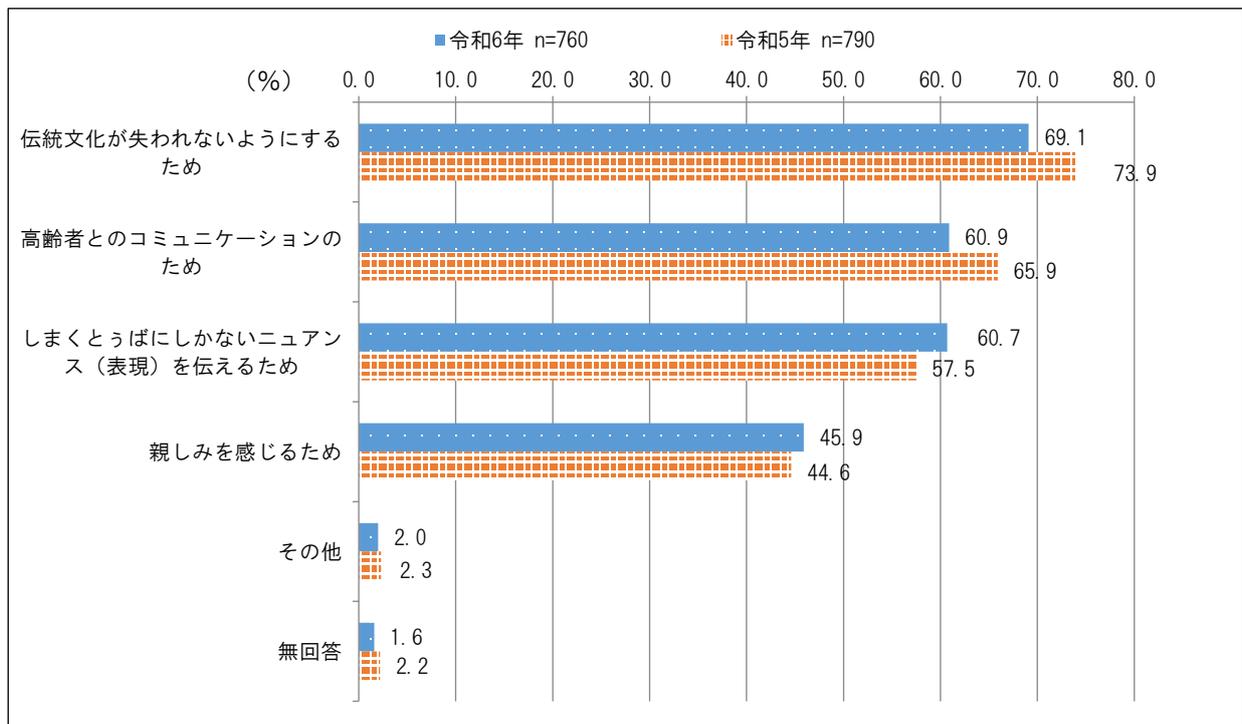


(9) 問 8-1. 生活での必要性について、その理由を教えてください。

(〇はいくつでも)

生活での必要性について、その理由は「伝統文化が失われないようにするため」の割合が令和6年度 69.1%で、令和5年度の 73.9%より 4.8ポイント低い。

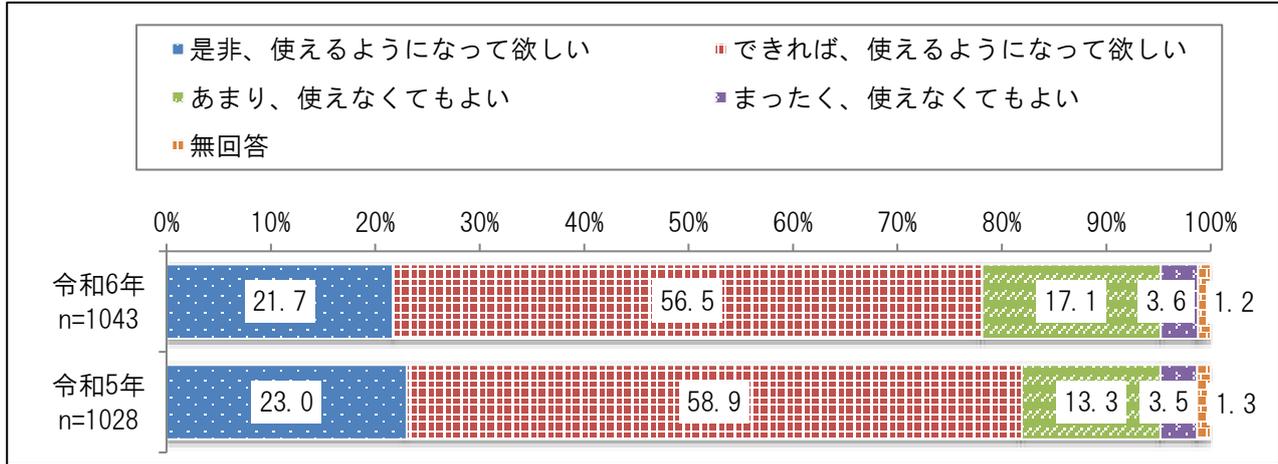
図表71. 必要性の理由



(10) 問 9. 子どもたちに「しまくとぅば」を使えるようになって欲しいですか。

子どもたちの「しまくとぅば」の使用は、「是非、使えるようになって欲しい」の割合が令和6年度21.7%で、令和5年度の23.0%より1.3ポイント低い。

図表72. 子どもたちの「しまくとぅば」の使用

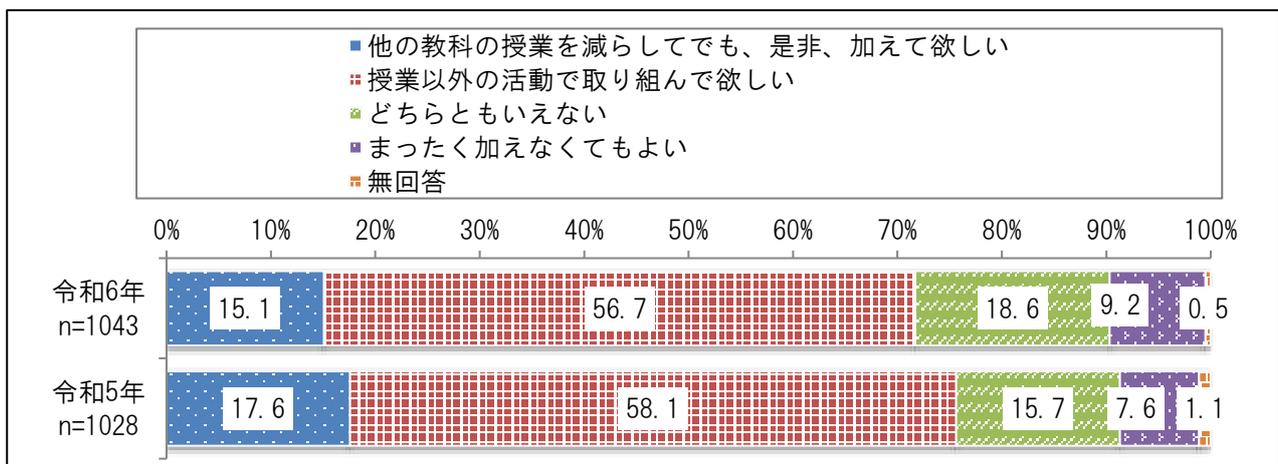


(11) 問 10. 授業科目に「しまくとぅば」を加えることをどう思いますか。

(○はひとつ)

「しまくとぅば」を学校の授業科目に加えることは、「他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい」の割合が令和6年度15.1%で、令和5年度の17.6%より2.5ポイント低い。

図表73. 学校の授業科目に加えること



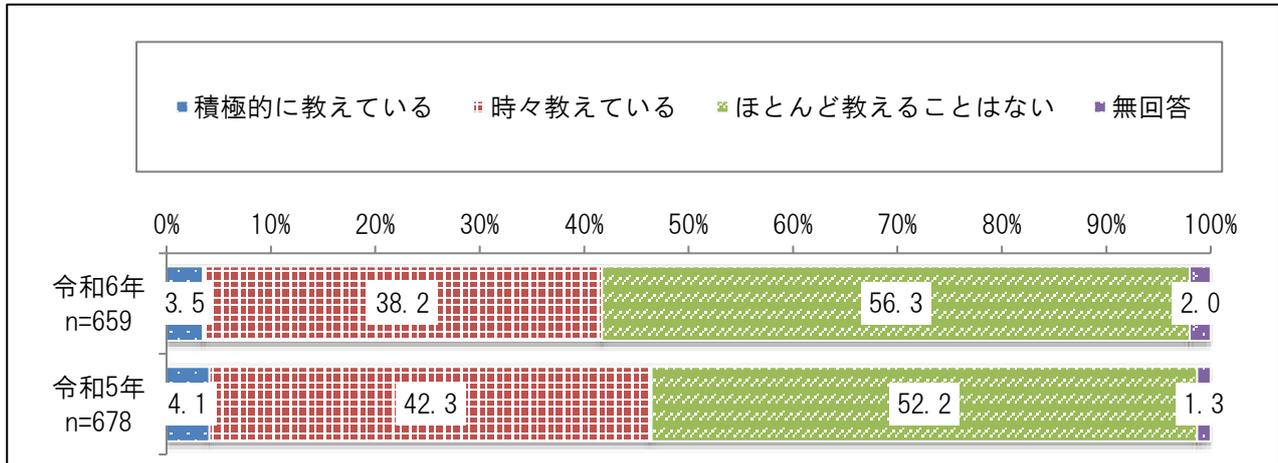
3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

(12) 問 11. 家庭内で子どもに対して「しまくとぅば」を教えるようにしていますか。

(※お子様がいたら回答した方のみお答え下さい。)

家庭内で「しまくとぅば」を教えるようにしているかは、「時々教えている」の割合が令和6年度38.2%で、令和5年度の42.3%より4.1ポイント低い。

図表74. 家庭内で「しまくとぅば」を教えるようにしているか

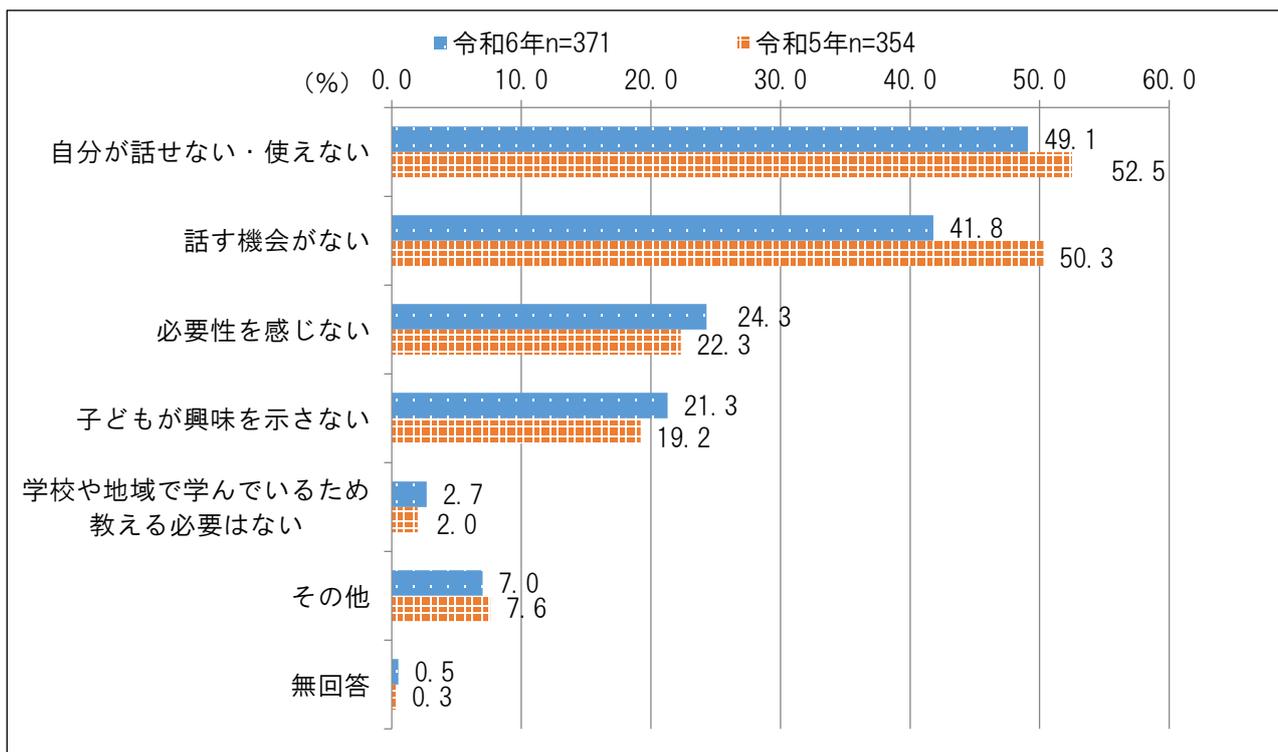


(13) 問 11-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由は何ですか。

(○はいくつでも)

家庭内でほとんど教えることはない理由は、「自分が話せない・使えない」の割合が令和6年度49.1%で、令和5年度の52.5%より3.4ポイント低い。

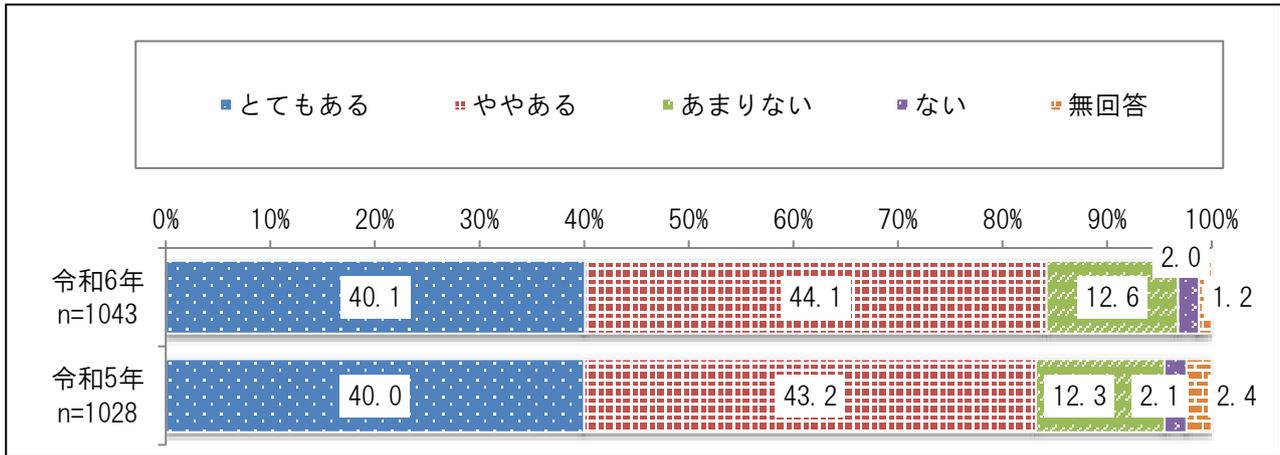
図表75. 家庭内で教えることはない理由



(14) 問 12. ご自身が住んでいる地域(市町村)にどの程度愛着や誇りがありますか。

地域に対する愛着や誇りは、「とてもある」の割合が令和6年度40.1%で、令和5年度の40.0%より0.1ポイント高い。

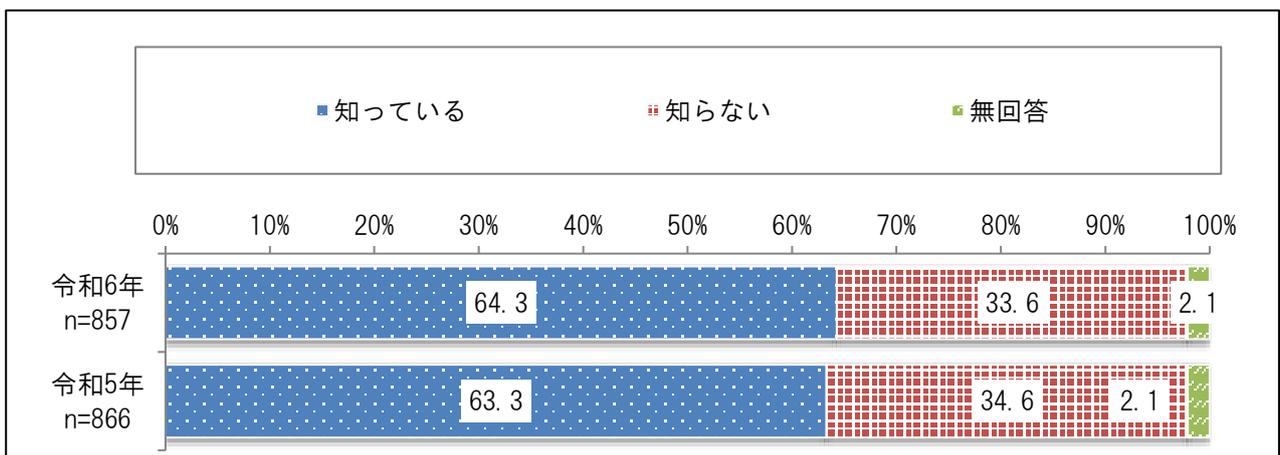
図表76. 地域に対する愛着や誇り



(15) 問 13. ご自身の出身地の「しまくとぅば」を知っていますか。

出身地の「しまくとぅば」を知っているかは、「知っている」の割合が令和6年度64.3%で、令和5年度の63.3%より1.0ポイント高い。

図表77. 出身地の「しまくとぅば」

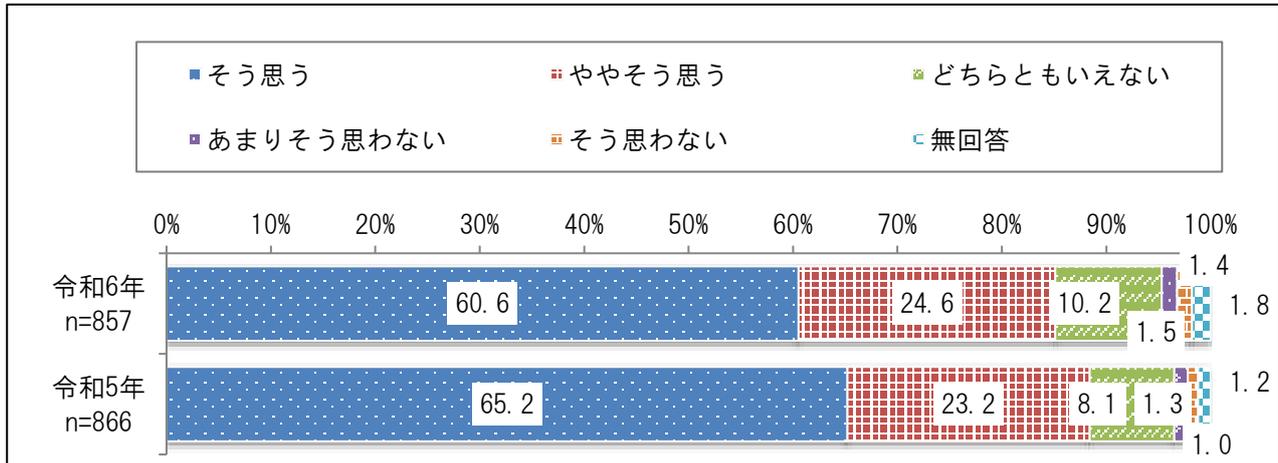


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

(16) 問 14. ご自身の出身地の「しまくとぅば」が将来に渡って残ってほしいですか。

「しまくとぅば」の継承は、「そう思う」の割合が令和6年度60.6%で、令和5年度の65.2%より4.6ポイント低い。

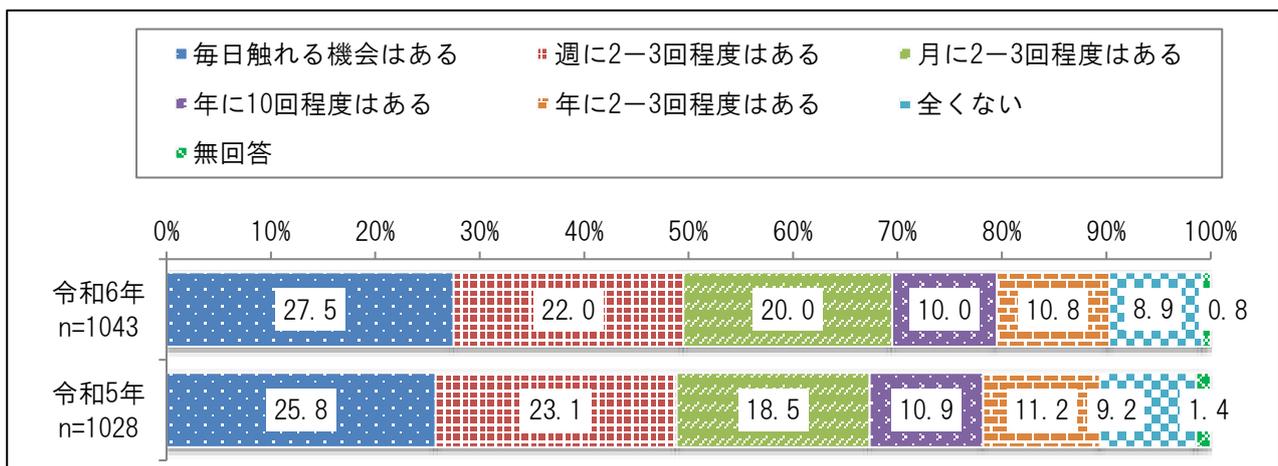
図表78. 「しまくとぅば」の継承



(17) 問 15. 「しまくとぅば」に触れる機会(聞く・話す)はどの程度ありますか。

「しまくとぅば」に触れる程度は、「毎日触れる機会はある」の割合が令和6年度27.5%で、令和5年度の25.8%より1.7ポイント高い。

図表79. 「しまくとぅば」に触れる機会

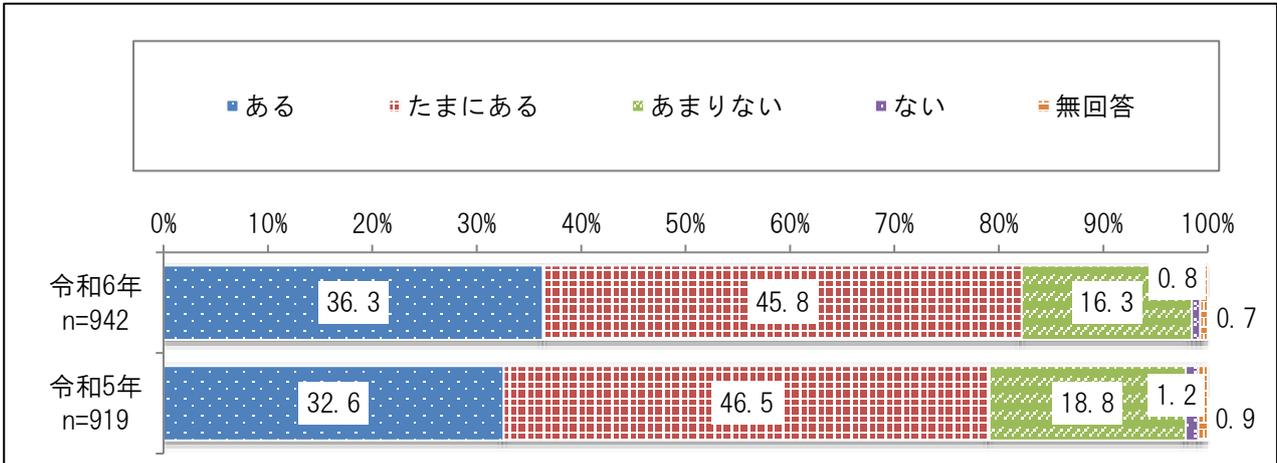


(18) 問 16.「しまくとぅば」を聞く機会はどの程度ありますか。

(問 15 で「全くない」と回答した人以外)

聞く機会の程度は、「ある」の割合が令和6年度 36.3%で、令和5年度の 32.6%より 3.7ポイント高い。

図表80. 聞く機会の程度

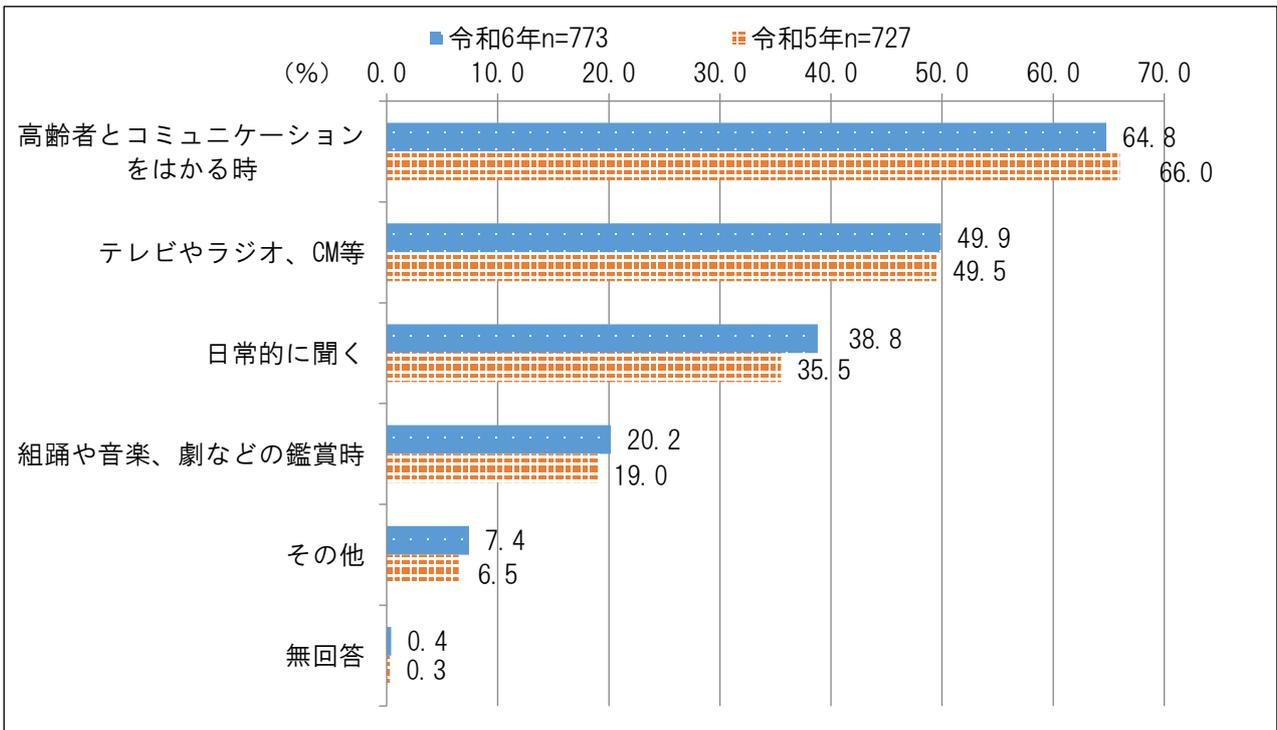


(19) 問 16-1.「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時ですか。

(〇はいくつでも)

聞く機会のタイミングは、「高齢者とコミュニケーションをはかる時」の割合が令和6年度 64.8%で、令和5年度の 66.0%より 1.2ポイント低い。

図表81. 聞く機会のタイミング



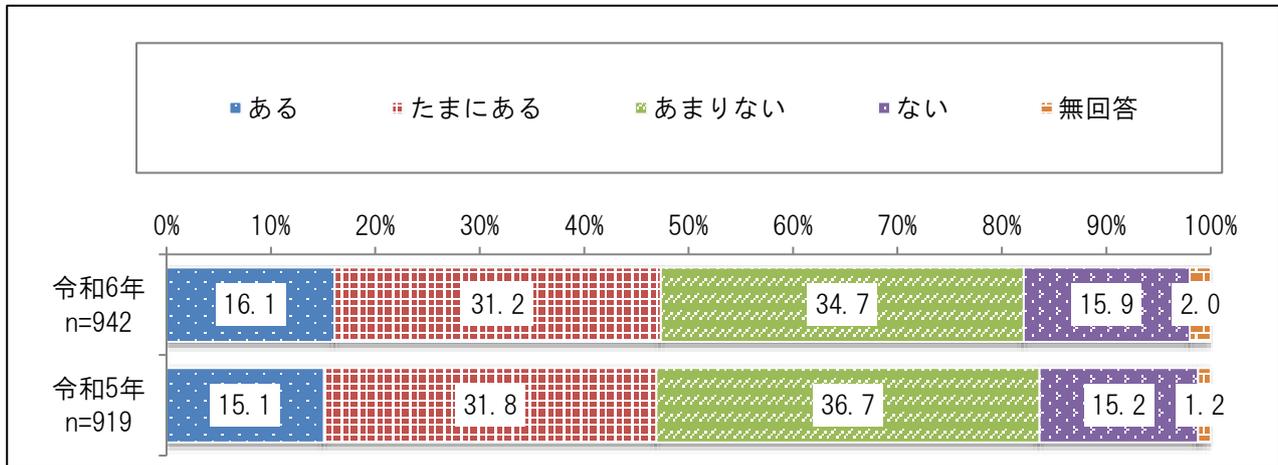
3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

(20) 問 17.「しまくとぅば」を話す機会はどの程度ありますか。

(問 15 で「全くない」と回答した人以外)

話す機会の程度は、「ある」の割合が令和6年度 16.1%で、令和5年度の 15.1%より 1.0 ポイント高い。

図表82. 話す機会の程度

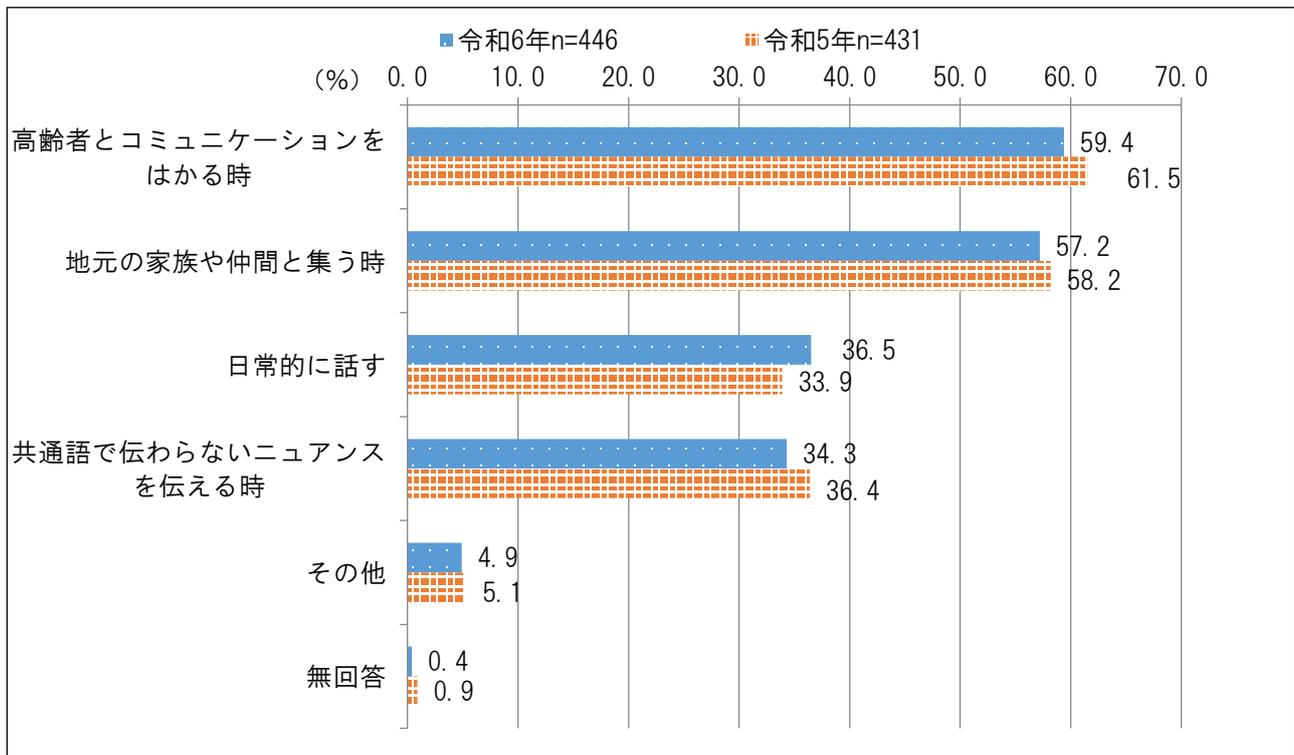


(21) 問 17-1.「しまくとぅば」を話す機会はどのような時ですか。

(〇はいくつでも)

話す機会のタイミングは、「高齢者とコミュニケーションをはかる時」の割合が令和6年度 59.4%で、令和5年度の 61.5%より 2.1 ポイント低い。

図表83. 話す機会のタイミング

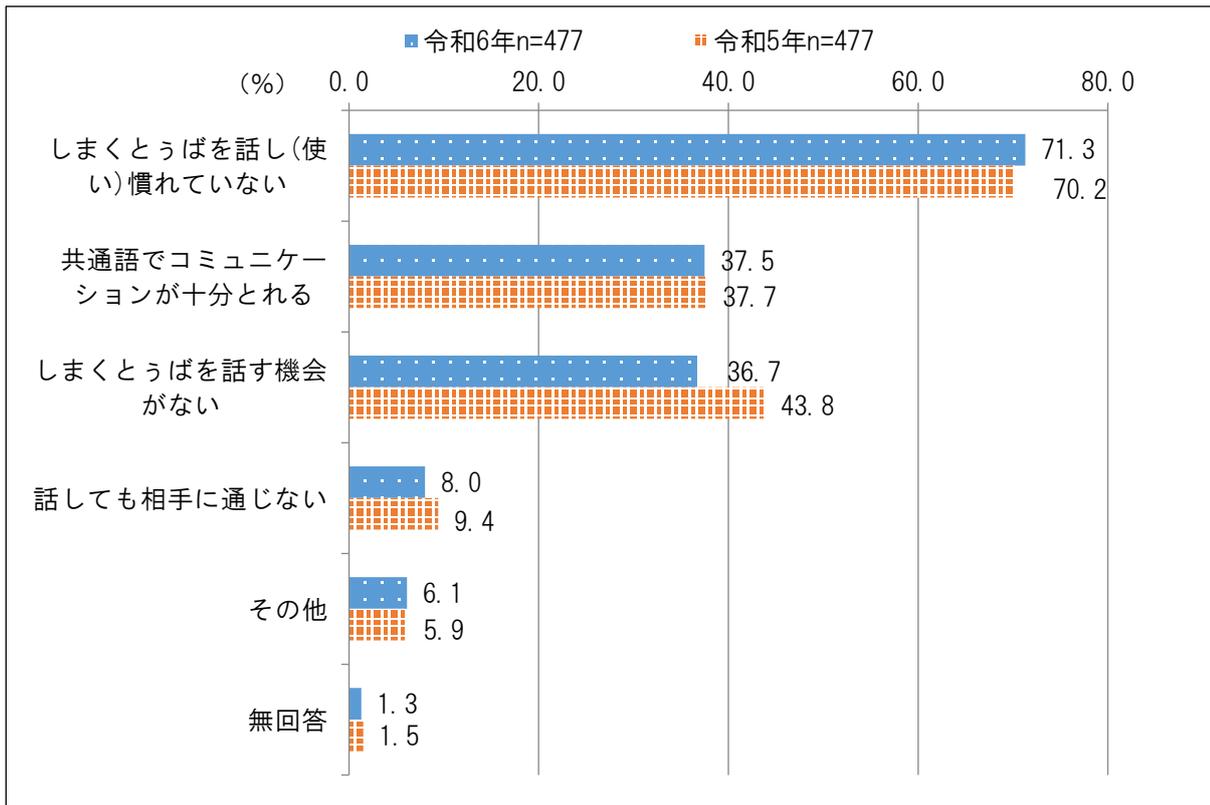


(22) 問 17-2.「しまくとぅば」を話さない理由について教えてください。

(○はいくつでも)

話さない理由は、「しまくとぅばを話し(使い)慣れていない」の割合が令和6年度71.3%で、令和5年度の70.2%より1.1ポイント高い。

図表84. しまくとぅばを話さない理由



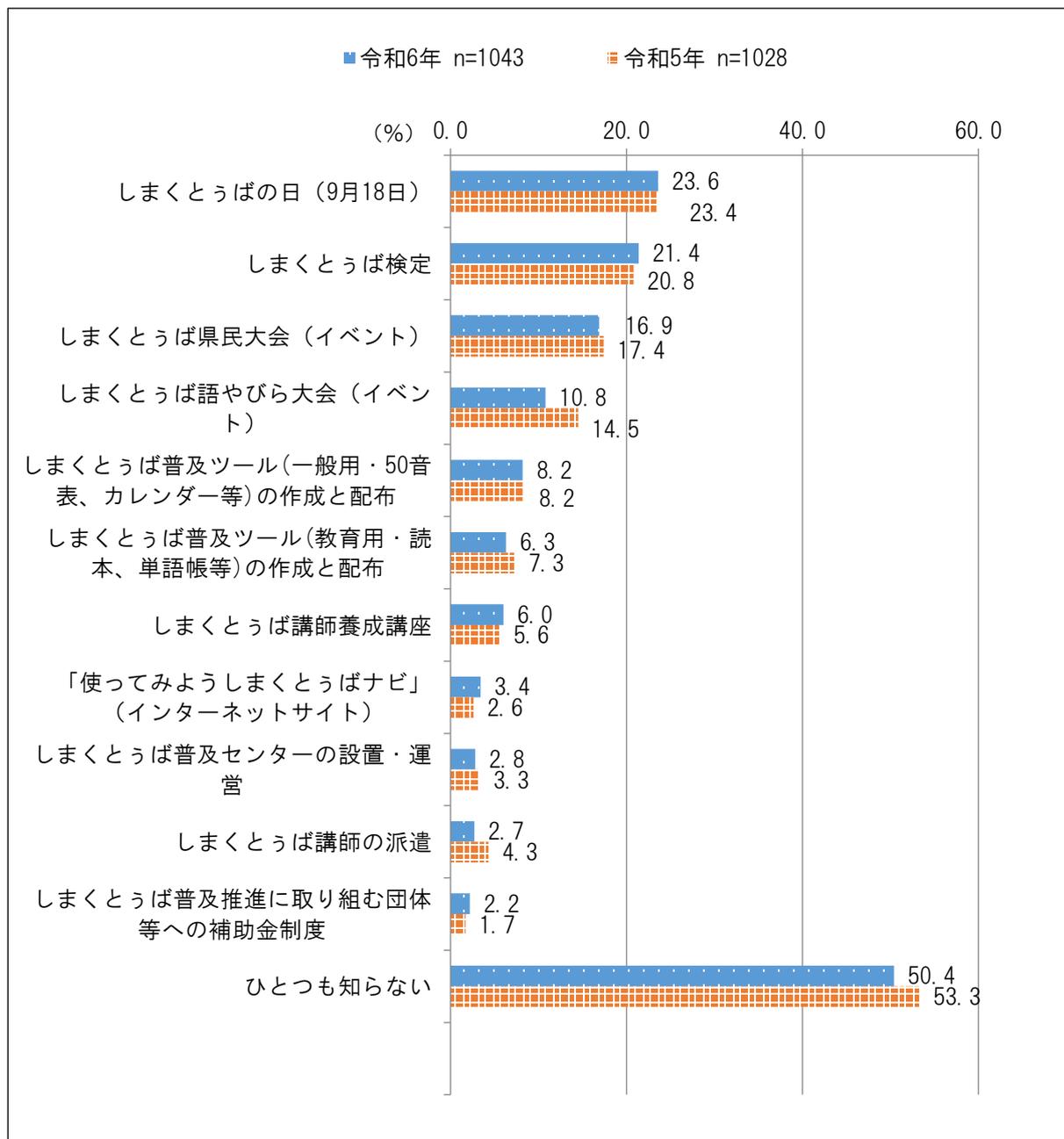
3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

(23) 問 18. 今後、普及継承していくための取組で「知っている」ものをお答えください。

(○はいくつでも)

取組の認知度は、「しまくとぅばの日」の割合が令和6年度 23.6%で、令和5年度の 23.4%より 0.2ポイント高い。

図表85. 取組の認知度



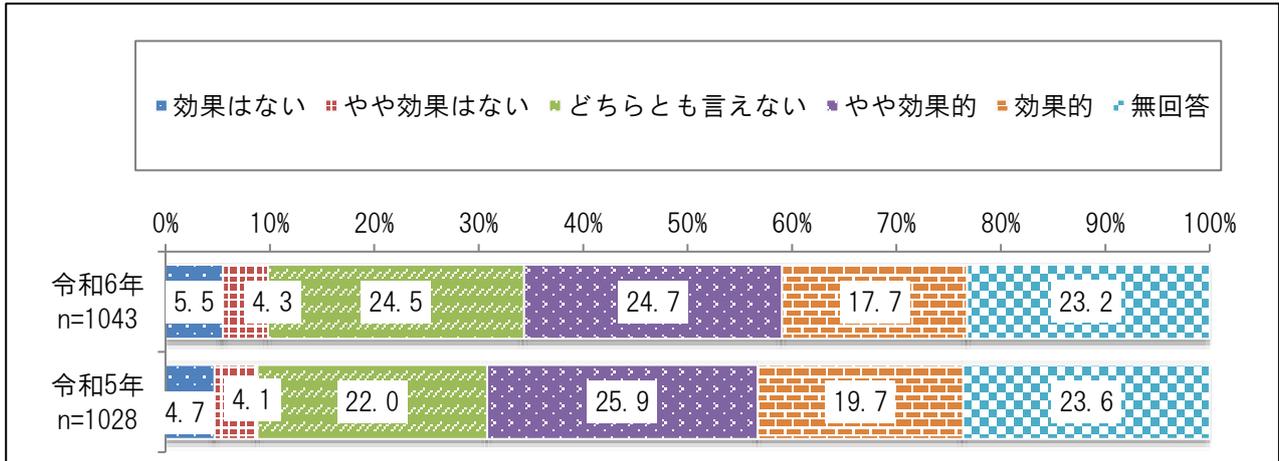
※いずれの選択肢にも○がついていない回答を「ひとつも知らない」として集計した。

[1] 問 18-1. 取組みの効果度

① しまくとうばの日（9月18日）

しまくとうばの日（9月18日）は、「効果的と思う」の割合が令和6年度17.7%で、令和5年度の19.7%より2.0ポイント低い。

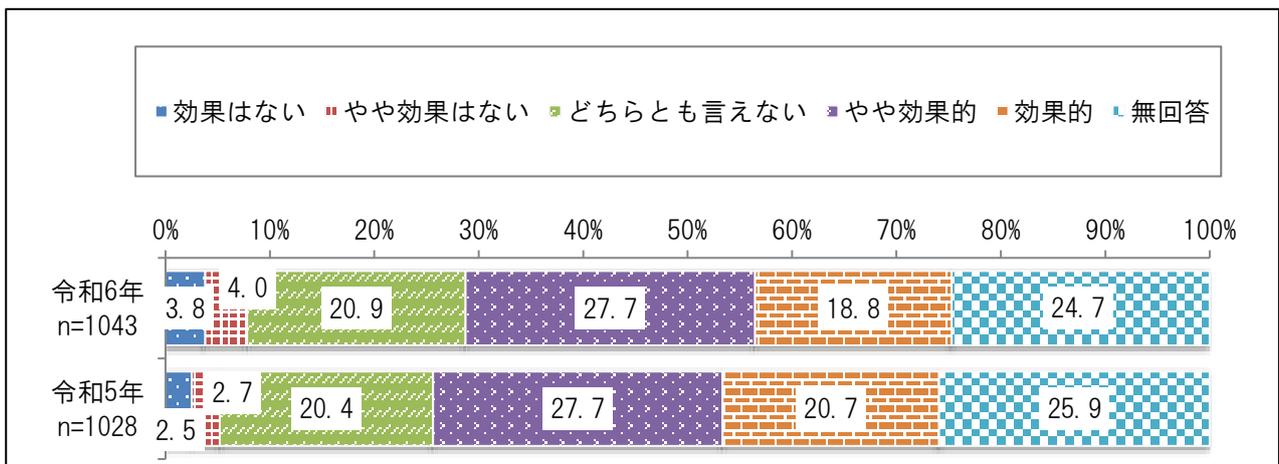
図表86. しまくとうばの日（9月18日）



② しまくとうば県民大会（イベント）

しまくとうば県民大会は、「効果的と思う」の割合が令和6年度18.8%で、令和5年度の20.7%より1.9ポイント低い。

図表87. しまくとうば県民大会（イベント）

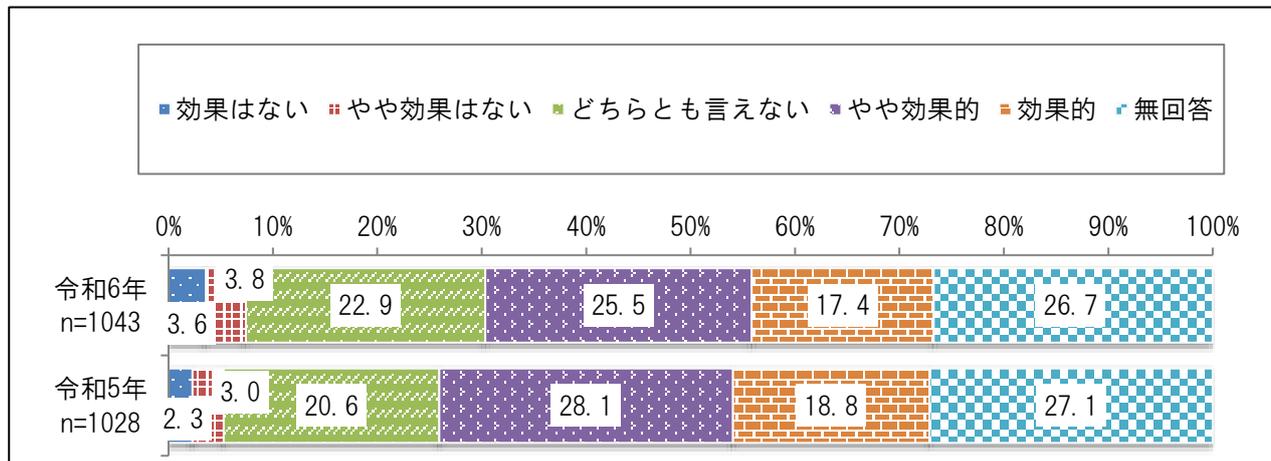


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

③ しまくとぅば語やびら大会（イベント）

しまくとぅば語やびら大会（イベント）は、「効果的と思う」の割合が令和6年度17.4%で、令和5年度の18.8%より1.4ポイント低い。

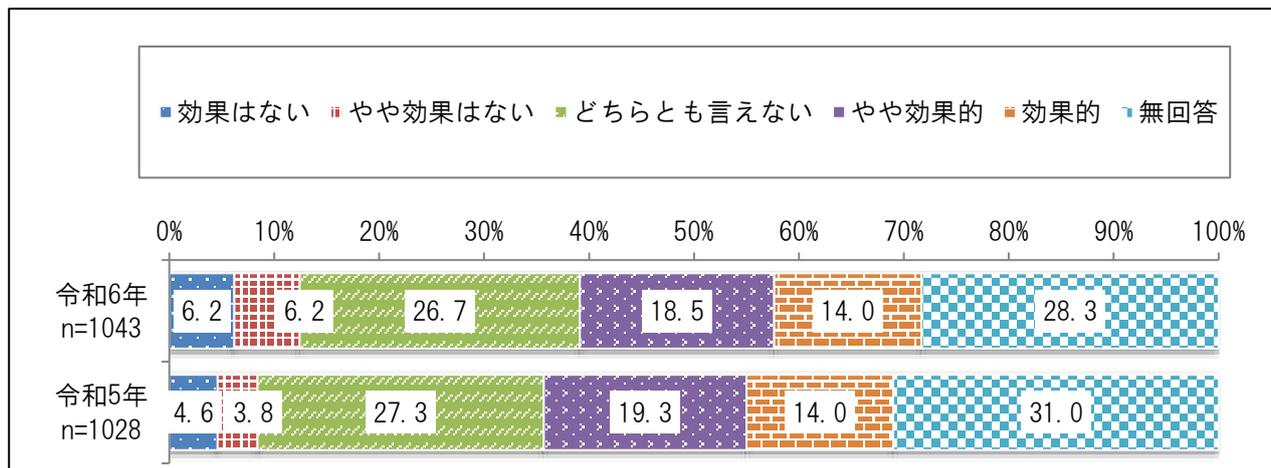
図表88. しまくとぅば語やびら大会（イベント）



④ しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は、「効果的と思う」の割合が令和6年度14.0%で、令和5年度と同じである。

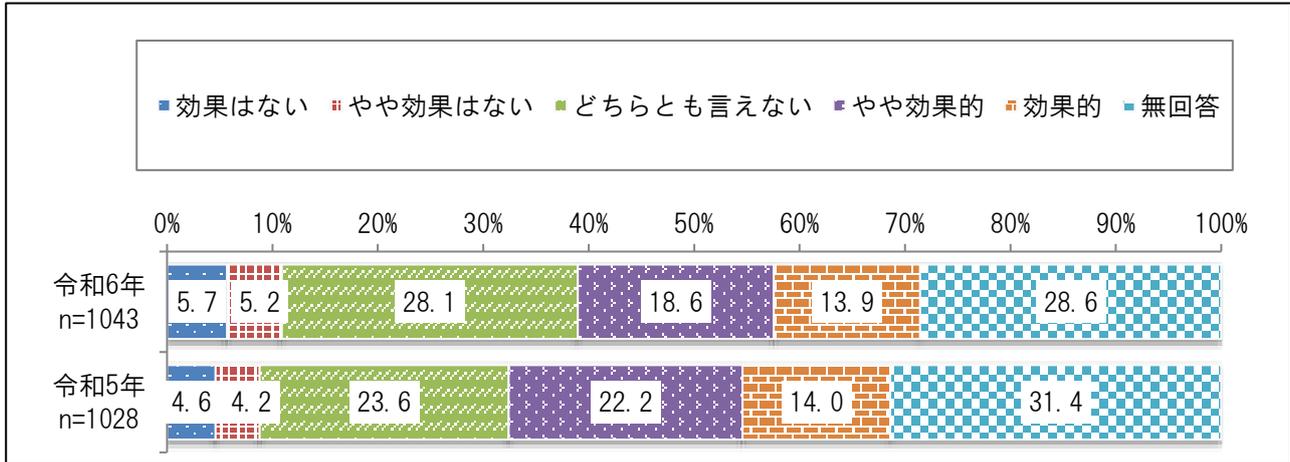
図表89. しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度



⑤ しまくとぅば普及センターの設置・運営

しまくとぅば普及センターの設置・運営は、「効果的と思う」の割合が令和6年度13.9%で、令和5年度の14.0%より0.1ポイント低い。

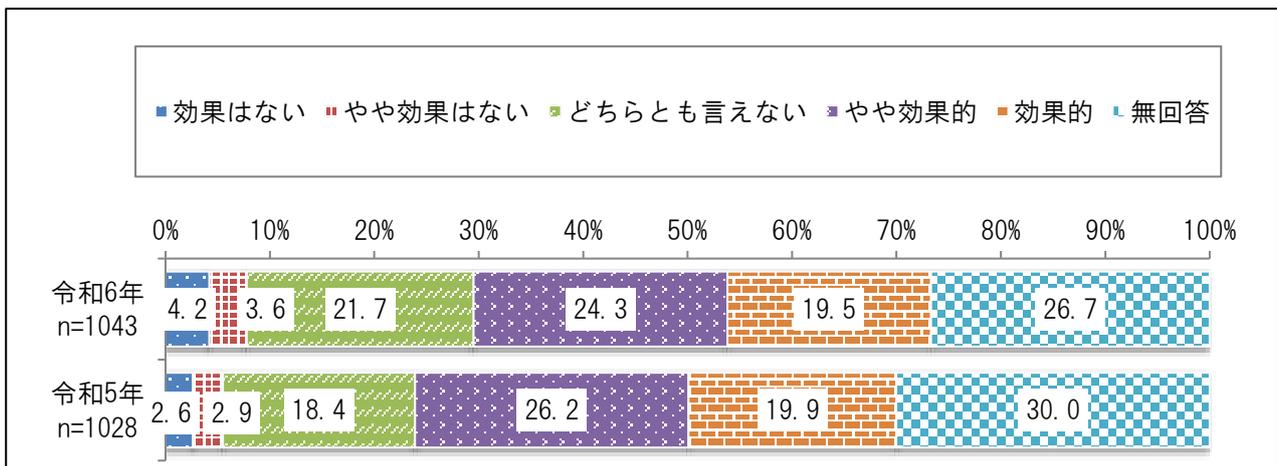
図表90. しまくとぅば普及センターの設置・運営



⑥ しまくとぅば講師養成講座

しまくとぅば講師養成講座は、「効果的と思う」の割合が令和6年度19.5%で、令和5年度の19.9%より0.4ポイント低い。

図表91. しまくとぅば講師養成講座

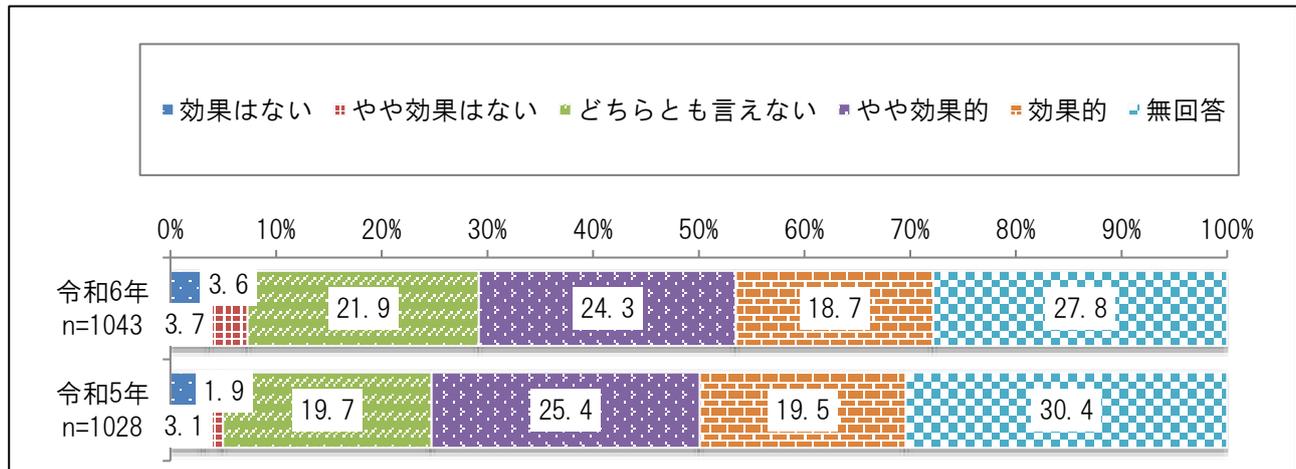


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

⑦ しまくとぅば講師の派遣

しまくとぅば講師の派遣は、「効果的と思う」の割合が令和6年度18.7%で、令和5年度の19.5%より0.8ポイント低い。

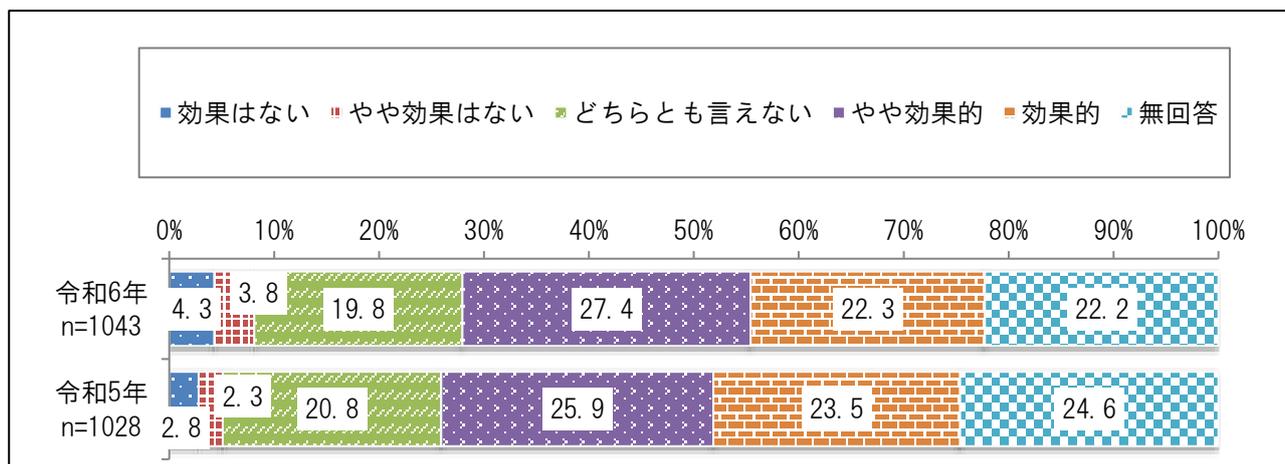
図表92. しまくとぅば講師の派遣



⑧ しまくとぅば検定

しまくとぅば検定は、「効果的と思う」の割合が令和6年度24.0%で、令和5年度の23.5%より0.5ポイント高い。

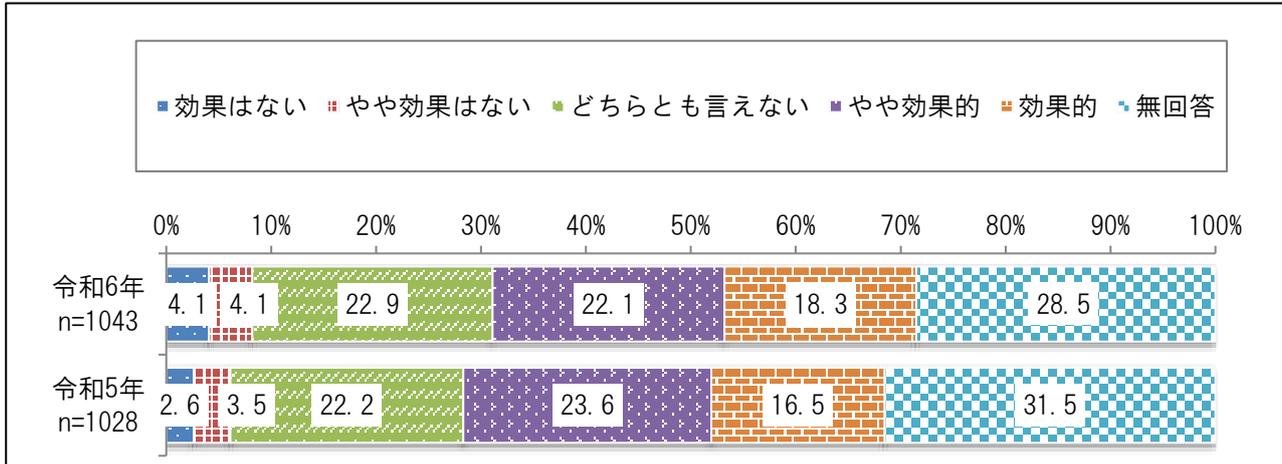
図表93. しまくとぅば検定



⑨ 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)は、「効果的と思う」の割合が令和6年度18.3%で、令和5年度の16.5%より1.8ポイント高い。

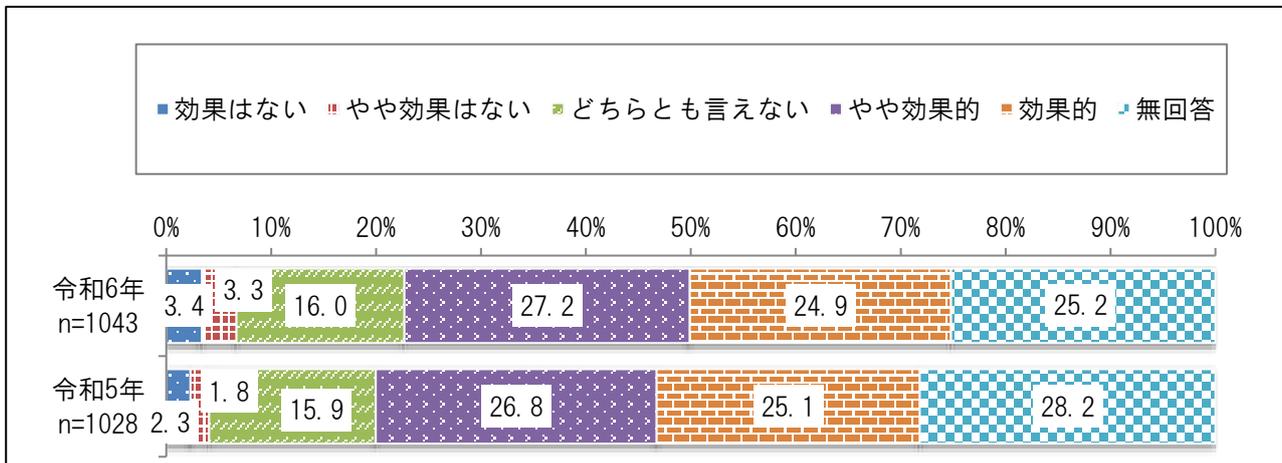
図表94. 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)



⑩ しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は、「効果的と思う」の割合が令和6年度24.9%で、令和5年度の25.1%より0.2ポイント低い。

図表95. しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

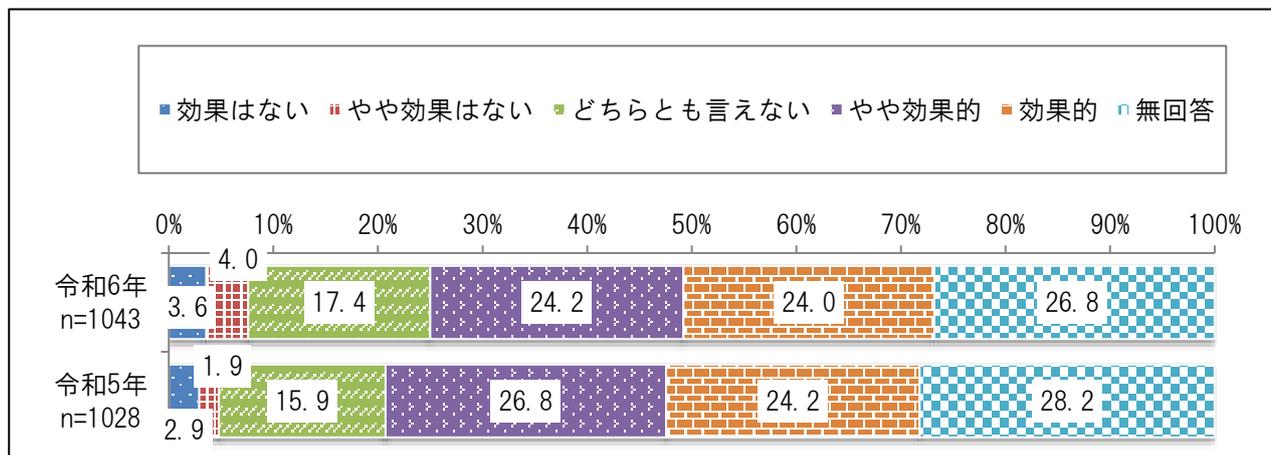


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

① しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は、「効果的と思う」の割合が令和6年度24.0%で、令和5年度の24.2%より0.2ポイント低い。

図表96. しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

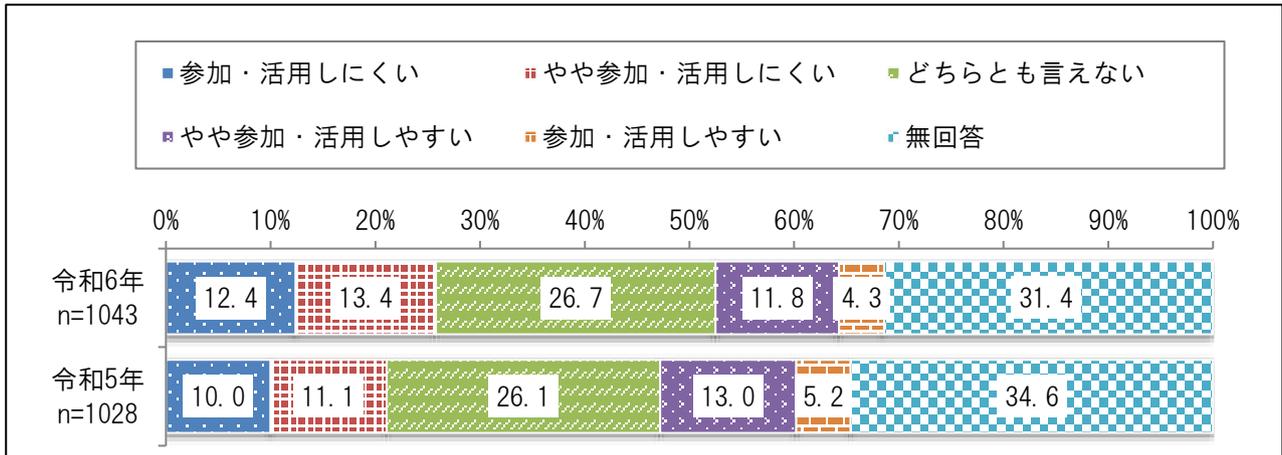


[2] 問 18-2. 取組みの参加・活用のしやすさ

① しまくとぅば県民大会（イベント）

しまくとぅば県民大会（イベント）は、「参加・活用しやすい」の割合が令和6年度4.3%で、令和5年度の5.2%より0.9ポイント低い。

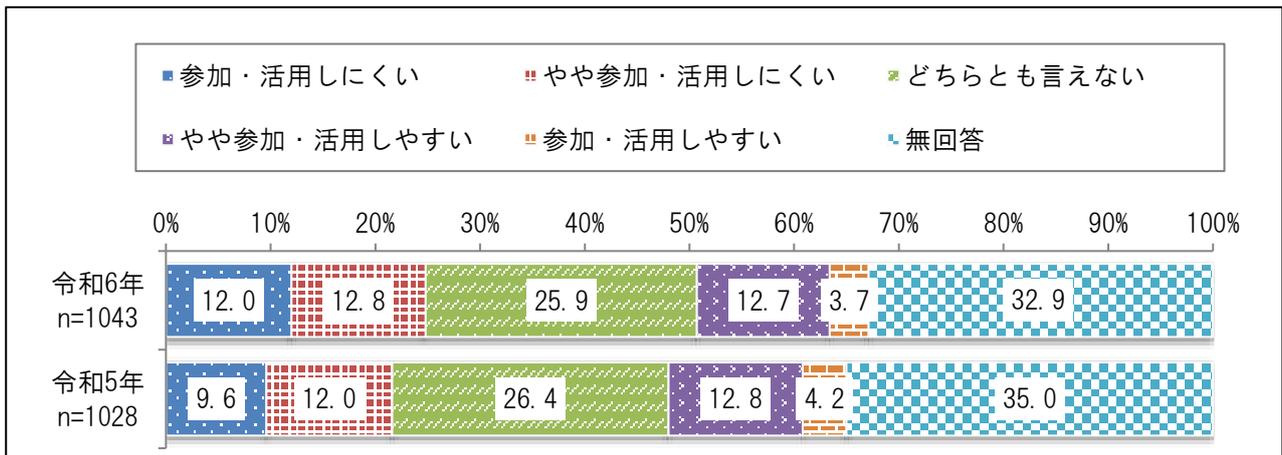
図表97. しまくとぅば県民大会（イベント）



② しまくとぅば語やびら大会（イベント）

しまくとぅば語やびら大会（イベント）は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和6年度12.7%で、令和5年度の12.8%より0.1ポイント低い。

図表98. しまくとぅば語やびら大会（イベント）

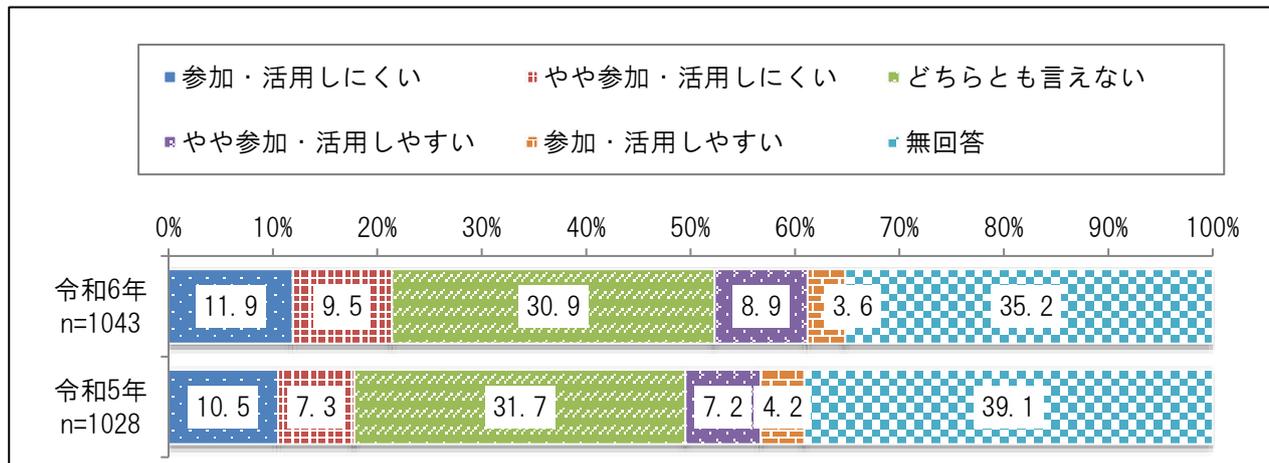


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

③ しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和6年度 8.9%で、令和5年度の 7.2%より 1.7ポイント高い。

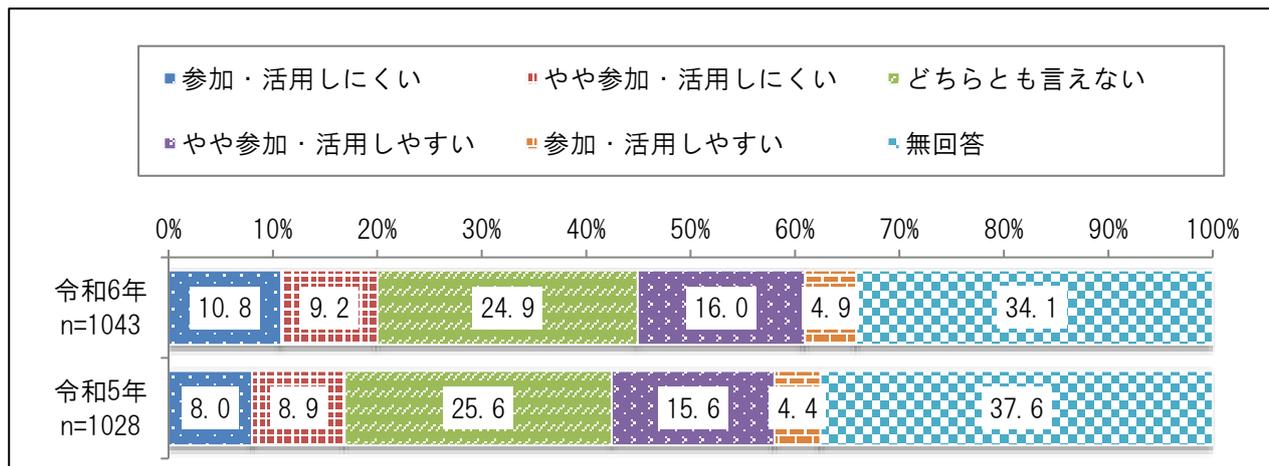
図表99. しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度



④ しまくとぅば講師養成講座

しまくとぅば講師養成講座は、「参加・活用しやすい」の割合が令和6年度 4.9%で、令和5年度の 4.4%より 0.5ポイント高い。

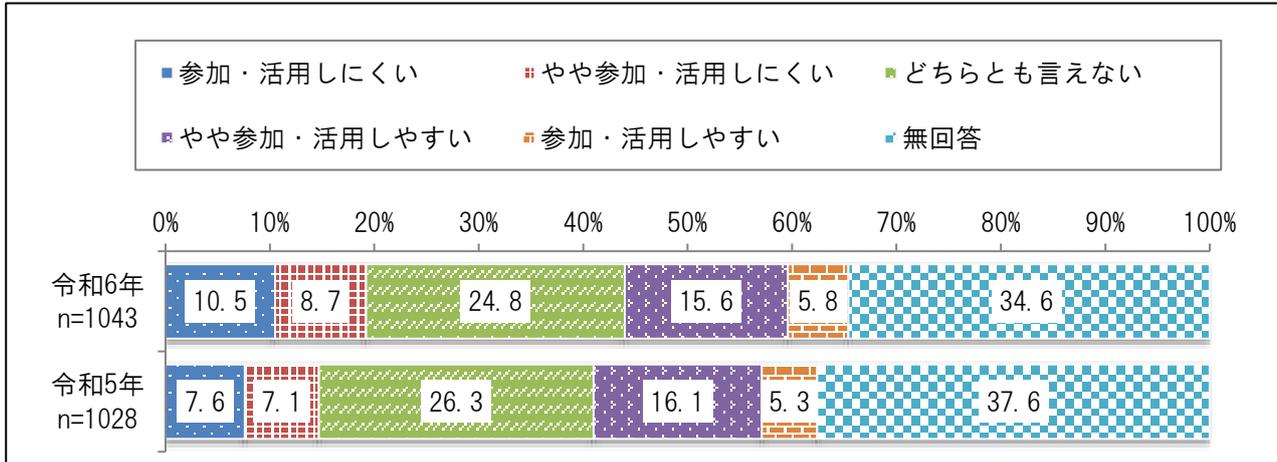
図表100. しまくとぅば講師養成講座



⑤ しまくとうば講師の派遣

しまくとうば講師の派遣は、「参加・活用しやすい」の割合が令和6年度5.8%で、令和5年度の5.3%より0.5ポイント高い。

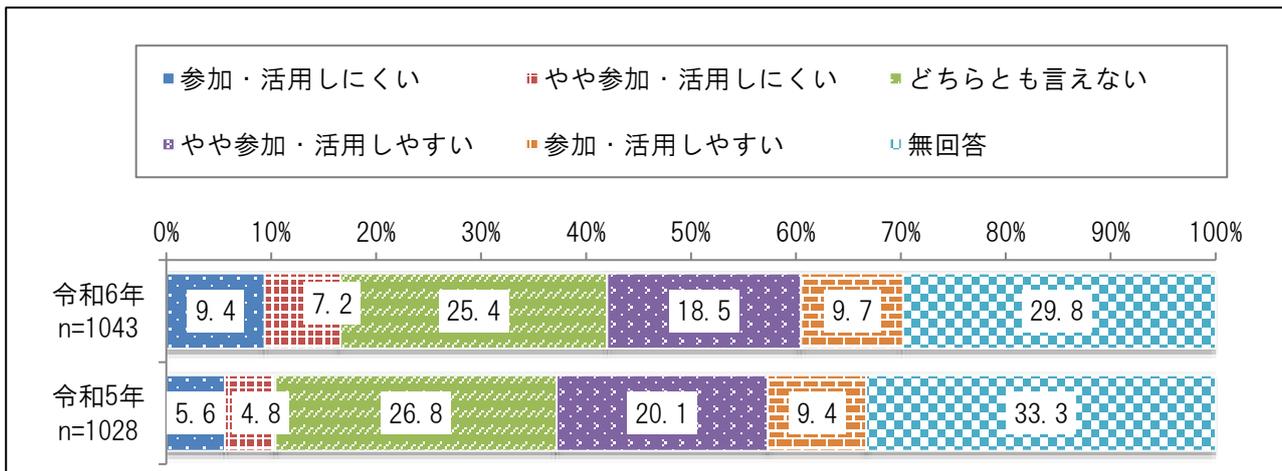
図表101. しまくとうば講師の派遣



⑥ しまくとうば検定

しまくとうば検定は、「参加・活用しやすい」の割合が令和6年度9.7%で、令和5年度の9.4%より0.3ポイント高い。

図表102. しまくとうば検定

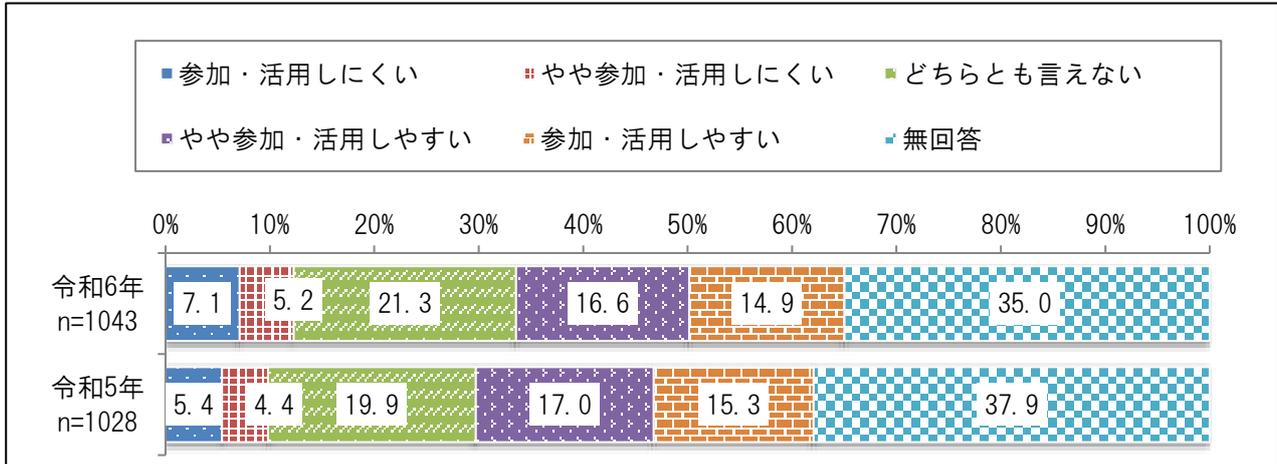


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

⑦ 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)は、「参加・活用しやすい」の割合が令和6年度14.9%で、令和5年度の15.3%より0.4ポイント低い。

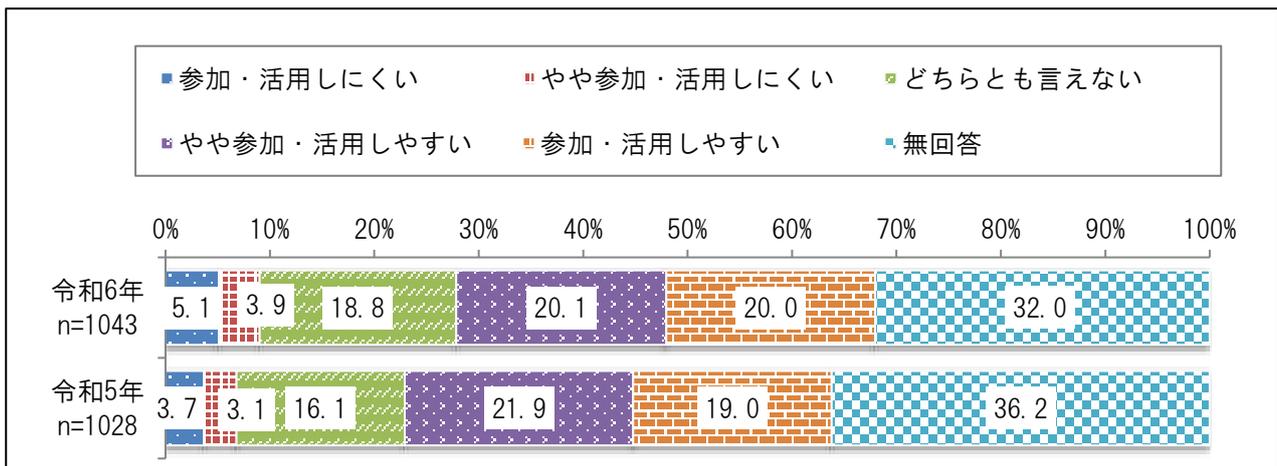
図表103. 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)



⑧ しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は、「参加・活用しやすい」の割合が令和6年度20.0%で、令和5年度19.0%より1.0ポイント高い。

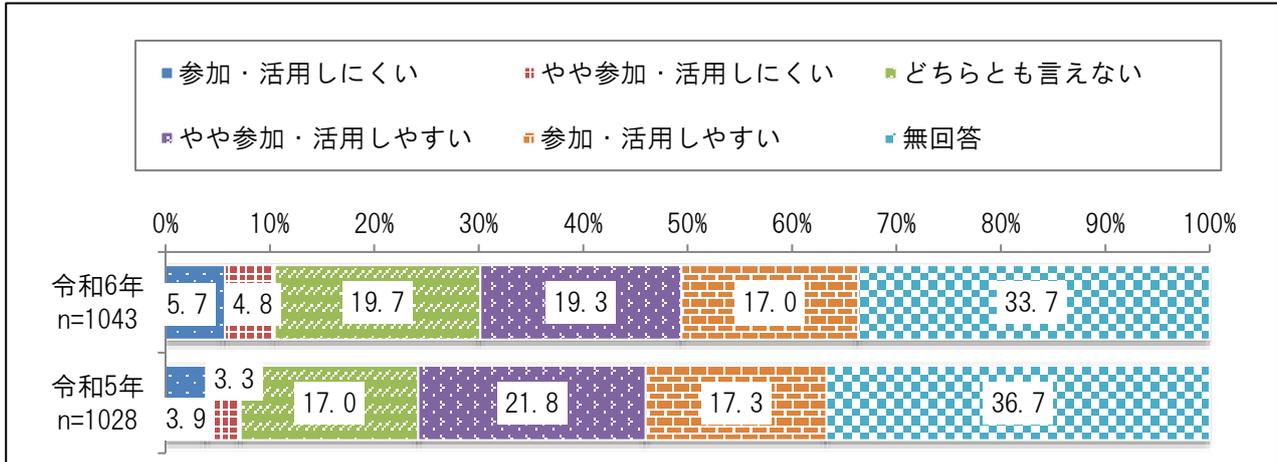
図表104. しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布



⑨ しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は、「参加・活用しやすい」の割合が令和6年度17.0%で、令和5年度の17.3%より0.3ポイント低い。

図表105. しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布



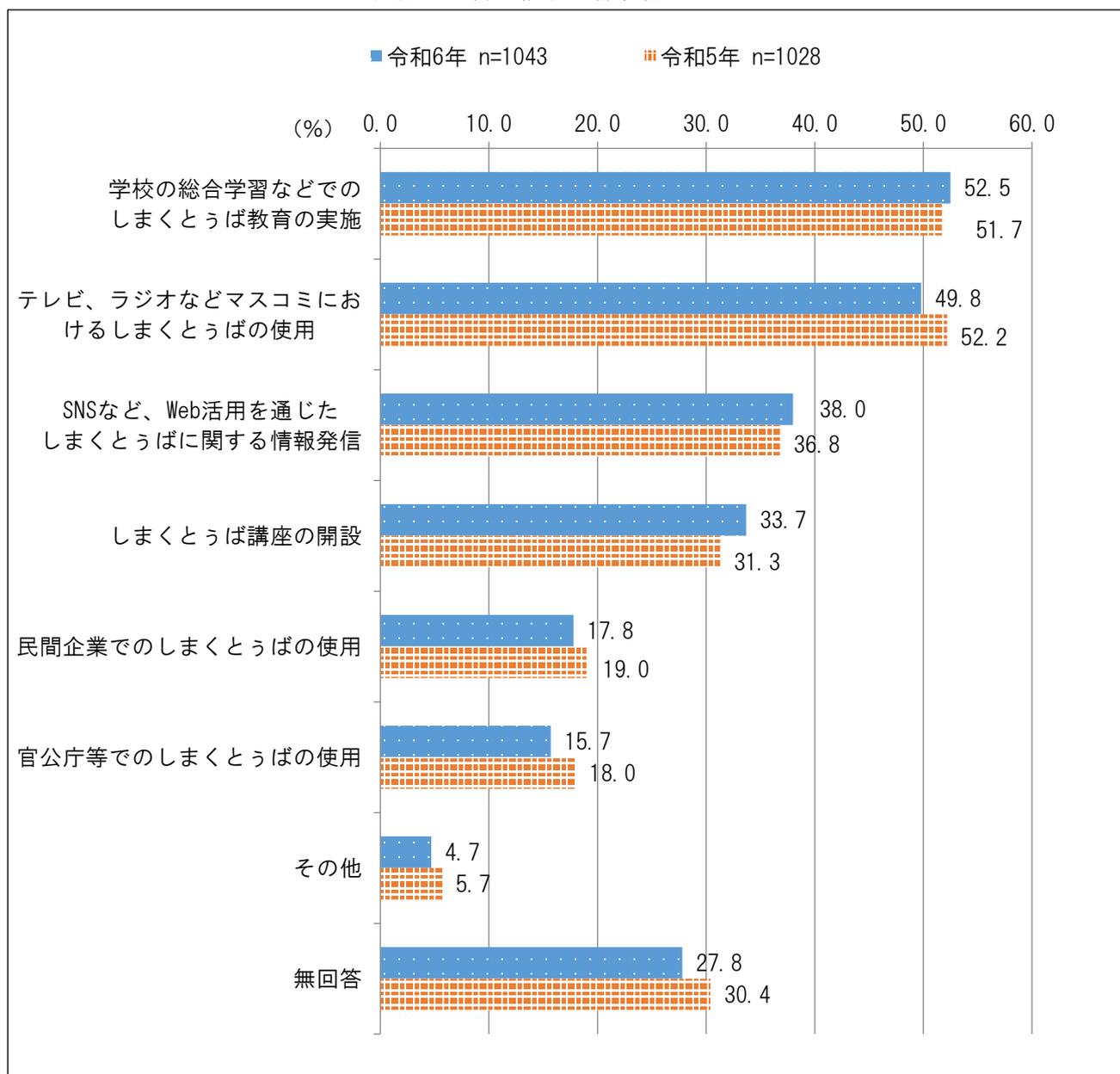
3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

(24) 問 19. 今後、普及継承していくための取組で「すべきと思うもの」をお答えください。

(○はいくつでも)

普及継承・各取組については、「学校の総合学習などでのしまくとぅば教育の実施」の割合が令和6年度52.5%で、令和5年度の51.7%より0.8ポイント高い。

図表106. 普及継承・各取組について

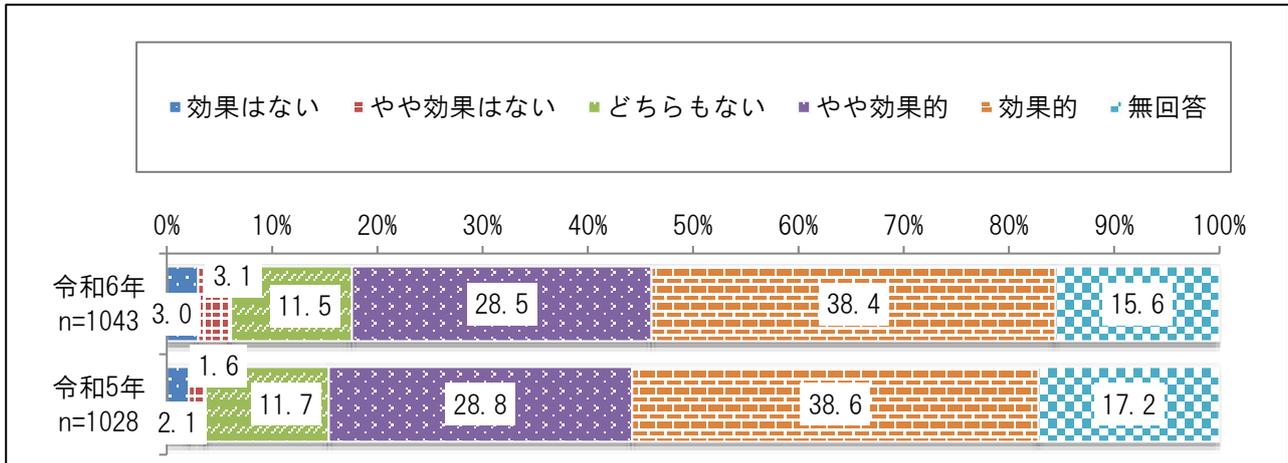


[1] 問 19-1. 取組みの効果度

① 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施

学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施は、「効果的と思う」の割合が令和6年度38.4%で、令和5年度の38.6%より0.2ポイント低い。

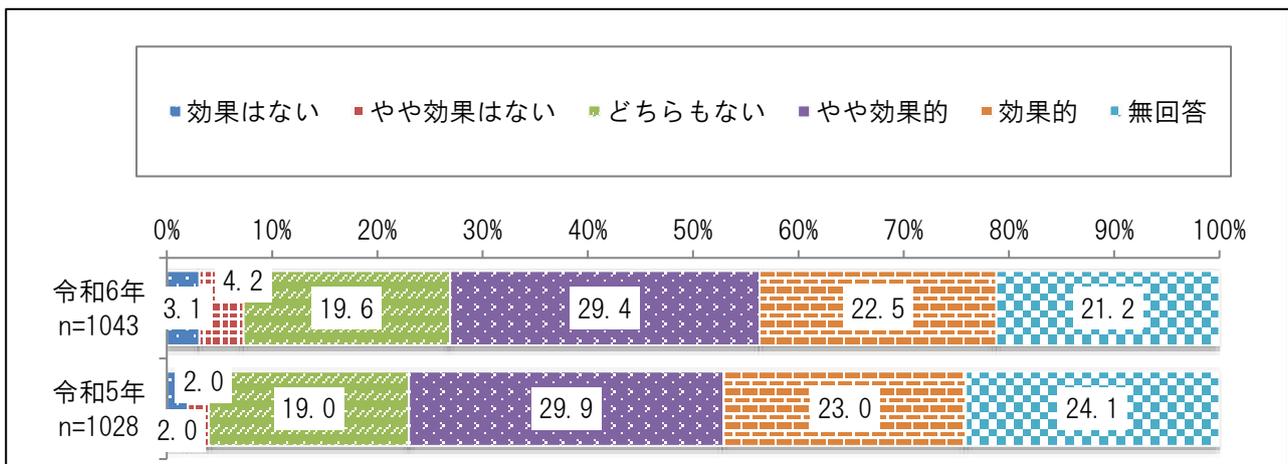
図表107. 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施



② しまくとうば講座の開設

しまくとうば講座の開設は、「効果的と思う」の割合が令和6年度22.5%で、令和5年度の23.0%より0.5ポイント低い。

図表108. しまくとうば講座の開設

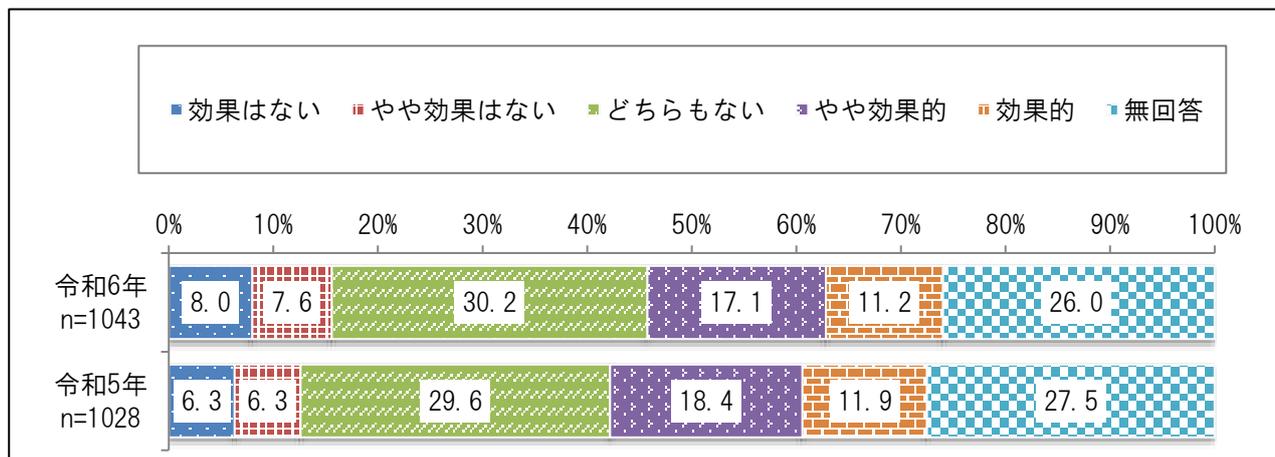


3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

③ 官公庁等でのしまくとうばの使用

官公庁等でのしまくとうばの使用は、「効果的と思う」の割合が令和6年度11.2%で、令和5年度の11.9%より0.7ポイント低い。

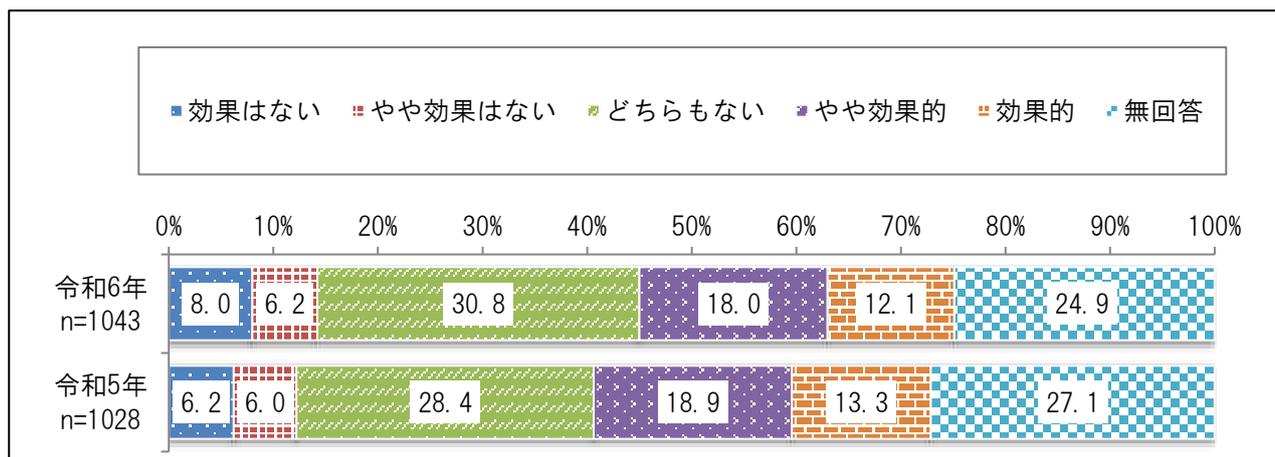
図表109. 官公庁等でのしまくとうばの使用



④ 民間企業でのしまくとうばの使用

民間企業でのしまくとうばの使用は、「効果的と思う」の割合が令和6年度12.1%で、令和5年度の13.3%より1.2ポイント低い。

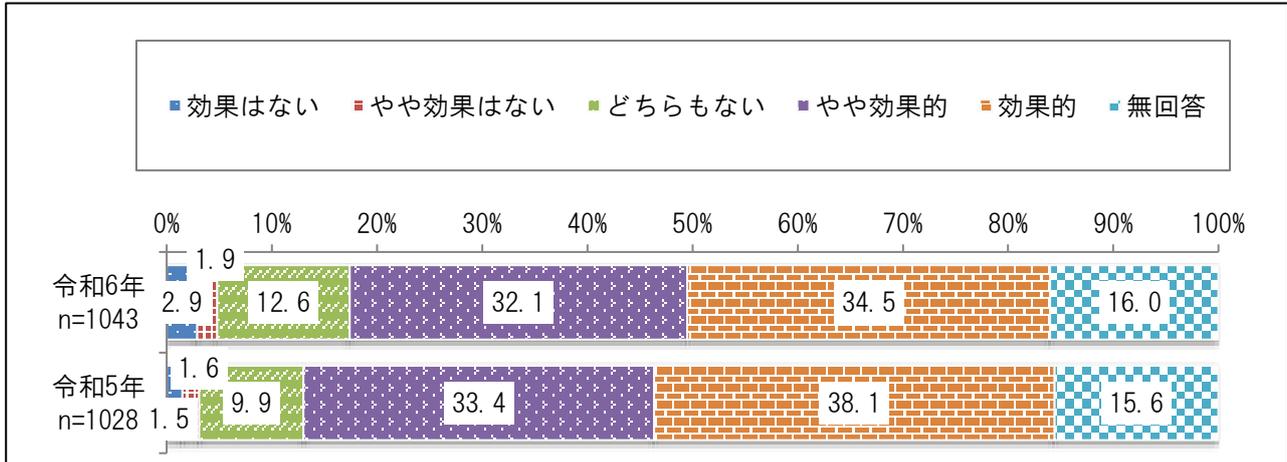
図表110. 民間企業でのしまくとうばの使用



⑤ テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用

テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用は、「効果的と思う」の割合が令和6年度34.5%で、令和5年度の38.1%より3.6ポイント低い。

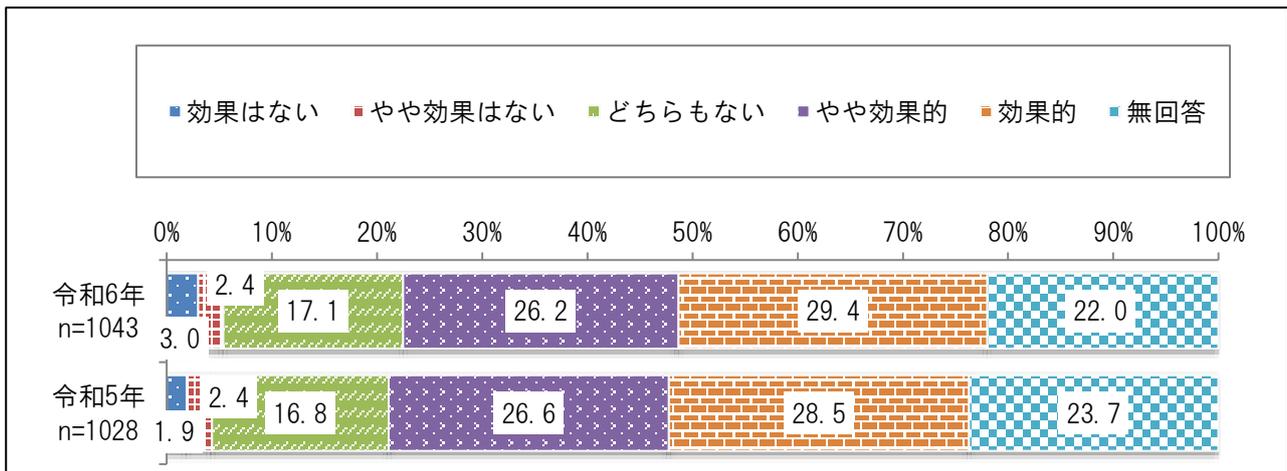
図表111. テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用



⑥ SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信

SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信は、「効果的と思う」の割合が令和6年度29.4%で、令和5年度の28.5%より0.9ポイント高い。

図表112. SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信



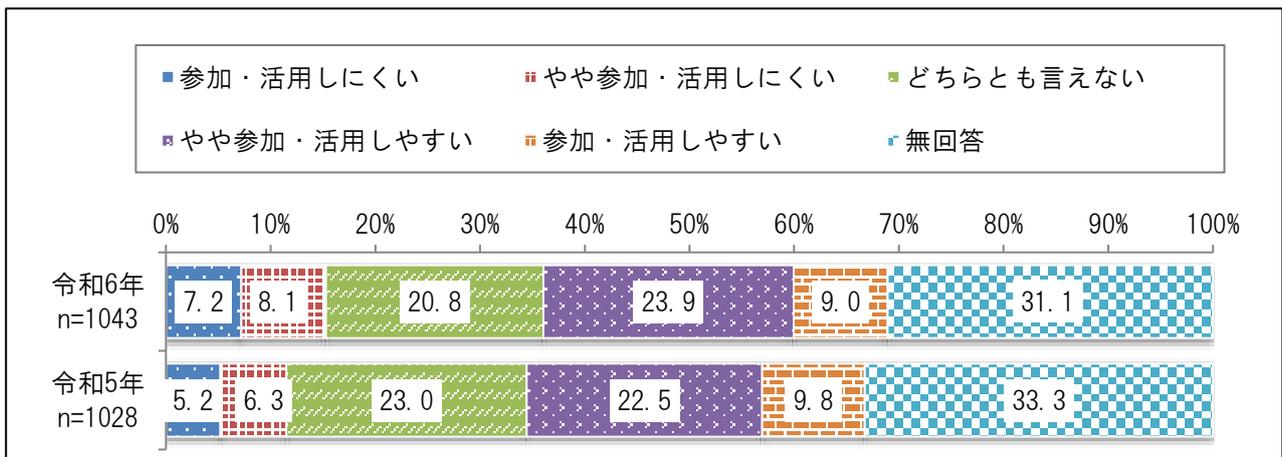
3. 令和5年・令和6年調査結果の比較

[2] 問 19-2. 取組みの参加・活用のしやすさ

① しまくとぅば講座の開設

しまくとぅば講座の開設は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和6年度 23.9%で、令和5年度の 22.5%より 1.4ポイント高い。

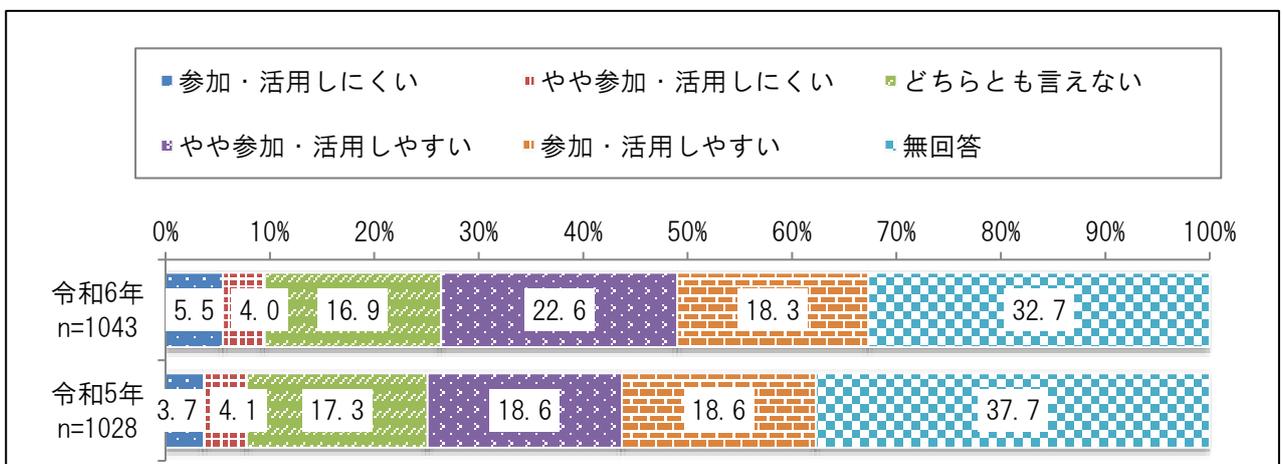
図表113. しまくとぅば講座の開設



② SNS など、Web 活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信

SNS など、Web 活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和6年度 22.6%で、令和5年度の 18.6%より 4.0ポイント高い。

図表114. SNS など、Web 活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信



4. 参考資料



しまくとぅばに関するアンケート ご協力をお願い

沖縄県では、令和5年度からの「しまくとぅば普及推進計画（第2期計画）」に基づき、全県的かつ横断的な県民運動を行うことにより、しまくとぅばの普及・継承に取り組んでおります。

この調査は、沖縄文化の基層となる大切な「しまくとぅば」に対する県民意識の調査を行うことで、その実態を把握し、今後の「しまくとぅば」の普及継承に向けた課題と効果的な施策の検討に資することを目的に実施しております。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。

※本調査は、住民基本台帳から無作為に選ばれた方（令和6年11月下旬～12月中旬時点）にお送りしております。

※回答にご協力いただいた方には、抽選で200名にオリジナルクリアファイルを進呈いたします。

令和7年1月

沖縄県文化観光スポーツ部 しまくとぅば普及推進室

— アンケートの回答方法 —

① 郵送の場合



調査票は三つ折りにし、同封の返信封筒にてポスト投函ください。
(切手不要)

投函〆切

2/14 (金)



② インターネット/スマホの場合

下記の URL もしくは QR コードで、アクセスしてください。

【<https://bit.ly/49J583S>】

番号：



WEB 回答〆切

2/16 (日)

＜アンケート調査内容に関する問い合わせ先＞

【協力事業者】株式会社サーベイリサーチセンター沖縄事務所

沖縄県那覇市久茂地 3-21-1 國場ビル 9 階

フリーコール：0800-888-5585（平日 10～17 時）

丁寧	1	2	3	4	5	乱暴
誇らしい	1	2	3	4	5	恥ずかしい
豪快	1	2	3	4	5	繊細
さわやか	1	2	3	4	5	うっとうしい
カッコいい	1	2	3	4	5	カッコ悪い
面白い	1	2	3	4	5	面白くない
身近に感じる	1	2	3	4	5	身近に感じない
感情的	1	2	3	4	5	理論的
田舎っぽい	1	2	3	4	5	都会的
明瞭	1	2	3	4	5	不明瞭

問3. しまくとぅばは、あなたのアイデンティティ*にとってどれくらい重要ですか。(○はひとつ)

*アイデンティティ…しまくとぅばを話すことで沖縄県民としての誇りや、沖縄とのつながりを強く感じる場合は「重要」、感じない場合は「重要ではない」を選択

1. 非常に重要	2. ある程度重要
3. どちらともいえない	4. あまり重要でない
5. まったく重要でない	

問4. あなたは「しまくとぅば」を聞いて、どの程度わかりますか。(○はひとつ)

1. よくわかる	2. ある程度わかる
3. あまりわからない	4. まったくわからない

問5. あなたは人と話すとき「しまくとぅば」を使いますか。(○はひとつ)

1. 主に使う	2. 「共通語」と同じぐらい使う
3. 挨拶程度に使う	4. あまり使わない
5. まったく使わない →問7へ	

<挨拶程度の例>

挨拶：ハイサイ、ハイタイ、ハーイ、クヨーンナーラー、ンサイワルカヤ、

その他日常会話での表現：クワッチーサビラ、ウサガミソーレー、チャーガンジュー、チバリヨー、
デージ、イPPER、マーサン、マチカンティー

問6. あなたが「しまくとぅば」を使う相手は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 祖父母	2. 父母	3. 夫・妻
4. 兄弟	5. 子供	6. 友達
7. 親戚	8. 職場の同僚	9. その他()

4. 参考資料

問7. あなたはビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. そう思う →問8へ | 2. ややそう思う →問8へ |
| 3. どちらともいえない →問8へ | |
| 4. あまりそう思わない →問7-1へ | 5. そう思わない →問7-1へ |

(問7で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答)

問7-1. ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. ビジネスや公共の場では不適當と思う |
| 2. 相手が理解できないため |
| 3. 出身地や世代が異なりコミュニケーションが円滑にならないため |
| 4. その他 () |

問8. 普段の生活の中で「しまくとぅば」は必要だと思いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 非常に必要 →問8-1へ | 2. ある程度必要 →問8-1へ |
| 3. あまり必要でないと思う →問9へ | 4. まったく必要ではない →問9へ |

(問8で「非常に必要」「ある程度必要」と回答)

問8-1. 生活での必要性について、その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 伝統文化が失われないようにするため | 2. 高齢者とのコミュニケーションのため |
| 3. しまくとぅばにしかないニュアンス(表現)を伝えるため | 4. 親しみを感じるため |
| 5. その他 () | |

問9. あなたは子どもたちに「しまくとぅば」を使えるようになって欲しいですか。(〇はひとつ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 是非、使えるようになって欲しい | 2. できれば、使えるようになって欲しい |
| 3. あまり、使えなくてもよい | 4. まったく、使えなくてもよい |

問10. 英語や国語、算数・数学などの授業を減らして、学校の授業科目に「しまくとぅば」を加えることをどう思いますか。(〇はひとつ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい |
| 2. 授業以外の活動で取り組んで欲しい |
| 3. どちらともいえない |
| 4. まったく加えなくてもよい |

問 11. あなたは家庭内で子どもに対して「しまくとうば」を教えるようにしていますか。

(○はひとつ) (※お子様がいたら回答した方のみお答え下さい。)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 積極的に教えている | →問 12 へ |
| 2. 時々教えている | →問 12 へ |
| 3. ほとんど教えることはない | →問 11-1 へ |

(問 11 で「ほとんど教えることはない」と回答)

問 11-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由 (○はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1. 自分が話せない・使えない |
| 2. 話す機会がない |
| 3. 必要性を感じない |
| 4. 子どもが興味を示さない |
| 5. 学校や地域で学んでいるため教える必要はない |
| 6. その他 () |

問 12. あなたはご自身が住んでいる地域 (市町村) にどの程度愛着や誇りがありますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. とてもある | 2. ややある |
| 3. あまりない | 4. ない |

問 13. **沖縄県出身の方にお聞きします。** 沖縄には地域ごとに様々な「しまくとうば」があります。

あなたはご自身の出身地の「しまくとうば」を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 14. **沖縄県出身の方にお聞きします。** あなたはご自身の出身地の「しまくとうば」が将来に渡って残ってほしいと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. どちらともいえない | |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |

4. 参考資料

問 15. あなたが「しまくとぅば」に触れる機会（聞く・話す）はどの程度ありますか。（〇はひとつ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 毎日触れる機会はある | 2. 週に 2-3 回程度はある |
| 3. 月に 2-3 回程度はある | 4. 年に 10 回程度はある |
| 5. 年に 2-3 回程度はある | 6. 全くない |

問 16. あなたが「しまくとぅば」を聞く機会はどの程度ありますか。（〇はひとつ）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. ある →問 16-1 へ | 2. たまにある →問 16-1 へ |
| 3. あまりない →問 17 へ | 4. ない →問 17 へ |

（問 16 で「ある」「たまにある」と回答）

問 16-1. あなたが「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 日常的に聞く | 2. 高齢者とコミュニケーションをはかる時 |
| 3. テレビやラジオ、CM 等 | 4. 組踊や音楽、劇などの鑑賞時 |
| 5. その他（ | ） |

問 17. あなたが「しまくとぅば」を話す機会はどの程度ありますか。（〇はひとつ）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. ある →問 17-1 へ | 2. たまにある →問 17-1 へ |
| 3. あまりない →問 17-2 へ | 4. ない →問 17-2 へ |

（問 17 で「ある」「たまにある」と回答）

問 17-1. あなたが「しまくとぅば」を話す機会はどのような時ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 日常的に話す | 2. 高齢者とコミュニケーションをはかる時 |
| 3. 共通語で伝わらないニュアンスを伝える時 | 4. 地元の家族や仲間と集う時 |
| 5. その他（ | ） |

（問 17 で「あまりない」「ない」と回答）

問 17-2. あなたが「しまくとぅば」を話さない理由について教えてください。（〇はいくつでも）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. しまくとぅばを話す機会がない | 2. しまくとぅばを話し(使い)慣れていない |
| 3. 話しても相手に通じない | 4. 共通語でコミュニケーションが十分とれる |
| 5. その他（ | ） |

問 18. 以下に挙げるもので、今後、普及継承していくため、各取組を「知っている」ものであてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)
 また、「効果的であると思うか」「参加・活用しやすいと思うか」について、5段階でお答えください。(各項目、○はそれぞれひとつ)

取組内容	知っているものに○を付けてください	効果度					参加・活用のしやすさ				
		効果的と思う	やや効果的と思う	どちらとも言えない	やや効果はないと思う	効果はないと思う	参加・活用しやすい	やや参加・活用しやすい	どちらとも言えない	やや参加・活用しにくい	参加・活用しにくい
例：(知っている、効果的と思うが、やや参加・活用しにくい)	○	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1
しまくとぅばの日 (9月18日)	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	/				
しまくとぅば県民大会 (イベント)	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1
しまくとぅば語やびら大会 (イベント)	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1
しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1
しまくとぅば普及センターの設置・運営	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	/				
しまくとぅば講師養成講座	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1
しまくとぅば講師の派遣	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1
しまくとぅば検定	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1
「使ってみようしまくとぅばナビ」 (インターネットサイト)	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1
しまくとぅば普及ツール (一般用・50音表、カレンダー等) の作成と配布	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1
しまくとぅば普及ツール (教育用・読本、単語帳等) の作成と配布	⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	5	4	3	2	1

4. 参考資料

問 19. 以下に挙げるもので、今後、普及継承していくため、各取組について「すべきと思うもの」であてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

また、「効果的であると思うか」「参加・活用しやすいと思うか」について、5段階でお答えください。(各項目、○はそれぞれひとつ)

取組内容	すべきと思うものに○を付けてください	効果度					参加・活用のしやすさ				
		効果的と思う	やや効果的と思う	どちらとも言えない	やや効果はないと思う	効果はないと思う	参加・活用しやすい	やや参加・活用しやすい	どちらとも言えない	やや参加・活用しにくい	参加・活用しにくい
例：(すべきと思い、効果的と思うが、やや参加・活動しにくい)	⇒ ○	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
学校の総合学習などでのしまくとぅば教育の実施	⇒	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	/				
しまくとぅば講座の開設	⇒	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
官公庁等でのしまくとぅばの使用	⇒	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
民間企業でのしまくとぅばの使用	⇒	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとぅばの使用	⇒	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	/				
SNSなど、Web活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信	⇒	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
その他 ※ご意見があれば、自由にお書きください。 ()	⇒	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1

問 20. 沖縄の固有の「しまくとぅば」を普及継承していくために、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

【謝礼のご要望】

回答にご協力いただいた方には、抽選で200名にオリジナルクリアファイルを進呈いたします。

謝礼の抽選応募をご希望の方は、下記にチェックを入れ、「住所宛先」「ご氏名」を記入してください。

希望する

しまくとぅば オリジナルクリアファイル



※画像はイメージです。

※実際の商品とはデザイン・仕様が一部異なる場合がございます。

住所宛先: 〒

ご氏名 :

※抽選でのご提供となりますので、ご了承ください。

※「謝礼のご要望」にチェックがない場合は、謝礼をご希望されないものとして、取り扱わせていただきます。

【個人情報の取り扱い】

本調査で使用する個人情報は、本調査委託会社である株式会社サーベイリサーチセンターにて「個人情報保護方針」に則り厳重に管理し、本調査の依頼、回収、謝礼等のみで使用させて頂き、収集した個人情報を第三者への提供及び他用途での使用はいたしません。

個人情報の取り扱いについてご理解頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

本調査結果は、しまくとぅばの普及継承に係る施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。
調査へのご協力ありがとうございました。